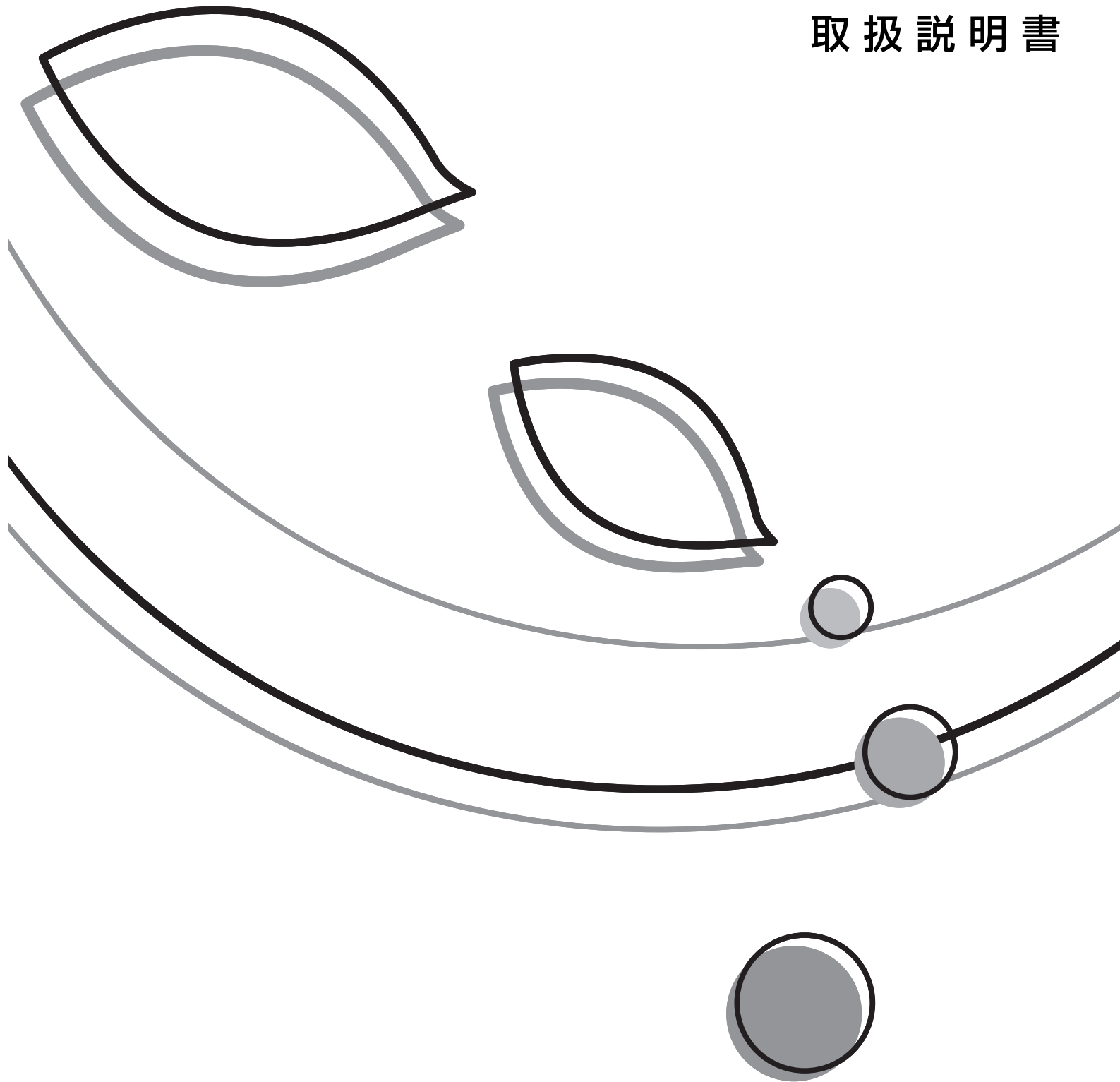


RISOGRAPH **RZ** 670/630

取扱説明書



RISO



当社は国際エネルギー・プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー・プログラムの基準に適合していると判断します。

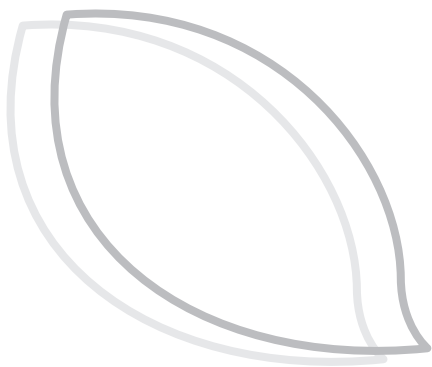
注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。



安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。



ごあいさつ

このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機は、大型液晶ディスプレイを装備したデジタル孔版印刷機です。
操作が簡単な「タッチパネル方式」を採用し、各画面では操作に必要なボタンのみが表示されるので、わかりやすく作業がスムーズに進みます。また、ガイダンスに従って操作を進める「対話方式」により、高度なプリント設定も簡単に行うことができます。

取扱説明書について

本機には、以下の取扱説明書が同梱されています。

- ・ **RISOGRAPH RZ670/630 取扱説明書(本書)**

本機の基本的な操作方法をはじめとして、便利な機能の操作方法、高度なプリント機能の設定方法について説明しています。

また、使用上のご注意、各種消耗品の取り扱いや交換方法、トラブル発生時の対処方法についても記載しています。

- ・ **リソープリンタドライバ取扱説明書**

パソコンから本機にプリントするときの操作手順を説明しています。

- ・ **リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書(CD-ROM)**

「理想集計アプリケーション」と「理想USBメモリマネージャー」の2つのソフトウェアの使用
方法の説明をしています。

ご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中不明な点があるときや、必要なときに
本書をお読みいただき、本機とともに末永くお役立てください。

RISO は理想科学工業株式会社の登録商標です。

riso i Quality System™ は理想科学工業株式会社の商標です。



は理想科学工業株式会社の商標です。

この取扱説明書は、RISO ソイインクを使用し、理想環境用紙に印刷しています。

機能一覧

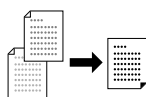
製版、印刷の通常のプリント動作の他に、設定できる機能の一覧です。

製版時に設定する機能



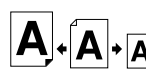
原稿モード(☛ P.48)

原稿の種類に適したモードを選択できます。



読取濃度(☛ P.50)

原稿を読み取る濃度を選択できます。



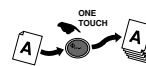
変倍設定(☛ P.51)

原稿を拡大／縮小してプリントします。



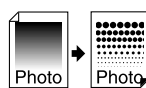
用紙サイズ(☛ P.55)

印刷用紙が不定形の際、用紙サイズを設定します。



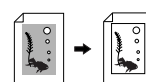
連続(☛ P.56)

製版から印刷までの動作を自動的に連続して行います。



網点(☛ P.57)

写真原稿に網点をかけて鮮明にプリントします。



コントラスト強調(☛ P.58)

写真の原稿の明暗を調節します。



トーンカーブ選択(☛ P.59)

写真の明暗を調節します。



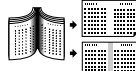
省インク(☛ P.60)

インクを節約してプリントします。



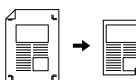
かんたん連写、連写(☛ P.61)

1 枚の用紙に多面取りしてプリントします。



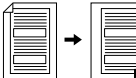
ブックモード(☛ P.70)

雑誌や本のとじ部分の影を消去または写真処理してプリントします。



レイアウト原稿(☛ P.72)

トンボ付きの原稿のトンボをカットしてプリントします。



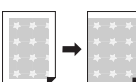
AFとじ代設定(☛ P.74)

印刷物にとじ代を付けます。



プレビュー表示(☛ P.76)

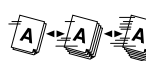
製版する前に画像を確認できます。



フルサイズ製版(☛ P.78)

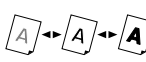
用紙サイズに関わらず、最大印刷範囲で製版を行います。

印刷時に設定する機能



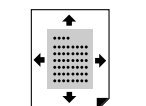
印刷速度(☛ P.80)

印刷速度を調節できます。



印刷濃度(☛ P.81)

印刷濃度を調節できます。



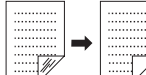
印刷位置(☛ P.82)

印刷位置を調整できます。



試し刷り(☛ P.84)

印刷の仕上がりを確認します。



インターバル印刷(☛ P.85)

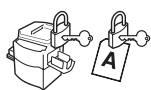
印刷の裏移りを防ぎます。



排紙ウイング特殊、特殊用紙設定(☛ P.86)

特殊な用紙を使用する場合、設定します。

その他の機能



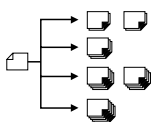
認証設定(☞ P.96)

認証ユーザーの登録や認証方式などの設定をし、ユーザー認証を有効にします。



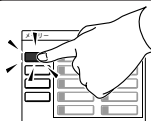
機密(☞ P.113)

機密書類の複製を防止します。



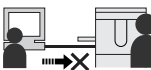
プログラム(☞ P.114)

指定した枚数にグループ分けしてプリントします。



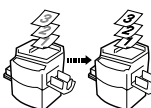
メモリー(☞ P.124)

プリント時に行った各種の設定を登録します。



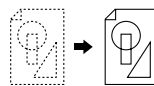
占有延長(☞ P.131)

パソコンからのデータ出力指示による使用中マスターの喪失や、各種設定値のクリアを防止します。



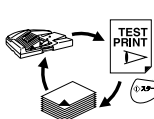
アイドリング(☞ P.132)

長時間使用していなかったときに、印刷始めのかすれを防止します。



再製版(☞ P.133)

最後に製版したマスターのデータを利用して製版しなおします。



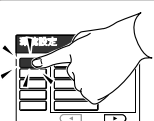
AFオート製版(☞ P.136)

自動原稿送り装置にセットされた原稿を、自動的に製版し、試し刷りします。



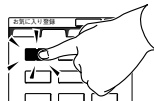
180度回転(☞ P.138)

パソコンで作った原稿データを180度回転プリントします。



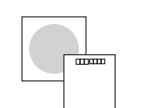
環境設定(☞ P.145)

使用状況に合わせて、各種設定の初期値を変更します。



POP／お気に入り(☞ P.154)

よく使う機能をPOPやお気に入りに登録すると、ワンタッチで呼び出すことができます。



用紙サイズ登録(☞ P.158)

定形外サイズの用紙を使用してプリントできるように登録します。

メモリーカード DM128CF(オプション)またはUSBメモリを装着すると、次の機能が設定できます。

スキャンモード(☞ P.168)

紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、画像データを保存できます。

ホールド、USBメモリ(☞ P.174)

メモリーカードDM128CF、またはUSBメモリに保存した原稿データを呼び出してプリントします。

オーバーレイ(☞ P.178)

本機で読み取った原稿と本機のメモリーカードDM128CFやUSBメモリに保存している画像データを合成してプリントします。

連携機PrioA(別売)を接続すると、次の機能が設定できます。

連携機情報の設定(☞ P.185)

連携機や装着しているオプション機能を使用できるように設定を変更します。

連携機のオプション機能(☞ P.192)

連携機や装着しているオプション機能を使用するときの各種設定を行います。

目次

2	機能一覧	70	雑誌や本をプリントする [ブックモード]
6	文中の表記について	72	原稿のトンボをカットしてプリントする [レイアウト原稿]
7	安全上のご注意	74	製版の左右位置を調整する [AF とじ代設定]
9	ご使用の前に	76	製版前に印刷イメージを確認する [プレビュー表示]
14	各部の名称とはたらき	77	プレビュー表示を確認してプリントする
18	ディスプレイ	78	最大印刷範囲で製版する [フルサイズ製版]
18	画面の移り変わり		
20	基本画面の見かた		
20	ディスプレイ上のボタンについて		
22	プリントの流れ		
25	基本操作	79	印刷するときに設定する機能
26	プリント前の準備	80	印刷速度を変える [印刷速度調節]
26	給紙台と用紙のセット	81	印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
28	排紙台のセット	82	印刷位置を調整する [印刷位置調整]
30	紙原稿をプリントする	84	試し刷りをする [試し刷り]
37	パソコンデータをプリントする [ダイレクトプリント] [USB メモリ]	85	裏移りを防ぐ [インターバル印刷]
37	パソコンから指示をしてプリントする (ダイレクトプリント)	86	特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]
41	USB メモリからプリントする (USB メモリ)	87	排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊]
44	出力指示の変更	88	調整値リストから呼び出す
45	本機での停止タイミングの変更	89	調整値リストへの登録と名称入力
		92	特殊用紙設定の設定内容の変更
		93	特殊用紙設定の消去
47	製版するときに設定する機能	95	その他の機能
48	原稿に適したモードを選択する [原稿モード]	96	認証設定をする [認証設定]
50	原稿の読取濃度を選択する [読取濃度]	100	認証方式の選択
51	原稿を拡大／縮小する [固定変倍] [独立変倍] [ズーム変倍] [周囲余白]	102	認証の範囲 (認証有無) の設定
52	固定倍率の拡大／縮小 [固定変倍] [周囲余白]	103	管理者／ユーザーの登録
53	縦横比を変えた拡大／縮小 [独立変倍]	109	管理者／ユーザー登録の変更
54	ズームでの拡大／縮小 [ズーム変倍]	110	ユーザー登録の消去
55	不定形用紙に印刷する [用紙サイズ]	111	グループの名称入力
56	続けてプリントする [連続]	112	全ユーザーの利用枚数のクリア
57	写真に網点をかける [網点]	113	機密書類の複製を防止する [機密]
58	写真の明暗を調節する [コントラスト強調]	114	グループに分けてプリントする [プログラム]
59	写真の階調を調節する [トーンカーブ選択]	116	プログラムの設定
60	インクを節約する [省インク]	118	プログラムを呼び出してプリントする
61	1 枚の用紙に多面取りする [かんたん連写] [連写]	119	プログラムの登録
62	連写を使用するときの注意	120	プログラムの名称入力
64	かんたん連写の操作のしかた	122	プログラムの消去
65	「1 原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた	123	プログラムの設定内容の変更
67	チケット連写の操作のしかた	124	メモリー機能を使う [メモリー]
		125	メモリーの登録
		126	メモリーの名称入力

128	メモリーを呼び出してプリントする
130	メモリーの消去
131	割り込み印刷を防止する【占有延長】
132	アイドリングをする【アイドリング】
133	再製版する【再製版】【オート再製版】
134	再製版を実行する
135	オート再製版を使う
136	試し刷りを確認しながらプリントする【AF オート製版】
138	原稿を 180 度回転して製版する【180 度回転】
139	各ユーザーの利用枚数を確認する【利用枚数集計】
140	利用枚数を出力する
141	お知らせ日を設定する
143	ユーザーごとに POP 登録する【認証 POP 登録】
145	初期設定を変更する【環境設定】
145	設定可能な項目一覧
151	初期設定の変更
154	POP／お気に入りの設定【POP】【お気に入り】
158	不定形の用紙を登録する【用紙サイズ登録】
158	用紙サイズの登録と名称変更
161	登録した用紙サイズの消去
162	印刷済みのマスターを安全に管理する
163	製版・排版されたマスターの流出を防ぐ【プロテクト】
165	原稿データを保存して活用する
166	原稿データの保存と活用方法について
168	紙原稿をデータ保存する（スキャンモード）
169	紙原稿をスキャンする
171	データの情報設定をする
173	保存サイズを指定する
174	保存データを呼び出してプリントする【ホールド】【USB メモリ】
174	保存データの呼び出ししかた
176	【ホールドデータ呼出】画面／【USBデータ呼出】画面の使いかた
177	データの並び順を変える
178	保存データを合成する【オーバーレイ】
180	保存データをコピー／移動する

183	連携機（別売品）を接続して使う
184	連携機を使用したプリント機能について
185	連携機を使うための準備【RLP 情報設定】
185	連携機情報の設定一覧
188	連携機情報の設定
189	紙原稿を読み取り連携機から出力する【RLP モード】
192	連携機のオプション機能を使用する
193	設定可能な項目一覧
196	両面印刷のしかた【両面】
199	消耗品の交換
200	消耗品の残量を確認する
201	マスター交換のしかた
204	インクボトル交換のしかた
206	排版ボックスのマスターの処理
208	ドラムのセット（カラーチェンジ）
208	ドラムの取り出ししかた
209	ドラムのセットのしかた
211	使用済み消耗品の回収・廃棄について
213	お手入れについて
214	クリーナーについて
215	お手入れのしかた
219	こんなときには
220	こんなメッセージが表示されたら
220	エラーメッセージの見かた
228	ワーニングメッセージ（ウインドウ表示）の見かた
237	消耗品情報入力画面が表示されたら
240	「故障？」と思ったとき
249	付録
250	消耗品について
251	オプションについて
252	仕様
254	索引

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

■ 注意事項等の表記について

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。



気をつけていただきたいことや禁止事項などを記載しています。
よく読んで指示に従ってください。



参照ページを示しています。



原稿を表しています。



本機をご利用いただく上で、知っておくためになる情報や便利な情報を記載しています。



ディスプレイ上のボタンにタッチすることを表しています。



印刷物を表しています。

「⚠警告」および「⚠注意」についてはP.7をご覧ください。

■ 操作説明や機能説明の表記について

機能や操作説明は、次のような表記で行っています。

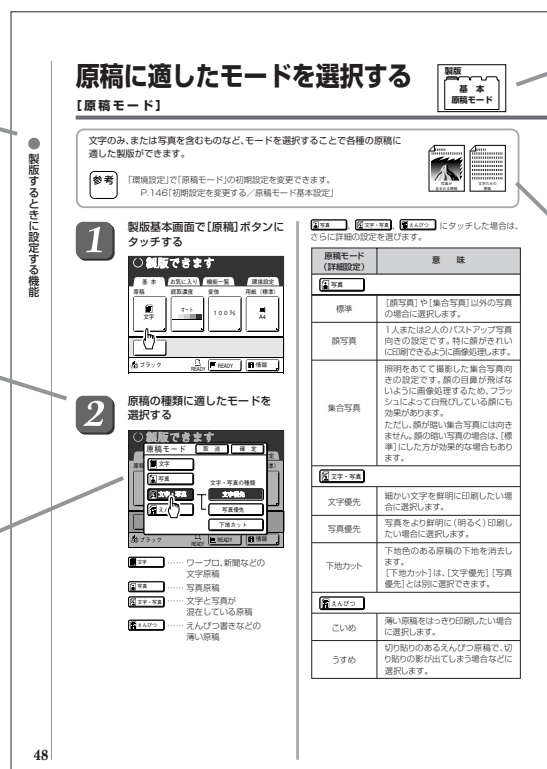
章タイトル

操作手順

操作手順をステップで説明しています。このステップにそって操作を行います。

ディスプレイ

各ステップで説明している操作を行う画面を表示しています。



操作パターン表示

このページで説明している機能の操作を行う場所(操作パネル上のキー、またはディスプレイ)を示しています。

イメージイラスト

このページで説明している機能を、イラストで表しています。

■ 本書で使用している用語について

製版……………原稿を読み取ってマスターを作成する動作
印刷……………製版されたマスターを使用して用紙に印刷する動作
プリント………製版から印刷までの動作

押す……………操作パネルのキーを押すとき
タッチする………ディスプレイ(液晶パネル)のボタンを押すとき
ジョブ……………出力可能な状態となった原稿データ
初期設定……………電源を「ON」にしたときの設定値(各画面に表示される値)

■ 本書の記載内容・使用しているイラストについて

ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。

安全上のご注意

本機を設置する場所や電源に関する注意など、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。必ずお読みください。

警告表示について

本機を正しくお使いいただき人体への危害や財産への損害を未然に防止するため、次のような警告表示を使用しています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を説明しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を説明しています。

設置場所について

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

電源の接続について

⚠ 警告

- 電源90～100Vの範囲内で、電流8A以上の電源をご使用ください。火災、感電のおそれがあります。
- 分岐コンセントのご使用、タコ足配線はおやめください。延長コードが必要なときは125V/8A以上の規格のケーブルを使用し、5m以上延長しないようにしてください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。
- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください(必ずプラグを持って抜いてください)。コードが傷付き、火災、感電の原因となることがあります。

- 連休などで長期間、本機をご使用にならない場合は、安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アースの接続について

⚠ 警告

- アース線を必ず接続してください。アースの接続は、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
アース接続しないで万一、漏電した場合は、火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。
- 次のようなところには絶対にアース線を取り付けしないでください。火災、感電のおそれがあります。
 - ・ ガス管
 - ・ 電話専用アース線
 - ・ 避雷針
 - ・ 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口
- アース線は次の場所に取り付けてください。
 - ・ 電源コンセントのアース端子
 - ・ 銅片などを、65cm以上地中に埋めたもの
 - ・ 接地工事(第1種～第3種)が行われている接地端子
 - ・ 水道局がアースの対象物として承認した水道管



安全上のご注意

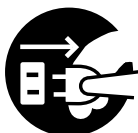
取り扱いについて

⚠ 警告

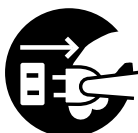
- 本機の上に水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
- 本機のすきまなどから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落としこんだりしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 本機を分解したり改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。



- 万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。



- 万一、異物が機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売会社（あるいは保守・サービス会社）にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



⚠ 注意

- 給紙台や排紙台回りのすきまには、絶対に指などを差し込まないでください。けがの原因となることがあります。
- ドラム周辺や、ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないようにご注意ください。手などにインクが付いた場合は、早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。
- 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪に触れないように注意してください。分離爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因となることがあります。
- ドラムは垂直に立てないでください。床などを汚すことがあります。

- クリーニングに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。クリーナー使用後は必ず手を洗ってください。
- 本機を移動する場合は、販売会社（あるいは保守・サービス会社）に連絡してください。無理に移動させると、機械が転倒して、けがの原因となることがあります。

インクについて

⚠ 注意

- 目に入った場合は、速やかに多量の水でよく洗い流してください。
- 皮膚に付いた場合は、せっけんなどでよく洗ってください。
- 誤って飲み込んだ場合は、吐かせずに多量の水（または牛乳）を飲ませ、様子をみてください。
- 万一、異常を感じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。
- 印刷中は十分な換気を行ってください。
- 印刷以外の用途には使用しないでください。
- 小さなお子さまの手の届かないところに保管してください。

ご使用の前に

本機をご使用になる際に気をつけていただきたいことや、ご使用前に必ず知っておいていただきたいことを記載しています。

設置上の注意

設置場所について

- 本機の設置場所につきましては、納入時にお客様とご相談のうえ決定させていただきます。
- 本機は設置場所を固定することになっています。本機を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障、事故の原因となる場合があります。
 - ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所(やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください)
 - ・ 温度が急激に変化する場所
 - ・ 高温多湿、低温少湿の場所
 - ・ 火気・熱気のある場所、クーラー等の冷風、ストーブ等の温風、ふく射熱などが直接あたる場所
 - ・ 通気性、換気性の悪い場所



使用環境について

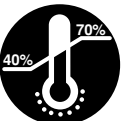
- 本機が水平に設置できる場所を選んでください。(設置の水平度:前後10mm以下、左右10mm以下)



- 適正環境は次のとおりです。
温度範囲: 15℃～30℃

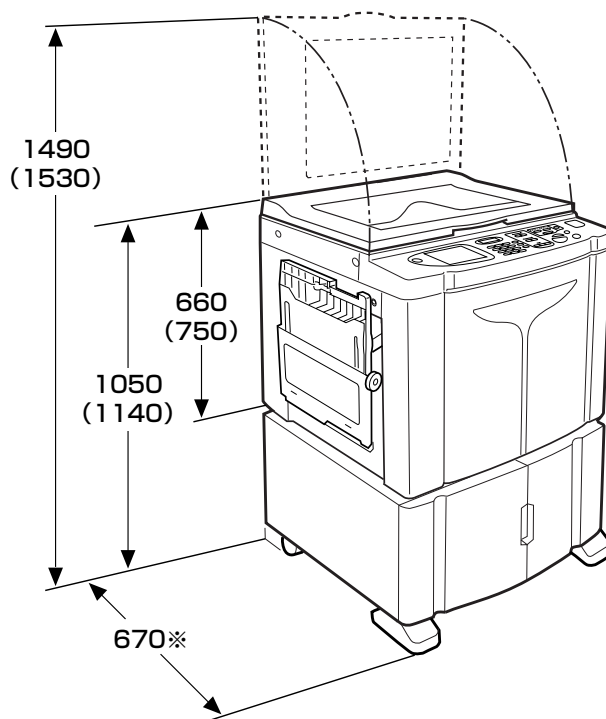


湿度範囲: 40%～70%
(結露しないこと)

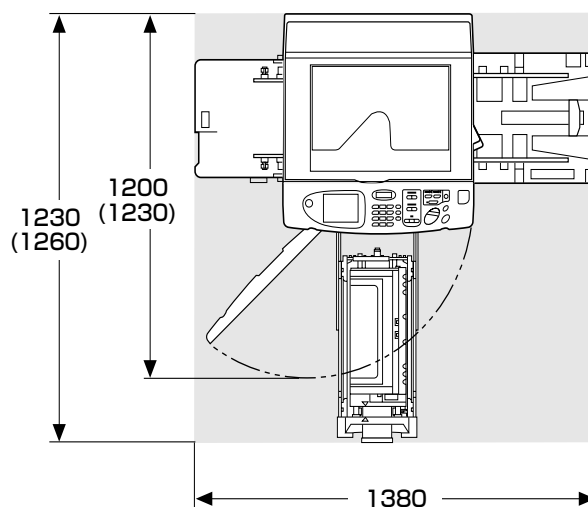


専有面積について

本機は給紙台、排紙台を広げたり、ドラムを引き出す場所を必要とするため、以下のスペースが必要です。



上から見た図



単位: mm

()内は自動原稿送り装置(オプション)装着時

※本体奥行きサイズには架台の補助足を含んでいます。

ご使用の前に

接続上の注意

電源の接続について

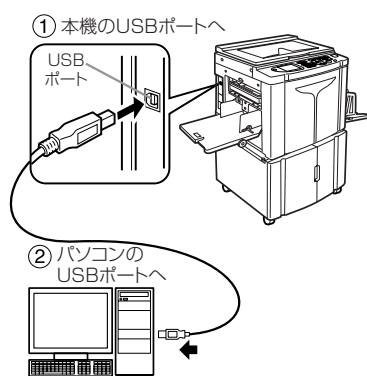
- 電源プラグ部の接触不良がないように、プラグはコンセントに確実に接続してください。
- 本機はコンセントの近くに設置してください。
- 本機には、電源を「ON」にしたまま、一定時間使用しないときに、自動的に消費電力を下げる、または電源を「OFF」にして電力を節約する「省エネモード」機能および、決まった時間に本機の電源を「OFF」にする「シャットOFF」機能が搭載されています。
 - ☛ P.148「初期設定を変更する／省エネモード」
 - ☛ P.148「初期設定を変更する／シャットOFF時刻」
- ACインレット(電源コード接続部)上部の電源切替スイッチには触らないでください。誤って電源を切り替えると、故障の原因になります。



パソコンとの接続について

本機をパソコン(対応OS:Windows 2000/XP/Vista)と接続して、パソコンで作成した原稿データを直接本機でプリントできます。

市販のUSBケーブル(3m以内、Hi-Speed USB規格準拠)で、本機とパソコンを接続してください。



重要

接続する前にパソコンと本機の電源を入れ、本機の初期画面が表示された状態で接続してください。

参考

パソコンとネットワーク接続する場合は、オプションのネットワークインターフェース(RISORINC-NET)と市販のイーサネットケーブル(10BASE-Tまたは100BASE-TXに対応したシールドケーブル)が必要です。詳細については、「RISORINC-NET取扱説明書」を参照してください。

ソフトウェアについて

同梱のCD-ROMには次のソフトウェアを収録しています。

RISO Printer Driver

初めてプリントを行うときにはインストールが必要です。パソコンから原稿データを送信してプリントするためのプリンタドライバです。

ご使用方法については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」を参照してください。

リソーユーティリティソフトウェア

「理想集計アプリケーション」と「理想USBメモリマネージャー」の2つのソフトウェアが収録されています。

- 理想USBメモリマネージャー
原稿データの情報を、パソコン上で管理するアプリケーションです。
- 理想集計アプリケーション
USBメモリに出力した利用枚数データを、パソコン上で管理するアプリケーションです。

ご使用方法については、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」をご覧ください。

参考

RISORINC-NET(オプション)

本機をネットワークプリンタとしてWindowsパソコンから使用するためには、ネットワークインターフェース(RISORINC-NET)が必要です。

RISORINC-NETをインストールすると、パソコンから本機の状態を確認できるモニタリング機能を利用できます。

ご使用上の注意

操作について

- 動作中に電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。
- 動作中にカバーを開けたり、機械を移動させたりしないでください。
- カバー類の開閉は静かに行ってください。
- 機械の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。

取り扱いについて

- 機械内部には精密部品および駆動機構部がありますので、取扱説明書に書かれていること以外は行わないでください。
- 機械を移動するときは、販売会社(あるいは保守・サービス会社)に連絡してください。
- 日本国外へ移動した場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

USBメモリについて

- マスストレージクラスに対応したUSBメモリをご使用ください。ご使用のUSBメモリの種類によって、正常に動作しない場合があります。
- USBメモリを接続または取り外しする際は、正しい手順で、ゆっくりと抜き差ししてください。
- 天災や不測の事態により、USBメモリデータが損傷した場合、USBメモリ内に保存されているデータの保証はいたしかねます。重要なデータは、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

消耗品などの保管について

用紙、マスター、インクなどの消耗品やドラムは正しく保管してください。

次のような場所での保管は、おやめください。

- ・ 直射日光のあたる場所や窓際などの明るい場所（やむをえない場合は、窓にカーテンなどを付けてください）
- ・ 温度が急激に変化する場所
- ・ 高温多湿、低温少湿の場所

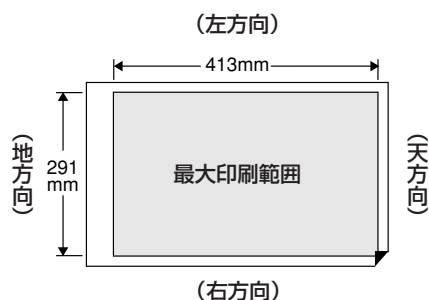


印刷範囲について

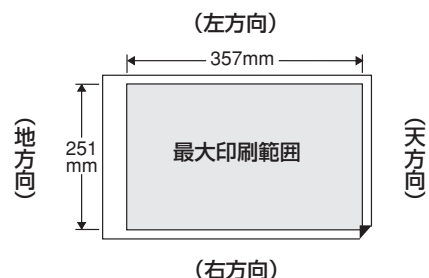
最大印刷範囲

本機で印刷可能な範囲（最大印刷範囲）は次のとおりです。

RZ670: 291mm×413mm



RZ630: 251mm×357mm

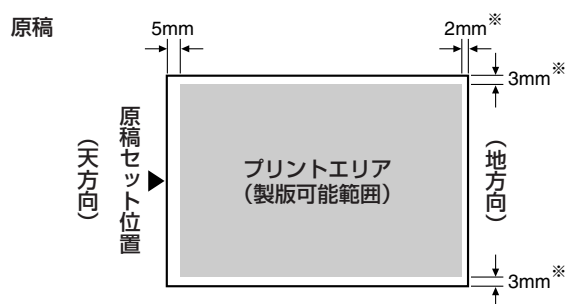


重要

最大サイズ(310mm×432mm)の用紙、あるいは長尺(天地方向433mm～555mmまで)用紙を使用したときでも、上記の最大印刷範囲内に印刷されます。

プリントエリア(製版可能範囲)について

原稿のサイズにかかわらず、給紙台にセットした用紙サイズで、プリントエリア(製版可能範囲)が決まります。プリントエリアは、印刷用紙サイズに対して、下図の余白を除いた範囲です。原稿は、あらかじめこの余白を考慮して作成してください。



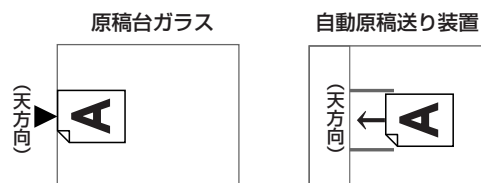
※ この数字は、A3サイズ以下(RZ670)またはB4サイズ以下(RZ630)の用紙をセットした場合の余白です。

A4(297mm×210mm)サイズの印刷用紙(縦方向セット)の場合、プリントエリアのサイズは290mm×204mmになります。

パソコンから原稿データを送信して印刷する場合もプリントエリアは同様です。

参考

- 周囲に余白のない原稿をプリントするときは、「周囲余白(縮小)」を利用すると便利です。
☛ P.52「固定倍率の拡大／縮小」
- 印刷用紙のサイズに関係なく、最大印刷範囲で製版することができます。
☛ P.78「最大印刷範囲で製版する」
- 本書では、原稿のセット位置(自動原稿送り装置の場合は原稿の給紙方向)の側を「天方向」と呼んでいます。



ご使用の前に

印刷用紙に関する注意

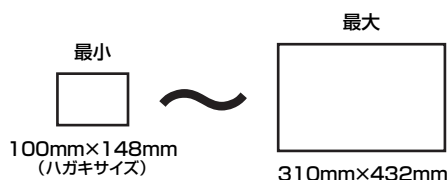
印刷に使用できる用紙について

印刷用紙はなるべく専用の用紙をご使用ください。
機械の性能やインクの特性を十分に活かす「理想用紙」の使用をおすすめします。

☛ P.250「消耗品について」

本機仕様に定められている範囲を超える用紙をご利用いただく場合は、その紙に対しての通紙および印刷に関しては製品保証対象外となります。

■ サイズ



参考

本機は、「用紙サイズ登録」を設定することにより、天地555mmまでの長尺用紙を使用(通紙)できます。

- ☛ P.160「奉書(長尺の用紙)にプリントするときは」
- ☛ P.158「不定形の用紙を登録する」

■ 重さ

以下の範囲内の上質紙、中質紙、再生紙(古紙/パルプ配合率100%など)などが使用できます。

46~210g/m²

(40kg連量:四六判~180kg連量:四六判)

重要

- 本機仕様内の「用紙サイズ」および「用紙重量」であっても、紙質・環境・保管状態等により通紙できない場合があります。あらかじめ、ご了承ください。詳しくは、お買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にご相談ください。
- 不適切な印刷用紙の使用は、紙詰まりや故障、印刷品質の低下の原因になることがありますので注意してください。
- 給紙フェンスや排紙フェンス、ストッパーは、必ず印刷用紙のサイズに合わせてセットしてください。
☛ P.26「プリント前の準備」
- 画用紙などの厚紙や滑りやすい紙を使用するときは、給紙圧調節レバーや排紙台の紙揃えプレートを調節してください。
☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
- 裁断が悪い紙や表面が粗い紙(画用紙など)は、よくさばいてから使用してください。

- 横目の用紙は紙詰まりの原因になる場合がありますので、用紙は縦目のものを使用してください。
- 使用する紙によっては機械の使用時に紙粉が発生することがあります。清掃、換気を充分に行うように心がけてください。

用紙の保管について

用紙は湿気の少ない場所に保管してください。湿気を含んだ用紙は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になります。



印刷に適さない用紙について

次のような用紙は、紙詰まりなどの原因となりますので使用しないでください。

- 紙厚の薄い用紙(46g/m²(40kg連量:四六判)未満)
- 紙厚の厚い用紙(210g/m²(180kg連量:四六判)を超えるもの)
- 感熱紙、表カーボン紙等、化学処理した用紙
- しわ、カール、折り曲がり、破損(破れ)などの激しい用紙
- 表または裏がコーティングされている用紙
- 先端がギザギザになっている用紙
- アート紙
- 糊付け、穴あけがある用紙

原稿に関する注意

重要

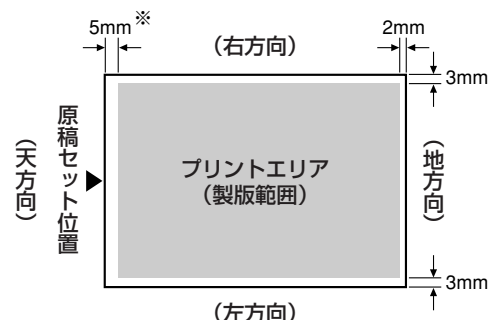
不適切な原稿の使用は、紙詰まりや印刷品質の低下の原因になることがありますので注意してください。

原稿の余白について

原稿の天方向には、必ず5mm以上の余白を取ってください。

原稿と同じサイズの用紙に等倍で印刷するときには、原稿の天地左右すべてに余白が必要です。

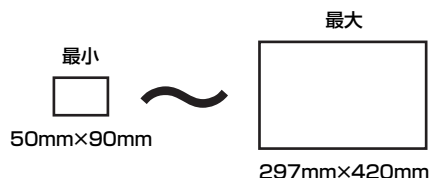
等倍でのプリントの際に必要な余白



※ 等倍/縮小/拡大に関係なく、天方向には5mm以上の余白が必要です。

原稿台ガラスへセットする場合

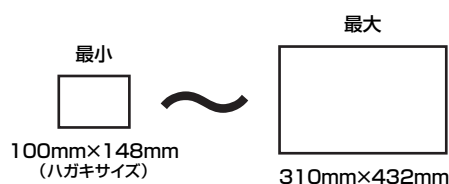
- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにセットします。
- 10kg以上の重さの原稿は、使用できません。
- しわ、カール、折れ曲がりの激しい原稿は、よく伸ばして原稿台ガラスから浮かないようにセットしてください。浮いている部分が黒くプリントされることがあります。
- インクや修正液を使用した原稿は、よく乾かしてからセットしてください。原稿台ガラスが汚れ、きれいに印刷できなくなります。

自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合

- 原稿サイズ



- 原稿面を下向きにセットします。
- 原稿(用紙)の重さ: 50g/m²~128g/m²
(43kg連量: 四六判~110kg連量: 四六判)
- サイズの異なる原稿を混ぜてセットしないでください。
- 一度にセットできる原稿は約50枚までです。
(64g/m²(55kg連量: 四六判)以下の原稿使用時)
- 次の原稿は自動原稿送り装置では使用できません。
原稿台ガラスにセットしてください。
 - ・ 切り張りされたもの
 - ・ しわ、カール、折れ曲がりが激しいもの
 - ・ 糊付け、穴あけがあるもの
 - ・ 破れていたり、先端がギザギザなもの
 - ・ 感熱紙、カーボン紙等化学処理されたもの
 - ・ OHPフィルム、トレーシングペーパーなど透視度が高いもの
 - ・ 修正液、糊などを使用しているもの
 - ・ 紙厚の薄い原稿(50g/m²未満)
 - ・ 紙厚の厚い原稿(110g/m²以上)
 - ・ アート紙、コート紙などの表面が滑りやすいもの
 - ・ 2枚以上重ねたもの、またはクリップやホチキスでとじてあるもの
 - ・ キャリアシート(別売)

印刷に関する注意

個人が利用する場合でも、自由に何でも複写してよいというわけではありません。

特に、単にその印刷物を所有しているだけでも、法律的に罰せられる種類の印刷物がありますので、十分ご注意ください。

法律で印刷を禁止されているもの

次の文書は、法律で印刷を禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券(たとえ「見本」の印があっても複写することは禁じられています)
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類
- 未使用郵便切手、郵便はがきの類で、政府の模造許可をとっていない場合
- 政府発行の印紙、酒税法などで規定されている証紙類

参考

関係法律

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法



営利目的での印刷を禁止されているもの

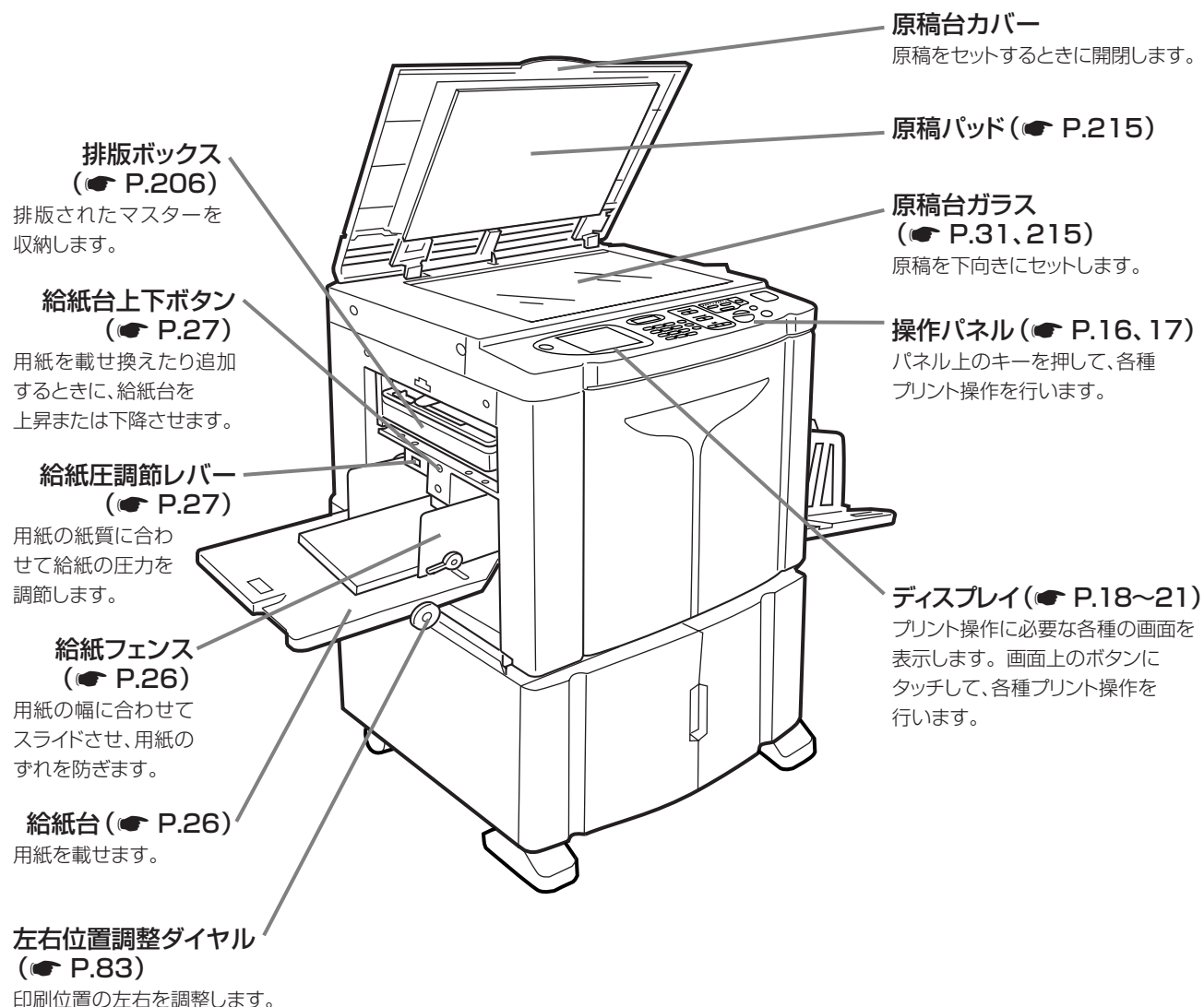
次のような複写は、おやめください。

- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券などの、事業会社が業務に使用する最低必要部数以外の複写
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行券、食券などの切符類の複写
- 書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、写真など著作権の対象となっているものの複写(個人的または家庭内、あるいはこれに準ずる限られた範囲内で使用する場合以外、複写することを禁じられています。)

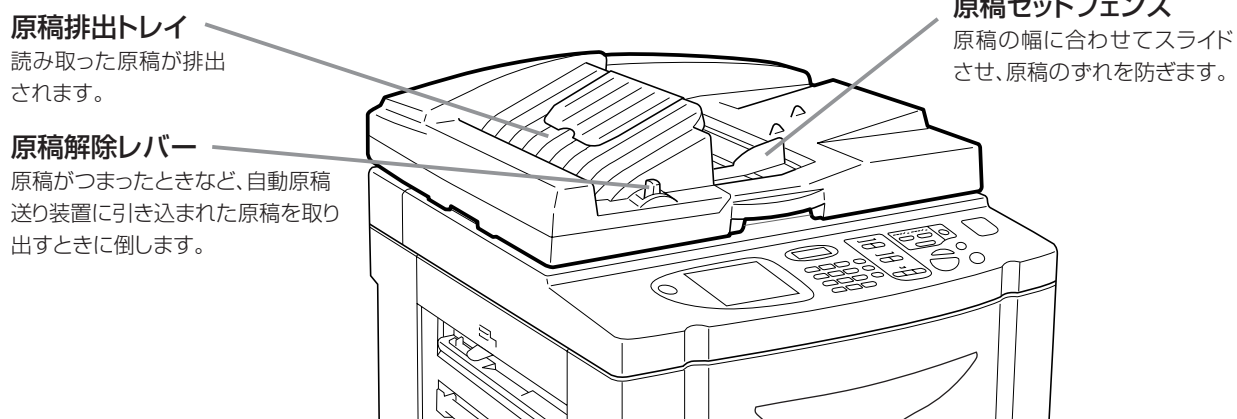


各部の名称とはたらき

給紙側



自動原稿送り装置 (オプション)



排紙側

インクキャップ留め (☛ P.205)

インクボトルのキャップを留めておくことができます。

前カバー

ドラム (☛ P.208)

インクボトル (☛ P.204)

ドラムレバー (☛ P.208)

レバーを握ってドラムを引き出します。

ドラムOK ボタン (☛ P.208)

ボタン点灯時にドラムを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

カウンター

印刷枚数をカウントするトータルカウンターと、製版回数をカウントするマスターカウンターがあります。

製版ユニットレバー (☛ P.201)

レバーを握って製版ユニットを引き出します。

製版ユニットOK ボタン (☛ P.201)

ボタン点灯時に製版ユニットを引き出せます。消えているときは、ボタンを押して点灯させてから引き出してください。

製版ユニット (☛ P.201)

下欄参照

USBスロット (☛ P.36)

認証用またはデータ保存用のUSBメモリを挿入します。

排紙ウイング (☛ P.86)

印刷された用紙の紙揃えがよくなるように自動的に調整されます。

紙揃えプレートノブ (☛ P.29)

ノブを押すと紙揃えプレートが出ます。印刷された用紙の紙揃えをよくします。

排紙フェンス (☛ P.28)

フェンスをスライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

ストッパー (☛ P.28)

スライドさせて、用紙のサイズにあわせます。

排紙台 (☛ P.28)

印刷された用紙が排出されます。

電源スイッチ (☛ P.26)

電源のON/OFFを切り替えます。

スタビライザー (補助足)

製版ユニット引き出し時

製版ユニットカバー (☛ P.202)

マスターをセットするときに開閉します。

マスターガイド (☛ P.203)

サーマルヘッド (☛ P.215)

マスターを製版します。

マスターロールストッパー (☛ P.202)

セットしたマスターを固定します。

マスター (☛ P.201)

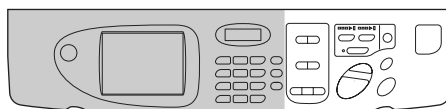
各部の名称とはたらき

操作パネル

操作パネルは や などの実装キーおよび、各種のメッセージや機能ボタンなどを表示する大型ディスプレイで構成されています。

ここでは各実装キーの名称とはたらき、ディスプレイ各部の名称について説明しています。

操作パネル左側部分



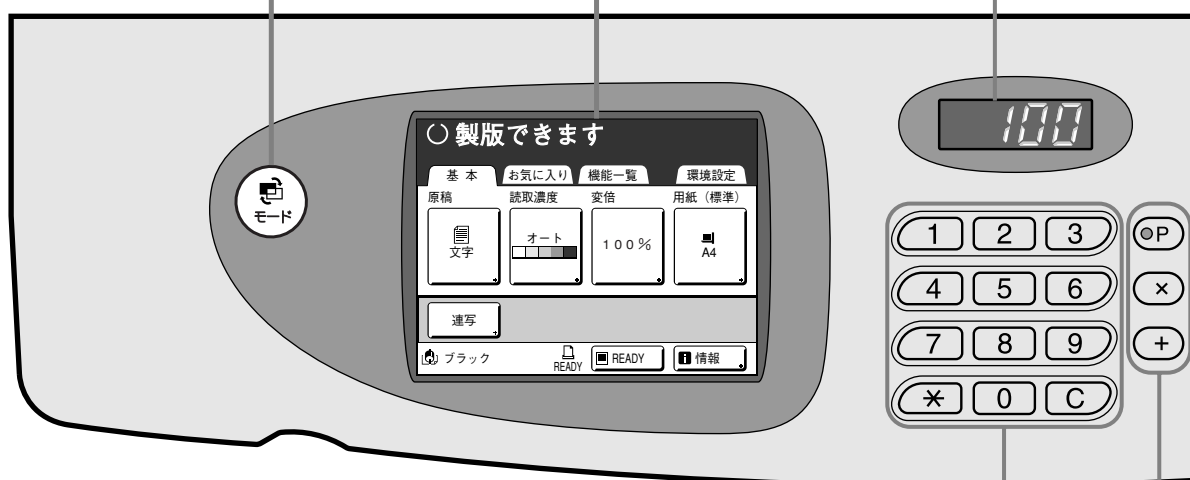
モードキー (P.19)

モードを切り替えるときに押します。
画面の切り替わり方は設定によって異なります。

ディスプレイ (P.18~21)

枚数カウンター

印刷枚数や各種設定で入力した数値を表示します。



~

テンキー

印刷枚数や、各種設定で数値を入力するときに、使用します。

＊キー (P.116、124)

設定画面での項目間の移動や、メモリーの呼び出しなどに使用します。

Cキー

入力した数値を取り消したり、枚数カウンターを0に戻すときに使用します。

プログラムキー (P.116)

プログラムを呼び出すときに使用します。
設定時には、キー上のランプが点灯します。

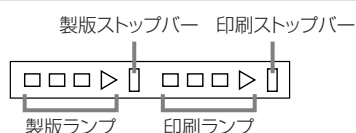
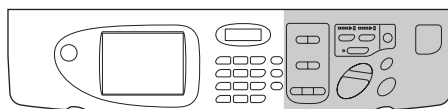
×キー (P.116)

設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。

+キー (P.116)

設定画面での項目間の移動や、プログラム印刷設定時などに使用します。

操作パネル右側部分



プログレスバー

点灯／点滅位置により、現在のモードとプリントの進捗状況がわかります。(下欄参照)



製版キー (P.18)

製版ができる状態にします。



印刷キー (P.18)

印刷ができる状態にします。



連続キー (P.56)

製版、印刷を連続して行います。
設定時には、キー左部のランプが点灯します。

印刷速度調節キー／ランプ (P.80)

印刷速度を5段階で調節できます。キー上部のランプでその時の速度を表示しています。

印刷濃度調節キー／ランプ (P.81)

印刷濃度を5段階で調節できます。キー上部のランプでその時の濃度を表示しています。

印刷位置調整キー／ランプ (P.82)

製版後に印刷位置を天地方向に0～15mmの範囲で調整できます。キー上部のランプで、センターからの移動方向を確認できます。
[-0+]を押すと、調整前の位置に戻ります。

試し刷りキー (P.84)

試し刷りをするときに使用します。

スタートキー

製版や印刷の開始、各種動作の実行に使用します。
動作が可能なときは点灯、動作が不可のときは消灯します。

ウェイクアップキー (P.30, 37, 41)

節電状態から起動させます。
本機が認証状態にある場合はログアウトします。

リセットキー

すべての設定を初期値に戻します。

ストップキー

実行中の動作を中止します。
ただし、製版動作中は製版終了後に停止します。

プログレスバーの表示と本機の状態 (□点灯 ■点滅 ●消灯)

□点灯 ■点滅 ●消灯

製版中
(製版ランプの点灯が1目盛ずつ増える)

印刷中
(印刷ランプの点灯が1目盛ずつ増える)

- 製版／印刷処理が途中で止まると、プログレスバーの点灯状態も途中で止まり、同じ位置で点灯し続けます。(復帰指示待ち)

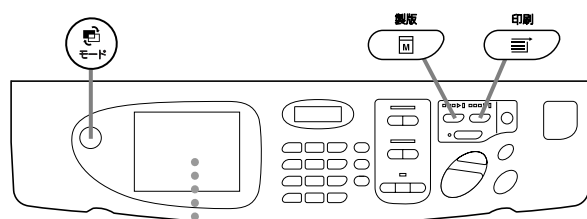
製版可能

製版可能(連続ON)

印刷可能

ディスプレイ

画面の移り変わり



起動画面

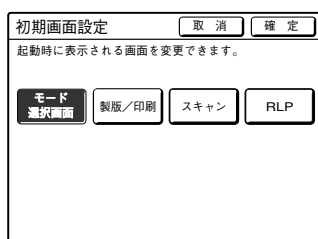


電源を入ると起動画面の表示後、初期画面が表示されます。

参考

初期画面の設定

[環境設定] 画面で **初期画面設定** を選択してください。



モード選択画面

モードを選択してください

RISOGRAPH RZ670



連携機 (別売) を接続しているとき

モードを選択してください

RISOGRAPH RZ670

Priora



メモリーカードDM128CF (オプション) またはUSBメモリを装着しているとき

モードを選択してください

RISOGRAPH RZ670



初期画面を
**モード
選択画面**
に設定して
いるとき

初期画面を **製版/印刷** に設定しているとき

初期画面を **RLP** に設定しているとき

●連携機 (別売) と接続しているときに設定できます。

初期画面を **スキャン** に設定しているとき

●メモリーカードDM128CF (オプション) またはUSBメモリを装着しているときに設定できます。

認証画面について

本機では、認証機能を設定することができます。
(☞ P.145「環境設定」) 認証が設定されている場合は、右の画面が表示されます。この画面が表示されたら、暗証番号を入力するか、認証用のUSBメモリを挿入してください。
暗証番号および認証用USBメモリについては、管理者に確認してください。

暗証番号入力

暗証番号を入力してください



認証用USBメモリ挿入

認証用USBメモリを挿入してください



基本画面

製版基本画面

○製版できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿 文字	読取濃度 オート	変倍 100%	用紙(標準) A4
連写			
ブラック	READY	READY	情報

印刷基本画面

○印刷できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
印刷位置 Φ 0.0mm			用紙(標準) A4
再製版			
ブラック	READY	READY	情報

RLP基本画面

○Prioαへ出力できます

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
原稿 文字	読取濃度 オート	変倍 100%	用紙トレイ オート
ブラックモード			

スキャン基本画面

○スキャンできます

1ページ目

データ名: scan_0001 オーナー: Owner-1

保存場所: 1_folder

基本	機能一覧	環境設定
原稿 文字	読取濃度 オート	変倍 100%
サイズ A4		
プレビュー表示	ブラックモード	

その他のタブ画面

お気に入り画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
プログラム	インターバル印刷		
機密	コントラスト強調		
ブックモード	メモリー		

ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出すことができます。

機能一覧画面

基本	お気に入り	機能一覧	環境設定
プログラム	カーブ選択		
メモリー	連写		
網点	かんたん連写		
コントラスト強調	ブックモード		
P.1/4			

各種機能の設定を行います。

環境設定画面

環境設定

○製版できます

環境設定に入ると、現在設定中の各種プリント機能設定はリセットされます。

環境設定

終了

すべて	POP登録
表示設定	お気に入り登録
基本設定	初期画面設定 = モード選択画面
システム	モード選択方式 = 選択画面式
RLP	起動アニメ選択 = RISOロゴ
デジタイザ	
P.1/10	

各種機能の初期値を変更します。

参考

キーについて

モードを切り替えたいときに押します。モードを押すと、現在の画面から「モード選択画面」または「他のモードの基本画面」に切り替えることができます。他のモードの基本画面が表示された場合は、変更したいモードの画面が表示されるまでモードを押してください。

モードのはたらきは、「環境設定」で設定します。(工場出荷時の設定は「モード選択画面」)(P.145)

ディスプレイ

基本画面の見かた

基本画面の各エリアの名称と、はたらきを説明します。基本画面は本機に原稿をセットしてプリントする場合とパソコンからの原稿データを受信してプリントする場合で表示が異なります。

■ 紙原稿をプリントする場合

タブエリア
各タブにタッチすると、選択したタブの画面が表示されます。

基本機能エリア
製版／印刷時に設定できる基本機能が表示されています。各ボタンには、現在設定されている内容が表示されます。ボタンにタッチすると設定変更画面が表示されます。

POPエリア
あらかじめ登録することで、4つまでのボタンを表示させることができます。よく使う機能を表示しておく便利です。登録は「環境設定」で行います。
☛ P.154「POP／お気に入りの設定」

○ 製版できます

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

原稿 読取濃度 変倍 用紙 (標準)

文字 オート 100% A4

連写

ブラック READY READY 情報

ステータスエリア
本機および連携機 (別売) の現在の状態を表示しています。

: セットしているドラムの色を示しています。

: 連携機の現在の状態を示しています。
(連携機が、環境設定で登録されているときのみ表示されます。)

..... ネットワークなどのエラーが発生しています

..... 連携機情報を取得できません

..... 出力できます

: パソコンから送信された原稿データの状態を示しています。
タッチすると、受信中の原稿データリストを確認できます。
☛ P.40「受信ジョブ画面について」

..... 受信待ち

..... プリントするための処理を行っています

..... 出力待ち

..... 受信中にエラーが発生しています

..... 受信できません

: タッチすると 情報 (消耗品情報、ドラム情報、日付・時刻) が確認できます。
☛ P.200「 (情報ボタン) について」

ディスプレイ上のボタンについて

ディスプレイ上のボタンは、軽く指で触れる (タッチする) ことにより選択されます。再度触れると選択が解除されます。ボタンは決して強く押さないでください。

選択されていない状態。

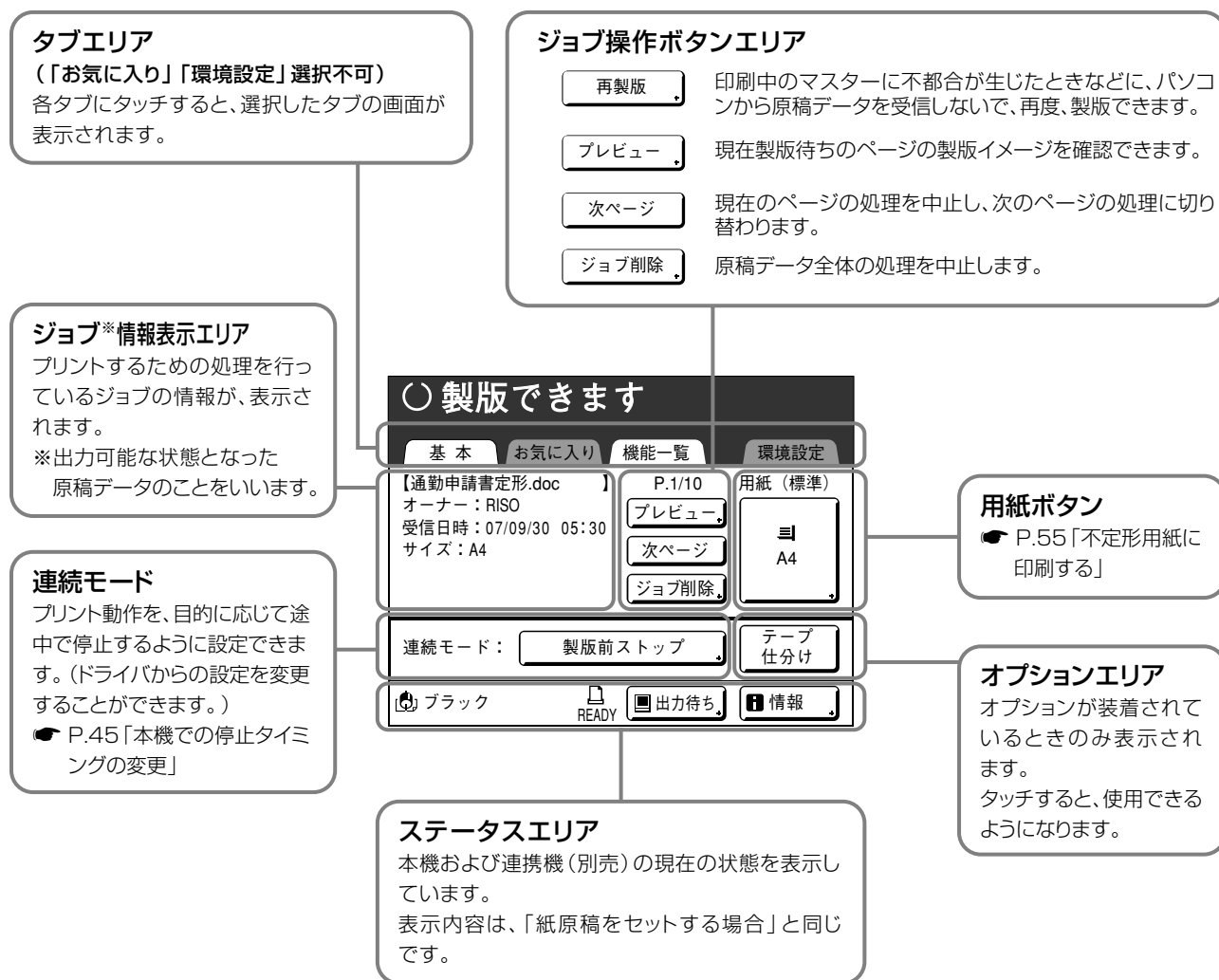
選択されている状態。

ボタンがグレー表示されているときは、選択できません。

右側に + 表示があるボタンは、選択すると展開したり、各種設定画面を表示します。

その他の画面については該当する機能や設定項目のページを参照してください。

■ パソコンの原稿データをプリントする場合



参考

使用環境により「環境設定」が設定できない(「環境設定」が表示されていない)場合があります。
詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

よく使うボタン

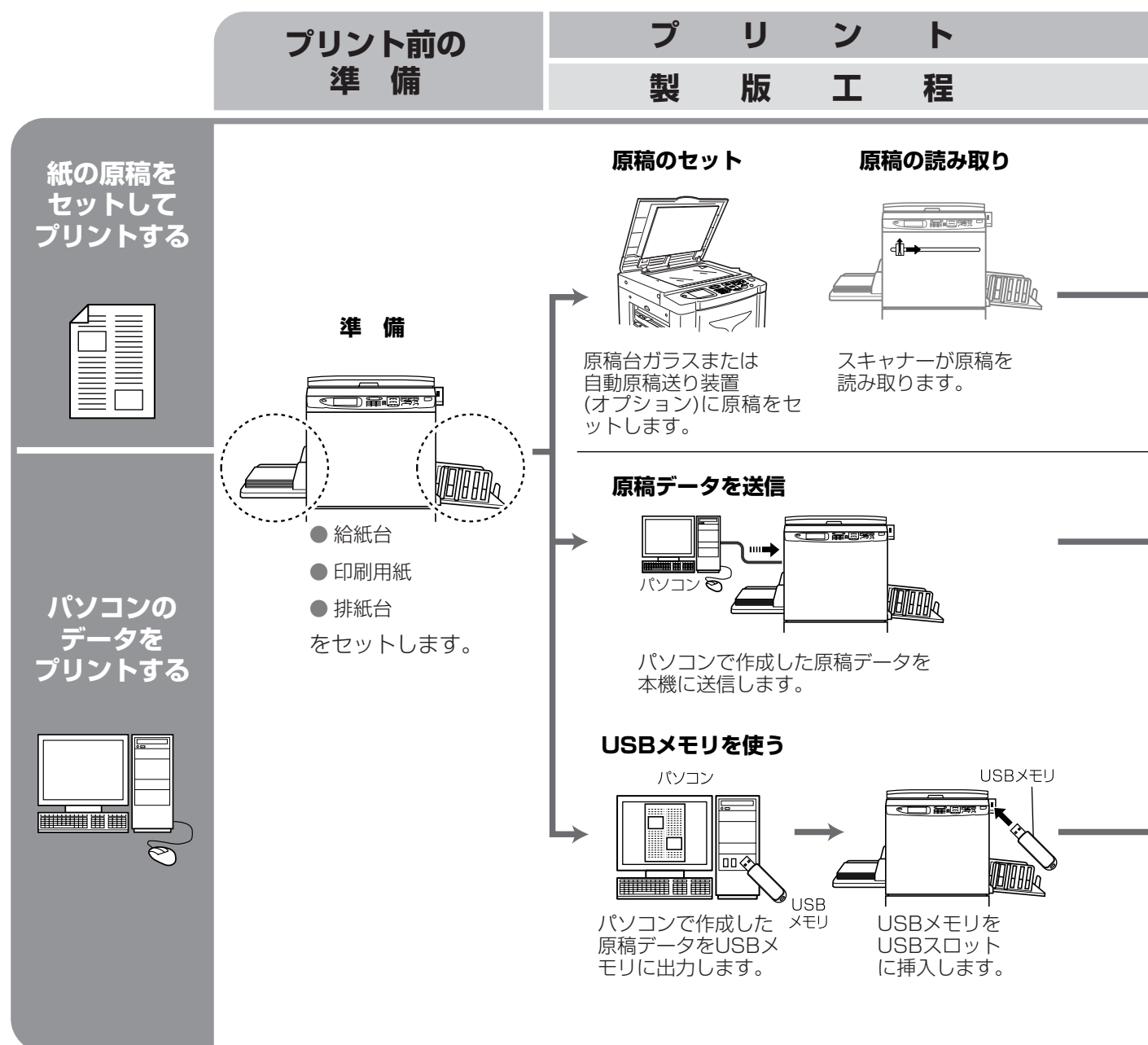
- 確定** **実行** 各種設定を実行します。
- 取消** 各種設定を取り消します。
- 閉じる** 各種表示中のウィンドウを閉じます。

- ◀ ▶** ページを切り替えます。
- ▲ ▼**
 - 設定値(数字、位置など)を増減します。
 - 画面をスクロールします。

プリントの流れ

以下の2つの方法でプリントすることができます。

- 書類や本など紙の原稿をプリントする
- パソコンで作成したデータをプリントする



参考

連携機Prioα(別売)

少数数のプリントを行うときは、レーザープリンターなどを利用して、マスターを作成しないで印刷した方が経済的です。

連携機(Prioα)を接続すると、本機で読み取った原稿を連携機から出力できます。

この工程を「RLP(RISO Local Print)出力」といいます。

☛ P.184「連携機を使用したプリント機能について」

プリントには以下の2つの工程があります。

- 製版工程:印刷のもととなるマスターを「製版」する(製版モード)
 - 印刷工程:マスターを使って実際に「印刷」する(印刷モード)
- 「製版」と「印刷」の2つの工程を合わせて「プリント」と呼びます。

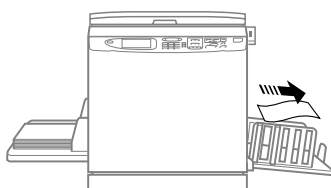
印刷工程

製 版



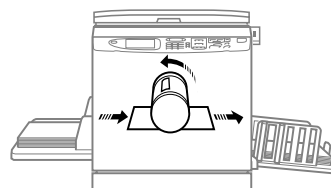
印刷のもととなるマスター(版)が作成され、ドラムユニットに巻き付けられます。

試し刷り

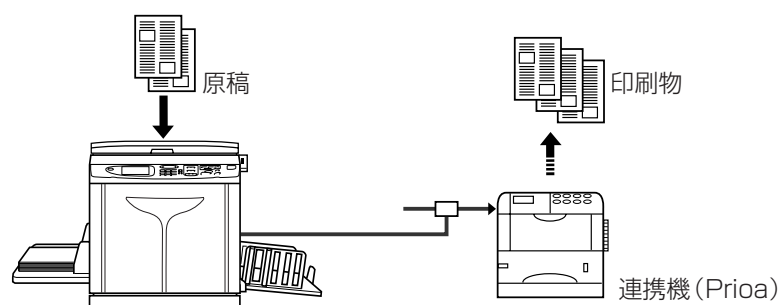
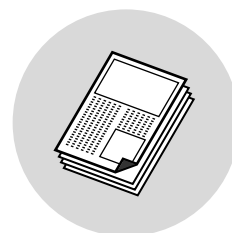


自動的に試し刷り印刷が行われます。
印刷の仕上がりを確認します。

印 刷



指定した枚数分の印刷が行われます。



基本操作

26 プリント前の準備

26 給紙台と用紙のセット

28 排紙台のセット

30 紙原稿をプリントする

37 パソコンデータをプリントする[ダイレクトプリント][USBメモリ]

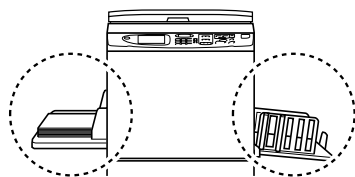
37 パソコンから指示をしてプリントする(ダイレクトプリント)

41 USBメモリからプリントする(USBメモリ)

44 出力指示の変更

45 本機での停止タイミングの変更

プリント前の準備

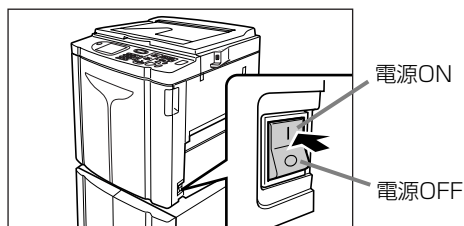


プリントを行う前に、給紙台、排紙台などをセットして、本機を使用可能な状態にします。

給紙台と用紙のセット

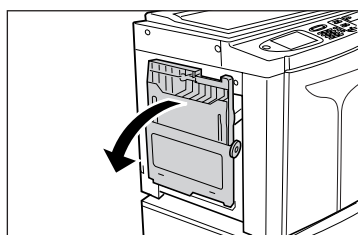
1

本機の電源を「ON」にする



2

給紙台を開く

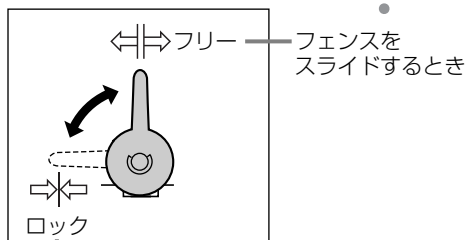


給紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

3

用紙をセットする

- ① 印刷する方向に用紙を置く
- ② 給紙フェンスをスライドさせて用紙にぴったりと合わせ、ロックレバーを回して固定する。



フェンスを固定するとき

参考

不定形(A、B系列以外)の用紙を使う場合は、あらかじめ登録が必要です。

☛ P.158「不定形の用紙を登録する」
登録しないで使用すると、原稿が全面製版できないことがあります。

重要

給紙フェンスは必ず、用紙にぴったりとあててください。

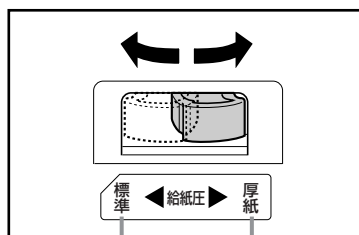
給紙フェンスの位置が合っていないと、正常に動作しないことがあります。



不適切な用紙を使用したり、サイズの異なる用紙を混ぜてセットしないでください。
紙詰まりや故障の原因になります。
☛ P.12「原稿に関する注意」

4

給紙圧を調節する



理想用紙やザラ紙、
上質紙などを使用
するとき
(標準／薄紙)

画用紙などの厚紙や
滑りやすい用紙を
使用するとき
(厚紙／特殊)

参考

給紙圧の設定状態は、基本画面の[用紙]ボタンの上に表示されます。

5

基本画面を確認する



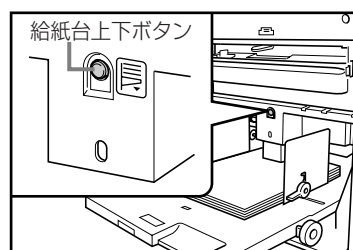
参考

用紙サイズはオート検知しています。サイズ表示が「---」になっている場合は、給紙フェンスが用紙にぴったり合っていないか、不定形用紙がセットされています。
給紙フェンスは、用紙にぴったりと合わせてください。不定形用紙を使用する場合は、[用紙]ボタンにタッチして、使用する不定形用紙を選んでください。

☛ P.55「不定形用紙に印刷する」

■用紙の補給と載せ換え

印刷の途中で用紙を補給したり、別のサイズの用紙に載せ換えるときは、給紙台上下ボタンを押して、給紙台を下げたから行います。



ボタンを押し続けると、指を離れた位置で給紙台が止まります。

用紙がなくなったときや用紙をすべて取り除いたときは、給紙台が自動的に最下部まで下がります。

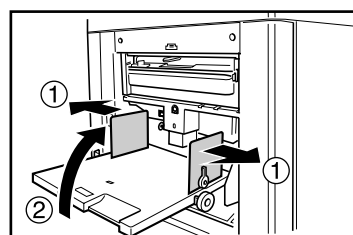


- 別のサイズの用紙に載せ換えるときは、用紙サイズに合わせて排紙フェンスやストッパーもセットしなおしてください。
- 紙質の異なる用紙に載せ換えるときは、給紙圧調節レバーを切り替えてください。

■給紙台の閉じかた

給紙台を閉じるときは、用紙を取り除いてください。

- ① 給紙フェンスを左右いっぱい広げる
- ② 給紙台を閉じる

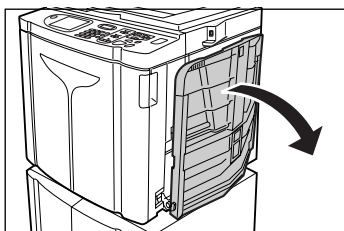


プリント前の準備

排紙台のセット

1

排紙台を開く

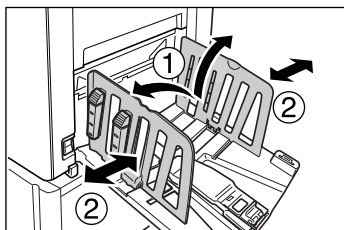


排紙台を手前に引き、止まるまで開きます。

2

排紙フェンスをセットする

- ① 排紙フェンスを立てる
- ② 排紙フェンスの下部を持って、用紙の幅に合わせて、排紙フェンスをスライドさせる



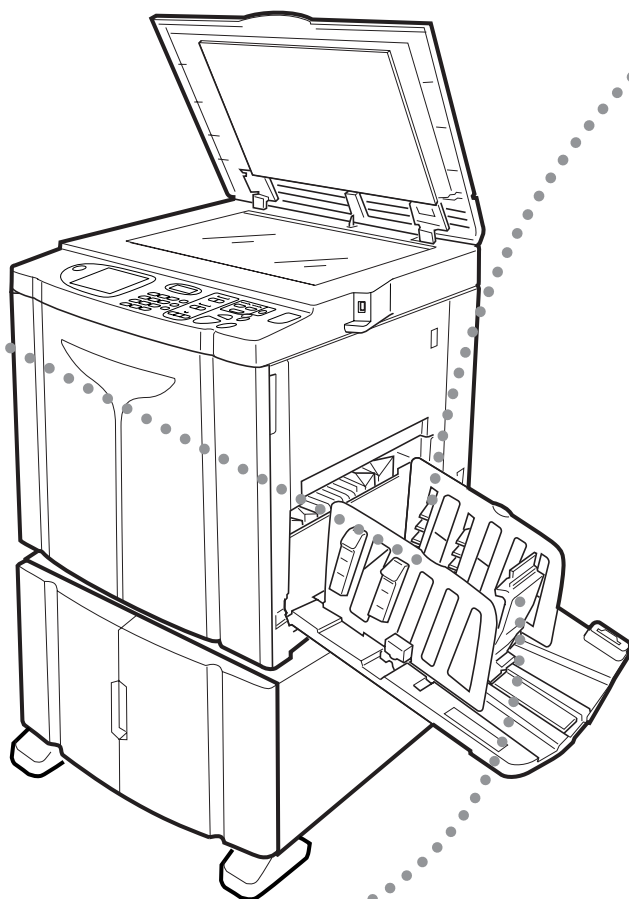
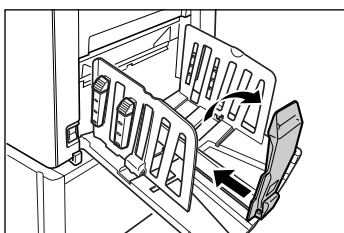
重要

画用紙などの厚紙を使用するときは、排紙フェンスを実際用の紙の幅より少し広めにセットしてください。

3

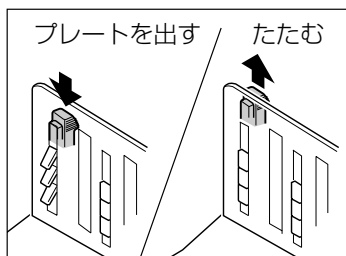
ストッパーをセットする

- ① ストッパーを立てる
- ② 用紙の長さに合わせてスライドさせる



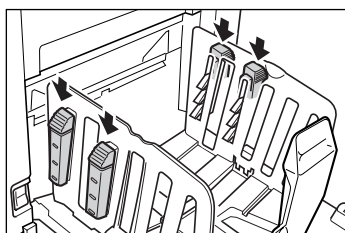
4

紙揃えプレートを調節する



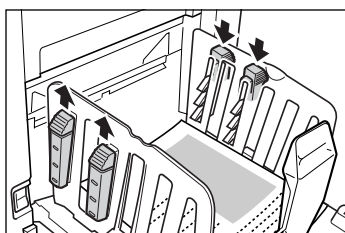
用紙サイズやコシの強さなどによって、揃う状態が異なるので、プリントされた用紙が揃うように、紙揃えプレートを調節します。紙揃えプレートを出すときは、紙揃えプレートノブを押し、たたむときは上に引きます。

■ 通常の印刷の場合



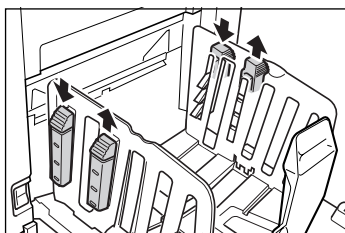
紙揃えプレートノブを押し、4つの紙揃えプレートをすべて出します。

■ 印刷部分が片寄っている場合



ベタ面の多い側の紙揃えプレートノブを押し、紙揃えプレートを出します。

■ 厚い用紙に印刷する場合

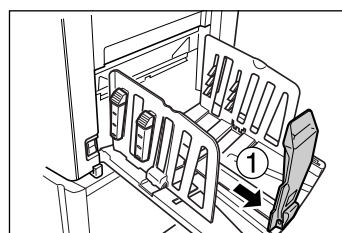


本体に近い側のみ、左右の紙揃えプレートを出します。

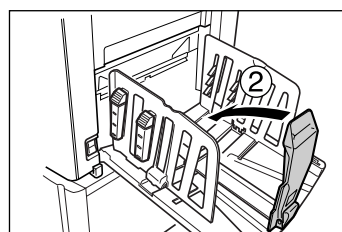
■ 排紙台の閉じかた

排紙台を閉じるときは、印刷物を取り除き、以下の手順で閉じてください。

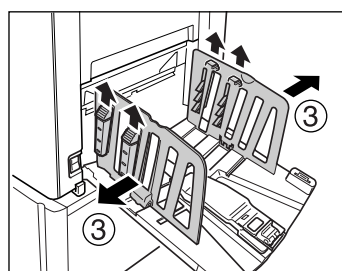
① ストッパーを排紙台の端まで広げる



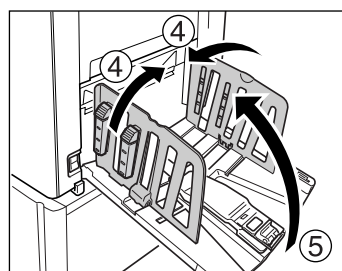
② 内側に倒す



③ 紙揃えプレートをたたみ、排紙フェンスを左右いっぱいに広げる



④ 内側に倒す



⑤ 排紙台を閉じる

紙原稿をプリントする

ここでは、原稿を読み取って、本機でプリントする操作手順を説明します。

参考

連携機 Prioα(別売)を接続して「自動振分け」機能をお使いになる場合は、P.33をご覧ください。

1

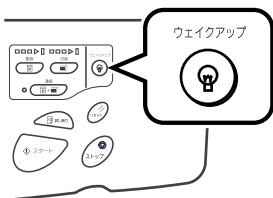
本機の電源が「ON」であることを確認する



操作パネルを見て確認します。

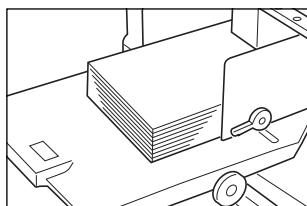
参考

- ディスプレイも⁰²¹⁷⁷⁷⁷⑨も消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
➡ P.26「給紙台と用紙のセット」
- ⁰²¹⁷⁷⁷⁷⑨が点灯しているときは、本機がスリープ状態です。⁰²¹⁷⁷⁷⁷⑨を押してスリープを解除してください。



2

印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

➡ P.26「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

➡ P.28「排紙台のセット」

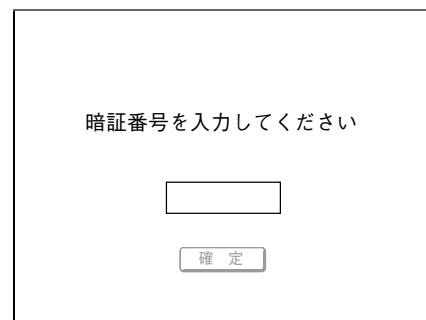
3

ディスプレイを確認する

■ 認証画面が表示されている場合

以下の画面が表示されたときは、認証操作を行ってください。認証操作の詳細については、➡ P.36「認証画面での操作について」を参照してください。

(暗証番号入力画面)



(認証用USBメモリ挿入のメッセージ画面)



認証されると、初期画面が表示されます。

■ 初期画面が表示されている場合

初期画面は、「環境設定」の「初期画面設定」により異なります。

- モード選択画面が表示されている場合は、**製版** にタッチして製版基本画面に切り替えてください。



- 製版基本画面または印刷基本画面が表示されている場合は、そのまま手順4に進みます。

参考

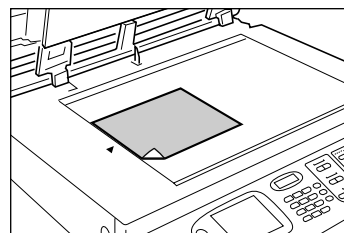
- ステータスエリアに **展開中** と表示されているときは、パソコンから送信された原稿データを処理中です。しばらくお待ちください。
- RLP基本画面が表示されているときは、**製版** を押して製版基本画面に切り替えてください。

4

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。

■ 原稿台ガラスにセットする

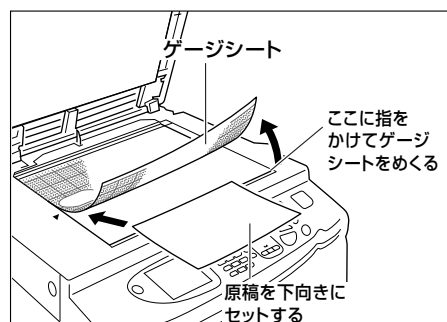


原稿台ガラスに、原稿をセンター合わせで下向きにセットし、原稿台カバーを閉めてください。

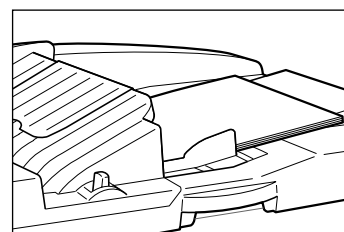
雑誌や本、切り貼り原稿などは、原稿台ガラスにセットしてください。

参考

ゲージシートが装着されている場合は、その下に原稿をセットしてください。



■ 自動原稿送り装置(オプション)にセットする



複数枚の原稿を連続してプリントするときは、自動原稿送り装置を使用します。原稿は下向きにセットします。原稿セットフェンスを原稿の幅に合わせ、先端を自動原稿送り装置の奥に当たるまで差し込みます。

紙原稿をプリントする



- 自動原稿送り装置にセットできる原稿サイズは100mm×148mm以上です。それより小さいサイズのときは、原稿台ガラスにセットしてください。
- 自動原稿送り装置には不適切な原稿を使用したり、サイズの異なる原稿を混ぜてセットしたりしないでください。
紙詰まりや故障の原因になります。
☞ P.13「自動原稿送り装置(オプション)へセットする場合」
- 自動原稿送り装置に原稿をセットすると「連続」*が「ON」になります。「連続」を「OFF」にする場合は  を押してランプを消してください。
※「環境設定」で自動原稿送り装置装備時の「連続」の設定を変更することができます。
☞ P.56「続けてプリントする」、
P.146「初期設定を変更する／OP連続自動設定」

参考

- 自動原稿送り装置には、一度に約50枚までの原稿をセットできます(64g/m²(55kg連量:四六判)の原稿使用時)。
- 「AF オート製版」を設定すると試し刷りで製版状態を確認できます。
☞ P.136「試し刷りを確認しながらプリントする」

5

各種プリント機能の設定を行う



画面が製版基本画面であることを確認後、必要に応じて各種機能を設定してください。製版基本画面が表示されていないときは  を押してください。

参考

ここでは以下の設定が可能です。

- 原稿モード(P.48)
- 読取濃度(P.50)
- 変倍(P.51)
- 用紙(P.55)
- 連続(P.56)
- 網点(P.57)
- コントラスト強調(P.58)
- トーンカーブ選択(P.59)
- 省インク(P.60)
- かんたん連写／連写(P.61)
- ブックモード(P.70)
- レイアウト原稿(P.72)
- AFとじ代設定(P.74)
- プレビュー表示(P.76)
- フルサイズ製版(P.78)
- プログラム(P.114)
- メモリー(P.124)
- アイドリング(P.132)
- 再製版(P.133)
- AFオート製版*¹(P.136)
- テープ仕分け*²
- ソーター*³

※1 自動原稿送り装置(オプション)をご使用の場合、設定できます。

※2 STソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

※3 ソーター(オプション)を装着しているときのみ、設定できます。

連携機Prioα(別売)を接続してお使いの場合

印刷枚数に応じて出力先を切り替える「自動振り分け」機能が働きます。

(出荷時は20枚以上は本機から、19枚以下は連携機から出力されるよう設定されています。)

ただし、以下の機能を設定した場合は、印刷枚数に関係なく、本機でプリントされます。

- かんたん連写
- 連写
- ブックモード
- プログラム
- 省インク

重要

必ず印刷枚数を入力してから、**スタート** を押してください。

枚数により出力先を切り替えて、プリントを行います。

印刷枚数が0の状態では、**スタート** を押したときは、本機での製版スタートとなります。

参考

出力先を切り替える「自動振分枚数」は、「環境設定」で変更することができます。

☛ P.149「初期設定を変更する／自動振分枚数」

6

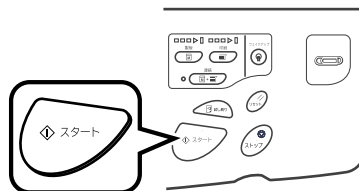
排紙台を確認する

使用する用紙サイズに合わせて、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☛ P.28「排紙台のセット」

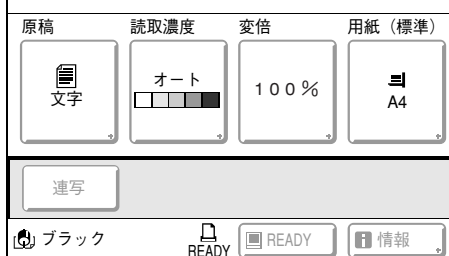
7

スタート を押す



原稿の読み取りを開始します。読み取りが終わると製版が行われ、試し刷りが1枚出てきます。

製版しています...



オートアイドリングについて

「オートアイドリング」を「有効」に設定していると、製版する前にアイドリング動作を行う場合があります。

工場出荷時には、前回の使用から12時間以上経過すると、次の製版時に自動でアイドリングを行うように設定してあります(オートアイドリング)。

「環境設定」で「オートアイドリング」の「有効／無効」や、実行までの時間などを変更できます。

☛ P.148「初期設定を変更する／オートアイドリング」

製版前、任意のタイミングでアイドリングを行うことも可能です。

☛ P.132「アイドリングをする」

参考

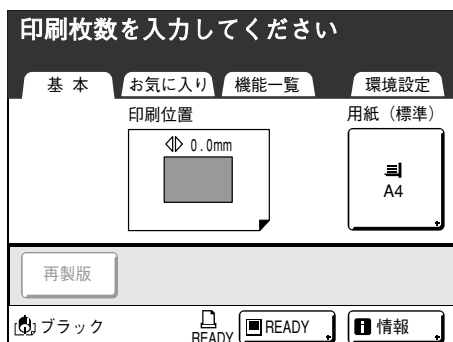
「連続」を設定している場合、手順が異なります。

☛ P.56「続けてプリントする」

紙原稿をプリントする

8

試し刷りを確認する



試し刷りが印刷されると、自動的に印刷基本画面が表示されます。

仕上がり印刷位置や濃度などを確認してください。

印刷位置や濃度は変更できます。

- 印刷位置 (P.82)
- 印刷濃度 (P.81)
- インターバル印刷 (P.85)
- 排紙ウイング特殊 (P.86)

調節(調整)後は **試し印刷** を押して、試し刷りを確認してください。

重要

長時間使用しないとドラム上のインクが乾き、プリントしたときに、印刷物がかすれたり薄くなったりすることがあります。

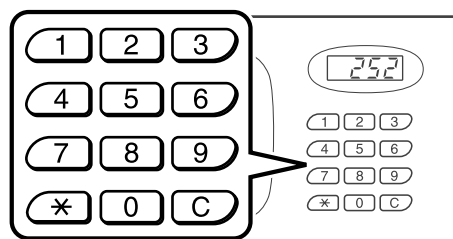
試し印刷 を押して、何枚か試し刷りをしてください。

参考

印刷位置(天地のみ)や濃度、速度は、印刷中にも調節(調整)できます。

9

テンキーで印刷枚数を入力する



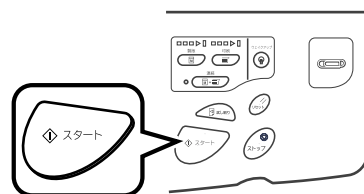
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

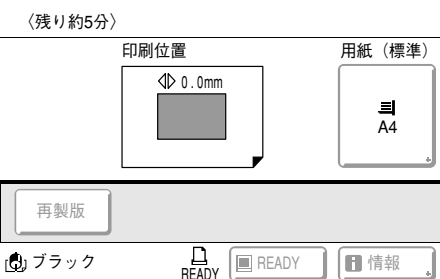
枚数の入力をまちがえたときは、**C** を押して消去した後に入力しなおしてください。

10

スタートを押す



印刷しています



入力した枚数が印刷されます。

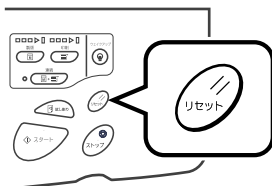
参考

- 印刷を途中で停止させたいときは、**スタート** を押してください。
- パソコンと接続した環境でご使用の場合、印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が行われ、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。この割り込みを防止する設定(占有延長)があります。チラシの印刷などで割り込まれたくない場合などは、「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。

➡ P.131「割り込み印刷を防止する」

11

印刷終了後 を押す



設定を初期値に戻します。

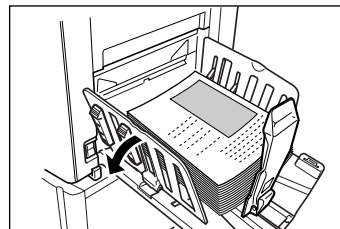
参考

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。

➡ P.113「機密書類の複製を防止する」

12

用紙を取り出す



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、 を押したり、電源を切って設定が初期化されたりしても、メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。

➡ P.124「メモリー機能を使う」

紙原稿をプリントする

認証画面での操作について

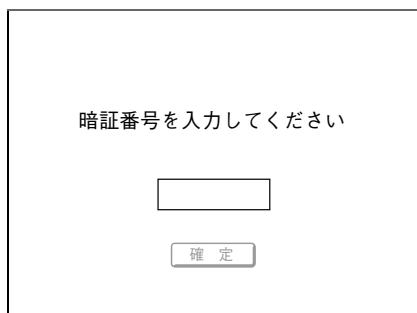
管理者によって認証機能が設定されていると、本機の操作時に認証を求められる場合があります。認証画面では、設定されている認証方式(暗証番号またはUSBメモリ)に従って、認証操作を行ってください。

参考

認証用の「暗証番号」や「USBメモリ」については、管理者に確認してください。

■ 暗証番号入力画面が表示された場合

テンキーで暗証番号を入力し、**確定** にタッチします。

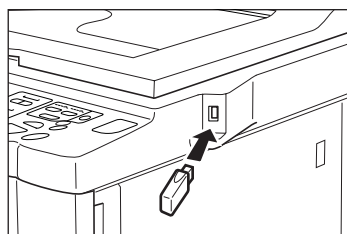


参考

誤った暗証番号を入力すると、エラーメッセージが表示されます。正しい暗証番号を入力しなおしてください。

■ USBメモリ挿入画面が表示された場合

USBスロットに、認証用として登録されているUSBメモリを挿入します。



参考

「USBメモリ」での認証画面で、認証用として登録されていないUSBメモリや、本機で使用できないUSBメモリを挿入すると、エラーメッセージが表示されます。登録済みの認証用USBメモリを挿入してください。

認証されると、初期画面が表示されます。

重要

操作を終了したら  を押して、認証を解除(ログアウト)してください。(解除を忘れた場合は、オートクリアと同時に認証も解除されます。➡ P.147「環境設定／オートクリア設定」)
認証されていない第三者による使用を防ぐために、使用後は認証状態を解除しておくことをおすすめします。

パソコンデータをプリントする

【ダイレクトプリント】【USBメモリ】

パソコンと本機をケーブルで接続し、パソコンで作成した原稿データを、直接本機でプリントすることができます。

原稿データを直接デジタル処理するので、プリントの仕上がりが鮮明です。

パソコンと本機がケーブルで接続されていない場合でも、「USBメモリ」を使用することで、本機に直接データを持っていくことができます。

重要

まず、パソコンに専用のプリンタドライバをインストールしてください。インストールについては、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

参考

パソコン画面での印刷の設定については、ここでは基本的な設定のみ説明しています。原稿データの送信方法および各種設定については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

パソコンから指示をしてプリントする(ダイレクトプリント)

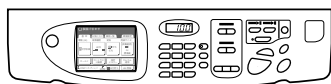
パソコンと印刷機が、ケーブルで接続されている環境が必要です。

参考

管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.36「認証画面での操作について」を参照してください。

1

本機の電源が「ON」であることを確認する



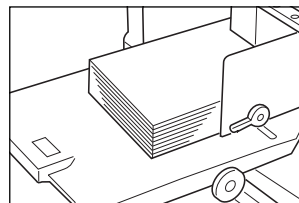
操作パネルを見て確認します。

参考

- ディスプレイも⑨も消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。
- 本機がスリープ状態でもパソコンから原稿データが送信されると、本機は自動的にウェイクアップし、原稿データが処理されます。

2

印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☛ P.28「排紙台のセット」

パソコンデータをプリントする

3

パソコンの画面で印刷条件を設定する

通常版のプリンタドライバを使用します。

■ 印刷ダイアログボックスの例



印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。



印刷ダイアログボックスの「☐部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



印刷条件を変更する場合は「プロパティ」をクリックします。詳しくは、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

4

印刷ダイアログボックスの OK をクリックする



パソコンから原稿データが送信されます。本機がデータを受信するとプリンタドライバの設定内容で、自動的にプリントを開始します。連続モード[ON]でプリントするときは手順6に進んでください。

5

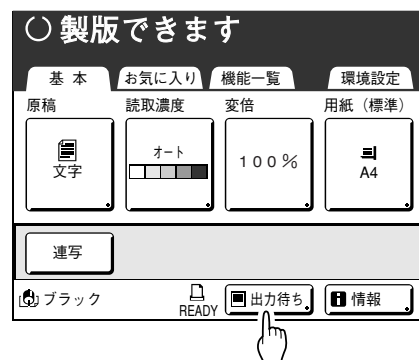
操作パネルでプリント操作をする

プリンタドライバの連続モードの設定(メイン設定タブ)により、表示されている画面や操作手順が異なります。

■ 製版前ストップでのプリント

ご使用方法や環境設定の内容によっては、手順②の製版基本画面で本機が停止していることがあります。その場合は、**ストップ**を押してください。

1 **出力待ち** にタッチする



[受信ジョブ]画面が表示されます。

- ② **出力** にタッチする
認証プリントを行う場合は、
認証ジョブ にタッチしてください。

- ③ **スタート** を押す
製版後、引き続き印刷を開始します。

■ 印刷前ストップでのプリント

データを受信して製版し、試し刷りを出して停止しています。

- ① 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する
- ② **スタート** を押す
印刷を開始します。

■ 製版前・印刷前ストップでのプリント

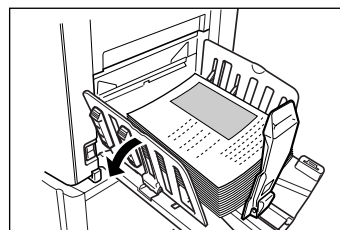
- ① 「製版前ストップでのプリント」の手順 ①～③ を行う
製版して試し刷りを出して停止します。
- ② 試し刷りの内容を確認し、必要があれば設定を調整する
- ③ **スタート** を押す
印刷を開始します。

参考

- 原稿データが複数ページあるときは、ページごとと同じ手順をくりかえしてください。
- テンキーで印刷枚数を入力すると、プリンタドライバで設定した印刷枚数は無効になります。
- 認証プリントの場合は、認証後、指定された連続モードでプリントを開始します。
- 製版／印刷動作中に手でプリントを停止させたいときは、**スタート** を押してください。製版処理中では製版終了後に、印刷処理中では印刷を中止し、動作を停止します。
再開するときは **スタート** を押してください。

6

用紙を取り出す



排紙フェンスを手前に開き、用紙を取り出します。

参考

- 印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。
- ☛ P.113「機密書類の複製を防止する」

パソコンデータをプリントする

受信ジョブ画面について

データ受信後、基本画面で **[出力待ち]** にタッチすると[受信ジョブ]画面が開き、現在受信しているジョブが確認できます。[受信ジョブ]画面では、出力待ちジョブの出力や、[出力待ち/展開中/展開待ち]のジョブの削除をすることができます。

認証プリントについて

プリンタドライバから「認証プリント」として送られたデータは、[認証ジョブ]画面から呼び出してプリントします。(「認証ジョブ」画面の表示方法については、P.38の手順5を参照してください。)
認証画面が表示されるので、画面の指示に従って認証操作を行ってください。
認証画面の表示タイミングは、管理者が設定した認証設定により異なります。

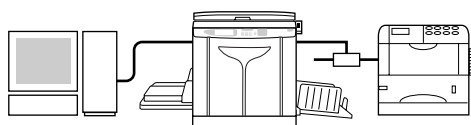
参考

プリンタドライバで「認証プリント」を設定するには、「ユーザー登録番号(認証登録番号)」「(1桁または2桁)」が必要です。暗証番号または認証用として登録済みのUSBメモリ、ユーザー登録番号は、管理者に確認してください。

連携機Prio(別売)を接続してお使いの場合

「連携」設定時には、印刷枚数に応じて、出力先を切替える「受信ジョブ自動振分」機能が設定できます。

- ☛ P.149「初期設定を変更する/受信ジョブ自動振分」
- ☛ P.184「連携機を使用したプリント機能について」



USBメモリからプリントする(USBメモリ)

パソコンと印刷機がケーブルで接続されていない環境でも、USBメモリを通して原稿データのプリントができます。

パソコンと印刷機が違う部屋に設置されている環境や、外出先のRZ670/630で印刷したい場合などに便利です。

参考

管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.36「認証画面での操作について」を参照してください。

1

USBメモリをパソコンに接続する

参考

認証方式で、「USBメモリ」を設定している場合は、データ出力時にも、認証用に使っているUSBメモリを使用すると便利です。

2

パソコンの画面で印刷条件を設定する

USBメモリ用のプリンタドライバを使用します。

■ 印刷ダイアログボックスの例



印刷ダイアログボックスで印刷部数を入力します。

重要

印刷ダイアログボックスの「☐部単位で印刷」のチェックを、必ず外してください。

■ プロパティ(プリンタドライバ)の例



印刷条件を変更する場合は、[プロパティ]をクリックします。詳しくは、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

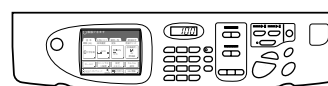
3

印刷ダイアログボックスの[OK]をクリックする

パソコンで作成したデータがUSBメモリに保存されます。

4

本機の電源が「ON」であることを確認する



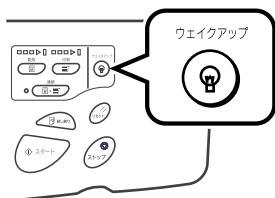
操作パネルを見て確認します。

参考

- ディスプレイも²¹⁰⁷⁷⁷も消灯しているときは、電源が「OFF」になっています。電源を「ON」にしてください。

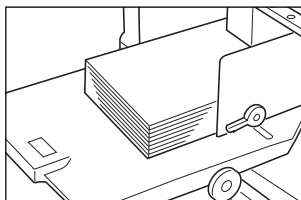
パソコンデータをプリントする

- ④ が点灯しているときは、本機がスリープ状態です。④ を押してスリープを解除してください。



5

印刷用紙を確認する



使用する用紙がセットされていることを確認します。

用紙がセットされていない場合や、用紙を載せ換える場合は、以下のページを参照して用紙をセットしてください。

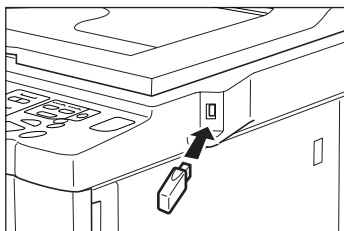
☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

用紙サイズを変更したときは、排紙フェンス／ストッパーの位置を調整してください。

☛ P.28「排紙台のセット」

6

プリントする原稿データが保存されているUSBメモリをUSBスロットに挿入する



重要

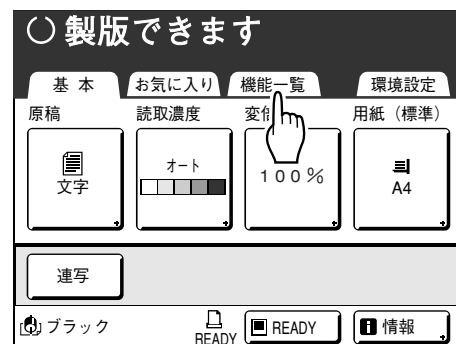
USBメモリにアクセス中はUSBメモリを取り出さないでください。データの消失やUSBメモリの故障の原因になります。

参考

プリンタドライバの出力方法(メインタブ)で「USBメモリ出力(自動製版)」に設定した場合は、USBメモリを挿入すると、連続モードの設定内容で製版・印刷を開始します。設定方法については、「リソープリンタドライバ取扱説明書」をご覧ください。

7

製版基本画面で「機能一覧」にタッチする

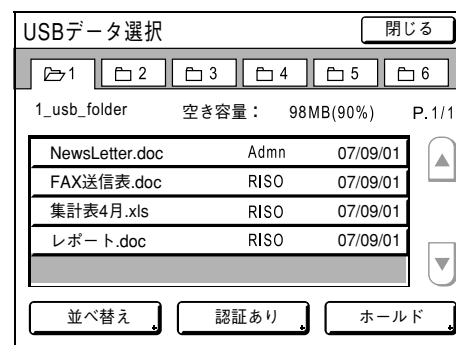


8

「USBメモリ」にタッチする



[USBデータ選択]画面(認証なし)が表示されます。(画面に「認証あり」が表示されています。)

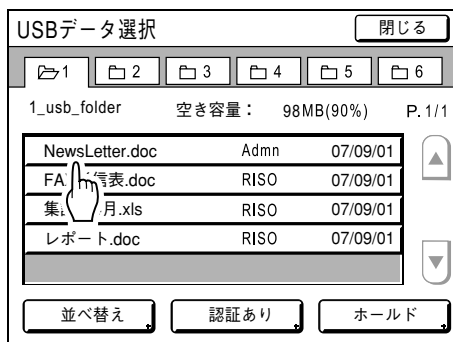


参考

- 認証設定されているデータを読み出す場合は、「認証あり」にタッチします。
- 認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、「認証あり」は表示されません。

9

プリントするUSBメモリデータにタッチする



[USBデータ呼出]画面が表示されます。別のフォルダに保存されているデータを選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。

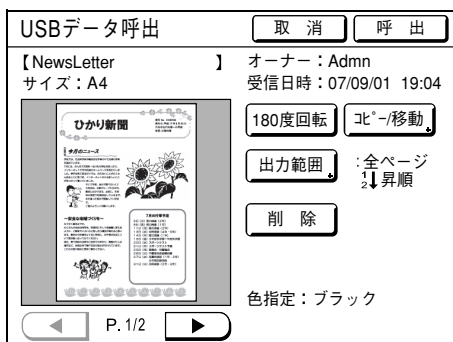
参考

USBメモリデータが画面に表示しきれない場合は、▲ ▼ にタッチして表示させてください。

10

呼び出すUSBメモリデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



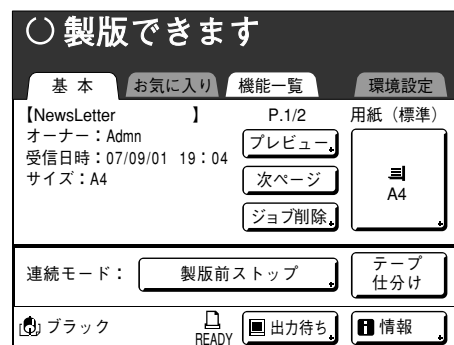
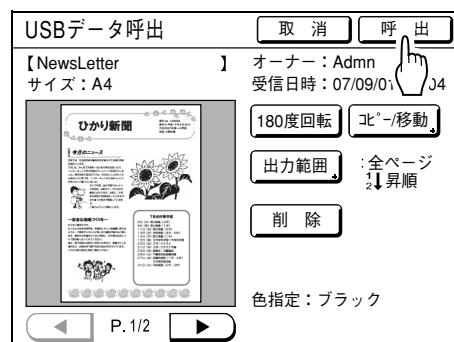
[USBデータ呼出]画面では、USBメモリデータの確認や出力設定を行うことができます。

操作については、「[ホールドデータ呼出]画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた」(P.176)を参照してください。

11

呼出 にタッチする

USBメモリデータが呼び出され、保存データ用の製版基本画面が表示されます。

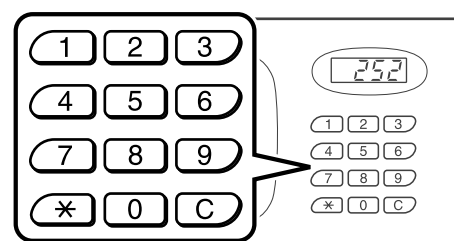


参考

製版基本画面で、出力指示を変更したり、停止タイミングの変更ができます。詳しくは、P.44「出力指示の変更」、P.45「本機での停止タイミングの変更」を参照してください。

12

テンキーで印刷枚数を入力する



入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

13

スタートを押す

データがプリントされます。以降は、通常の製版・印刷工程と同様の操作を行ってください。

パソコンデータをプリントする

出力指示の変更

製版／印刷基本画面で出力指示を変更することができます。

プレビュー …… 現在製版待ちのページの製版イメージを確認できます。

参考

「プレビュー表示」では、受信した原稿全体を製版イメージとして表示しますが、実際の印刷では、プリントエリア以外の部分は印刷できません。

次ページ

…… 現在指示待ちのページの処理をキャンセルし、次のページの処理を開始します。受信した原稿データに不要なページがあり、そのページの処理をキャンセルするときに使用します。

ジョブ削除

…… 現在指示待ちの原稿データ全体を削除します。まちがって送信した原稿データや、指示待ちで止まってしまっている原稿データを削除するときに使用します。

重要

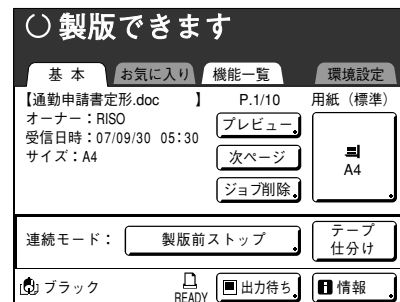
製版／印刷動作中には、**次ページ** や **ジョブ削除** は選択できません。

製版／印刷動作中に指示を変更するときは、**キャンセル** を押してください。

(製版処理中は製版終了後に動作を停止します。印刷処理中は印刷を中止し、動作を停止します。)

参考

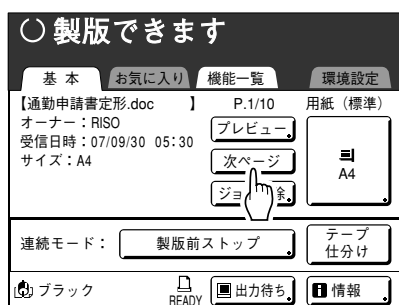
指示待ち(製版できます／印刷できます)画面の状態で、**キャンセル** または **モード** を押すと、そのジョブは削除されます。



■ **次ページ** の指示

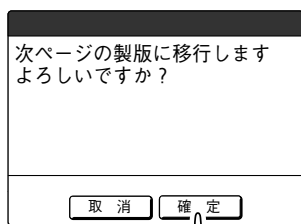
1

次ページ にタッチする



2

確定 にタッチする

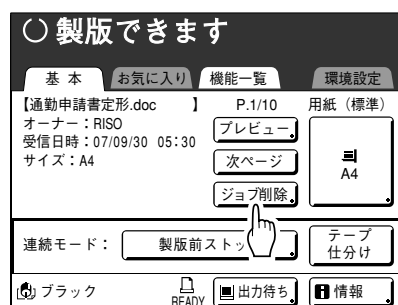


現在のページの処理を中止し、次のページの処理を行います。

■ **ジョブ削除** の指示

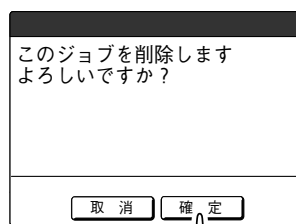
1

ジョブ削除 にタッチする



2

確定 にタッチする



現在の原稿データを削除します。処理待ちの原稿データがあるときは、処理を開始します。

本機での停止タイミングの変更

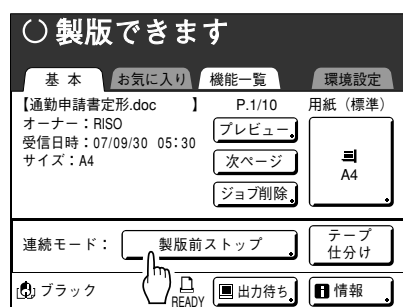
プリントの停止タイミングは、プリンタドライバでの設定が常に優先されます。
ただし、各停止中には本機で設定を変更できます。

参考

プリンタドライバで「連続モード」を「ON」に設定しているときは、を押して動作を停止させてから設定してください。

1

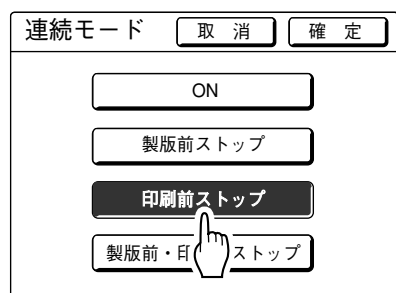
「連続モード」ボタンに
タッチする



「連続モード」画面が表示されます。

2

設定する項目にタッチする



ON

製版から印刷まで連続して行います。

製版前ストップ

データ受信後、製版する前に停止します。

印刷前ストップ

製版後、試し刷りを1枚印刷した状態で停止します。

製版前・印刷前ストップ

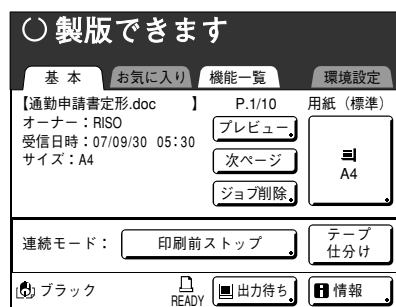
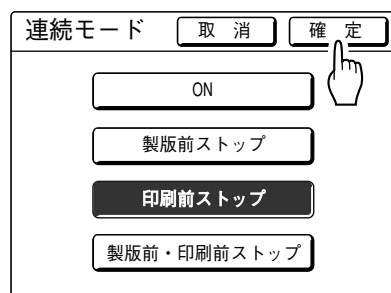
製版前、印刷前両方とも停止します。

参考

各停止タイミング後の操作については、P.38を参照してください。

3

「確定」にタッチする



基本画面に戻り、指定した「連続モード」に設定されます。

製版するときに 設定する機能

- 48 原稿に適したモードを選択する[原稿モード]
- 50 原稿の読取濃度を選択する[読取濃度]
- 51 原稿を拡大／縮小する[固定変倍][独立変倍][ズーム変倍][周囲余白]
 - 52 固定倍率の拡大／縮小[固定変倍][周囲余白]
 - 53 縦横比を変えた拡大／縮小[独立変倍]
 - 54 ズームでの拡大／縮小[ズーム変倍]
- 55 不定形用紙に印刷する[用紙サイズ]
- 56 続けてプリントする[連続]
- 57 写真に網点をかける[網点]
- 58 写真の明暗を調節する[コントラスト強調]
- 59 写真の階調を調節する[トーンカーブ選択]
- 60 インクを節約する[省インク]
- 61 1枚の用紙に多面取りする[かんたん連写][連写]
 - 62 連写を使用するときの注意
 - 64 かんたん連写の操作のしかた
 - 65 「1原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた
 - 67 チケット連写の操作のしかた
- 70 雑誌や本をプリントする[ブックモード]
- 72 原稿のトンボをカットしてプリントする[レイアウト原稿]
- 74 製版の左右位置を調整する[AFとじ代設定]
- 76 製版前に印刷イメージを確認する[プレビュー表示]
 - 77 プレビュー表示を確認してプリントする
- 78 最大印刷範囲で製版する[フルサイズ製版]

原稿に適したモードを選択する

【原稿モード】

製版

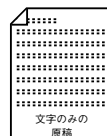
基本
原稿モード

文字のみ、または写真を含むものなど、モードを選択することで各種の原稿に適した製版ができます。

参考

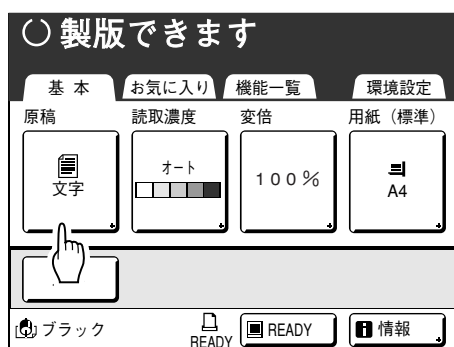
「環境設定」で「原稿モード」の初期設定を変更できます。

● P.146「初期設定を変更する／原稿モード基本設定」



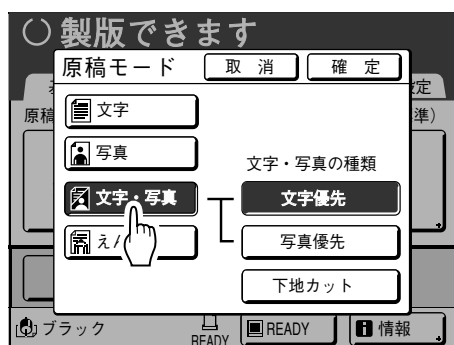
1

製版基本画面で【原稿】ボタンにタッチする



2

原稿の種類に適したモードを選択する



文字 …… ワープロ、新聞などの文字原稿

写真 …… 写真原稿

文字・写真 …… 文字と写真が混在している原稿

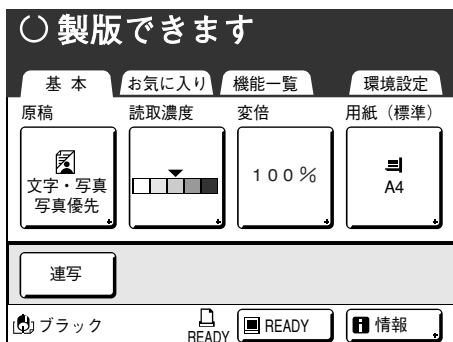
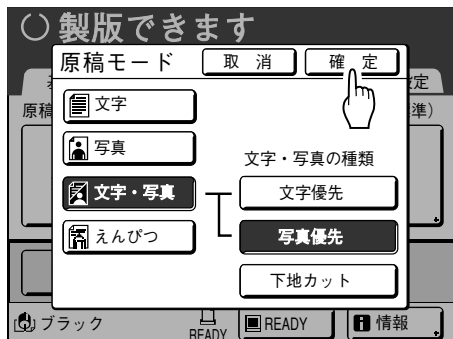
えんぴつ …… えんぴつ書きなどの薄い原稿

写真、文字・写真、えんぴつ にタッチした場合は、さらに詳細の設定を選びます。

原稿モード (詳細設定)	意 味
写真	
標準	[顔写真]や[集合写真]以外の写真の場合に選択します。
顔写真	1人または2人のバスタップ写真向きの設定です。特に顔がきれいに印刷できるように画像処理します。
集合写真	照明をあてて撮影した集合写真向きの設定です。顔の目鼻が飛ばないように画像処理するため、フラッシュによって白飛びしている顔にも効果があります。 ただし、顔が暗い集合写真には向きません。顔の暗い写真の場合は、[標準]にした方が効果的な場合もあります。
文字・写真	
文字優先	細かい文字を鮮明に印刷したい場合に選択します。
写真優先	写真をより鮮明に(明るく)印刷したい場合に選択します。
下地カット	下地色のある原稿の下地を消去します。 [下地カット]は、[文字優先][写真優先]とは別に選択できます。
えんぴつ	
こいめ	薄い原稿をはっきり印刷したい場合に選択します。
うすめ	切り貼りのあるえんぴつ原稿で、切り貼りの影が出てしまう場合などに選択します。

3

確定 にタッチする



製版基本画面に戻り、指定した「原稿モード」に設定されます。

参考

- 選択する「原稿モード」により、設定できない機能があります。

	文字	写真	文字・写真	えんぴつ
網点	×	○	○	×
読取濃度 (オート)	○	×	×	×
読取濃度 (1~5)	○	○	○	○
コントラスト 強調	×	○	×	×
トーンカーブ 選択	×	○	○	○

○：設定可 ×：設定不可

- 「文字」モードの場合は、「読取濃度」を「オート」に設定すると、下地の色は自動的に消去されます。
 P.50「原稿の読取濃度を選択する」

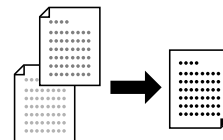
原稿の読取濃度を選択する

[読取濃度]

製版

基本
読取濃度

原稿の地色や文字の濃淡などに合わせて、原稿の読取濃度を調節できます。
オートまたは、濃度(5段階)を選択します。
オートでは、原稿の地色に合わせて、自動的に「読取濃度」を設定してプリントします。



重要 「オート」は「原稿モード」で「文字」を選択しているときのみ設定できます。
☛ P.48「原稿に適したモードを選択する」

参考

「環境設定」で「読取濃度」の初期設定を変更できます。
☛ P.146「初期設定を変更する／読取濃度基本設定」

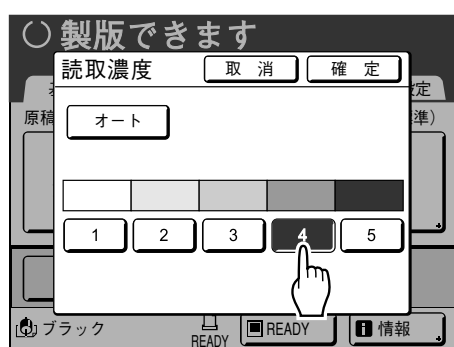
1

製版基本画面で[読取濃度]ボタンにタッチする



2

設定する濃度のボタンまたは「オート」にタッチする

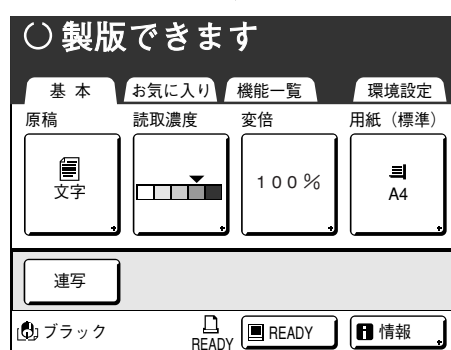
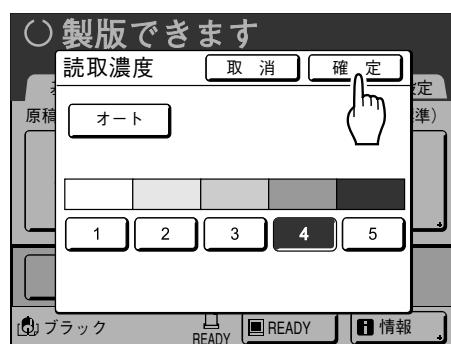


番号と読取濃度の関係

- 1薄い
- 2やや薄い
- 3標準
- 4やや濃い
- 5濃い

3

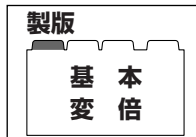
「確定」にタッチする



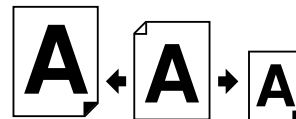
製版基本画面に戻り、指定した「読取濃度」に設定されます。

原稿を拡大／縮小する

〔固定変倍〕〔独立変倍〕〔ズーム変倍〕〔周囲余白〕



原稿を拡大または縮小してプリントできます。拡大／縮小の方法には、以下の種類があります。



● 固定変倍

A4やB5などの定形サイズの前稿を、他の定形サイズの印刷用紙に拡大／縮小してプリントできます。

● オート※

給紙台にセットされている用紙に合わせて、自動的に拡大・縮小してプリントします。

※自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットした場合にのみ利用できます。

● 周囲余白

原稿全体を少し縮小してプリントできます。印刷物にとじ代をつけたいときや、プリントエリアの外まで文字や図などがある原稿をプリントするとき使用します。

☛ P.11「プリントエリア(製版可能範囲)について」

「環境設定」で縮小率を90%～99%の間で変更することができます。

☛ P.147「初期設定を変更する／周囲余白縮小率」

参考

「周囲余白」は、「固定変倍」と併用できます。

● 独立変倍

原稿の天地(上下)と左右を、任意の変倍率で別々に拡大または縮小してプリントします。

変倍率は、50%～200% までの間で、1%きざみで指定できます。

● ズーム変倍

任意の変倍率で拡大／縮小してプリントできます。

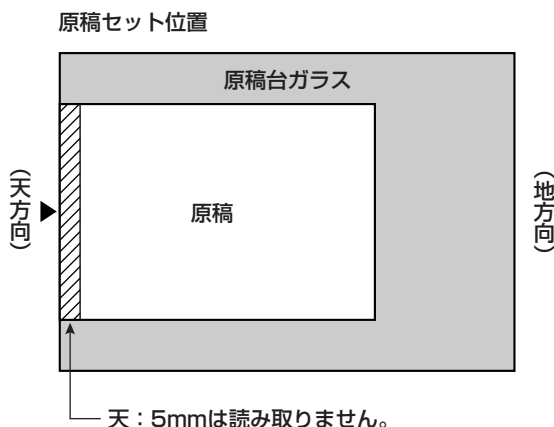
変倍率は50%～200%までの間で、1%きざみで指定できます。

参考

- 本機では、印刷物の紙詰まり(舞い上がり)や、裏移りを未然に防ぐために、用紙サイズいっぱいに印刷(縁なし印刷)できないしくみになっています。特に天方向は必ず5mmの余白が必要です。

☛ P.11「プリントエリア(製版可能範囲)について」

原稿台ガラス(自動原稿送り装置も同様)の ▲ マーク側(天方向)5mmは、縮小・拡大にかかわらず読み取りません。



- 原稿の天方向5mmに文字や画像がある場合、カットされた状態で印刷されますのでご注意ください。この5mmは「フルサイズ製版」機能を使用した場合も、余白として残ります。

☛ P.78「最大印刷範囲で製版する」

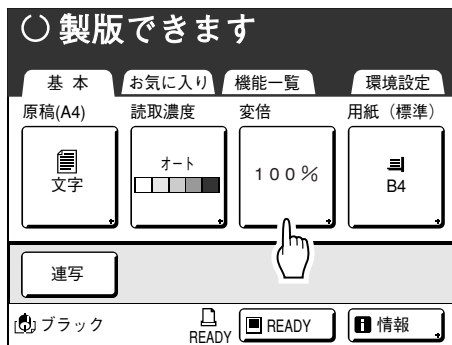
- 天方向に余白のない原稿は、「周囲余白」を設定しても、天方向5mmの部分の原稿はカットされてしまいます。5mm程度ずらしてセットしてから縮小してください。

原稿を拡大／縮小する

固定倍率の拡大／縮小 【固定変倍】【周囲余白】

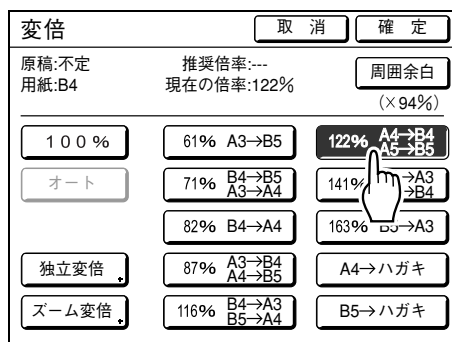
1

製版基本画面で[変倍] ボタンに
タッチする



2

指定する倍率のボタンに
タッチする



倍率を等倍に戻すときは **100%** に
タッチしてください。

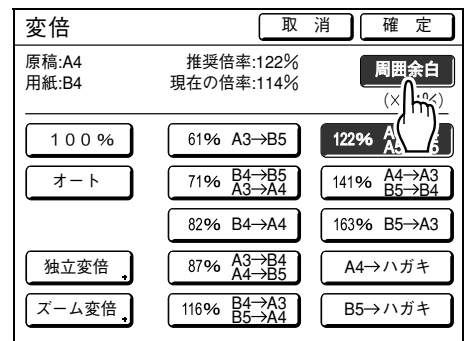
原稿に余白がない場合は、**周囲余白** にタッ
チしてください。

重要

- **A4→ハガキ** **B5→ハガキ** **オート**
独立変倍 **ズーム変倍** を選択しているとき
は、「周囲余白」は設定できません。
- 自動原稿送り装置(オプション)に、原稿
をセットしているときは、**A4→ハガキ** は
選択できません。

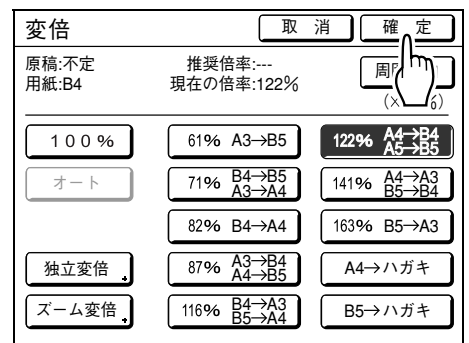
参考

- 「固定変倍」と「周囲余白」を併用した場
合、「現在の倍率」には固定変倍率×周囲
余白縮小率が表示されます。
- 自動原稿送り装置(オプション)に原稿
をセットしている場合は、「原稿サイズ」
と「推奨倍率」が表示されます。原稿台ガ
ラスに原稿をセットしている場合は、
「---」と表示されます。



3

確定 にタッチする

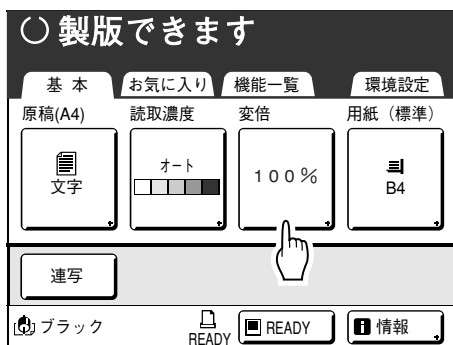


製版基本画面に戻り、指定した倍率で設定さ
れます。

縦横比を変えた拡大／縮小 【独立変倍】

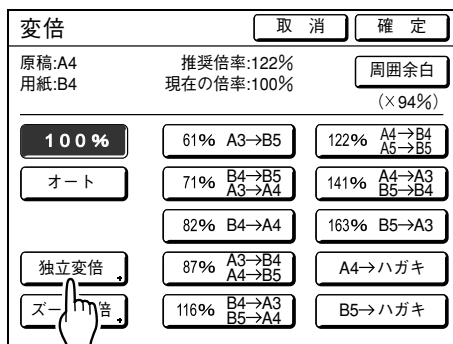
1

製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



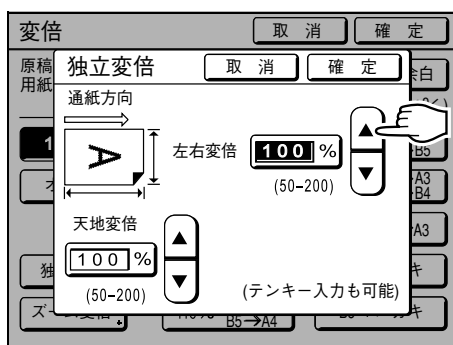
2

[独立変倍] にタッチする



3

▲ ▼ にタッチして天地または左右の倍率を指定する



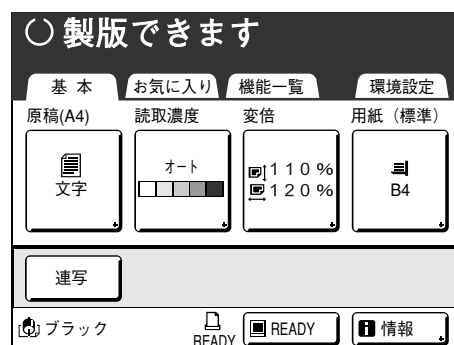
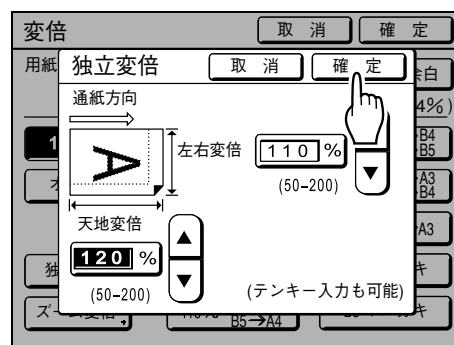
倍率は、1% きざみで設定できます。

参考

- テンキーでの入力もできます。
- **[C]** を押すと等倍(100%)に戻ります。

4

[確定] にタッチする



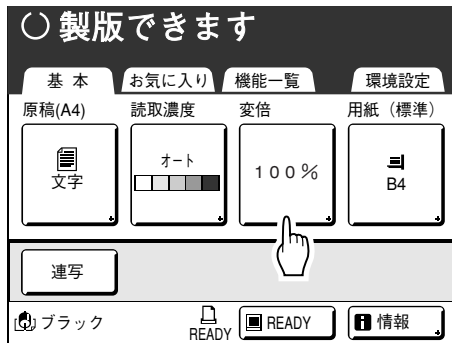
製版基本画面に戻り、指定した倍率で設定されます。

原稿を拡大／縮小する

ズームでの拡大／縮小 【ズーム変倍】

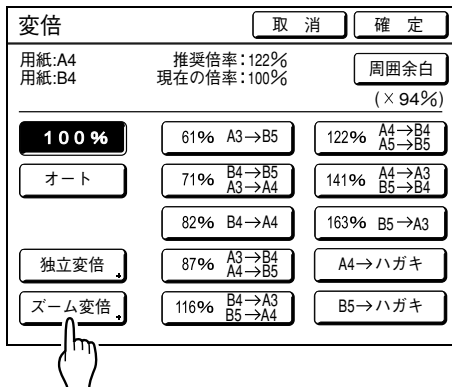
1

製版基本画面で[変倍]ボタンにタッチする



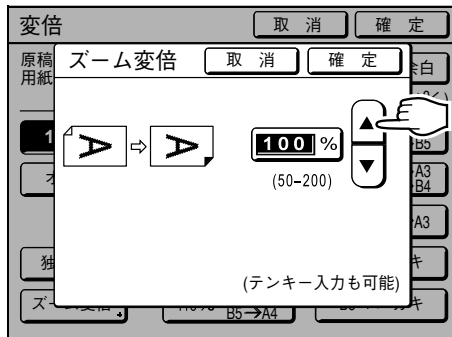
2

ズーム変倍 にタッチする



3

▲ ▼ にタッチして倍率を指定する



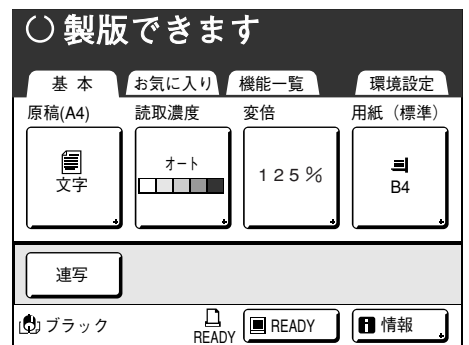
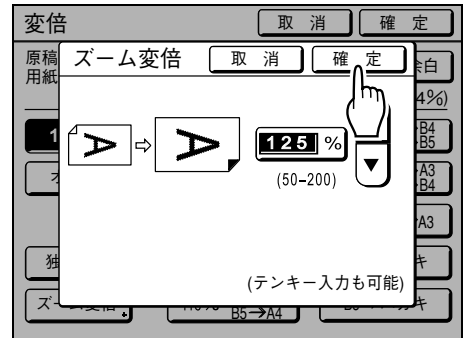
倍率が1%きざみで増減します。

参考

- テンキーでの入力もできます。
- **C** を押すと等倍(100%)に戻ります。

4

確定 にタッチする



製版基本画面に戻り、指定した倍率で設定されます。

不定形用紙に印刷する

〔用紙サイズ〕

製版

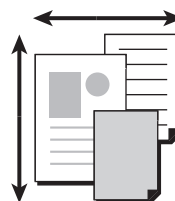
基本
用紙サイズ

給紙台にセットした用紙が定形サイズの場合、自動でサイズを検知し、用紙に合わせた適正なサイズで製版を行います。不定形サイズの場合、自動でサイズ検知できないため、製版する前に印刷用紙のサイズを選択してください。

重要

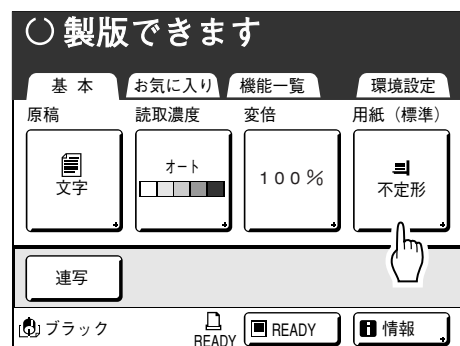
不定形サイズの用紙を使用するときは、あらかじめ「環境設定」で登録しておく必要があります。登録せずに不定形用紙を使用すると、製版が正しく行われず、原稿が欠けることがあります。

● P.158「不定形の用紙を登録する」



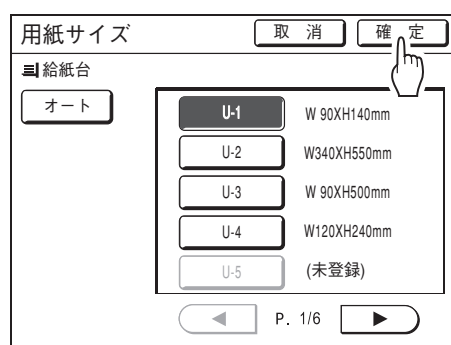
1

製版基本画面で〔用紙〕ボタンにタッチする



3

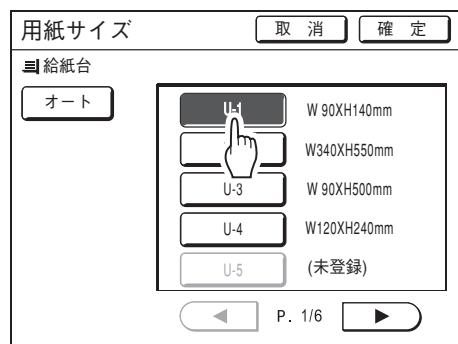
〔確定〕にタッチする



用紙設定を終了し、製版基本画面に戻ります。

2

使用する用紙サイズのボタンにタッチする



参考

定形サイズの用紙を使用するときは、
〔オート〕にタッチしてください。

● 製版するときに設定する機能

続けてプリントする

〔連続〕



製版から印刷までのプリント動作を、自動的に連続で行うことができます。
「連続」を設定しているときは、印刷枚数を入力した後に  を押してください。



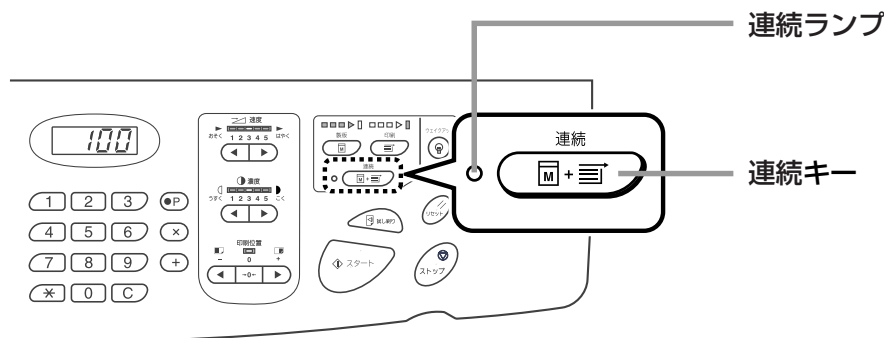
参考

- プリント終了後、印刷枚数は入力した枚数に復帰します。
- 「環境設定」で本機の起動時やリセット時に「連続」が「ON」になるように設定できます。
➡ P.146「初期設定を変更する／連続基本設定」

連続



を押す



連続ランプが点灯します。

参考

- 「連続」を解除するときは、再度  を押してください。ランプが消灯します。
- 自動原稿送り装置(オプション)に、複数枚の原稿をセットして「連続」を「ON」に設定すると、すべての原稿が自動的にプリントされます。

写真に網点をかける

[網点]

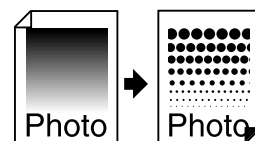
製版

機能一覧
網点

写真原稿などに網点をかけて、より鮮明なプリントができます。
網パターンは4種類から選択できます。

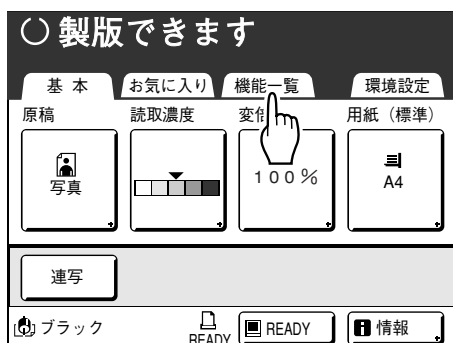
重要

「原稿モード」が「文字」、「えんぴつ」に設定されているときは「網点」は設定できません。



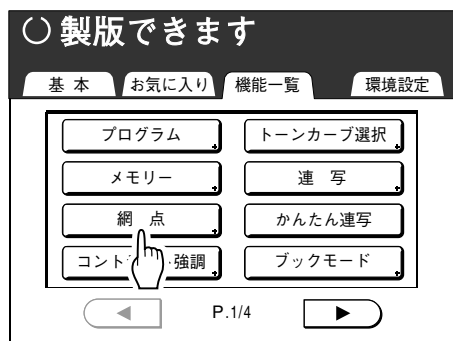
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



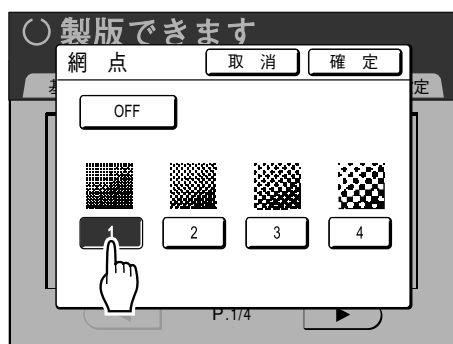
2

網点 にタッチする



3

設定する網点のボタンにタッチする



表示

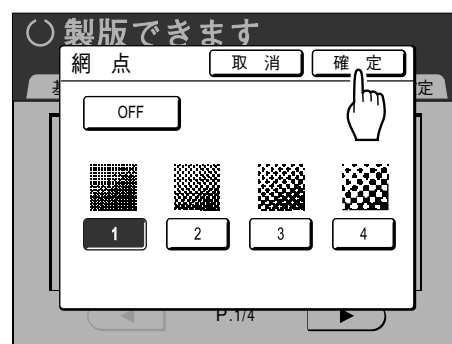
表示				
番号	1	2	3	4
線数	106線相当	71線相当	53線相当	34線相当

参考

「網点」を設定しないときは **OFF** にタッチしてください。

4

確定 にタッチする



製版できます



機能一覧画面に戻り、指定した「網点」に設定されます。

● 製版するときには設定する機能

写真の明暗を調節する

[コントラスト強調]

製版

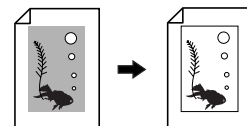
機能一覧
コントラスト強調

階調のはっきりしない写真原稿の場合、コントラストを強調することで、より鮮明にプリントできます。

コントラストの強調は、2種類から選択できます。

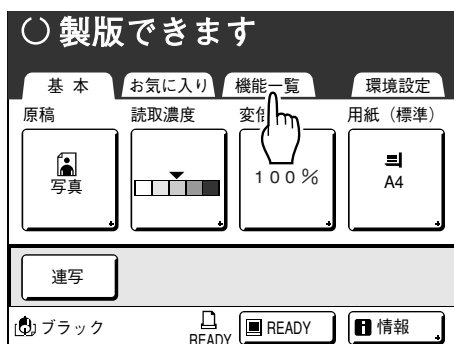


「原稿モード」が「文字」、「文字・写真」、「えんぴつ」に設定されているときは「コントラスト強調」は設定できません。



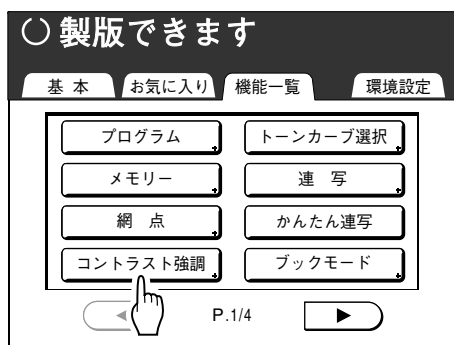
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



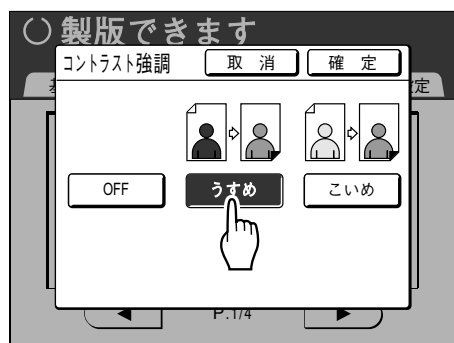
2

コントラスト強調 にタッチする



3

設定するコントラストのボタンにタッチする



うすめ ……濃い部分をより鮮明にします。
写真全体が暗く、暗い被写体のはっきりしない場合に設定します。

こいめ ……薄い部分をより鮮明にします。
写真全体が明るく、明るい被写体のはっきりしない場合に設定します。

4

確定 にタッチする



指定した「コントラスト強調」に設定され、機能一覧画面に戻ります。

写真の階調を調節する

【トーンカーブ選択】

製版

機能一覧
トーンカーブ選択

写真の明るい部分(ハイライト)の調子と暗い部分(シャドウ)の調子を、それぞれ3段階から選んで調節できます。

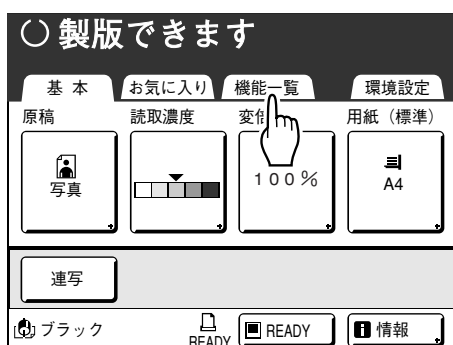


「原稿モード」が「文字」に設定されているときは「トーンカーブ選択」は設定できません。



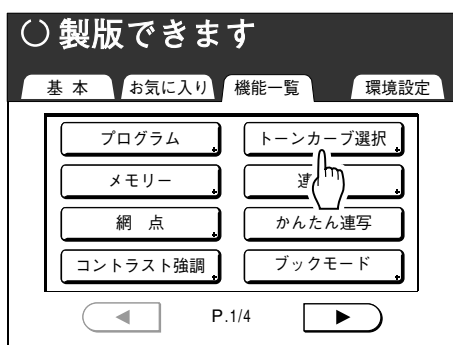
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



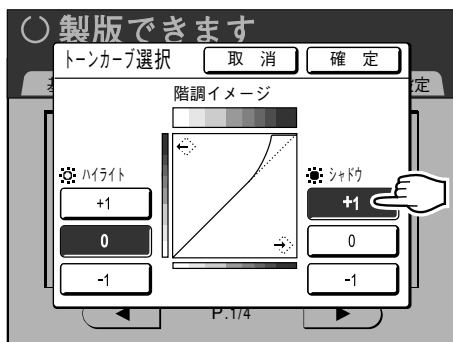
2

トーンカーブ選択 にタッチする



3

「ハイライト」または「シャドウ」の調節ボタンにタッチして、調節する



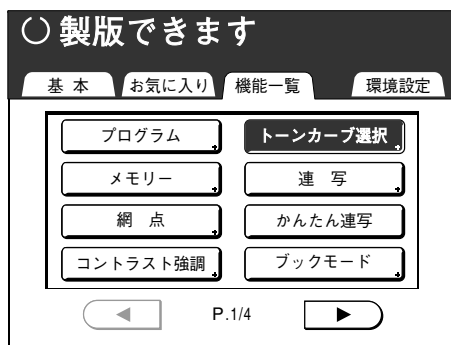
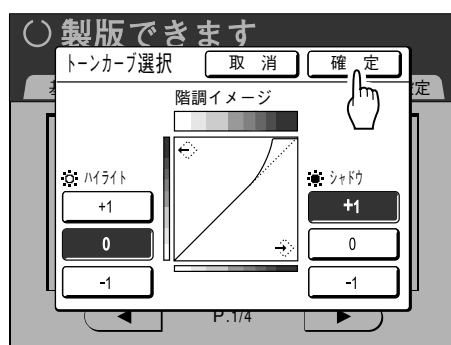
[ハイライト]……写真の光線を強く受けている部分を調節します。

[シャドウ]……写真の光線の弱い部分を調節します。

+1 を選ぶとそれぞれが強調され、
-1 を選ぶとそれぞれが弱まります。

4

確定 にタッチする



指定したトーンカーブに設定され、機能一覧画面に戻ります。

● 製版するときに設定する機能

インクを節約する

[省インク]

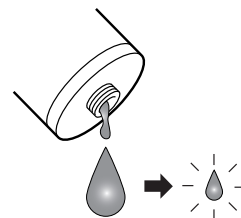
製版

機能一覧
省インク

「省インク」を設定して製版すると、印刷するとき使用するインクの量が、通常よりも少なくなるため、インクを節約して印刷できます。

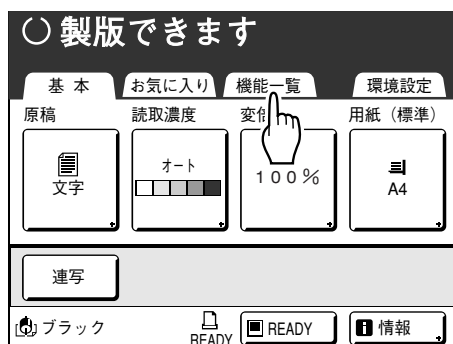


- 印刷時には設定できません。
- インクの消費量を抑える処理を行うので、印刷濃度は通常よりも薄くなります。
- 「省インク」を設定しているときは、「読取濃度」および「印刷濃度」は設定できません。
 - ➡ P.50「原稿の読取濃度を選択する」
 - ➡ P.81「印刷濃度を変える」



1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

省インク にタッチする



「省インク」が設定され、メッセージエリアに  アイコンが表示されます。

参考

省インクは、製版時に有効な機能です。印刷時に設定(解除)を行っても、現在ドラムに巻きついているマスターには反映されません。次の製版時に設定(解除)されます。

1枚の用紙に多面取りする

【かんたん連写】【連写】

製版

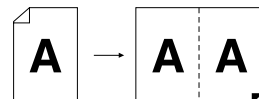
機能一覧
連写

1枚の印刷用紙に複数の原稿を割り付けてプリントすることを「連写」といいます。

1枚の用紙に複数ページを割り付けて用紙を節約したい場合や、文集などの袋とじをするとき、伝言メモ用紙をプリントするときなどに便利な機能です。

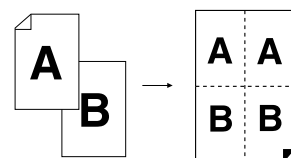
連写には「かんたん連写」と、複数の原稿の多面取りが可能な「連写」があります。

2面取りで連写する場合は、「かんたん連写」を使うと便利です。



重要

「連写」を行うときは定形用紙を使用してください。不定形用紙および「環境設定」でサイズ登録した用紙をセットしているときは、「連写」はできません。



■ かんたん連写

1枚の用紙に、同じ原稿を2面取りでプリントできます。

参考

自動原稿送り装置(オプション)を使用すると、1枚の用紙に、異なる2原稿を2面取りでプリントできます。

■ 連写

1枚または複数(最大4原稿)の原稿を、1枚の印刷用紙に多面取りします。

原稿と原稿の境界線に原稿の影(線)が出ずにきれいに印刷できます。

「連写」には、以下の3種類があります。

「1原稿連写」… 1枚の原稿を多面取りします。

「多原稿連写」… 複数の原稿を多面取りします。

「チケット連写」… チケットのような細長い不定形の原稿を多面取りすることができます。

「1原稿連写」と「多原稿連写」では、それぞれ2面取り、4面取り、8面取り、16面取りでプリントすることができます。

参考

「かんたん連写」「連写」は、次の機能とは併用できません。

- 自動振分機能
- レイアウト原稿
- ブックモード
- AFとじ代設定
- 変倍〔オート〕〔A4→ハガキ〕〔B5→ハガキ〕
- スキャンモード時の原稿読み取りサイズ〔オート〕
- 「多原稿連写」で、原稿と原稿の間で「原稿モード」を変更する場合は、「省インク」は併用できません。

1枚の用紙に多面取りする

連写を使用するときの注意

「連写」をするときは、次の項目に注意してください。

■ 印刷用紙のセット方向

印刷用紙は、必ず右図の向きにセットしてください。

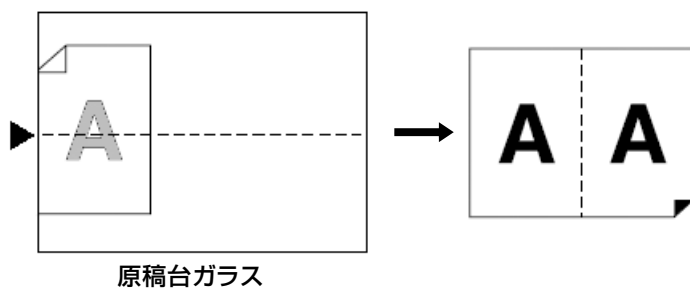


■ 原稿のセット方向

面取りの数により、原稿のセット方向が異なります。

各面取りでのセット方向とプリント結果は、以下のようになります。

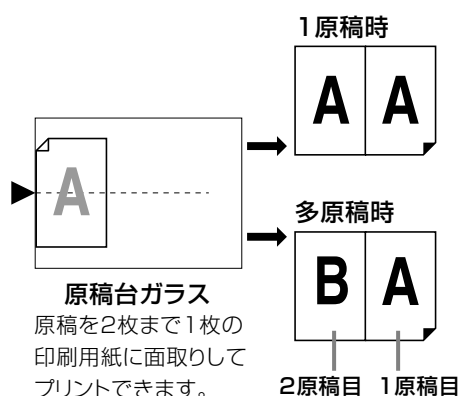
かんたん連写(2面のみ)



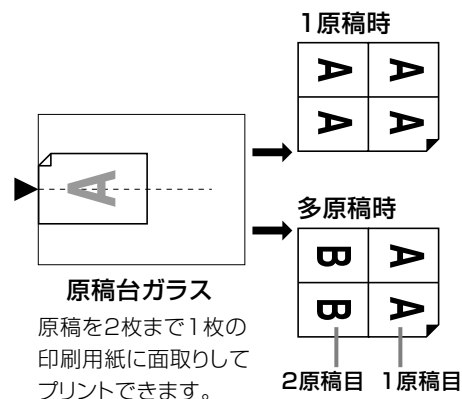
1枚の原稿を、1枚の印刷用紙に2面取りします。(1原稿2面連写)

連写

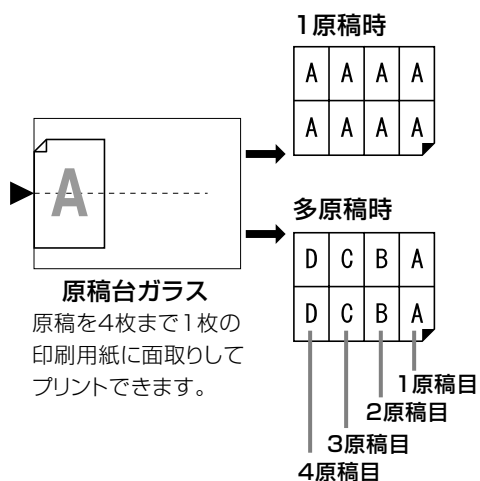
- 「1原稿連写」および「多原稿連写」の場合:
2面取り



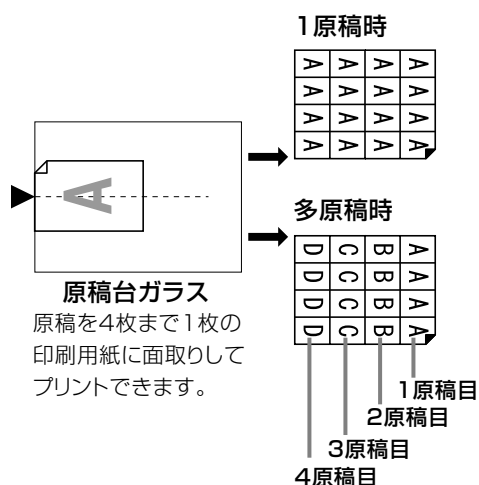
4面取り



8面取り



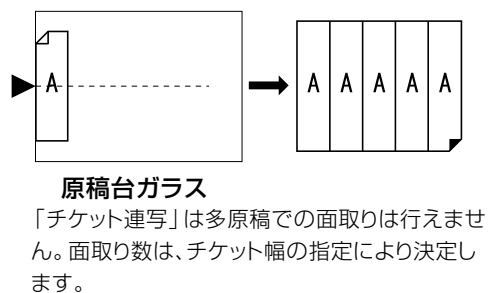
16面取り



参考

「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足する原稿の枚数分だけ白紙原稿をセットしてください。

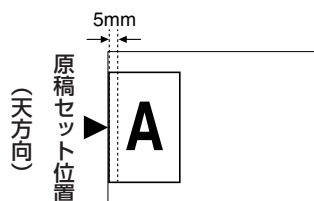
● 「チケット連写」の場合:



■ 余白

原稿は必ず天方向5mmの余白を取ってください。余白が十分でないと、きれいな面取りになりません。

☛ P.12「原稿の余白について」



参考

天方向の余白は変倍されずにそのまま残ります。

1枚の用紙に多面取りする

■ 連写待ち時間

「連写」では、原稿を枚数分読み取ります。

1回目の読み取りと、2回目の読み取りの間の時間を「連写待ち時間」といいます。

「連写待ち時間」の間に原稿の入れ替えや、各種の機能の設定をします。

参考

「環境設定」で「連写待ち時間」の初期設定を変更できます。工場出荷時は15秒に設定されています。
 ● P.147「初期設定を変更する／連写待ち時間」

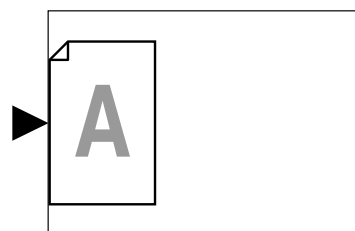
かんたん連写の操作のしかた

1

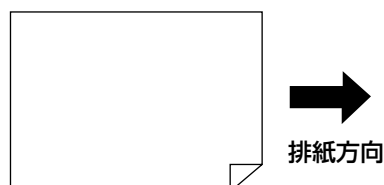
原稿、印刷用紙をセットする

重要

- 原稿は必ず下図の方向にセットしてください。



- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



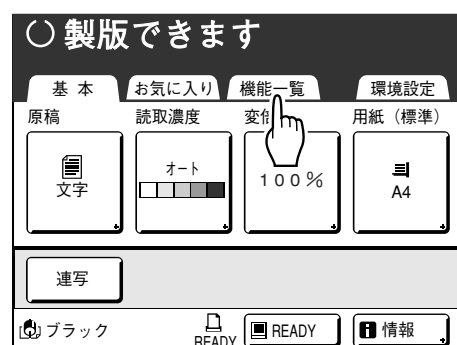
参考

自動原稿送り装置(オプション)を使用すると、2原稿2面連写ができます。原稿を2枚重ねてセットしてください。

1原稿2面連写の場合は、原稿台ガラスにセットしてください。

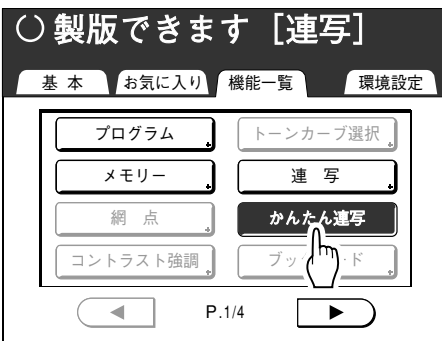
2

製版基本画面で「機能一覧」にタッチする



3

「かんたん連写」にタッチする



4

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定します。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

原稿サイズと用紙サイズの組み合わせにより、変倍率の設定が必要です。次の表を参考に設定してください。

原稿 印刷用紙	A4	B5	A5	B6
A3*	100%	116%	141%	163%
B4	87%	100%	123%	142%
A4	71%	82%	100%	116%
B5	61%	71%	87%	100%

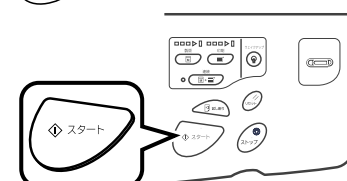
※ RZ630 不可

原稿 印刷用紙	A6	B7	A7	B8
A3*	200%	—	—	—
B4	173%	200%	—	—
A4	138%	163%	200%	—
B5	122%	141%	173%	200%

※ RZ630 不可

5

「スタート」を押す



原稿の読み取りを開始します。

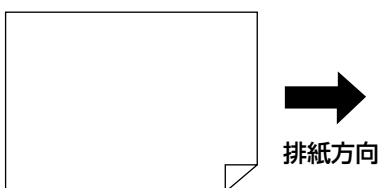
「1原稿連写」「多原稿連写」の操作のしかた

1

原稿、印刷用紙をセットする

重要

- 原稿のセット方向に注意してください。
 P.62「原稿のセット方向」
- 印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。

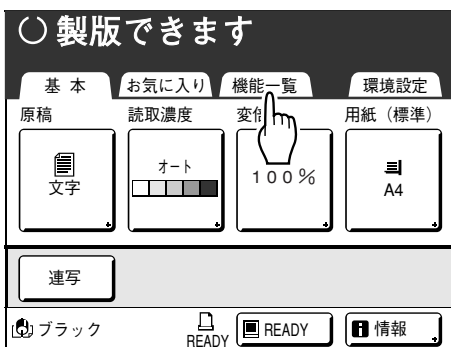


参考

「多原稿連写」の場合、自動原稿送り装置(オプション)にすべての原稿をセットすると便利です。セット方法は、P.30「紙原稿をプリントする」をご覧ください。

2

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



3

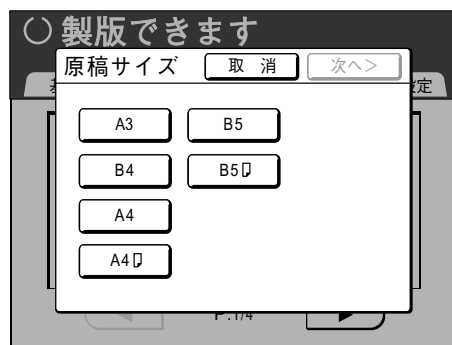
連写 にタッチする



4

使用する原稿サイズを選択する

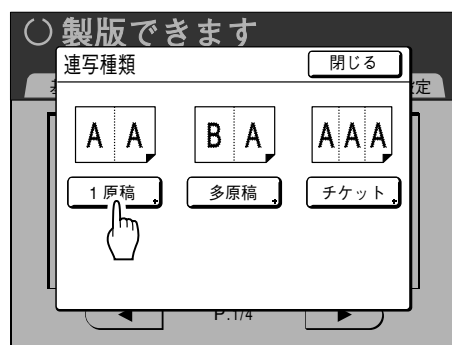
原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、**次へ>** にタッチしてください。



自動的に変倍率が設定され、[連写種類]画面が表示されます。

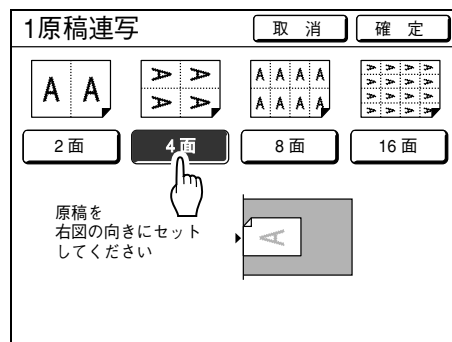
5

1原稿 または **多原稿** にタッチする



6

設定する面数のボタンにタッチする

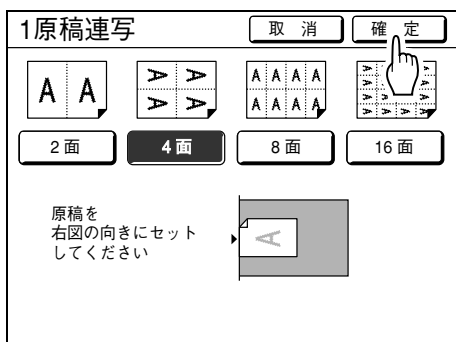


「連写」の設定を中止する場合や、1つ前の画面に戻る場合は **取消** を押します。

1枚の用紙に多面取りする

7

確定 にタッチする



「連写」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

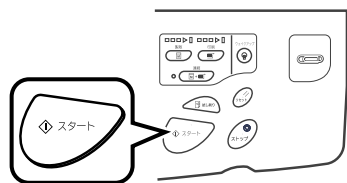
8

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

9

スタートを押す



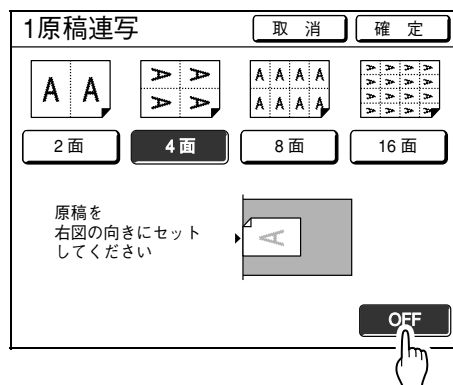
原稿の読み取りを開始します。
以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

重要

- 【次の原稿をセットし、スタートを押してください ストップキーで中止します】のメッセージが表示されたときは、次原稿待ちの状態です。待ち時間内に次の原稿をセットして、スタートを押してください。連写を中止したい場合は、ストップを押してください。
- 原稿台ガラスと自動原稿送り装置(オプション)の併用はできません。最初の原稿読み取りを原稿台ガラスで行ったときは、2枚目以降の原稿も原稿台ガラスにセットしてください。

参考

- 「多原稿連写」を行うとき、面取り可能な原稿枚数より実際に読み取る原稿枚数が少なく、残りを空白でプリントしたい場合は、不足する原稿の枚数分だけ白紙原稿をセットしてください。
☞ P.62「原稿のセット方向」
- 「連続」を設定しているときは、自動原稿送り装置に原稿があれば続けてプリントします。
- 一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順2、3を行って面数を選択する画面を表示させます。OFF にタッチして、確定 にタッチしてください。



チケット連写の操作のしかた

「チケット連写」は、原稿の短辺サイズ(幅)を指定するだけで、面取り可能な数を自動的に割り出して、1枚の印刷用紙にプリントします。

原稿の幅は、50mm ～210mm の間で指定できます。

印刷用紙に面付けされる数は、「印刷用紙の長辺÷原稿の幅」で計算できます。余りは余白になります。

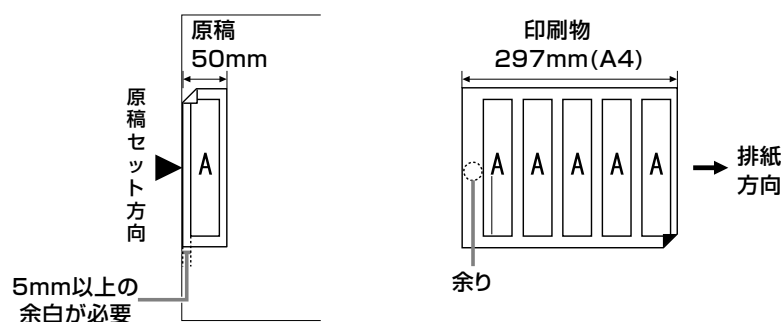
例

原稿の幅 50mm

印刷用紙の長辺 297mm(A4 サイズ)

$297 \div 50 = 5 \text{ 余り } 47$

この場合、印刷用紙に5面取りでプリントされます。



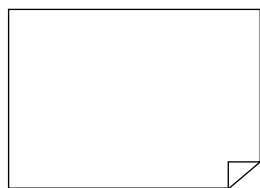
1

原稿と印刷用紙をセットする

原稿台ガラスに上記の向きで原稿をセットします。

重要

印刷用紙は、必ず下図の向き(搬送方向が長い)にセットしてください。



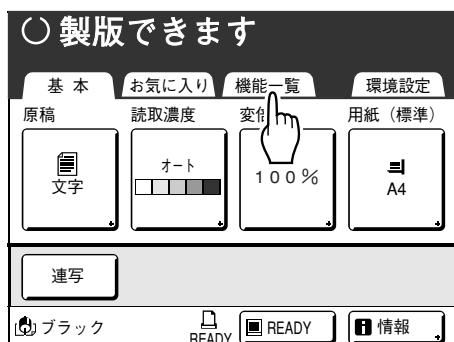
3

連写 にタッチする



2

製版基本画面で 機能一覧 にタッチする

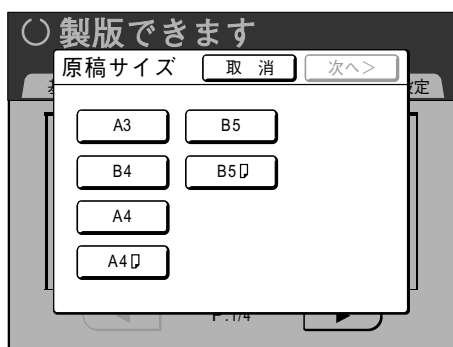


1枚の用紙に多面取りする

4

原稿サイズを選択する

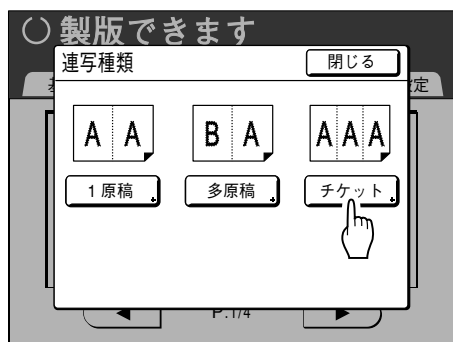
いずれかの原稿のサイズボタンにタッチして、**次へ>** にタッチしてください。(チケット連写の場合、どのサイズボタンを選択しても、後の操作に影響はありません。)



[連写種類] 画面が表示されます。

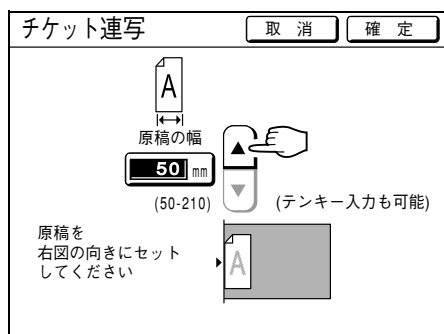
5

「チケット」にタッチする



6

▲ ▼ にタッチして、原稿の幅を指定する



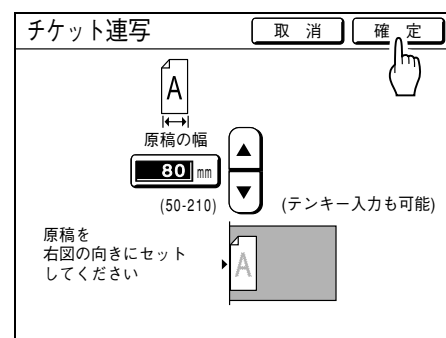
重要

手順8(プリント機能を設定)で拡大／縮小を行う場合は、次の点に注意してください。

- 拡大／縮小後のチケット幅を指定してください。
- 拡大を行う場合は、拡大後のサイズが、指定した「幅」や印刷用紙の短辺からはみ出さないようにしてください。
- 拡大を行う場合は、あらかじめ拡大後のサイズに応じた印刷用紙を選択(セット)してください。

7

「確定」にタッチする



「チケット連写」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

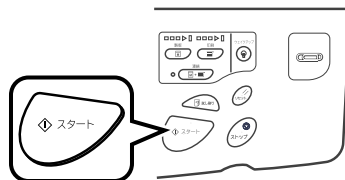
8

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

9

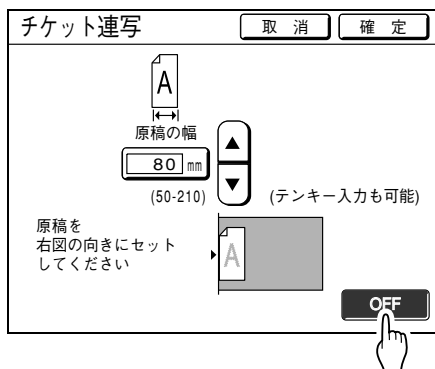
④スタートを押す



原稿の読み取りを開始します。
以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

参考

一度確定した連写設定を解除したい場合は、手順2、3を行って面数を選択する画面を表示させます。にタッチして、にタッチしてください。



雑誌や本をプリントする

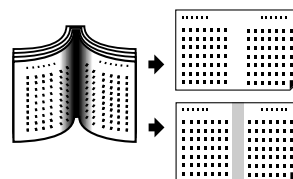
[ブックモード]

製版

機能一覧
ブックモード

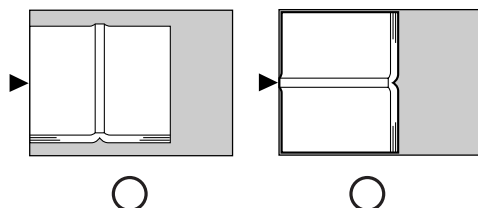
雑誌や本など中央でとじられた原稿をプリントするときに、とじ部分(センター)の影を消去または、写真処理で影を淡くしてプリントできます。

消去する領域は、本機が自動で判断します。



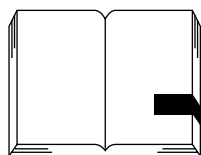
重要

- 原稿は、必ず原稿台ガラスのセンターにあわせてセットしてください。

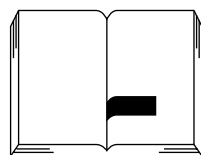


- 以下のような画像部分も消去(または写真処理)されます。

- ・ 原稿の周囲から続いている(余白のない)黒い画像部分



- ・ とじ部分から続いている黒い画像部分

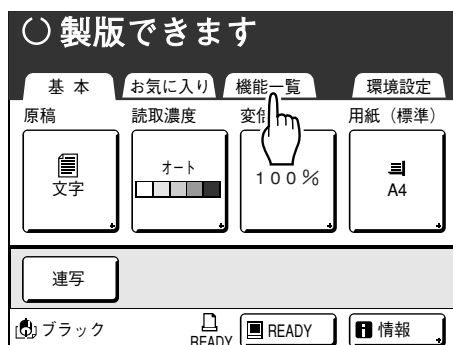


重要

「ブックモード」は、「省インク」「読取濃度(「オート」)」「連写」「かんたん連写」とは併用できません。

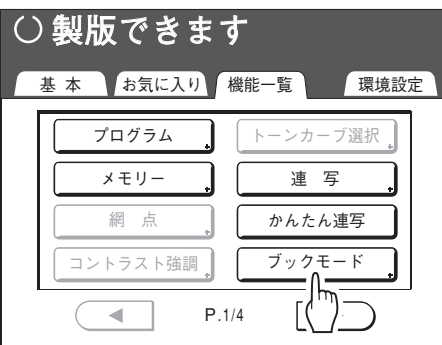
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



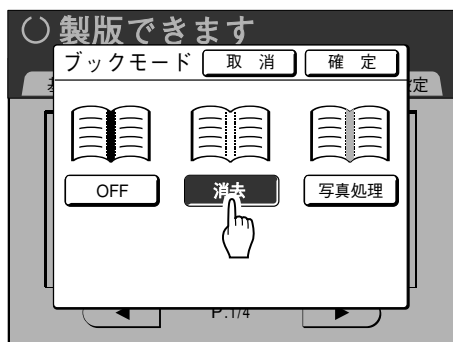
2

ブックモード にタッチする



3

処理内容にタッチする

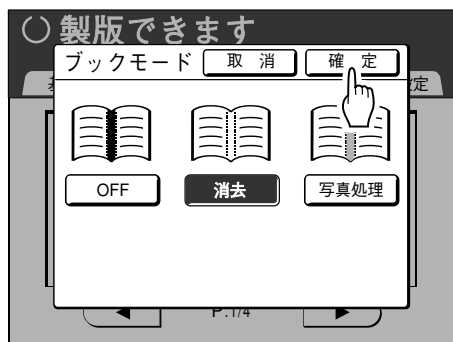


消去 ……同じ部分と原稿の周りにできる影を消去します。

写真処理 ……同じ部分の影を写真処理して自然な感じにし、原稿の周りにできる影を消去します。

4

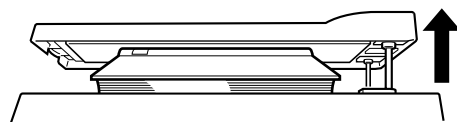
確定 にタッチする



機能一覧画面に戻り、指定した「ブックモード」に設定されます。

参考

百科事典のようなページ数の多い本を読み取る場合は、原稿台カバーのヒンジを引き上げて本を押さえると便利です。



原稿のトンボをカットしてプリントする

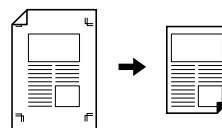
【レイアウト原稿】

製版

機能一覧
レイアウト原稿

原稿の先端(天)部分を、0mm～99mm の間でカットして製版することができます。

トンボのある原稿をプリントする場合、「レイアウト原稿」を設定し、原稿のトンボ内のサイズの印刷用紙を使用することで、トンボを省いた印刷物を作ることができます。



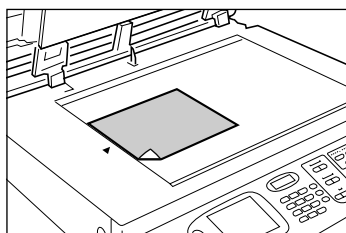
重要

- 「変倍」が設定されているときは、「レイアウト原稿」で設定した分をカットした状態から拡大／縮小します。
- 「オート変倍」は使用しないでください。
- 「レイアウト原稿」は、「かんたん連写」「連写」とは併用できません。

1

原稿台に原稿をセットする

原稿台ガラスのセンターに原稿の天部分のセンタートンボを合わせ、下向きにセットします。

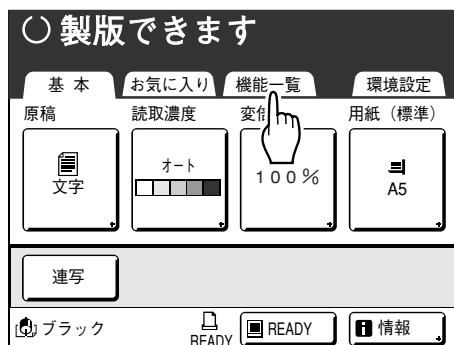


重要

自動原稿送り装置(オプション)は、「レイアウト原稿」には使用できません。

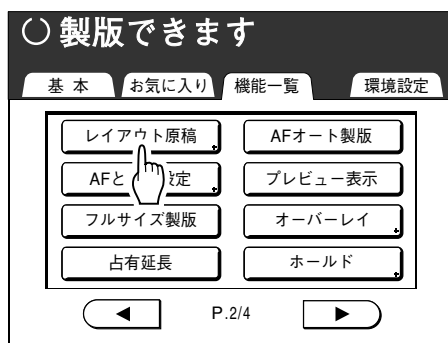
2

製版基本画面で「機能一覧」にタッチする



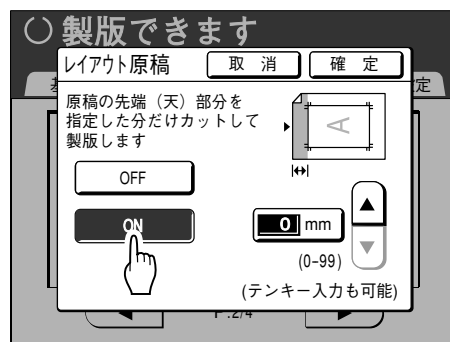
3

「レイアウト原稿」にタッチする



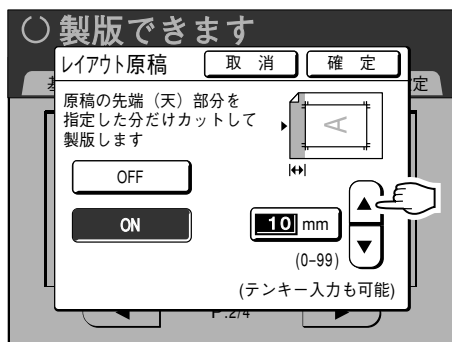
4

「ON」にタッチする



5

▲ ▼ にタッチして、カットする幅を指定する



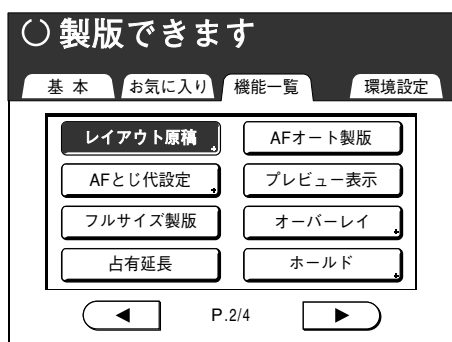
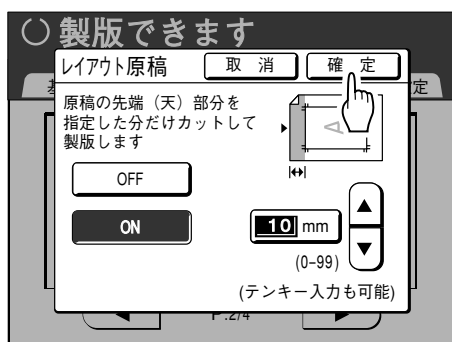
0mm～99mmの間で設定できます。

参考

テンキーでの入力もできます。

6

確定 にタッチする



「レイアウト原稿」が設定され、機能一覧画面に戻ります。

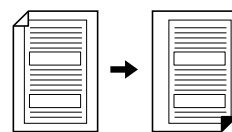
製版の左右位置を調整する

[AFとじ代設定]

製版

機能一覧
AFとじ代設定

自動原稿送り装置(オプション)を使って複数の原稿をプリントする際に、左右位置をずらして製版する必要がある場合、「AFとじ代設定」を使用すると、一度の操作ですべての原稿の位置をずらして製版できます(左右10mmまで)。



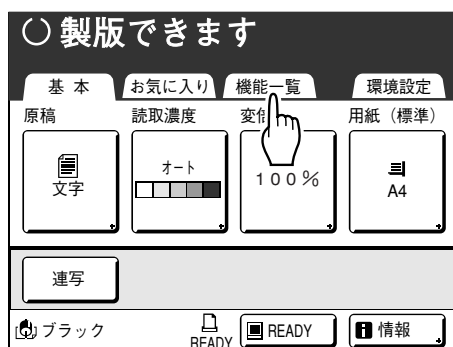
- 「AFとじ代設定」は、製版位置を調整する機能です。原稿の左右に原稿位置をずらすだけの余白がない場合は、とじ代を付けると画像が欠けてしまいます。(とじ代を追加してプリントする機能ではありません)。
- 「AFとじ代設定」は、「かんたん連写」、「連写」とは併用できません。

参考

- 「AFとじ代設定」と操作パネルによる印刷位置調整を併用すると、もとの原稿に対して最大約20mmまで、仕上がりの印刷位置を調整できます。
- 原稿台ガラスに原稿をセットする場合にも、とじ代を付ける機能として使用できます。

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



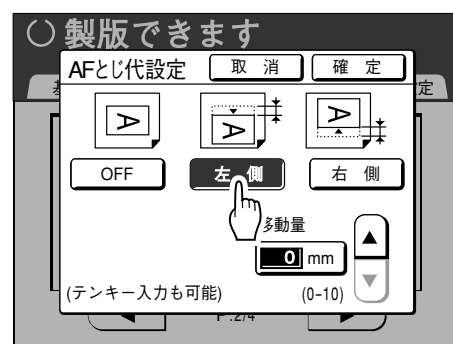
2

AFとじ代設定 にタッチする



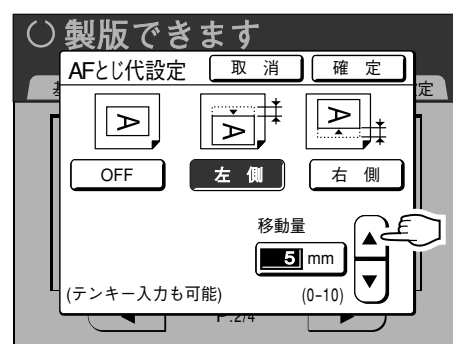
3

左側 または **右側** にタッチする



4

▲ ▼ にタッチして、移動量を設定する



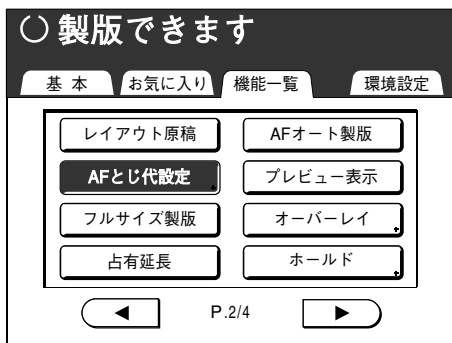
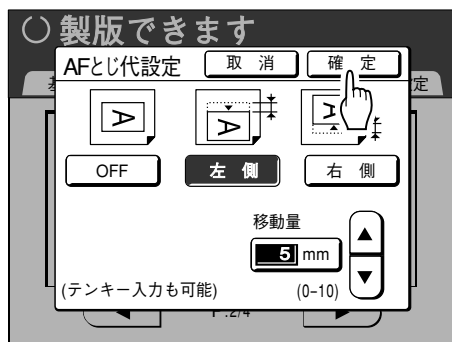
0mm～10mmの間で設定できます。

参考

テンキーでの入力もできます。

5

確定 にタッチする



とじ代の移動量が設定され、機能一覧画面に戻ります。

重要

「AF とじ代設定」により、とじ代の反対側がプリントエリアからはみ出すと、はみ出した部分はプリントされません。設定の前に原稿の余白を確認してください。

製版前に印刷イメージを確認する

【プレビュー表示】

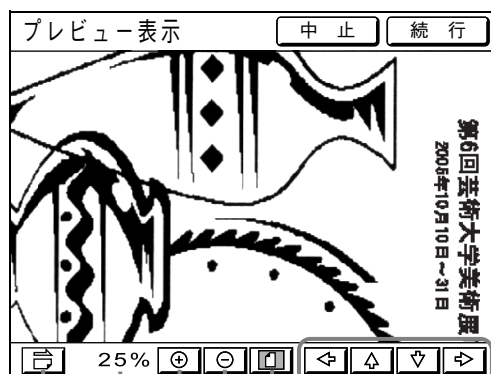
製版

機能一覧
プレビュー表示

スキャナで読み取った原稿やパソコンから送信した原稿データを、実際に製版する前に確認できます。

「連写」を設定した場合など、仕上がりイメージを確認するのに便利な機能です。

プレビュー画面では、以下の操作が行えます。



画像回転
表示画像を90度
回転できます。

現在の表示の倍率
を表示します。

スクロール
表示画面を矢印の方向に移
動させます。

全体表示
画像全体を表示します。

縮小
タッチするたびに、プレビュー表示を縮小します。

拡大
タッチするたびに、プレビュー表示を拡大します。

モードにより操作や表示のタイミングが異なります。

原稿タイプ(モード名)	設定するタイミング	表示のタイミング	「連続」時の動作
紙原稿	製版に関わる機能を設定するとき (機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	原稿を読み取ったあと、いったん停止してプレビュー画面を表示します。
スキャンモード	読み取りに関わる機能(製版機能)を設定するとき(機能一覧から設定)	原稿の読み取り後	スキャンモードは原稿を読み取って保存するだけなので、「連続」という動作はありませんが、自動原稿送り装置に複数枚の原稿をセットした場合、プレビュー表示のあと、 閉じる にタッチすると、次の原稿の読み取りを開始します。
パソコンからの原稿データ	本機が原稿データを受信した後、製版前ストップで停止しているとき(データ受信画面で設定)	タッチ時にすぐ表示	プリンタドライバから[連続モード][ON]で送信した場合、プレビューは表示されません。
ホールドデータ／USBメモリデータ	ホールドデータ／USBメモリデータを呼び出したとき(保存データ用の製版基本画面で設定)	タッチ時にすぐ表示	呼び出した画面で プレビュー にタッチすると、すぐに表示されます。 閉じる にタッチし、 連写 を押すと、「連続」で製版・印刷が行われます。

参考

- 「プレビュー」は、印刷されたとき(排紙時)のイメージを表示します。
- 読み取った原稿をそのまま表示します。実際のプリントには余白が必要です。余白が十分あるかどうか確認してください。
- パソコンから原稿データを送信した場合は、データ受信画面で確認できます。
➡ P.37「パソコンデータをプリントする」
- RLPモードの場合(連携機Prio(別売)接続時)は、原稿を読み取った後、連携機から出力される前にプレビューが表示されます。

プレビュー表示を確認してプリントする

ここでは、紙原稿をプリントするときの操作方法を説明します。

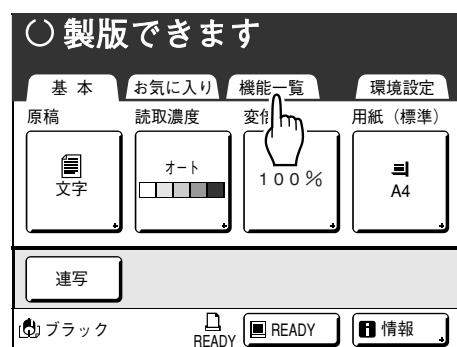
1

原稿をセットする

● P.30「紙原稿をプリントする」

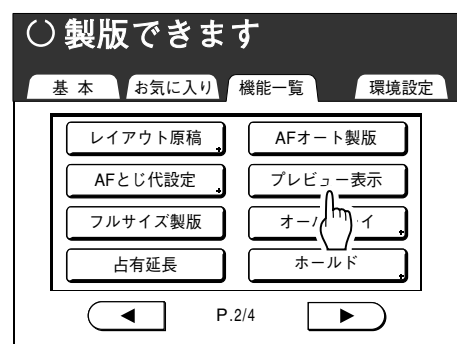
2

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



3

プレビュー表示 にタッチする



「プレビュー表示」が設定されます。

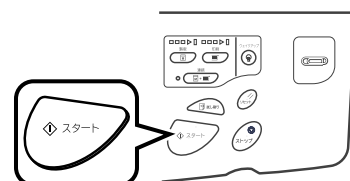
4

各種プリント機能の設定を行う

必要に応じて各種機能を設定してください。

5

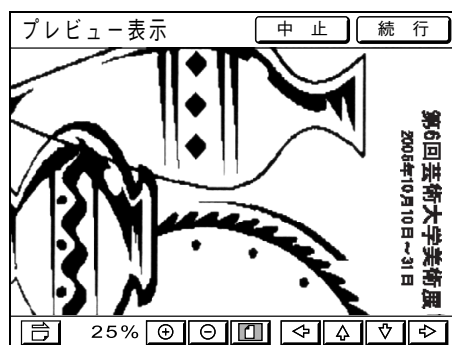
スタート を押す



原稿の読み取りが開始され、[プレビュー表示]画面にプレビュー画像が表示されます。

6

プレビューの画像を確認する



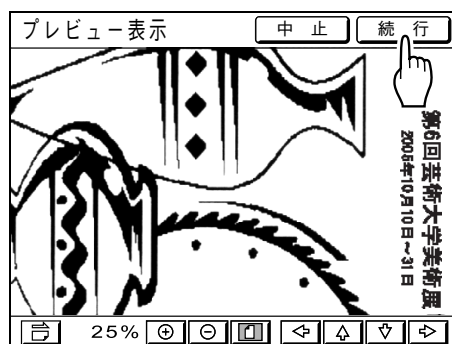
参考

確認のための操作が行えます。

● P.76

7

続行 にタッチする



製版が開始されます。

以降は、通常の紙原稿の製版・印刷行程と同様に操作してください。

参考

中止 にタッチした場合は、製版基本画面に戻ります。もう一度手順4からやりなおしてください。

最大印刷範囲で製版する

[フルサイズ製版]

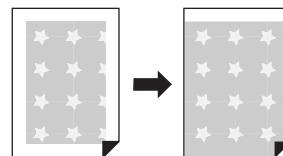
製版

機能一覧
フルサイズ製版

通常の製版では、印刷用紙の周囲に余白ができるように用紙サイズを検知して、サイズ規制をかけています。これは紙詰まりや、内部のローラーがインクで汚れることを防ぐためです。

「フルサイズ製版」を設定すると、印刷用紙や原稿のサイズにかかわらず、最大印刷範囲のサイズで原稿を読み取って製版を行います。

必ず、原稿と印刷用紙のサイズを確認してから実行してください。



最大印刷面積

RZ670: 291mm × 413mm

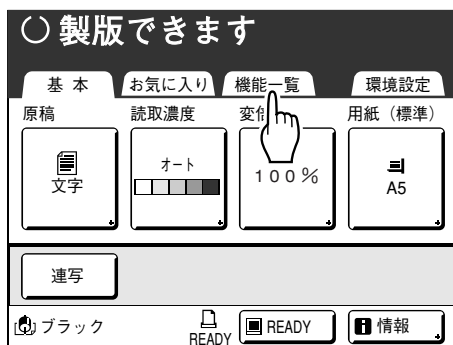
RZ630: 251mm × 357mm

重要

- 天方向5mmは製版できません。
- 製版された原稿よりも小さいサイズの印刷用紙を使用しないでください。本機内部のローラーなどにインクが付着する恐れがあります。(ローラーが汚れると、以降の印刷物の裏面に、汚れが転写されてしまいます。)
- 原稿台ガラス全体に汚れがないか確認してください。
最大印刷範囲で読み取るため、原稿より外側にある汚れも製版され、内部のローラーを汚す原因となります。

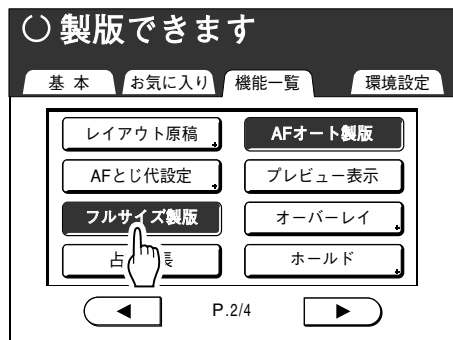
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

フルサイズ製版 にタッチする



「フルサイズ製版」が設定されます。

印刷するときに 設定する機能

- 80 印刷速度を変える [印刷速度調節]
- 81 印刷濃度を変える [印刷濃度調節]
- 82 印刷位置を調整する [印刷位置調整]
- 84 試し刷りをする [試し刷り]
- 85 裏移りを防ぐ [インターバル印刷]
- 86 特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う [排紙ウイング特殊] [特殊用紙設定]
- 87 排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊]
- 88 調整値リストから呼び出す
- 89 調整値リストへの登録と名称入力
- 92 特殊用紙設定の設定内容の変更
- 93 特殊用紙設定の消去

印刷速度を変える

[印刷速度調節]



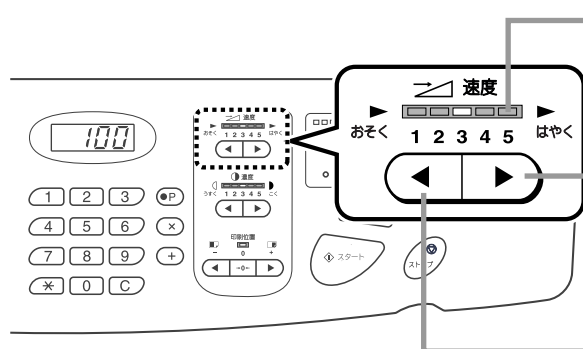
印刷速度を毎分60枚から130枚までの5段階で調節できます。
速度は、印刷中にも調節ができます。

参考

「環境設定」で印刷速度の初期設定を変更できます。
工場出荷時は3(約100枚/分)に設定されています。
☛ P.146「初期設定を変更する／印刷速度基本設定」



◀ または ▶ を押して印刷速度を調節する



印刷速度ランプ

現在の印刷速度の設定値を表示しています。

▶ キー

一度押すごとに、印刷速度が1段階ずつ速くなります。

◀ キー

一度押すごとに、印刷速度が1段階ずつ遅くなります。

ランプのレベルと印刷速度の関係

ランプの レベル	1	2	3	4	5
印刷速度 (枚/分)	約60	約80	約100	約120	約130

印刷濃度を変える



[印刷濃度調節]

印刷濃度を「うすく」から「こく」までの5段階で調節できます。

濃度は、印刷中にも調節ができます。

重要

「省インク」を設定しているときは、印刷濃度の調節はできません。

➡ P.60「インクを節約する」

参考

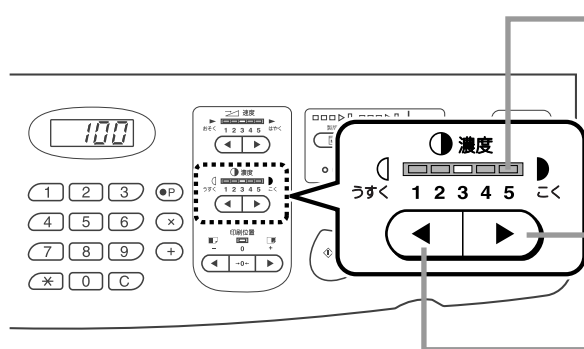
「環境設定」で印刷濃度の初期設定を変更できます。

工場出荷時は3(標準)に設定されています。

➡ P.146「初期設定を変更する／印刷濃度基本設定」



◀ または ▶ を押して印刷濃度を調節する



印刷濃度ランプ

現在の印刷濃度の設定値を表示しています。

▶ キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ濃くなります。

◀ キー

一度押すごとに、印刷濃度が1段階ずつ薄くなります。

印刷位置を調整する

[印刷位置調整]



印刷位置調整キーで天地(上下)方向に、左右位置調整ダイヤル(給紙台)で左右方向に印刷の位置を調整できます。

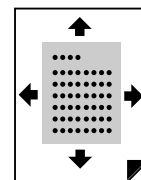
調整範囲は天地: $\pm 15\text{mm}$ 、左右: $\pm 10\text{mm}$ *です。天地の位置は印刷中でも調整できます。

* 用紙幅297mmを超える用紙の場合は、 $\pm 10\text{mm}$ より少なくなります。



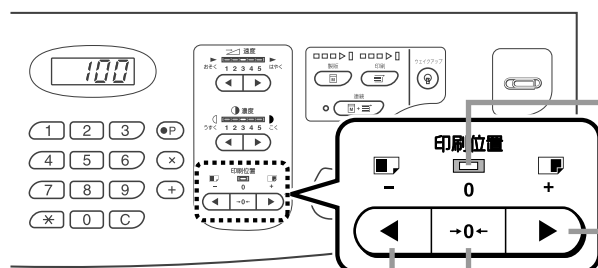
重要 印刷位置を調整したときは、試し刷りをして印刷位置を確認してください。

➡ P.84「試し刷りをする」



■ 天地(上下)位置を調整する

◀ または ▶ を押して、天地(上下)位置を調整する

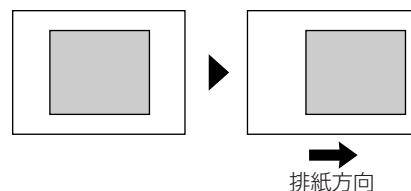


センターランプ

印刷位置が調整前の位置にあるとき、点灯します。

▶ キー

押すごとに印刷面が用紙の天(上)方向に約0.5mmずつ移動します。

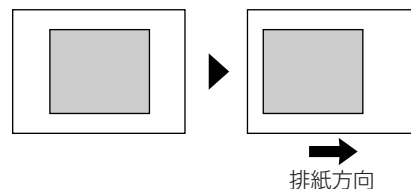


◀ キー

押すと印刷位置が調整前の位置に戻ります。

◀ キー

押すごとに印刷面が用紙の地(下)方向に約0.5mmずつ移動します。



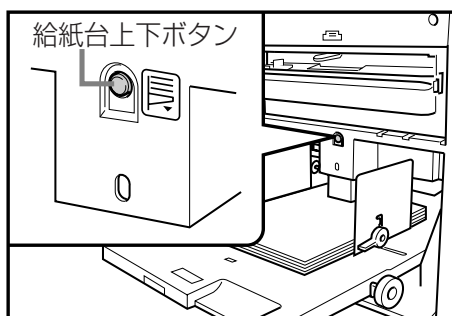
調整結果は印刷基本画面に表示されます。



■ 左右位置を調整する

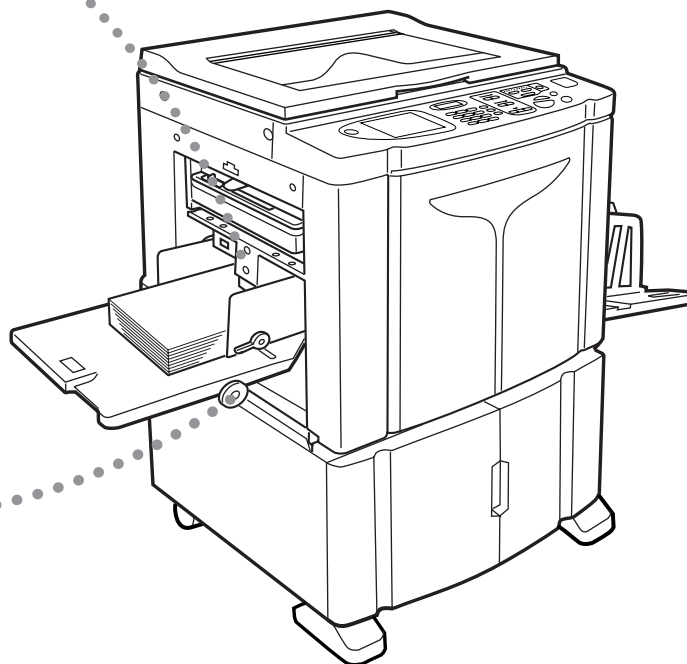
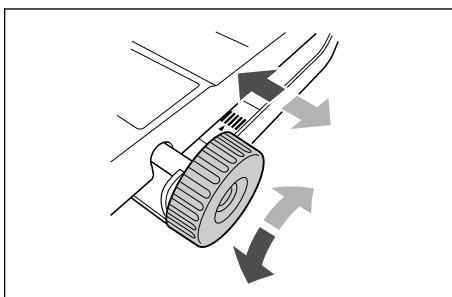
1

給紙台上下ボタンを押して、
給紙台を下げる



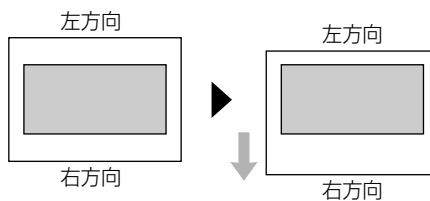
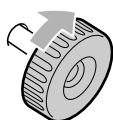
2

左右位置調整ダイヤルを回して、
左右位置を調整する



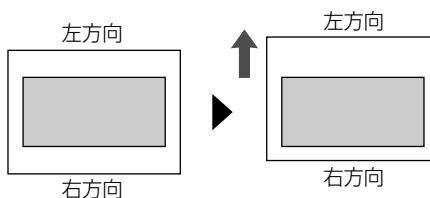
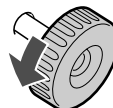
■ 上に回す

用紙 : 右に移動
印刷位置: 左に移動



■ 下に回す

用紙 : 左に移動
印刷位置: 右に移動



目盛りを見ながら、センターからどのくらい移動したかを確認してください。
(調整結果は画面には表示されません。)
目盛りの▲の位置がセンターになります。 を押して、印刷位置を確認してください。

重要

- 左右位置を調整したときは、排紙フェンスも併わせて移動させてください。
● P.28「排紙台のセット」
- 左右位置を調整したときは、印刷終了後に必ずセンターに戻してください。

試し刷りをする

【試し刷り】



印刷の位置や濃度などの調整後、仕上がりを確認できます。
試し刷りをして、枚数カウンターに表示された印刷枚数は変化しません。

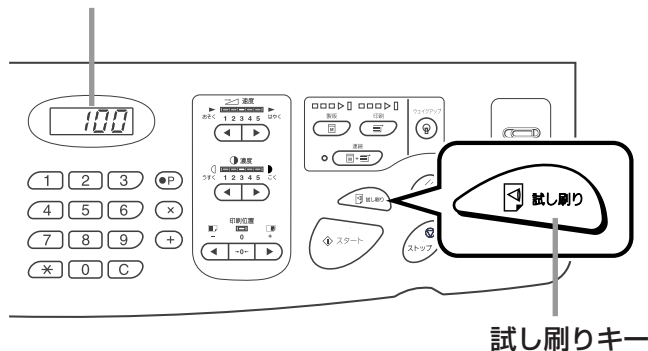
参考

-  を押し続けると、連続して試し刷りができます。
- 連携機(別売)から試し刷りを出力することはできません。



 を押す

枚数カウンター



試し刷りが1枚印刷されます。

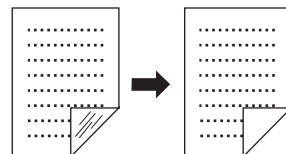
裏移りを防ぐ

【インターバル印刷】

印刷
機能一覧
インターバル印刷

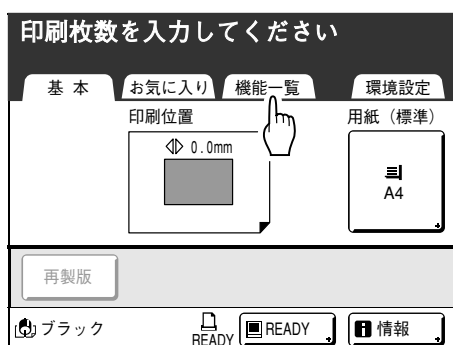
印刷時にドラムを空転させて、排紙の間隔をあけることにより、印刷物の乾燥時間を作り、裏移りを防ぎます。

空転回数は、1～10回の間で設定できます。



1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする



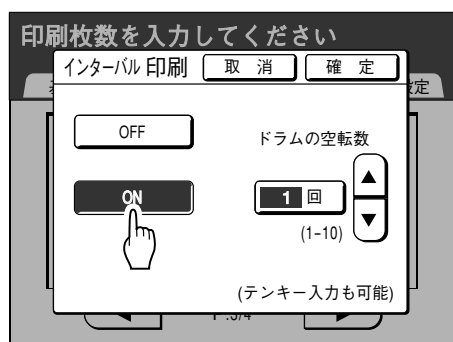
2

インターバル印刷 にタッチする



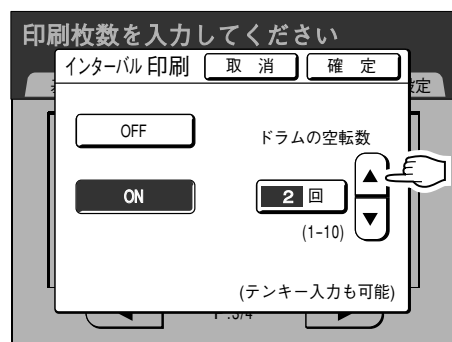
3

ON にタッチする



4

▲ または ▼ にタッチしてドラムの空転数を指定する

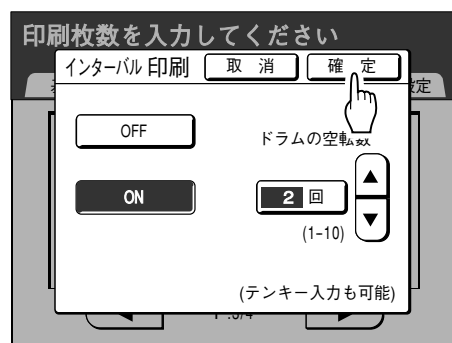


参考

テンキーでも入力できます。

5

確定 にタッチする



機能一覧画面に戻り、指定した「インターバル印刷」に設定されます。

● 印刷するときに設定する機能

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

[排紙ウイング特殊][特殊用紙設定]

特殊な用紙を使用して印刷を行う場合や、印刷画像にムラなどが発生した場合に、給紙・排紙設定を調整することができます。

■排紙ウイング特殊

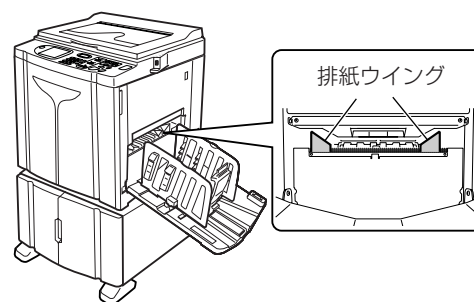
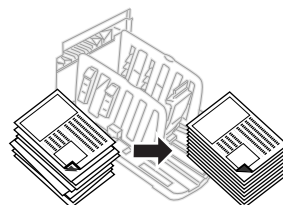
事前に登録してある排紙ウイングの特別な設定を呼び出します。通常、自動的に調節される排紙ウイングの位置では、適切に排紙できない用紙に印刷する場合に使用します。

重要

- 「排紙ウイング特殊」は、あらかじめ登録されている場合のみ、表示されます。
- あらかじめ登録できる設定は1種類です。
- 登録したい場合や、設定を変更したい場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守サービス会社)にご連絡ください。

参考

「排紙ウイング」は、印刷物を排紙台に飛ばすための装置です。通常は、給紙台にある「給紙圧調節レバー」の位置(標準/厚紙)によって、自動的に調節されています。



■特殊用紙設定

設定した内容を登録しておくと、次回から同じ設定を簡単に呼び出してプリントできます。「特殊用紙設定」では、以下の設定が可能です。

特殊給紙調整

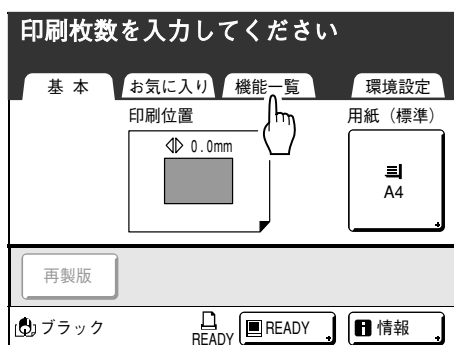
使用する用紙の特性に合わせて、給紙台の位置や、用紙のたるみ量を調整できます。調整方法については、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

特殊排紙調整

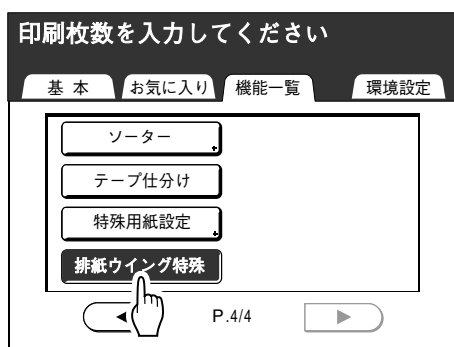
原稿の画像種類や用紙の種類によっては、分離ファンなどの影響を受けて、印刷画像にムラやブレが発生する場合があります。そのような場合に、分離ファン、サクションファンの加減を調整してプリントできます。調整方法については、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

排紙ウイング特殊を設定する [排紙ウイング特殊]

1

印刷基本画面で **機能一覧** に
タッチする

2

排紙ウイング特殊 にタッチする

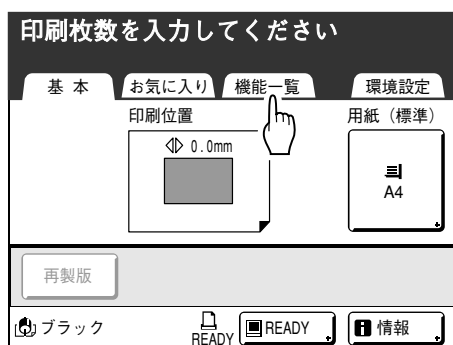
「排紙ウイング特殊」が指定されます。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

調整値リストから呼び出す

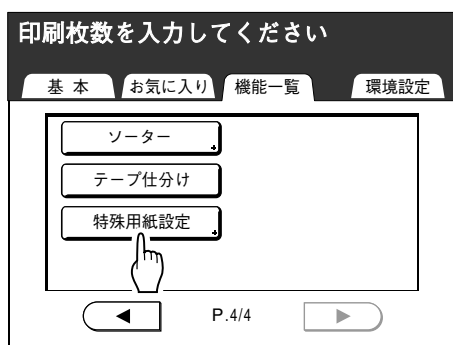
1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする



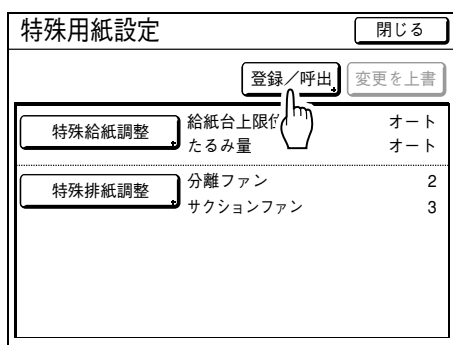
2

特殊用紙設定 にタッチする



3

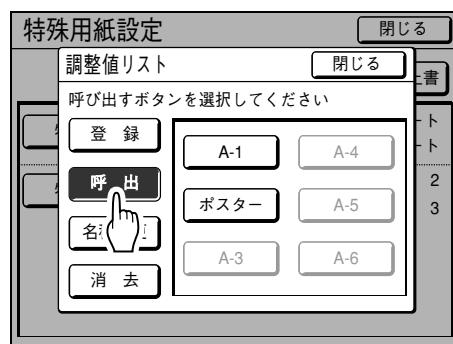
登録/呼出 にタッチする



[調整値リスト]画面が表示されます。

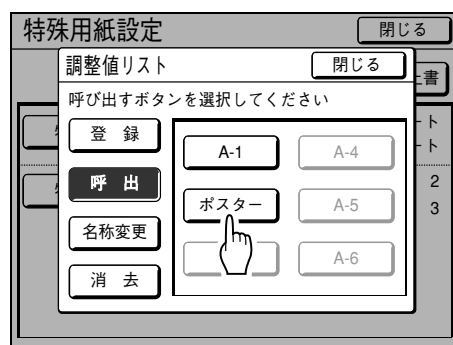
4

呼出 にタッチする



5

呼び出したいボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

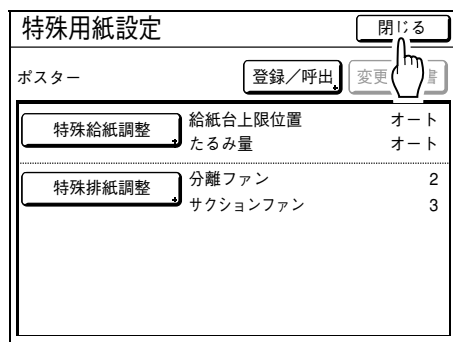
選択した調整値が呼び出され、[特殊用紙設定]画面に戻ります。
調整内容を確認してください。

参考

別の調整値を呼び出したい場合は、再度手順3～5を行います。

6

閉じる にタッチする

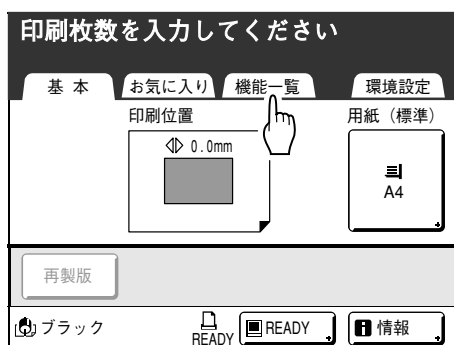


呼び出した調整値が反映され、機能一覧画面に戻ります。

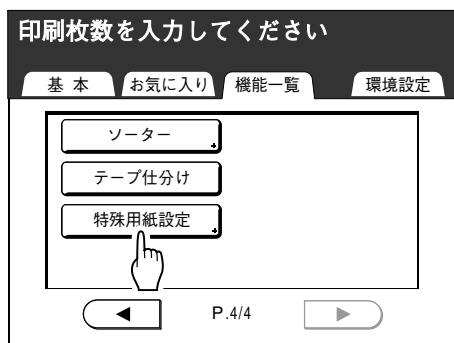
ひきつづき、通常の手順で印刷を行うことができます。

調整値リストへの登録と名称入力

1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする

2

特殊用紙設定 にタッチする

3

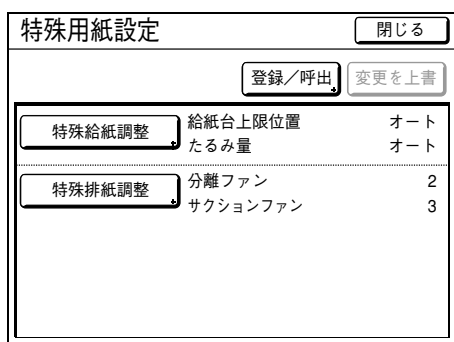
「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」を調整する。

参考

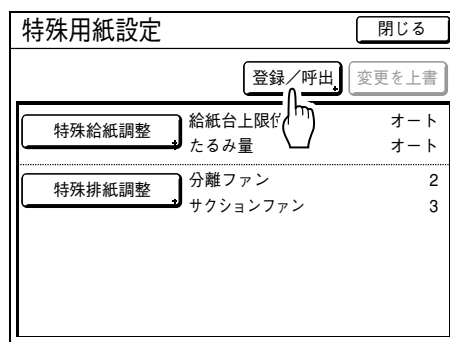
各調整項目については、P.86を参照してください。

4

[特殊用紙設定] 画面で、調整内容を確認する



5

登録/呼出 にタッチする

[調整値リスト] 画面が表示されます。

6

未登録のボタンにタッチする

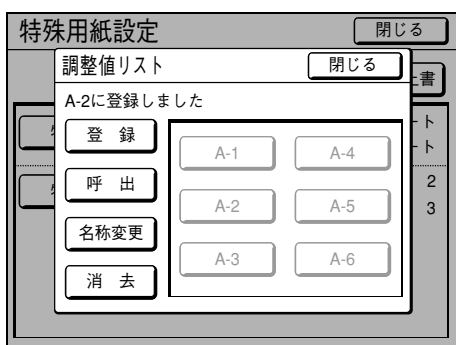
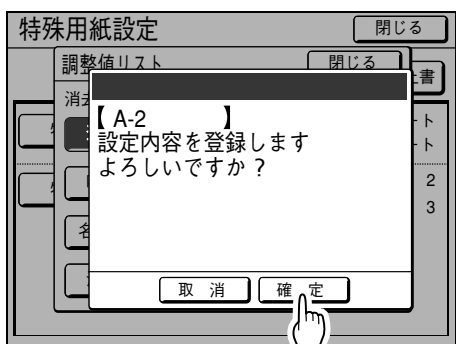


実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みの調整値はグレー表示されタッチできません。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

7

確定 にタッチする

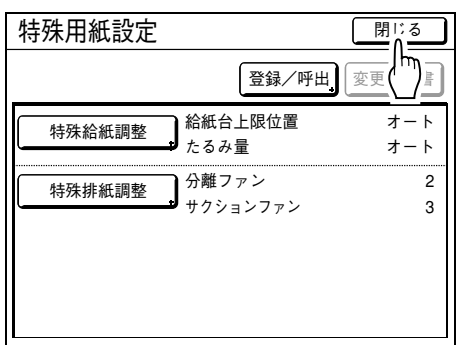


設定した調整値が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。

設定の名称を入力する場合は、次の手順に進んでください。

参考

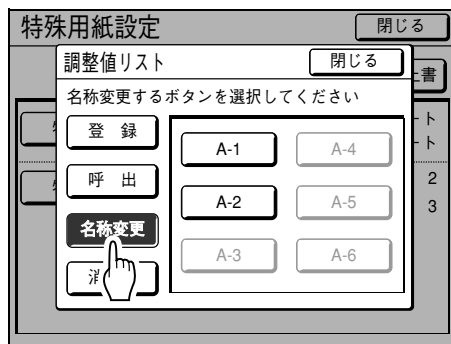
- 登録後、[調整値リスト]画面の **閉じる** にタッチすると、[特殊用紙設定]画面に戻ります。
- [特殊用紙設定]画面の **閉じる** にタッチすると、機能一覧画面に戻り、登録した調整値でプリントできます。



- 設定の登録のみで、調整値を反映させたプリントを行わないときは、操作パネルの **印刷** を押してください。

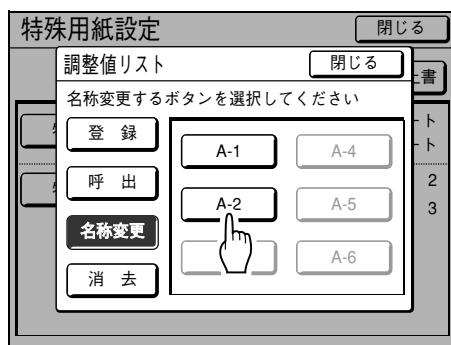
8

名称変更 にタッチする



9

名称を入力したいボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

10

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

➡ P.121「名称入力画面について」

参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、**削除** にタッチ、または **削除** を押して消去できます。

11

すべての文字を入力後、**確定**にタッチする

入力した名称が登録され、[調整値リスト]画面に戻ります。

12

閉じるにタッチする

[特殊用紙設定]画面に戻ります。

特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う

特殊用紙設定の設定内容の変更

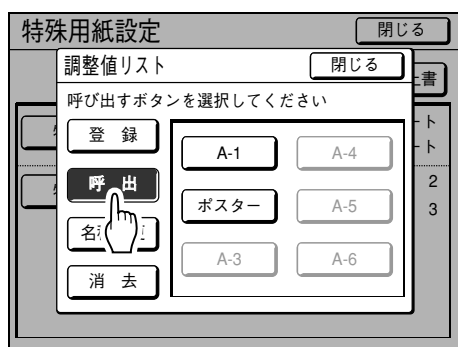
1

【調整値リスト】画面を表示させる

P.88の手順1～3を行います。

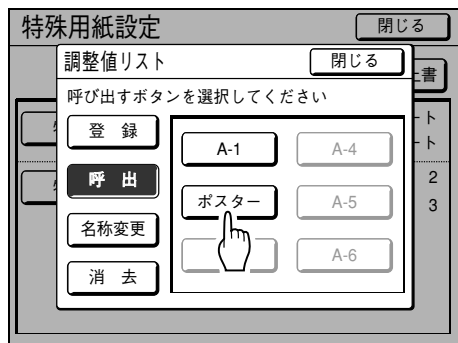
2

呼出 にタッチする



3

調整値を変更したいボタンにタッチする



4

調整値を変更する

「特殊給紙調整」、「特殊排紙調整」の調整値を変更します。

参考

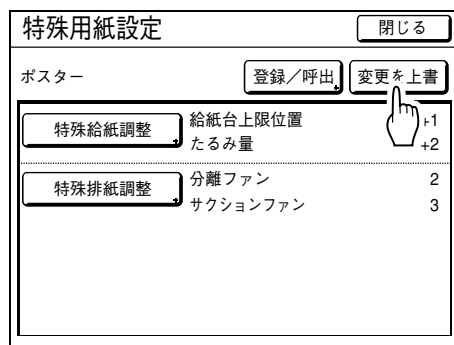
各調整項目については、P.86を参照してください。

5

【特殊用紙設定】画面で

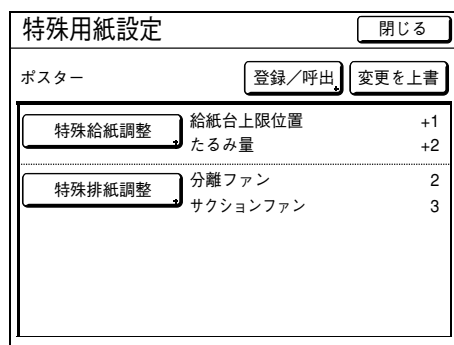
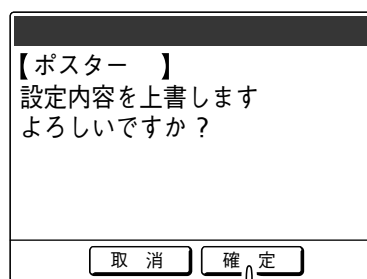
変更を上書

にタッチする



6

確定 にタッチする



変更した調整値が上書き登録され、【特殊用紙設定】画面に戻ります。

特殊用紙設定の消去

1

【調整値リスト】画面を表示させる

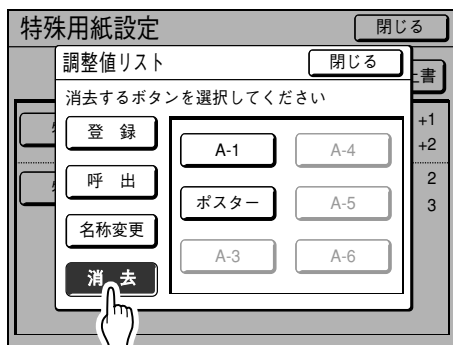
P.88の手順1～3を行います。

重要

- 消去して良い内容かどうかを確認してください。(設定を呼び出して内容を確認後、手順2以降を行ってください。)
- 消去確定後は復帰させることはできません。

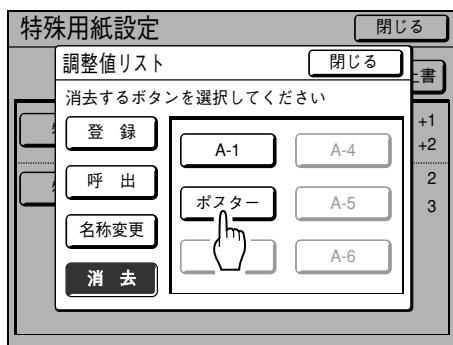
2

消去 にタッチする



3

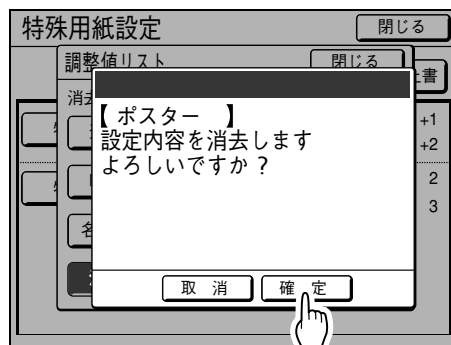
消去するボタンにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

4

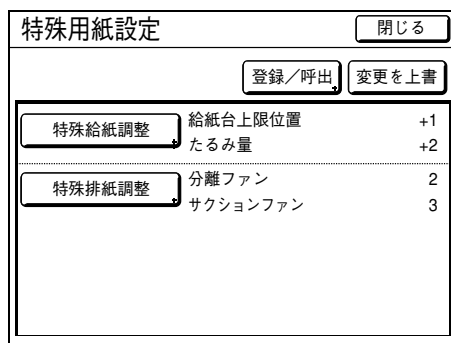
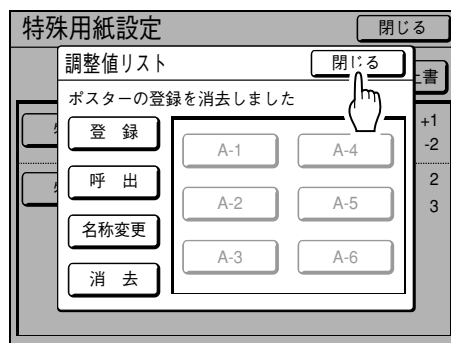
確定 にタッチする



選択した調整値が消去され、【調整値リスト】画面に戻ります。

5

閉じる にタッチする



【特殊用紙設定】画面に戻ります。

その他の機能

96 認証設定をする[認証設定]

- 100 認証方式の選択
- 102 認証の範囲(認証有無)の設定
- 103 管理者／ユーザーの登録
- 109 管理者／ユーザー登録の変更
- 110 ユーザー登録の消去
- 111 グループの名称入力
- 112 全ユーザーの利用枚数のクリア

113 機密書類の複製を防止する[機密]

114 グループに分けてプリントする[プログラム]

- 116 プログラムの設定
- 118 プログラムを呼び出してプリントする
- 119 プログラムの登録
- 120 プログラムの名称入力
- 122 プログラムの消去
- 123 プログラムの設定内容の変更

124 メモリー機能を使う[メモリー]

- 125 メモリーの登録
- 126 メモリーの名称入力
- 128 メモリーを呼び出してプリントする
- 130 メモリーの消去

131 割り込み印刷を防止する[占有延長]

132 アイドリングをする[アイドルング]

133 再製版する[再製版][オート再製版]

- 134 再製版を実行する

- 135 オート再製版を使う

136 試し刷りを確認しながらプリントする [AFオート製版]

138 原稿を180 度回転して製版する[180 度回転]

139 各ユーザーの利用枚数を確認する [利用枚数集計]

- 140 利用枚数を出力する
- 141 お知らせ日を設定する

143 ユーザーごとにPOP登録する [認証POP登録]

145 初期設定を変更する[環境設定]

- 145 設定可能な項目一覧
- 151 初期設定の変更

154 POP／お気に入りの設定[POP][お気に入り]

158 不定形の用紙を登録する[用紙サイズ登録]

- 158 用紙サイズの登録と名称変更
- 161 登録した用紙サイズの消去

162 印刷済みのマスターを安全に管理する

- 163 製版・排版されたマスターの流出を防ぐ[プロテクト]

認証設定をする

【認証設定】

その他

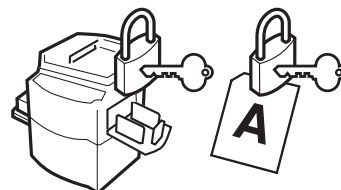
環境設定
認証設定

セキュリティの強化やユーザー管理を充実させるために、本機では認証機能を用意しています。

認証機能とは、暗証番号の入力や認証用のUSBメモリ挿入により、誰が使用しているかを本機に認識させる機能です。

認証機能を利用するには、あらかじめ管理者が認証の種類や認証方式の設定、ユーザーの登録を行う必要があります。

ここでは、管理者が認証設定を行う方法を説明します。



■ 認証の種類

認証の種類には、「本体認証」と「認証プリント」があります。

● 本体認証

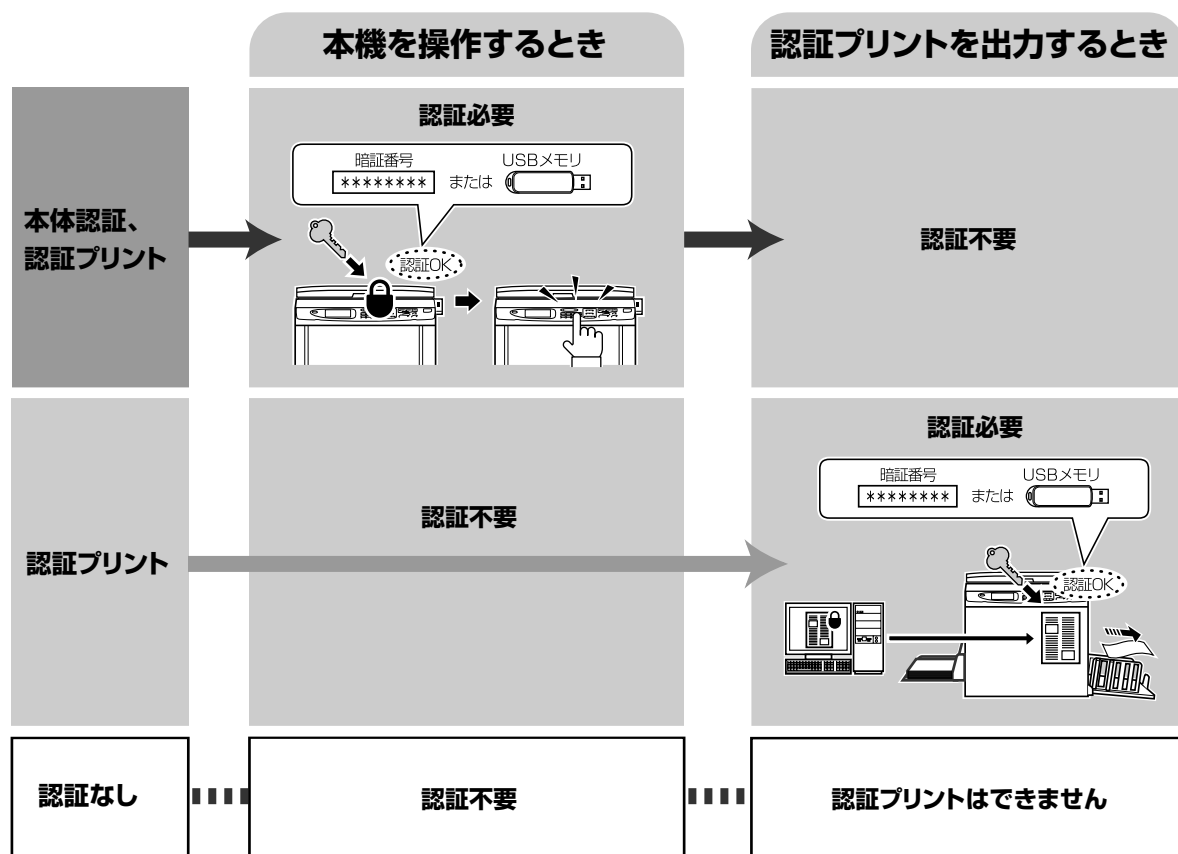
本機の操作をする際に、「認証」を必要とする設定です。本体認証を行うと、以下のメリットがあります。

- ユーザーごとの使用状況を把握できる ● P.139「各ユーザーの利用枚数を確認する」
- 本機の利用者を制限したり、ユーザーごとに印刷枚数などを制限できる ● P.103「管理者／ユーザーの登録」
- ユーザーごとに、よく使う機能をPOPエリアに登録できる ● P.143「ユーザーごとにPOP登録する」

● 認証プリント

パソコンから送るデータに認証をかけ、認証されたユーザーのみ操作できるようにする設定です。データを印刷機に送っても出力されず、認証待ちになります。他人に見られたくない文書をプリントする場合などに有効です。

認証操作のタイミング



■ 認証方式

認証方式には、「暗証番号」を使用する方法と「USBメモリ」を使用する方法があります。ユーザーは「本体認証」や「認証プリント」を行う際に、管理者が設定した認証方式で、認証を求められます。

● 暗証番号を使用する方法

ユーザーごとに最大8桁までの暗証番号を設定します。

ユーザーとして登録する利用者のリストを用意し、ユーザー登録番号と、暗証番号を記録することをおすすめします。

各ユーザーに、設定した暗証番号とユーザー登録番号(認証登録番号)をお知らせください。

● USBメモリを使用する方法

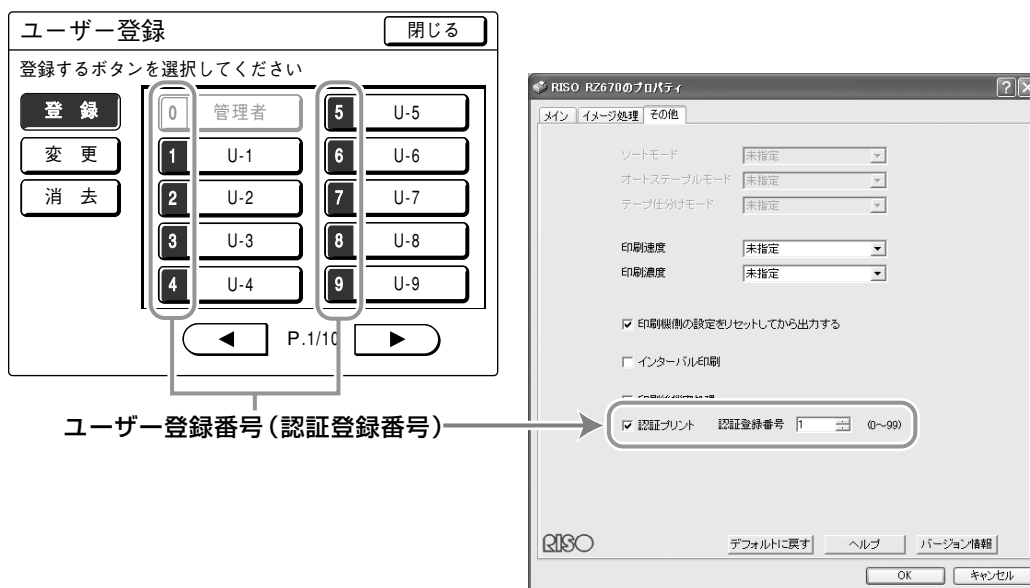
使用するユーザーの人数分USBメモリを用意し、本機に登録します。

USBメモリは、誰にどのUSBメモリを配布するのが、分かるように準備することをおすすめします。

各ユーザーに、登録したUSBメモリとユーザー登録番号(認証登録番号)を配布してください。

参考

ユーザー登録番号(認証登録番号)は、プリンタドライバで「認証プリント」を設定する際に必要です。



認証設定をする

認証機能を有効にするには、あらかじめ管理者により認証設定を行っておく必要があります。ここでは、認証設定の設定項目とその詳細について説明します。

設定項目について

■ 認証方式(☞ P.100)

認証する方法を選択します。

暗証番号 : 認証画面で、ユーザー登録時に設定した暗証番号を入力します。

USBメモリ : 認証画面で、ユーザー登録時に認証用に設定したUSBメモリを、USBスロットに挿入します。

認証設定消去 : 認証設定で登録した情報(管理者／ユーザー登録含む)が消去され、工場出荷時の設定に戻ります。



重要 認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。はじめに認証方式を確定してから、他の設定を行ってください。

■ 認証有無(認証の範囲)(☞ P.102)

使用したい認証機能に応じて、認証の範囲を以下の3種類から選択します。

本体認証、認証プリント : 本体認証と認証プリントの両方を使用します。

認証プリント : 認証プリントのみ使用します。

認証なし : 本体認証と認証プリントのいずれも使用しません。



参考 認証有無の設定と、認証操作の要・不要との関係、および使用できる認証機能との関係は、以下のようになります。

認証 有無	認証操作		その他の認証機能		
	本体操作時	認証プリント時	利用枚数集計 (☞P.139)	認証POP登録 (☞P.143)	認証データの保存* (☞P.171)
本体認証、 認証プリント	必要	不要	使用可 (各ユーザーの使用状況を 正確に把握できる)	使用可	使用可
認証プリント	不要	必要	使用可 (使用状況を正確には 把握できない)	使用不可	使用不可
認証なし	不要	認証プリント 使用不可	使用不可	使用不可	使用不可

* スキャンモードで読み取った原稿を認証データとして保存する操作

■ ユーザー登録(☛ P.103)

認証する管理者／ユーザーを最大100件(管理者を含む)まで登録できます。

登録の際に、以下の項目を設定します。

- ユーザー名称
- 所属グループの設定
- 製版・印刷の上限枚数
- 利用の許可／不許可

登録した内容は、変更・消去が可能です。

ユーザー登録や、その他の認証設定を行うには、管理者の登録が必要です。管理者の登録をすると、認証機能が働きます。

■ グループ名称(☛ P.111)

グループ管理をする場合に、グループの名称を設定します。

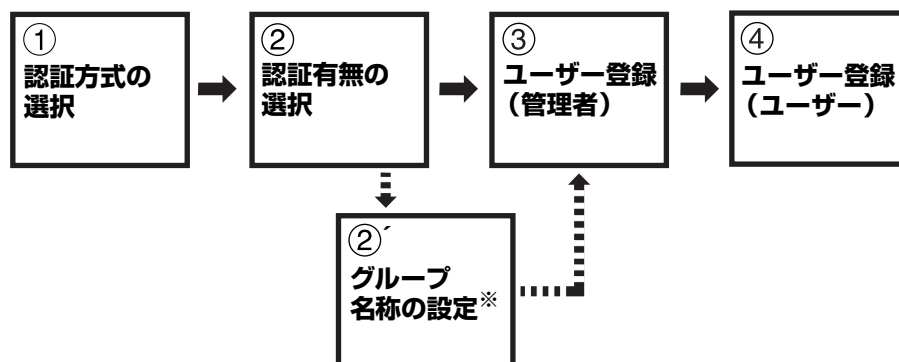
最大32グループまで登録できます。

■ カウントオールクリア(☛ P.112)

すべてのユーザー、グループの利用枚数カウントをクリアします。

認証設定の流れ

認証設定は、以下の順に設定することをおすすめします。



※「利用枚数集計」(☛ P.139)で、グループごとの集計を行いたい場合に設定します。

認証設定をする

認証方式の選択

認証設定をするときは、はじめに認証方式の設定をしてください。



認証方式を変更すると、管理者の登録を含むすべての認証設定が消去されます。

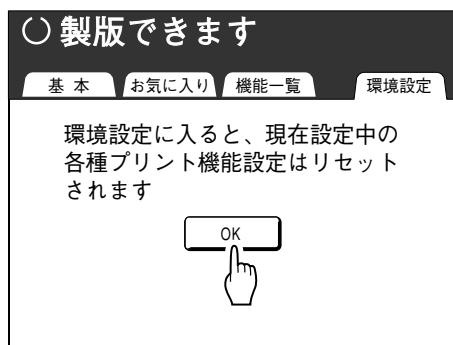
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



2

OK にタッチする

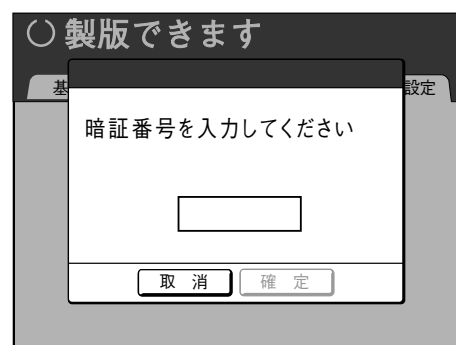


管理者が登録されていない場合は、手順4に進んでください。
すでに管理者が登録されている場合は、ここで認証画面が表示されます。手順3に進んでください。

3

管理者の認証をする

- 認証方式が「暗証番号」の場合
管理者用の暗証番号を入力します。



- 認証方式が「USBメモリ」の場合
管理者認証用のUSBメモリをUSBスロットに挿入します。



4

認証設定 にタッチする



5

認証方式 にタッチする

認証設定 閉じる

認証有無の設定ができます (3種類)

認証有無 = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます

ユーザー登録 グループ名称

その他

カウントオールクリア 認証方式

認証設定 閉じる

認証有無の設定ができます (3種類)

認証有無 = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます

ユーザー登録 グループ名称

その他

カウントオールクリア 認証方式

認証方式が変更され、[認証設定] 画面に戻ります。

ひき続き、その他の認証設定を行います。次ページ以降を参照してください。

6

認証方式を選択してボタンにタッチする

認証方式 閉じる

暗証番号

USBメモリ

認証設定消去

参考

認証設定消去 にタッチすると、すべての認証設定が消去され、工場出荷時の設定になります。

7

確定 にタッチする

認証方式 閉じる

認証方式を変更すると、
認証設定画面で設定した
すべての内容が消去されますが
よろしいですか?

取 消 確 定

認証設定消去

認証設定をする

認証の範囲(認証有無)の設定



重要 あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。
☛ P.100「認証方式の選択」

1

【認証設定】画面を表示させる
「認証方式の選択」(p.100)の手順1～4を行います。

2

認証有無 にタッチする

3

設定したい範囲のボタンにタッチする

各設定の認証の有効範囲については、P.96を参照してください。

4

確定 にタッチする

【認証設定】画面に戻り、選択した認証の範囲が設定されます。

引き続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。認証設定を終了する場合は、【認証設定】画面で「閉じる」にタッチして【環境設定】画面に戻ります。

管理者／ユーザーの登録

認証機能を有効にするには、管理者を登録する必要があります。
最大100件まで登録できます。(管理者を含む)

■ 管理者／ユーザー登録の基本操作

1

【認証設定】画面を表示させる
「認証方式の選択」(p.100)の手順1～4を行います。

重要

- あらかじめ「認証方式」の設定をしてください。
- グループ設定をする場合は、先にグループ名称を設定することをおすすめします。(P.111)

2

ユーザー登録 にタッチする

3

未登録のボタンにタッチする

実線で表示されているボタンが未登録です。
登録済みのボタンはグレー表示されタッチできません。

重要

- 必ず最初に管理者を設定してください。
- 管理者を登録していない場合は、**0 管理者** 以外はタッチできません。
- **0** は、管理者専用ボタンです。名称を変更しても管理者として扱われます。

4

暗証番号を入力するか、USBメモリを挿入する

■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで暗証番号を入力します。

最大8桁まで入力できます。
数値をクリアするときは **C** を押します。

■ 認証方式が「USBメモリ」の場合

認証用のUSBメモリをUSBスロットに挿入します。

認証用USBメモリを区別する番号が表示されます。

参考

多数のUSBメモリを登録する場合は、ユーザー名をUSBメモリに貼っておくなど、後からUSBメモリを識別できるようにしておくことをおすすめします。

認証設定をする

登録済みの暗証番号を入力したり(認証方式「暗証番号」)、すでに認証用に設定済みのUSBメモリが挿入されていると(認証方式「USBメモリ」)、確定にタッチしたときに次のメッセージが表示されます。

すでに登録されています

閉じる

[閉じる] にタッチし、未登録の暗証番号を入力するか、認証未設定のUSBメモリを挿入してください。

5

各種の設定をする

必要に応じて以下の設定を行います。

- 名称変更(☞ p.105)
- グループ設定(☞ p.106)
- 上限設定(☞ p.107)
- 利用停止(☞ p.108)

6

確定 にタッチする

登録 取消 確定

名称変更 = タナカ
グループ設定 = OFF
上限設定 = 無効
利用停止 = OFF

暗証番号を入力してください

00000000
(1桁～8桁)

ユーザー登録 閉じる

タナカに登録しました

登録 変更 消去

0	管理者	5	U-5
1	タナカ	6	U-6
2	U-2	7	U-7
3	U-3	8	U-8
4	U-4	9	U-9

◀ P.1/10 ▶

管理者またはユーザーが登録され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

複数のユーザーを登録するときは、[登録] にタッチして、手順3～6を繰り返してください。

7

閉じる にタッチする

ユーザー登録 閉じる

タナカに登録しました

登録 変更 消去

0	管理者	5	U-5
1	タナカ	6	U-6
2	U-2	7	U-7
3	U-3	8	U-8
4	U-4	9	U-9

◀ P.1/10 ▶

[認証設定]画面に戻ります。ひき続き、ユーザー登録、グループ名称の設定ができます。認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で [閉じる] にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

■ ユーザー名を入力する

1 [登録]画面で [名称変更] にタッチする

登録 [取消] [確定]

名称変更 = U-1
 フル = OFF
 上限設定 = 無効
 利用停止 = OFF

暗証番号を変更する場合は、
暗証番号を入力してください

00000000
(1桁~8桁)

2 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する

名称入力 [取消] [確定]

U-1 ◀C

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア
 ヲ リ ユ ミ ヒ ニ チ シ キ イ
 ン ル ヨ ム フ ヌ ツ ス ク ウ
 ー レ ー メ ヘ ネ テ セ ケ エ
 口 口 口 口 口 口 口 口 口 口

入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

● P.121「名称入力画面について」

参考

名称入力欄の文字は、◀C にタッチ、または C を押して消去できます。

3 [確定] にタッチする

名称入力 [取消] [確定]

User 01 ◀C

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
 Q W E R T Y U I O P
 A S D F G H J K L
 Z X C V B N M
 # \$ % & @ () []

入力した名称が登録され、[登録]画面に戻ります。

認証設定をする

■ 所属するグループを設定する

所属グループを設定すると、グループごとに利用枚数を集計できます。

☞ P.139「各ユーザーの利用枚数を確認する」

1 [登録]画面で「グループ設定」にタッチする

3 「確定」にタッチする

登録画面に戻り、設定したグループが表示されます。

2 設定するグループボタンにタッチする

参考

- グループを設定しない場合は「OFF」にタッチします。
- グループの名称を設定できます。名称入力については「グループの名称入力」(P.111)を参照してください。

■ ユーザーの利用枚数の上限を設定する

印刷枚数／製版枚数の上限を設定します。最大99,999,999枚まで設定できます。

また、現状印刷／製版枚数をクリアすることができます。

1 [登録]画面で **上限設定** にタッチする

2 入力ボックスにタッチし、テンキーで上限枚数を入力する

参考

- 入力を取り消したいときは、**C** を押します。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」には、それぞれ現在までにユーザーが印刷または製版した枚数が表示されます。
- 「現状印刷枚数」と「現状製版枚数」をクリアする場合は、それぞれの **C** にタッチします。

3 **確定** にタッチする

利用枚数の設定が変更され、[登録]画面に戻ります。

認証設定をする

■ ユーザーを利用停止にする

[登録]画面で **利用停止** にタッチして「ON」にする

「利用停止」が有効になり、利用停止されたユーザーは認証できなくなります。

参考

- 利用停止を解除するときは、**利用停止** にタッチして「OFF」にします。
- 管理者の[登録]画面では、**利用停止** は設定できません。(グレー表示されます。)

管理者／ユーザー登録の変更

1

【認証設定】画面を表示させる
「認証方式の選択」(p.100)の手順1～4を行います。

2

ユーザー登録 にタッチする

3

変更 にタッチする

4

変更するユーザーボタンにタッチする

登録済みのボタンが実線で表示されます。未登録のボタンはグレー表示されタッチできません。

5

各種の設定を変更する
「管理者／ユーザー登録の基本操作」(p.103)の手順4、5を行います。

6

確定 にタッチする

登録内容が変更され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

7

閉じる にタッチする

【認証設定】画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、【認証設定】画面で「閉じる」にタッチして、【環境設定】画面に戻ります。

認証設定をする

ユーザー登録の消去

1

【認証設定】画面を表示させる
「認証方式の選択」(p.100)の手順1~4を行います。

2

ユーザー登録 にタッチする

認証設定 [閉じる]

認証有無の設定ができます (3種類)
認証有無 = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます
ユーザー登録 グループ名称

その他
カントオールクリア 認証方式

重要

消去確定後は登録を復帰させることはできません。

3

消去 にタッチする

ユーザー登録 [閉じる]

消去するボタンを選択してください

登録 変更 消去

0 管理者 5 U-5
1 User 01 6 U-6
2 U-2 7 U-7
3 U-3 8 U-8
4 U-4 9 U-9

P.1/10

4

消去するユーザーボタンにタッチする

ユーザー登録 [閉じる]

消去するボタンを選択してください

登録 変更 消去

0 管理者 5 U-5
1 User 01 6 U-6
2 U-2 7 U-7
3 U-3 8 U-8
4 U-4 9 U-9

P.1/10

管理者以外の登録済みのボタンが実線で表示されます。未登録のボタン、および管理者ボタンはグレー表示されタッチできません。

5

確定 にタッチする

ユーザー登録 [閉じる]

1 : User 01 [1 : G-1]

この登録を削除しますよろしいですか?

取消 確定

ユーザー登録 [閉じる]

U-1の登録を消去しました

登録 変更 消去

0 管理者 5 U-5
1 U-1 6 U-6
2 U-2 7 U-7
3 U-3 8 U-8
4 U-4 9 U-9

P.1/10

選択したユーザーの設定が消去され、[ユーザー登録]画面に戻ります。

6

閉じる にタッチする

ユーザー登録 [閉じる]

U-1の登録を消去しました

登録 変更 消去

0 管理者 5 U-5
1 U-1 6 U-6
2 U-2 7 U-7
3 U-3 8 U-8
4 U-4 9 U-9

P.1/10

[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で [閉じる] にタッチして、[環境設定]画面に戻ります。

グループの名称入力

1

【認証設定】画面を表示させる
「認証方式の選択」(p.100)の手順1~4を行います。

2

グループ名称 にタッチする

認証設定 [閉じる]

認証有無の設定ができます (3種類)
[認証有無] = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます
[ユーザー登録] [グループ名称]

その他
[カウントオールクリア] [認証方式]

3

名称を入力するグループボタンにタッチする

グループ名称 [閉じる]

名称変更するボタンを選択してください

1 G-1	6 G-6
2 G-2	7 G-7
3 G-3	8 G-8
4 G-4	9 G-9
5 G-5	10 G-10

◀ P.1/4 ▶

4

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する

名称入力 [取消] [確定]

G-1 ◀C

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア
ヨ リ ユ ミ ヒ ニ チ シ キ イ
ン ル ヨ ム フ ヌ ツ ス ク ウ
。 レ ー メ ヘ ネ テ セ ケ エ
□ ロ ノ ト ソ コ オ

入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.121「名称入力画面について」

参考

カナは最大で5文字まで、英数字は最大で10文字まで入力できます。

5

確定 にタッチする

名称入力 [取消] [確定]

Group 01 ◀C

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0
Q W E R T Y U I O P
A S D F G H J K L
Z X C V B N M
□ # \$ % & @ () []

[グループ名称]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

6

閉じる にタッチする

グループ名称 [閉じる]

名称変更するボタンを選択してください

1 Group 01	6 G-6
2 G-2	7 G-7
3 G-3	8 G-8
4 G-4	9 G-9
5 G-5	10 G-10

◀ P.1/4 ▶

認証設定 [閉じる]

認証有無の設定ができます (3種類)
[認証有無] = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます
[ユーザー登録] [グループ名称]

その他
[カウントオールクリア] [認証方式]

[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面で [閉じる] にタッチして [環境設定]画面に戻ります。

認証設定をする

全ユーザーの利用枚数のクリア

全ユーザーの利用枚数を一度にクリアすることができます。



消去確定後は、カウントを復帰させることはできません。

1

【認証設定】画面を表示させる

「認証方式の選択」(p.100)の手順1～4を行います。

2

カウントオールクリア にタッチする

認証設定 [閉じる]

認証有無の設定ができます (3種類)
[認証有無] = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます
[ユーザー登録] [グループ名称]

その他
[カウントオールクリア] [認証方式]

3

確定 にタッチする

認証設定 [閉じる]

全ての登録ユーザーのカウントをクリアしてもよろしいですか?

[取消] [確定]

認証設定 [閉じる]

認証有無の設定ができます (3種類)
[認証有無] = 本体認証、認証プリント

ユーザー登録に関する設定ができます
[ユーザー登録] [グループ名称]

その他
[カウントオールクリア] [認証方式]

すべてのユーザー別利用枚数がクリアされ、
[認証設定]画面に戻ります。

認証設定を終了する場合は、[認証設定]画面
で [閉じる] にタッチして[環境設定]画面
に戻ります。

機密書類の複製を防止する

【機密】

その他

機能一覧
機 密

プリント終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。「機密」を実行すると、ドラム上のマスターは廃棄され、試験問題や名簿のような機密書類の不正な印刷を防止できます。



参考

強制的に「機密」を促す設定ができます。

➡ P.162 「印刷済みのマスターを安全に管理する」

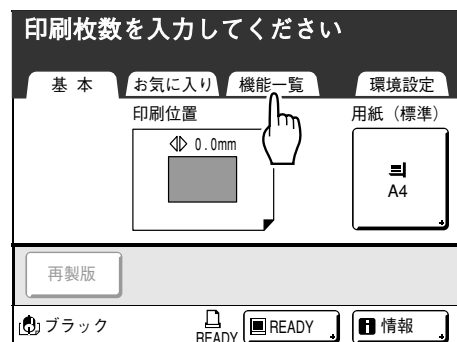
1

印刷の終了を確認する

すべての印刷が終了していることを確認します。

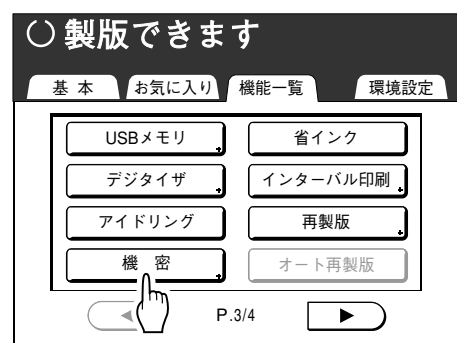
2

印刷基本画面で「機能一覧」にタッチする



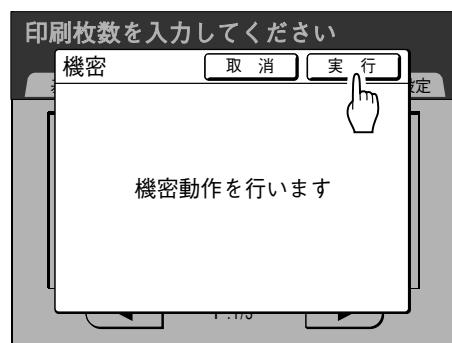
3

「機密」にタッチする



4

「実行」にタッチする



機密動作しています...

現在のマスターが廃棄され、ドラムに新しいマスターが装着されます。

参考

「機密」を行った後に「再製版」はできません。

● その他の機能

グループに分けてプリントする

【プログラム】

製版

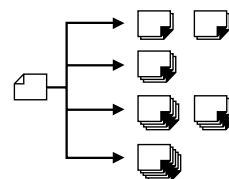
機能一覧
プログラム

「プログラム」は、印刷枚数などをあらかじめ設定することで、そのつど、印刷枚数を入力しないでプリントできる機能です。各区切りで印刷がいったん停止します。

設定したプログラムを登録しておくと呼び出して使用することができます。

学校などで、各学年のクラスの人数を登録しておくとう便利です。

プログラムには、「1原稿プログラム」と「多原稿プログラム」があります。



重要

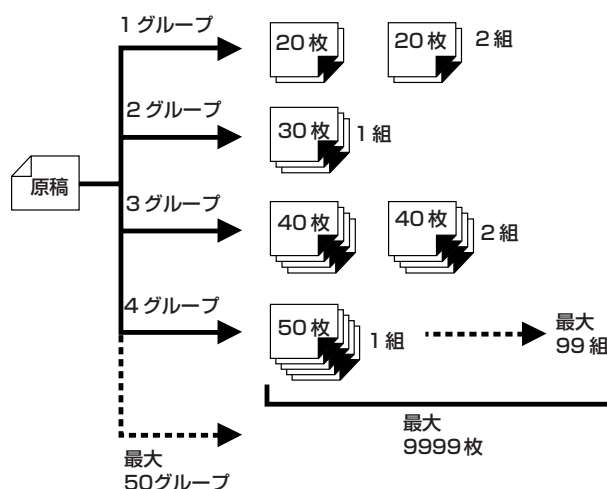
- 「プログラム」でのプリント終了後は、リセットを押して「プログラム」を解除してください。
- 「プログラム」は、「オート再製版」とは併用できません。

■ 1原稿プログラム

1枚の原稿をいくつかのグループに分けてプリントできます。

最大50グループまで、1グループに最大9999枚で99組まで設定できます。

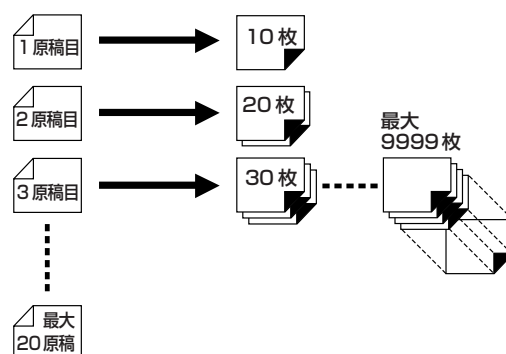
各グループに対して、プリント枚数とその枚数を何組プリントするかを設定できます。



■ 多原稿プログラム

1原稿の最大プリント枚数は9999枚までです。

複数枚の原稿(最大20原稿)をそれぞれ異なる枚数でプリントできます。



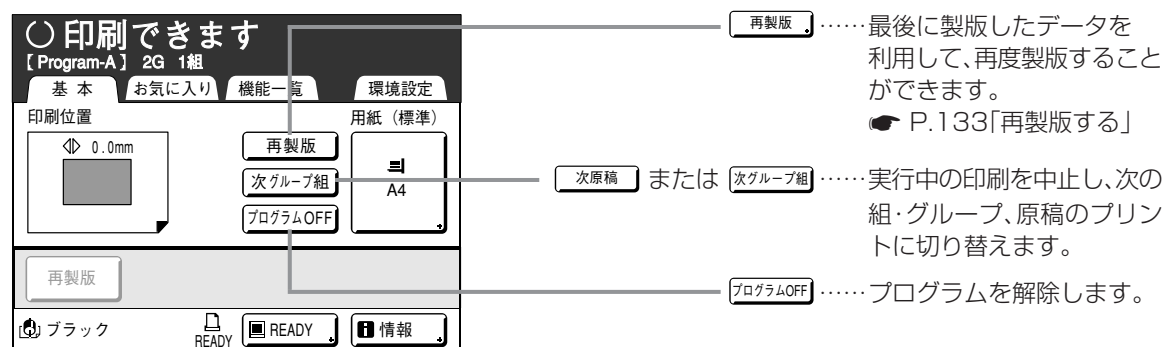
■ プリント方法

プログラムを使用してプリントする方法は、2種類あります。

- ・プログラムを設定してプリント(登録しないでプリントする場合) ● P.116
- ・登録済みのプログラムを呼び出してプリント(あらかじめ登録した設定でプリントする場合) ● P.118

印刷基本画面で次の指定ができます。

指定するときは、それぞれのボタンにタッチしてください。



参考

オプションのSTソーターとプログラムを組み合わせると便利です。

STソーターを使用すると、設定した組や原稿の印刷終了ごとに自動的にテープが出力され、仕分けが行われます。組ごとに印刷物を取り除いたり、合紙を入れたりする必要がありません。

STソーターを使用するときは、機能一覧画面で「テープ仕分け」を「ON」にしてください。

STソーターがない場合は、区切りの停止中に排紙台から印刷物を取り出すか、合紙を入れてください。

グループに分けてプリントする

プログラムの設定

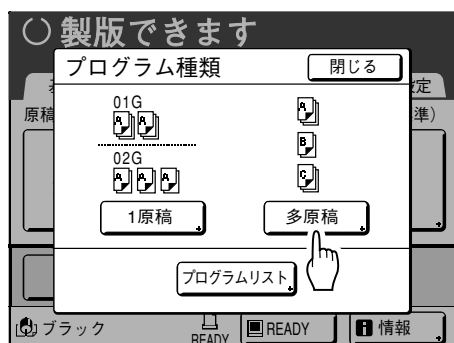
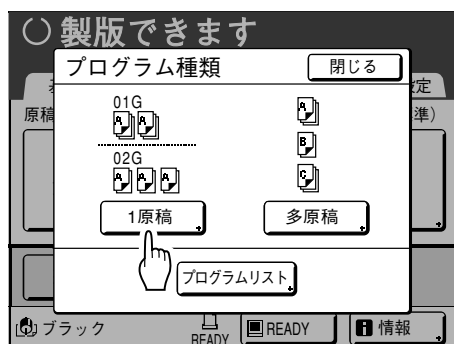
1 原稿プログラムと多原稿プログラムの設定のしかたを説明します。
プログラムの設定は、タッチパネルの操作のほかに、テンキーとその周辺のキーだけでも操作することができます。



参考

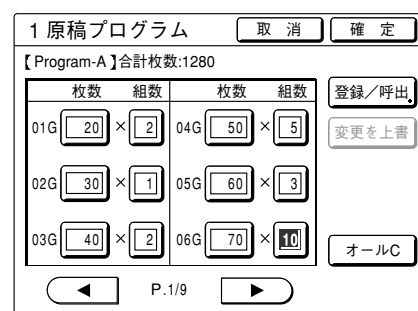
- (×) を押すと「1 原稿プログラム」、
(+) を押すと「多原稿プログラム」の
入力画面(手順3)にショートカットでき
ます。
- 製版基本画面から、
機能一覧 → プログラム
の順にタッチしても[プログラム種類]
画面が表示されます。

2 1原稿 または 多原稿 に タッチする



3 テンキーで枚数などを入力する

■ 1 原稿プログラム のとき

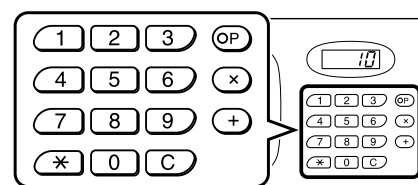


① テンキーで枚数を入力する

② (×) または (*) を押す

③ テンキーで組数を入力する

④ (+) または (*) を押す



複数のグループを設定するときは、①～
④ の手順を繰り返してください。

参考

- 枚数または組数をまちがえたときは、
(C) を押して消去した後に入力しな
おしてください。
- (オールC) にタッチすると、入力したすべ
ての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計
が画面上部に表示され、実際に印刷する
枚数を確認できます。

重要

ここで設定したプログラムを登録する
ときは、[登録/呼出] にタッチしてくだ
さい。
確定後には登録できません。
登録する場合は、「プログラムの登録」
(P.119)の手順2へ進んでください。

■ 多原稿プログラムのとき

多原稿プログラム [取消] [確定]

【Program-B】合計枚数:21

枚数	組数
原稿01 [1]	原稿04 [4]
原稿02 [2]	原稿05 [5]
原稿03 [3]	原稿06 [6]

[登録/呼出] [変更を上書] [オールC]

P.1/4

- ① テンキーで枚数を入力する
- ② (+) または (*) を押す
- ③ 上記 ① ② の手順を繰り返して、各原稿のプリント枚数を入力する

参考

- 枚数または組数をまちがえたときは、[C] を押して消去した後に入力しなおしてください。
- [オールC] にタッチすると、入力したすべての枚数と組数を一度に消去できます。
- 入力したすべてのプリント枚数の合計が画面上部に表示され、実際に印刷する枚数を確認できます。

重要

ここで設定したプログラムを登録するときは、[登録/呼出] にタッチしてください。確定後には登録できません。登録する場合は、「プログラムの登録」(P.119)の手順2へ進んでください。

4

[確定] にタッチする

1 原稿プログラム [取消] [確定]

【Program-A】合計枚数:1280

枚数	組数	枚数	組数
01G [20] × [2]	04G [50] × [5]		
02G [30] × [1]	05G [60] × [3]		
03G [40] × [2]	06G [70] × [10]		

[登録/呼出] [変更を上書] [オールC]

P.1/9

○ 製版できます

【Program-A】 6G 10組

基本 お気に入り 機能一覧 環境設定

原稿 読み濃度 変倍 用紙 (標準)

文字 オート 100% A4

[連写]

ブラック READY 情報

元の画面に戻り、設定したプログラムでプリントできます。

参考

枚数または組数を入力後に [確定] にタッチしなくても、[スタート] を押せばプリントを開始することができます。

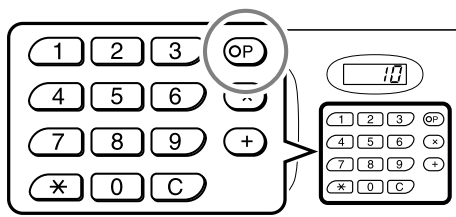
グループに分けてプリントする

プログラムを呼び出してプリントする

登録済みのプログラムを呼び出して、プリントや設定内容の変更ができます。

1

OP を押す

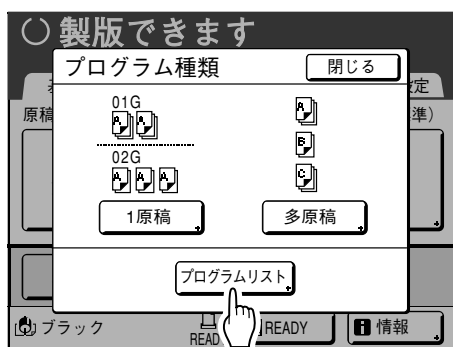


参考

製版基本画面から、
機能一覧 → プログラム
の順にタッチしても[プログラム種類]画面が表示されます。

2

プログラムリスト にタッチする



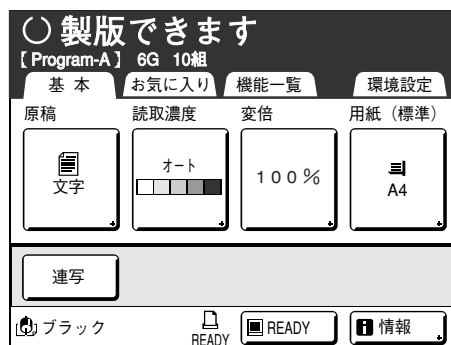
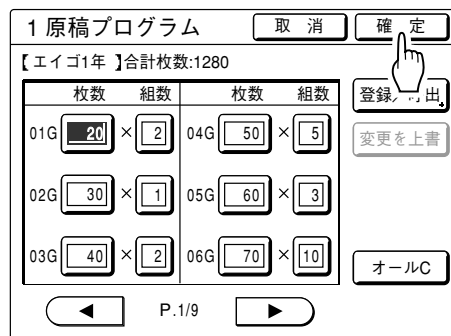
3

呼び出したいプログラムに
タッチする



4

確定 にタッチする



元の画面に戻り、呼び出したプログラムでプリントできます。

参考

プログラム印刷を中止したい場合は、OP を押して(または 機能一覧 → プログラム にタッチして)、表示される画面で プログラムOFF にタッチしてください。
⏏ を押してプログラム印刷を中止した場合、そのときの他の設定もリセットされてしまいます。

プログラムの登録

よく使うプログラムの設定を登録しておく、呼び出して繰り返しプリントできます。

1原稿プログラムと多原稿プログラムの設定は、あわせて12件まで登録できます。

1

プログラムを設定する

「プログラムの設定」(P.116)の手順1～3を行います。

2

プログラム画面で「登録/呼出」にタッチする

枚数		組数		枚数		組数		登録/呼出 変更/上書
01G	20	×	2	04G	50	×	5	
02G	30	×	1	05G	60	×	3	
03G	40	×	2	06G	70	×	10	

オールC

◀ P.1/9 ▶

3

未登録のボタンにタッチする

登録するボタンを選択してください

登録	P-01	P-05	P-09
呼出	P-02	P-06	P-10
名称変更	P-03	P-07	P-11
消去	P-04	P-08	P-12

実線が表示されている未登録のボタンにタッチしてください。(グレー表示のボタンは、登録済みです。)

4

「確定」にタッチする

プログラムリスト

登録するボタンを選択してください

【P-01】
設定内容を登録します
よろしいですか?

取消 確定

プログラムリスト

P-01に登録しました

登録	P-01	P-05	P-09
呼出	P-02	P-06	P-10
名称変更	P-03	P-07	P-11
消去	P-04	P-08	P-12

設定したプログラムが登録され、「プログラムリスト」画面に戻ります。

必要があれば、「プログラムの名称入力」(P.120)の手順3へ進んでください。

参考

登録後、「プログラムリスト」画面の「閉じる」にタッチするとプログラム画面に戻ります。プログラム画面の「確定」にタッチすると、登録したプログラムでプリントできます。

枚数		組数		枚数		組数		登録/呼出 変更を上書
01G	20	×	2	04G	50	×	5	
02G	30	×	1	05G	60	×	3	
03G	40	×	2	06G	70	×	10	

オールC

◀ P.1/9 ▶

グループに分けてプリントする

プログラムの名称入力

登録したプログラムの名称を、用途や目的に合わせた名称に変更できます。

1

機能一覧画面で **プログラム** にタッチする



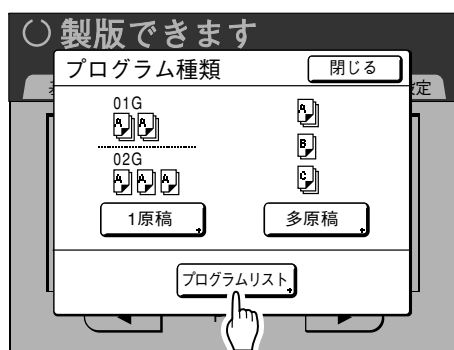
参考

すでに **プログラム** が反転しているときは、タッチするとプログラム画面が表示され、[名称入力]画面に進めません。

プログラムOFF にタッチ後 **確定** にタッチして機能一覧画面に戻り、再度 **プログラム** にタッチしてください。

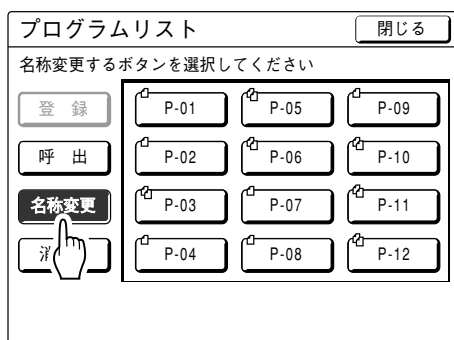
2

プログラムリスト にタッチする



3

名称変更 にタッチする

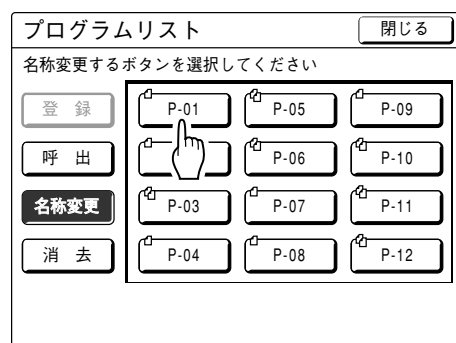


参考

プログラムのボタンの左上に表示される は1原稿プログラム、 は多原稿プログラムを示しています。

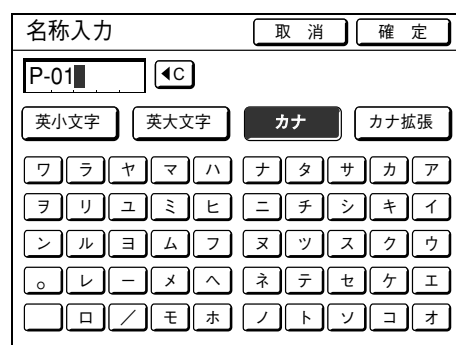
4

名称を入力したいプログラムにタッチする



5

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

➡ P.121「名称入力画面について」

参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、**⏮** にタッチ、または **C** を押して消去できます。

6

すべての文字を入力後、**確定**にタッチする

名称入力 取消 確定

エイゴ1年 ◀C

英小文字 英大文字 カナ **カナ拡張**

ヤ	ア	全	学	年	バ	バ	ダ	ザ	ガ
ユ	イ	県	校	組	ビ	ビ	ヂ	ジ	ギ
ヨ	ウ	市	期	部	ブ	ブ	ヅ	ズ	グ
ツ	エ	町	科	課	ベ	ベ	デ	ゼ	ゲ
	オ	村	月	係	ボ	ボ	ド	ゾ	ゴ

プログラムリスト 閉じる

名称変更するボタンを選択してください

登録 呼出 名称変更 消去	エイゴ1年	P-05	P-09
	P-02	P-06	P-10
	P-03	P-07	P-11
	P-04	P-08	P-12

[プログラムリスト]画面に戻り、入力した名称が登録されます。

名称入力画面について

■ 英小文字

名称入力 取消 確定

◀C

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
q	w	e	r	t	y	u	i	o	p
a	s	d	f	g	h	j	k	l	
z	x	c	v	b	n	m			
=	+	-	_	,	.	!	~	`	

■ 英大文字

名称入力 取消 確定

◀C

英小文字 **英大文字** カナ カナ拡張

1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
Q	W	E	R	T	Y	U	I	O	P
A	S	D	F	G	H	J	K	L	
Z	X	C	V	B	N	M			
#	\$	%	&	@	(	)	[	]	

■ カナ

名称入力 取消 確定

◀C

英小文字 英大文字 **カナ** カナ拡張

ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア
ヲ	リ	ユ	ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ
ン	ル	ヨ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ
。レ	ー	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	エ	
ロ	ノ	モ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	オ	

■ カナ拡張

名称入力 取消 確定

◀C

英小文字 英大文字 カナ **カナ拡張**

ヤ	ア	全	学	年	バ	バ	ダ	ザ	ガ
ユ	イ	県	校	組	ビ	ビ	ヂ	ジ	ギ
ヨ	ウ	市	期	部	ブ	ブ	ヅ	ズ	グ
ツ	エ	町	科	課	ベ	ベ	デ	ゼ	ゲ
	オ	村	月	係	ボ	ボ	ド	ゾ	ゴ

参考

- カナは最大で5文字まで、英数字は最大で10文字まで入力できます。
- 数字はテンキーでの入力もできます。
- あらかじめ登録してある名称や、入力した文字を消去するときは ◀C にタッチしてください。1回タッチするたびに、1文字消去されます。

グループに分けてプリントする

プログラムの消去

1

【プログラムリスト】画面を表示させる

「プログラムを呼び出してプリントする」(P.118)の手順1、2を行います。

2

消去 にタッチする

3

消去するプログラムにタッチする

4

確定 にタッチする

選択したプログラムが消去され、【プログラムリスト】画面に戻ります。

プログラムの設定内容の変更

1

変更したいプログラムを呼び出す

「プログラムを呼び出してプリントする」(P.118)の手順1～3を行います。

2

プログラムの設定を変更する

表示された画面で、枚数や組数を変更します。

参考

設定については、「プログラムの設定」(P.116)の手順を参照してください。

3

変更を上書 にタッチする

枚数		組数		枚数		組数		登録/呼出
01G	50	×	2	04G	28	×	6	
02G	30	×	5	05G	20	×	8	
03G	34	×	2	06G	50	×	10	

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

P.1/9

4

確定 にタッチする

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

01G 02G 03G

【P-01】 設定内容を上書きしますよろしいですか?

取消 確定

枚数		組数		枚数		組数		登録/呼出
01G	50	×	2	04G	28	×	6	
02G	30	×	5	05G	20	×	8	
03G	34	×	2	06G	50	×	10	

1 原稿プログラム 取消 確定

【P-01】 合計枚数:1146

P.1/9

変更したプログラム設定が上書き登録され、プログラム画面に戻ります。

メモリー機能を使う

[メモリー]

その他

機能一覧
メモリー

プリント時に行った各種の設定を登録することができます。この機能を「メモリー」といいます。以後、同様の設定でプリントをしたいときには、登録したメモリーを呼び出すだけでプリントができます。最大10件の登録が可能です。

メモリーに登録できる設定は次のとおりです。

製版／印刷時

原稿モード	周囲余白	レイアウト原稿	印刷速度	連続	オート再製版
網点	用紙サイズ	コントラスト強調	印刷濃度	インターバル印刷	AF読取面指定*
読取濃度	フルサイズ製版	トーンカーブ選択	印刷位置	AFオート製版*	分離ファン
省インク	ブックモード	AFとじ代設定	特殊給紙調整	ソーター*	サクシヨンファン
変倍	連写	印刷枚数	排紙ウィング特殊	テープ仕分け*	

※本機のオプション装着時のみ

RLPモード(連携機(Prioa)接続時のみ)

原稿モード	ブックモード	電子ソート*	ステーブル*
網点	レイアウト原稿	両面*	パンチ*
読取濃度	コントラスト強調	フェイスアップ*	中綴じ*
変倍	トーンカーブ選択	区分積み*	回転ソート*
周囲余白	印刷枚数	メールボックス*	リバーズ出力*
用紙トレイ	ブックレット*	ソート*	

※連携機(Prioa)のオプション装着時のみ

[メモリー]画面の表示方法は、2種類あります。

- ディスプレイで **機能一覧** → **メモリー** の順にタッチする方法
- テンキー部分の **✳** を押す方法

メモリー

閉じる

登録するボタンを選択してください

登録

呼出

名称変更

消去

1 M-1

2 M-2

3 M-3

4 M-4

5 M-5

6 M-6

7 M-7

8 M-8

9 M-9

0 M-10

以下の手順ではディスプレイにタッチする方法で説明します。

メモリーの登録

1

各種のプリント機能を設定する

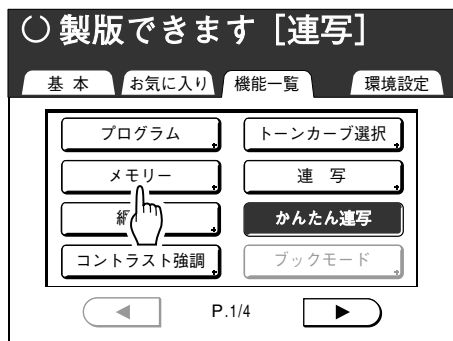
2

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



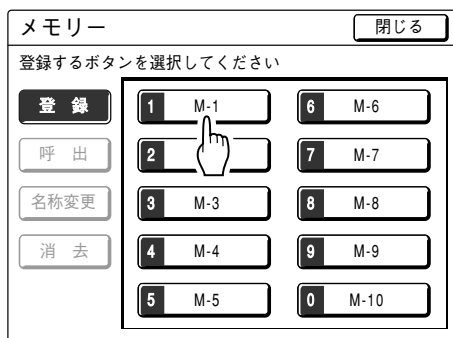
3

メモリー にタッチする



4

未登録のボタンにタッチする



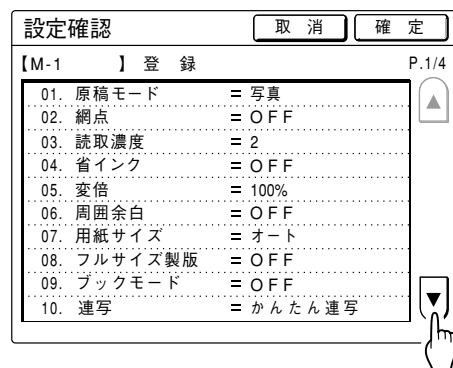
実線で表示されているボタンが未登録です。登録済みのメモリーはグレー表示されタッチできません。

参考

※ を使って表示させた場合は **登録** にタッチしてから、登録するボタンにタッチしてください。

5

設定内容を確認する



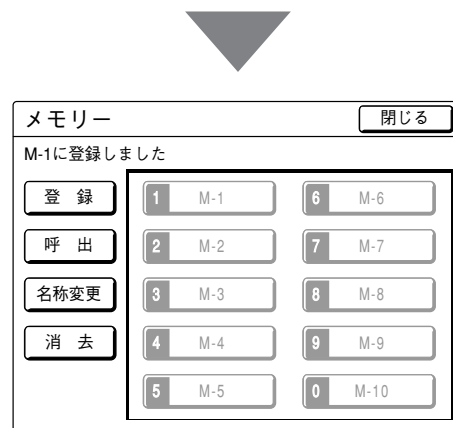
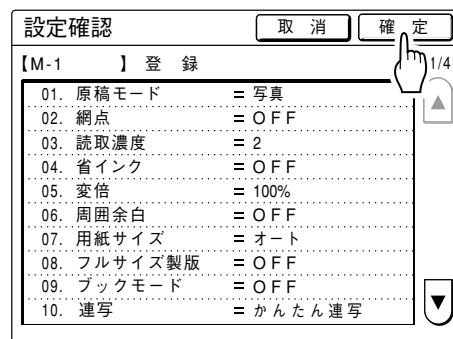
▼ にタッチして最後の項目まで確認してください。

参考

変更したい内容があるときは **取消** にタッチして、設定をしなおしてください。

6

確定 にタッチする



[メモリー]画面に戻り、指定した設定が登録されます。

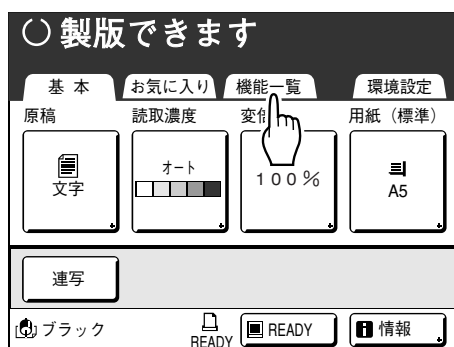
必要があれば、「メモリーの名称入力」(P.126)の手順3に進んでください。

メモリー機能を使う

メモリーの名称入力

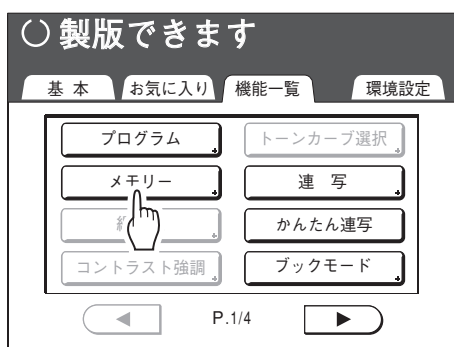
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



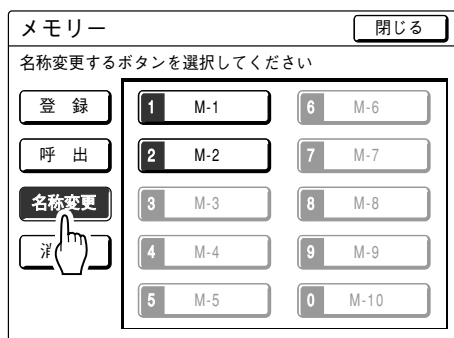
2

メモリー にタッチする



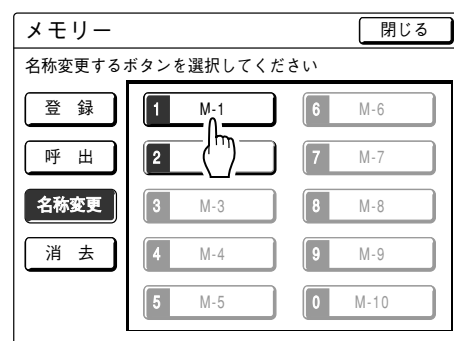
3

名称変更 にタッチする



4

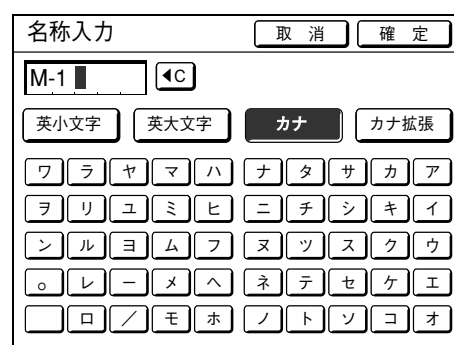
名称を入力したいメモリーにタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

5

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

☛ P.121「名称入力画面について」

参考

名称入力欄にあらかじめ入力されている文字は、**◀C** にタッチ、または **C** を押して消去できます。

6

すべての文字を入力した後

確定 にタッチする

入力した名称が登録され、[メモリー]画面に戻ります。

7

閉じる にタッチする

機能一覧画面に戻ります。

メモリー機能を使う

メモリーを呼び出してプリントする

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



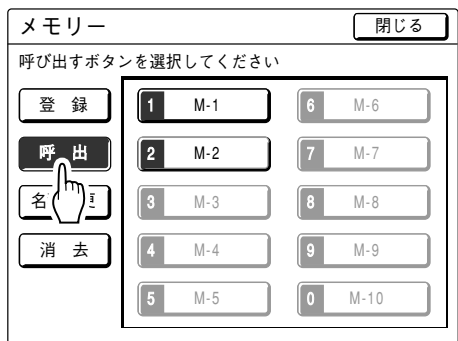
2

メモリー にタッチする



3

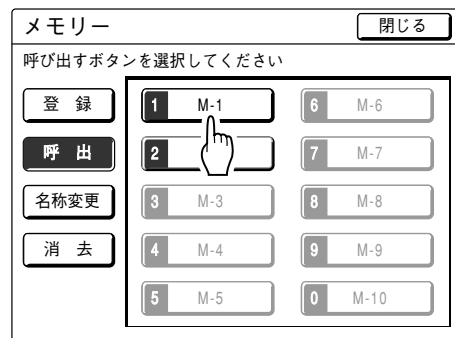
呼出 にタッチする



未登録のボタンは、グレー表示されタッチできません。

4

呼び出すボタンにタッチする



参考

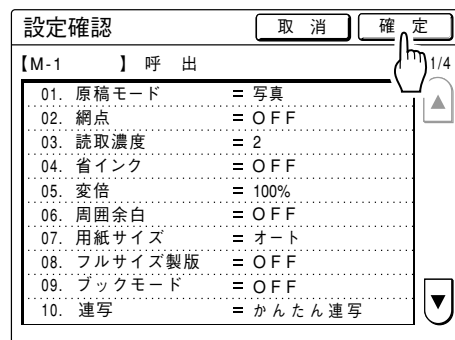
テンキーの入力で呼び出すこともできます。

M-1～9…… **1** ～ **9**

M-10…… **0**

5

設定内容を確認して、**確定** にタッチする



○製版できます [連写]



機能一覧画面に戻り、呼び出したメモリーの設定でプリントができます。

通常の手順でプリントを行ってください。

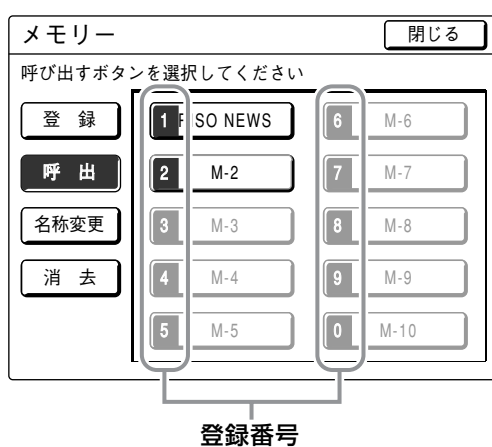
参考

呼び出したメモリーを取り消したい場合は、 を押してください。

かんたんな呼び出しかた

ディスプレイにタッチせず、キー操作だけでメモリーの呼び出しができます。

たとえば、M-2を呼び出してプリントしたい場合には、原稿をセットし、、、 の順にキーを押せば、M-2が呼び出されてプリントが開始されます。

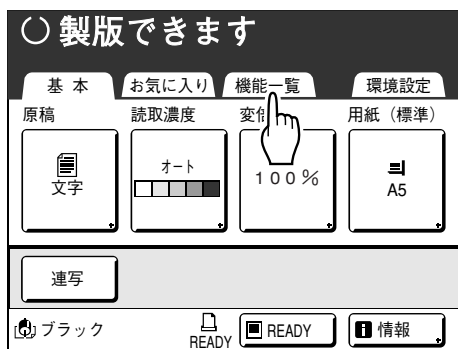


メモリー機能を使う

メモリーの消去

1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

メモリー にタッチする

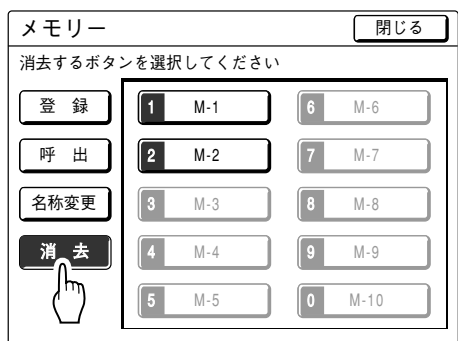


重要

- 消去して良い設定内容かどうかを確認してください。
- 消去確定後は復帰させることはできません。

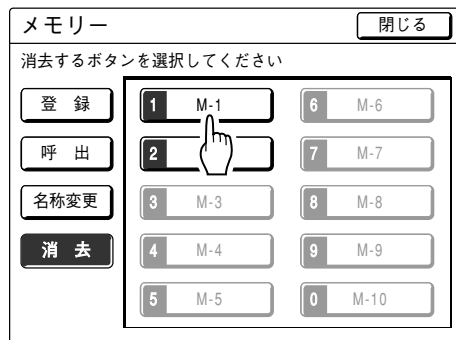
3

消去 にタッチする



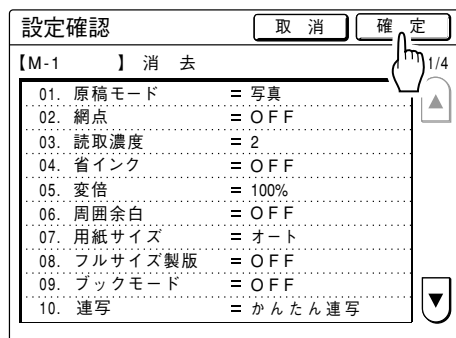
4

消去するボタンにタッチする



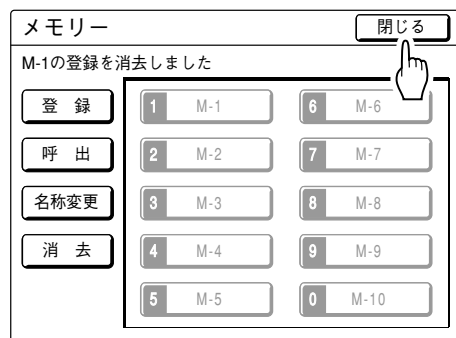
5

確定 にタッチする



6

閉じる にタッチする



機能一覧画面に戻ります。

割り込み印刷を防止する

〔占有延長〕

印刷

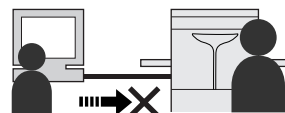
機能一覧
占有延長

パソコンと接続した環境でご使用の場合に便利な機能です。

印刷の途中でも、本機が動作していないときや操作していない状態で一定の時間(占有時間)が経過すると、本機は作業が終了したと認識します。

その際に、他の人がパソコンから出力指示を行うと、そのジョブの処理が開始され、使用中のマスターを排版し、製版が行われてしまいます。

このようなパソコンからの割り込みは、「占有時間」を延長することで防止できます。印刷作業を一時中断するときや、チラシの印刷中などで割り込まれたくない場合などには「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。



参考

- 「環境設定」で「占有延長」を設定したときに延長される時間を、5分、10分、30分から選ぶことができます。工場出荷時は5分に設定されています。

● P.147「初期設定を変更する／占有延長時間」

- 次の動作または操作をしている場合は、「占有時間」のカウントが開始されません。

- ・ 本機が動作しているとき(製版、印刷、機密、アイドルングなど)
- ・ ソーター等のオプション機器が単独で動作しているとき
- ・ 操作パネルのキーやボタン等を操作しているとき
- ・ 設定メニュー画面を開いているとき

- 占有時間延長中には、オートスリープ／オートシャットOFFなどは実行されません。

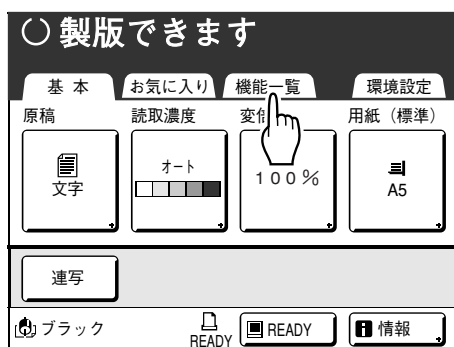
オートスリープ／オートシャットOFF : 「占有延長」終了後からカウントして動作します。

オートシャットOFF時刻 : 次の日のその時刻までシャットOFFしません。

● P.148「初期設定を変更する／省エネモード」

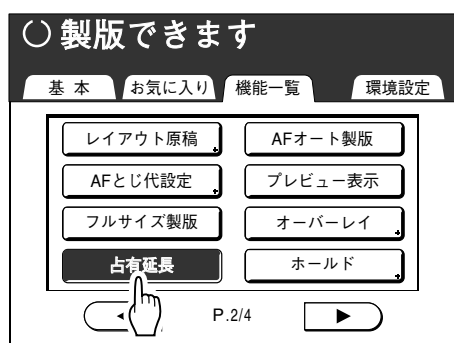
1

製版基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

占有延長 にタッチする



「占有時間」が延長されます。

アイドリングをする

[アイドリング]

製版

機能一覧
アイドリング

長時間使用していないときや、ドラムを交換したときに印刷を行うと、刷り始めの数枚が薄く印刷されることがあります。製版前に「アイドリング」を行うことにより、刷り始めから鮮明に印刷ができ、余分な用紙の使用も減らすことができます。

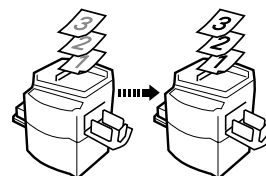


「アイドリング」は製版から行う場合に有効です。印刷しか行わない場合には、「アイドリング」を設定しても実行されません。

参考

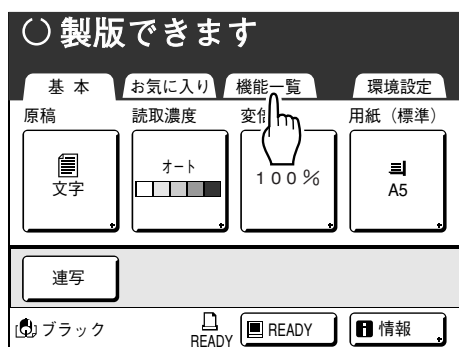
「環境設定」で「オートアイドリング」を設定すると、最後の印刷から未使用の状態で一定以上の時間が経過すると、次の製版の前に自動で「アイドリング」を実行します。

☛ P.148「初期設定を変更する／オートアイドリング」



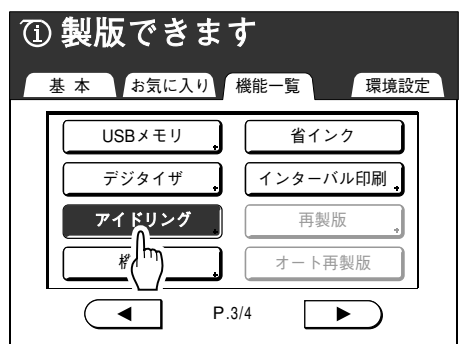
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

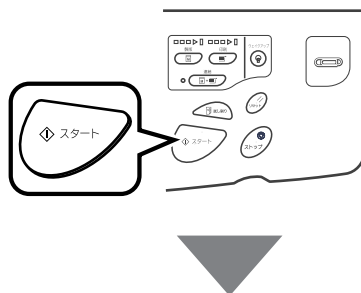
アイドリング にタッチする



画面に ① が表示されます。

3

スタート を押す



アイドリングしています...

「アイドリング」を行った後に製版を開始します。

参考

アイドリング終了後、すぐに製版を開始しますので、あらかじめ原稿をセットしてから **スタート** を押してください。

再製版する

〔再製版〕〔オート再製版〕

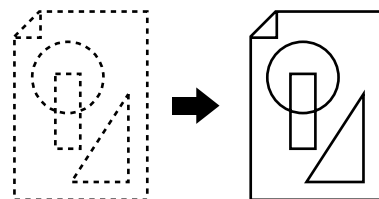
その他

機能一覧
再製版

最後に製版したマスターのデータは、本機に一時的に記憶されています。

「再製版」、「オート再製版」は、そのデータを利用することで、あらかじめ原稿をセットすることなく、同じ設定で再度マスターを製版できます。

原稿の向きを180度回転させて再製版することもできます。



「オート再製版」は、一定枚数の印刷が終了した時点で、自動的に「再製版」を実行する機能です。

何千、何万枚単位で大量に印刷する場合、印刷完了前にマスターが劣化することがあります。

あらかじめ「オート再製版」を「ON」にして印刷を開始すると、印刷枚数が一定枚数(再製版開始枚数)に到達した時点で「再製版」して自動的に印刷を続行するため、刷りははじめから終わりまで、一定の品質で印刷できます。

参考

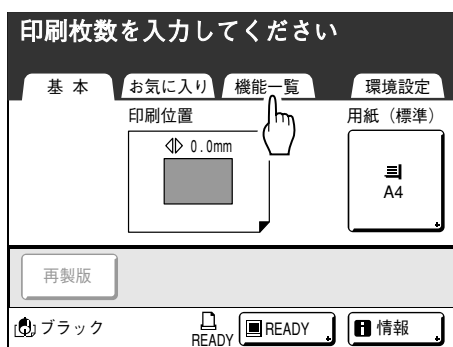
- パソコンから送ったデータも「再製版」ができます。ただし、複数ページのジョブ終了後は、最終ページのみ実行されます。
- 「再製版」は、次の状態では実行できません。
 - ・ 起動直後
 - ・  を押した後
 - ・ 機密実行後
 - ・ 連写実行後
 - ・ ブックモード実行後
 - ・ 製版完了前にエラーが発生したとき
 - ・ RLP出力実行後
 - ・ カードカウンター(オプション)集計製版後
- 「オート再製版」時の試し刷りの枚数は、環境設定で変更できます。➡ P.148
- 印刷位置調整をした場合、再製版後も印刷位置(天地方向)を記憶しています。再度、印刷位置を調整する必要がありません。

再製版する

再製版を実行する

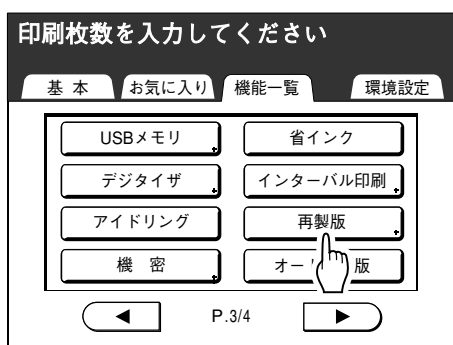
1

印刷基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

再製版 にタッチする

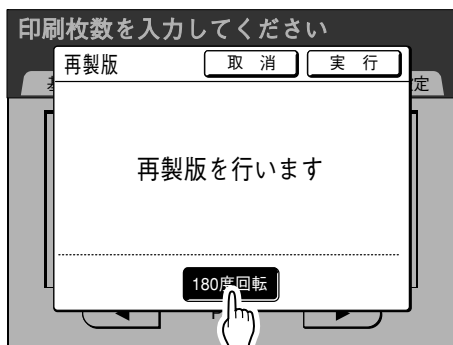


参考

180度回転 にタッチして選択すると、原稿を180度回転して再製版することができます。

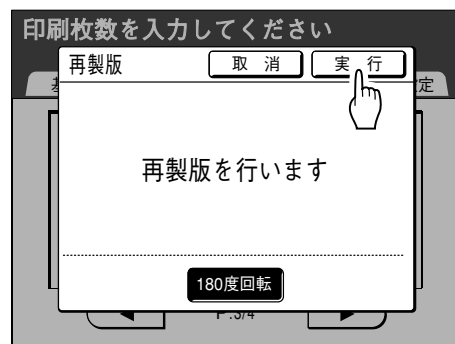
「180度回転」を設定すると、「オート再製版」を行う場合も180度に回転して再製版を行います。

「180度回転」の解除は、もう一度 **180度回転** にタッチします。



3

実行 にタッチする



再製版しています...

「再製版」を開始します。

オート再製版を使う

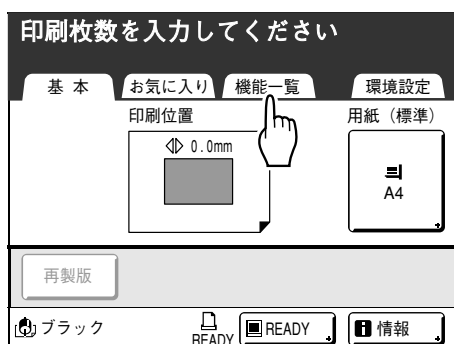
「オート再製版」を使うには、あらかじめ「環境設定」で「オート再製版設定」を有効にしておく必要があります。

重要

- 「環境設定」で「オート再製版設定」を有効にしていないと、「オート再製版」は「ON」にできません。
 - P.148「初期設定を変更する／オート再製版設定」
- 「オート再製版」は、以下の場合には「OFF」になります。
 - ・「プログラム」による印刷を選択したとき
 - ・  を押したとき
 - ・ダイレクトプリントで次のジョブを処理しようとしたとき

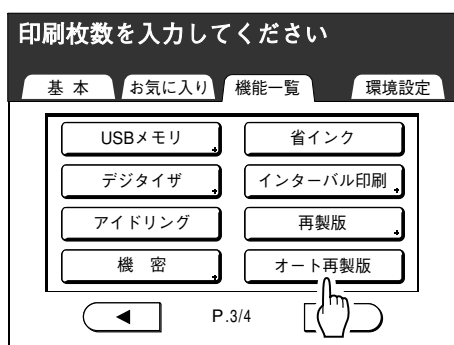
1

印刷基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

オート再製版 にタッチする



「オート再製版」が「ON」になります。
この状態でプリントを実行すると、指定した
枚数の印刷後に「オート再製版」が実行され
ます。

参考

オート再製版 がグレー表示されているときは、「環境設定」の「オート再製版設定」で「有効」を選択してください。

- P.148「初期設定を変更する／オート再製版設定」

試し刷りを確認しながらプリントする

(オプションの自動原稿送り装置を装備の場合)

[AFオート製版]

製版

機能一覧
AFオート製版

自動原稿送り装置にセットした複数の原稿を「連続」でプリントすると、すべてのプリントを自動で行うことができますが、原稿ごとの仕上がりは確認できません。「AFオート製版」を設定すると、製版後の試し刷りをした時点でいったん停止するので、原稿ごとの仕上がりを確認できます。

重要

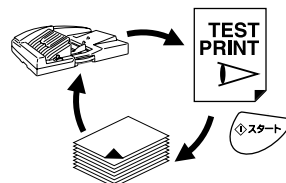
「AFオート製版」を「ON」にするときには、「連続」を「OFF」にしてください。

☞ P.56「続けてプリントする」

参考

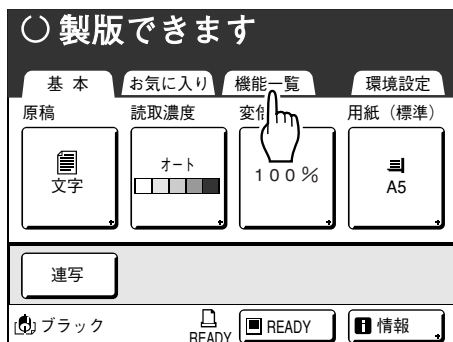
「環境設定」で「AFオート製版」の初期設定を変更できます。

☞ P.146「初期設定を変更する／AFオート製版基本」



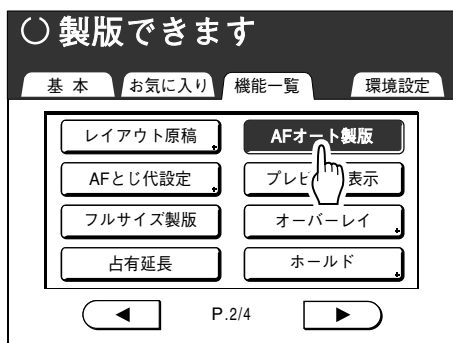
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

AFオート製版 にタッチする



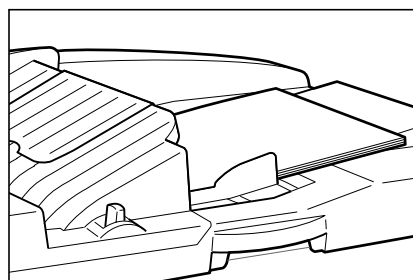
「AFオート製版」が設定されます。

参考

AFオート製版 が表示されていない(あるいはグレー表示)の場合は、操作パネルの **連続** (回+三) をOFFにしてください。

3

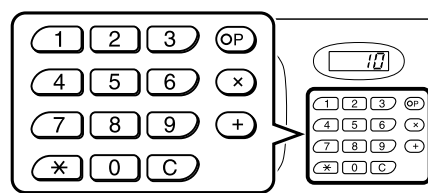
原稿を自動原稿送り装置にセットする



原稿をセットすると、自動的に製版基本画面に切り替わります。

4

テンキーで印刷枚数を入力する



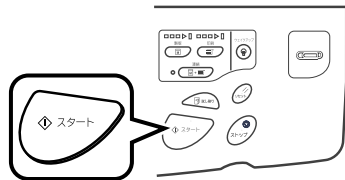
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**C** を押して消去した後に入力しなおしてください。

5

①スタートを押す



製版を開始し、試し刷りを出して停止します。

6

試し刷りを確認する

必要があれば、各種調整を行うことができます。

7

①スタートを押す

指定した枚数の印刷後に、次の原稿を製版して、試し刷りで停止します。

以降手順6、7を繰り返してください。

原稿を180度回転して製版する

[180度回転]

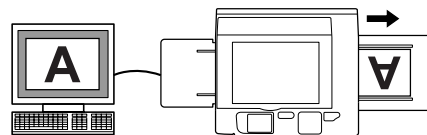
その他

機能一覧
180度回転

ダイレクトプリント時、パソコンからの原稿データを180度回転して製版することができます。天側に広範囲のベタがある原稿データなどに使用すると、紙詰まりを防ぐことができます。

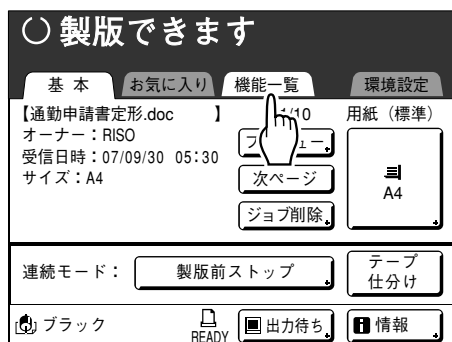


「180度回転」は、プリンタドライバからも設定できますが、本機とプリンタドライバの両方で設定すると、設定が無効になります。(回転されないでプリントされます。)



1

製版基本画面で、**機能一覧** にタッチする



2

180度回転 にタッチする



[180度回転]が設定されます。

各ユーザーの利用枚数を確認する

【利用枚数集計】

各ユーザーが使用状況を把握したいときに、印刷枚数などの集計結果をさまざまな方法で出力できます。また、管理者に集計結果を報告する日などがある場合に、お知らせ日設定をしておく、毎月設定した日に集計日お知らせ画面が表示されます。

重要

使用状況を管理する場合は、「認証設定」で、「認証有無」を「本体認証、認証プリント」に設定してください。
(☞ P.102)「本体認証、認証プリント」に設定していないと、正しい利用枚数は集計できません。

集計出力

各ユーザーの印刷／製版枚数などを出力できます。
「利用枚数集計」は、本機が認証状態にある場合のみ出力できます。

■ 出力方法

利用枚数の集計結果は、以下の方法で出力できます。

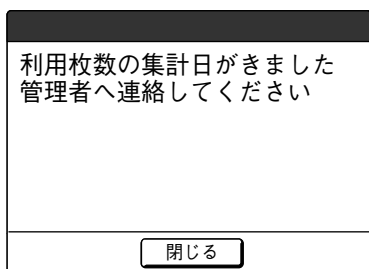
- プリント
利用枚数データを本機からプリントします。
- メール送信
利用枚数データを添付して、送信先として設定されたアドレスにメールを送ります。
あらかじめメール設定されている必要があります。メール設定をするには、オプションのRISORINC-NET-D:メールが必要です。詳細については、「RISORINC-NET取扱説明書」をご覧ください。
- USBメモリへ出力
利用枚数データをUSBメモリに出力します。
あらかじめUSBメモリがUSBスロットに挿入されている必要があります。

参考

付属のCD-ROMに収録されている「リソーユーティリティソフトウェア」(理想集計アプリケーション)を利用して、USBメモリに出力した利用枚数データをパソコンで管理することができます。詳しくは、「リソーユーティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。

お知らせ日設定

定期的に集計を行う場合、集計日にお知らせするように設定できます。
設定したお知らせ日に以下の画面が表示されます。



参考

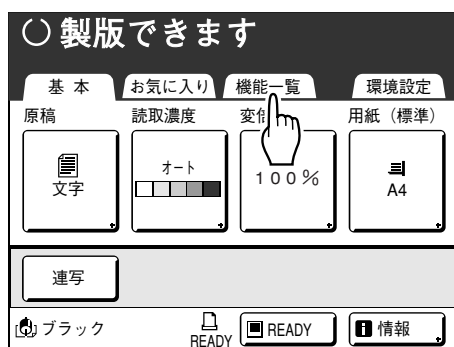
お知らせ日を29日～31日のいずれかに設定した場合、日数が少なく、その日がない月(2月など)は、最終日にお知らせ画面が表示されます。

各ユーザーの利用枚数を確認する

利用枚数を出力する

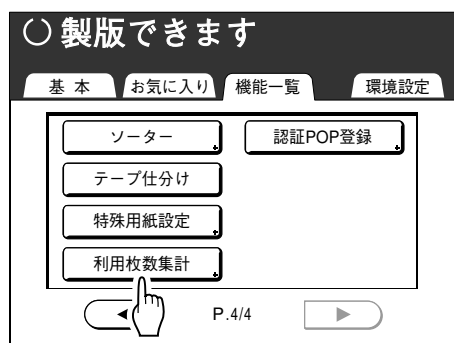
1

各モードの基本画面で **機能一覧** にタッチする



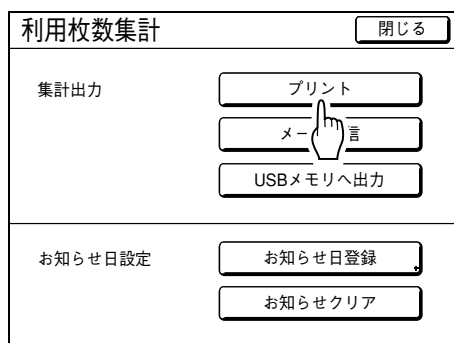
2

利用枚数集計 にタッチする



3

集計出力から出力先を選んでボタンにタッチする

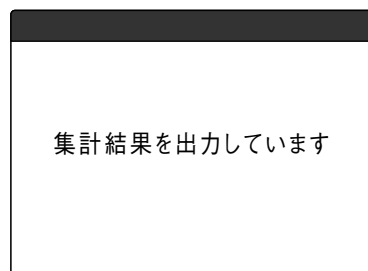


メール送信 は、メール設定されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

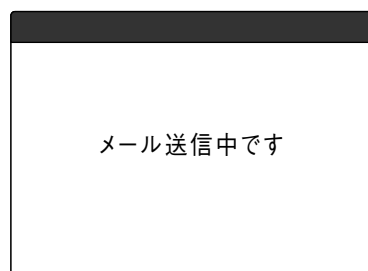
USBメモリへ出力 は、USBメモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

選択した方法で出力されます。

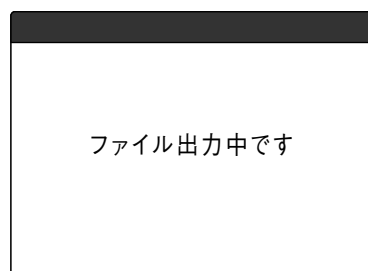
プリント にタッチしたとき



メール送信 にタッチしたとき

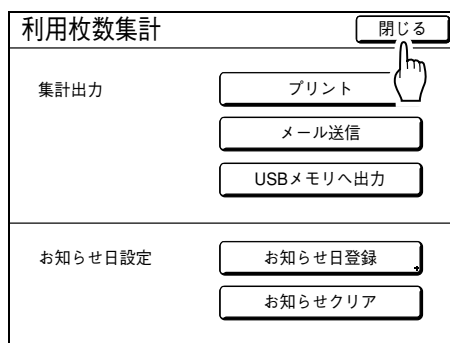


USBメモリへ出力 にタッチしたとき



4

出力が終了したら、**閉じる** にタッチする

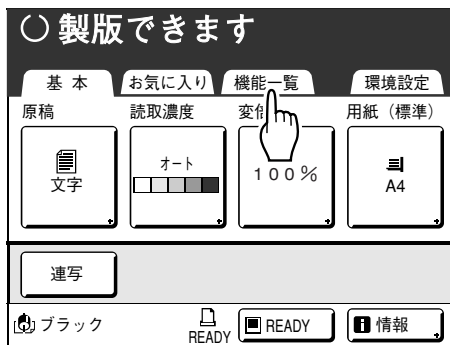


機能一覧画面に戻ります。

お知らせ日を設定する

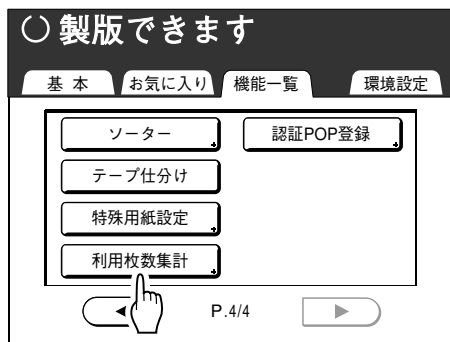
1

各モードの基本画面で **機能一覧** にタッチする



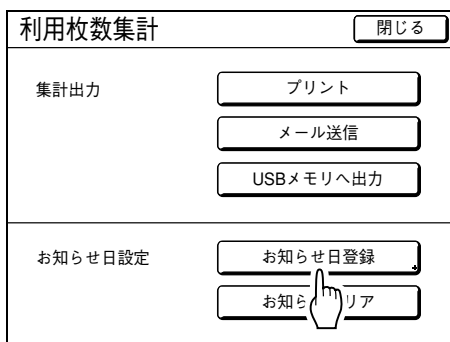
2

利用枚数集計 にタッチする



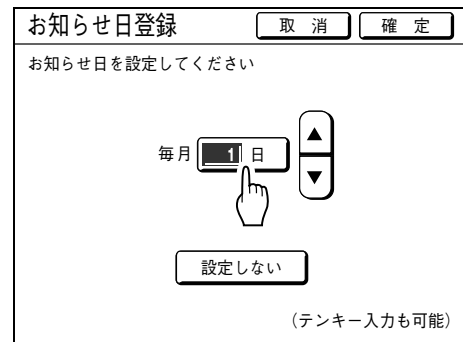
3

お知らせ日登録 にタッチする



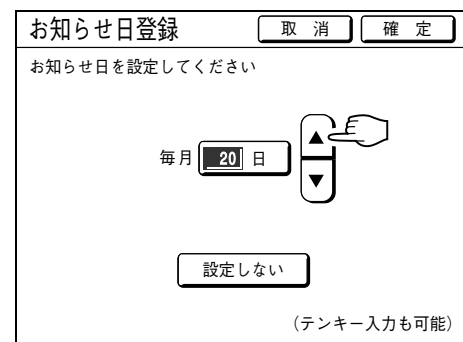
4

1 日 にタッチする



5

▲ または **▼** にタッチして、
お知らせ日を指定する

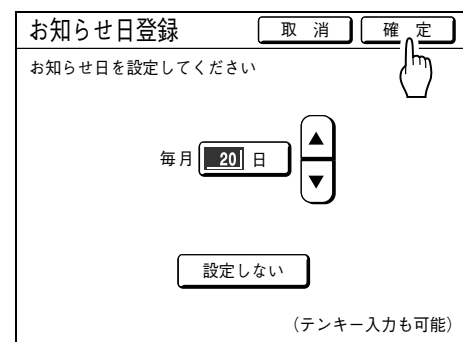


参考

- テンキーでも入力できます。
- 設定する日付は1～31の間で選択できます。
- お知らせ日を設定しない場合は、**設定しない** にタッチします。

6

確定 にタッチする



お知らせ日が設定され、[利用枚数集計] 画面に戻ります。

各ユーザーの利用枚数を確認する

7

閉じる にタッチする

利用枚数集計		閉じる
集計出力	プリント	
	メール送信	
	USBメモリへ出力	
お知らせ日設定	お知らせ日登録	
	お知らせクリア	

機能一覧画面に戻ります。

参考

お知らせ日を登録すると、「集計出力」するまで、電源を「ON」にするたびにお知らせ画面が表示されます。当月、集計出力をしない場合は、**お知らせクリア** にタッチしてください。翌月のお知らせ日まで表示されません。

ユーザーごとにPOP登録する

【認証POP登録】

通常、基本画面のPOPエリアに表示される機能は初期設定で登録されていたり、管理者によって変更されたりしますが、認証設定がされている場合は、「認証POP登録」でユーザーごとにPOPエリアの機能を登録できます。

POPエリアに表示できる機能は、モード(製版/印刷/スキャン/RLP)ごとに個別に登録可能です。(各モードとも4件まで)



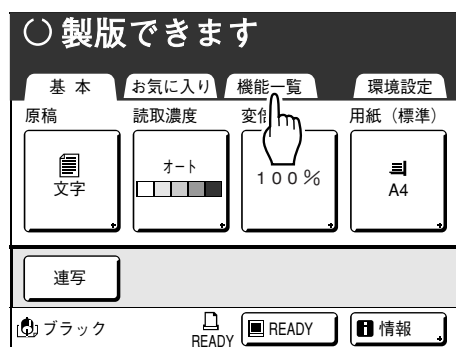
「認証POP登録」は、他のユーザーに変更されることなくユーザーごとに保持され、そのユーザーとして認証したときに表示されます。

参考

- 「認証設定」で「本体認証、認証プリント」に設定されている場合に、「認証POP登録」を設定することができます。
- 「認証POP登録」を設定していないときは、POPエリアには通常POP登録されている機能が表示されます。通常のPOP登録については、「POP/お気に入りの設定」(P.154)を参照してください。

1

各モードの基本画面で
にタッチする



2

「認証POP登録」にタッチする



「認証設定」で認証の範囲が「本体認証、認証プリント」以外に設定されている場合はグレー表示され、タッチできません。

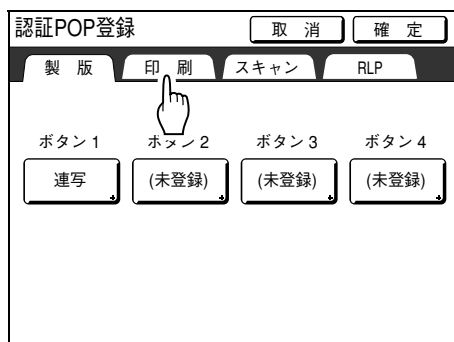
参考

認証の範囲の設定方法については、「認証の範囲の設定」(P.102)を参照してください。

ユーザーごとにPOP登録する

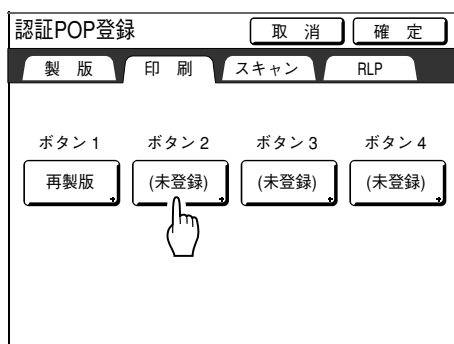
3

登録するモードにタッチする



4

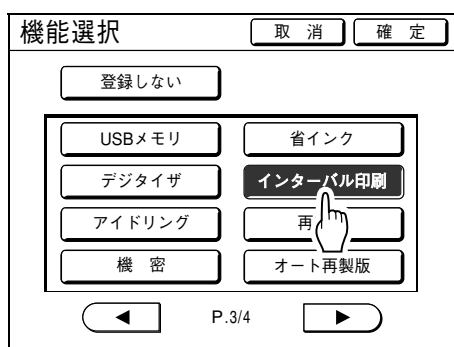
登録するボタンにタッチする



登録済みのボタンでも、タッチして他の機能を上書きすることができます。

5

登録する機能名にタッチする

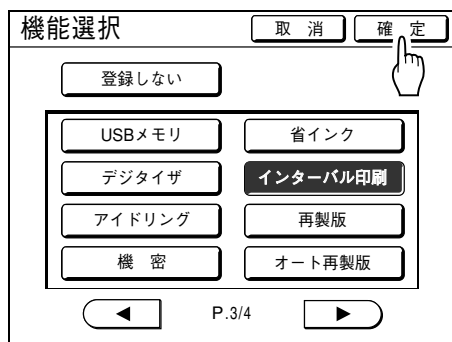


参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときは、◀ または ▶ にタッチして表示を切り替えてください。
- 機能を登録しないときは、登録しない にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

6

確定 にタッチする

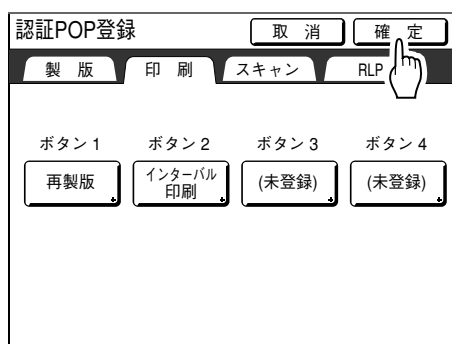


[認証POP登録]画面に戻り、ボタンに選択した機能名が登録されます。

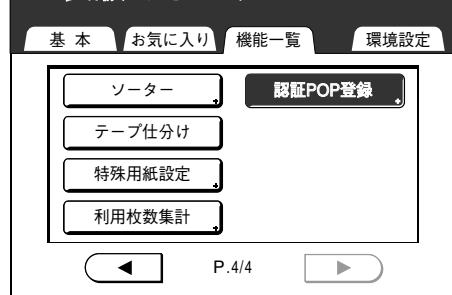
複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順3～6を繰り返します。

7

確定 にタッチする



○ 製版できます



機能一覧画面に戻ります。

初期設定を変更する

【環境設定】

その他

環境設定

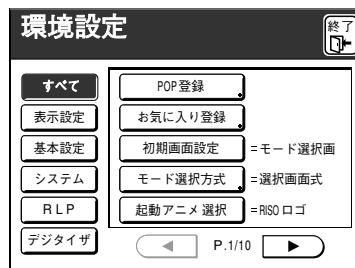
使用状況に合わせて、各種の設定の初期値を変更できます。
変更された内容を設定しなおすこともできます。

重要

- 認証設定で管理者が登録されている場合、環境設定には管理者としての認証が必要です。☞ P.151
- 使用環境により「環境設定」が設定できない(「環境設定」が表示されていない)場合があります。
詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。

参考

初期設定(設定の初期値)とは、電源を「ON」にしたときや、
☞ を押したときに戻る設定値です。



設定可能な項目一覧

は工場出荷時の初期設定です。

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
表示設定	POP登録 各モードの基本画面に、よく使う機能を登録できます。	☞ P. 154「POP／お気に入りの設定」
	お気に入り登録 各モードのお気に入り画面に、よく使う機能を登録できます。	☞ P. 154「POP／お気に入りの設定」
	初期画面設定 起動直後に最初に表示される画面を変更できます。 参考 モード選択画面は、「モード選択方式」で「モード選択画面式」を選択した場合にのみ表示されます。	モード選択画面・製版／印刷・(スキャン)・(RLP)
	モード選択方式 ☞ を押したときに表示される画面を変更できます。 ● モード選択画面式 ☞ を押すと基本画面やサブ画面からモード選択画面に戻ります。 ● ループ式 ☞ を押すたびに次のように画面が切り替わります。 通常の場合:「製版基本画面」↔「印刷基本画面」 連携機を接続している場合:「RLP基本画面」↔「製版／印刷基本画面」 メモリーカードDM128CFまたはUSBメモリを装着している場合:「スキャン基本画面」↔「製版／印刷基本画面」	モード選択画面式・ループ式
	起動アニメ選択 起動したときに表示される画面(アニメ)を変更できます。	RISOロゴ・RZロゴ・マスコット
	液晶表示調整 画面の背景色と濃さおよび明るさを変更できます。	背景色: 白・青 濃さ: -5 ~ 0 ~ +5 明るさ: -2 ~ 0 ~ +2
	表示言語 画面に表示される言語を設定します。 重要 設定を変更する場合は、販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。	#01 ~

初期設定を変更する

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
基本設定	原稿モード基本設定 「原稿モード」の初期設定を変更します。	文字・写真・文字／写真・えんぴつ
	読取濃度基本設定 「読取濃度」の初期設定を変更します。	- 読取濃度基準 うすめ・標準・こいめ - 読取濃度 1・2・3・4・5・オート
	変倍基本設定 「変倍」の初期設定を変更します。	100%・オート
	印刷速度基本設定 「印刷速度」の初期設定を変更します。	1・2・3・4・5
	印刷濃度基本設定 「印刷濃度」の初期設定を変更します。	- 印刷濃度基本設定 うすめ・標準・こいめ - 印刷濃度 1・2・3・4・5
	OP連続自動設定 オプションの自動原稿送り装置、STソーター、ソーターTM2500装備時に、「連続」を自動的に「ON」にするかしないかを設定します。	ON・OFF
	AFオート製版基本 自動原稿送り装置(オプション)装備時に「AFオート製版」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	連続基本設定 「連続」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	テープ仕分け基本設定 STソーター(オプション)装備時に「テープ仕分け」の初期設定を変更します。	ON・OFF
	排紙ウイング特殊基本 排紙ウイング位置の基本設定を変更します。  重要 この設定は、あらかじめ特殊用紙の設定をしている場合にのみ表示されます。設定が必要な場合は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。	ON・OFF
	特殊排紙調整基本 「特殊排紙調整」の初期設定を変更します。  P.86「特殊な用紙や印刷に適した給紙・排紙設定を行う」	- 分離ファン OFF・1・2・3・4 - サクションファン 1・2・3・4
	フォルダ基本設定 メモリーカードDM128CF(オプション)装着時に、スキャンモードで読み取ったデータを保存するフォルダと、パソコンから送信されてきたデータを保存するフォルダの初期設定を変更します。	- スキャン保存先 1～6_folder (工場出荷時: 1_folder) - 受信ジョブ保存先 1～6_folder (工場出荷時: 1_folder)

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
システム	用紙サイズ登録 不定形の印刷用紙を使用するときに、あらかじめ用紙のサイズを登録します。	☛ P.158「不定形の用紙を登録する」
	原稿サイズ固定 セットした原稿のサイズにかかわらず、ここで指定した定形サイズとして読み取ります。	OFF・A3・B4・A4・A4縦・B5・B5縦
	フォルダ名変更 メモリーカードDM128CF(オプション)装着時に、データ保存用のフォルダのフォルダ名を変更します。	1～6_folder
	CI切替 「内蔵CI」と「外部CI」の設定を切り替えます。	内蔵CI・外部CI
	本機IPアドレス設定 本機をネットワークに接続するためのIPアドレスを設定します。IPアドレスの設定は、本システムを取り込むネットワークの管理方法によって異なります。 参考 ・入力先を切り替えるときは、直接ボタンにタッチするか、(✳)を押して移動させてください。 ・[本機IPアドレス設定] ボタンを押して「RISORINC-NETを起動中です」のメッセージが表示された場合は、[中止]にタッチした後、RISORINC-NET(ネットワークカード)が起動完了するまで1分程度待ってから再度操作してください。	■ DHCPサーバーを使用するとき DHCPを使用する ■ 手入力でIPアドレスを設定するとき 手入力する ▲ ▼ またはテンキー
	周囲余白縮小率 周囲余白縮小率の初期設定を変更します。	90%～99% (工場出荷時94%)
	日時設定 本機に内蔵されている時計の設定を行います。時刻は[ 情報] 画面に表示されます。 ☛ P.200「  情報 」( 情報ボタン)について」	年／月／日 時：分
	連写待ち時間 「多原稿連写」をするときに、次の原稿をセットするまでの待ち時間を設定します。	15秒・30秒
	占有時間 本機を操作していない状態で、一定の間、パソコンからの原稿データの出力指示を制限する(受信のみ可能)時間を変更します。	OFF・15秒・30秒・60秒
	占有延長時間 「占有延長」を設定したときにデータの割り込みを制限できる時間を変更します。	5分・10分・30分
	オートクリア設定 一定時間使用しない場合に、設定を自動的に初期設定に戻します。	● オートクリア設定 無効・有効 ● 動作までの時間 1分～60分(工場出荷時5分)

初期設定を変更する

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
システム	省エネモード 本機を一定時間使用しないときに、電源を自動的に切ったり、スリープ状態にすることができます。 ● 無効 電源スイッチの「ON」／「OFF」に従い、「省エネモード」には切り替えません。 ● オートスリープ 一定の時間が経過すると、パソコンからの原稿データの受信のみを可能にし、その他は電源を切った状態にします。 ● オートシャットOFF 一定の時間が経過すると、電源を自動的に切ります。（データを受信しません。）	● 省エネモード 無効・ オートスリープ ・ オートシャットOFF ● 動作までの時間 1分～60分(工場出荷時5分)
	シャットOFF時刻 設定した時刻になると、本機の電源を自動的に切ります。ただし、設定した時刻に本機(外部接続機器を含む)を使用していたり、データを受信していたときには、「シャットOFF」されません。	● シャットOFF時刻 無効 ・有効 ● シャットOFFする時間 時：分
	認証設定 認証機能の設定を行います。 ● 認証有無 認証を必要とする範囲を設定します。 ● ユーザー登録 本機の管理者や、認証できるユーザーの設定をします。 ● グループ名称 グループの名称を変更します。 ● カウントオールクリア 各ユーザーの製版／印刷利用枚数をすべてクリアします。 ● 認証方式 認証をするときの方法を設定します。	 P.96「認証設定をする」
	プロテクト プロテクト機能を設定します。	 P.162「印刷済みのマスターを安全に管理する」
	オートアイドリング 一定以上の時間、未使用の状態が続いたとき、次の製版時に自動的に「アイドリング」を行うかどうかを設定します。 「オートアイドリング」開始までの時間、および動作回数を設定できます。	● オートアイドリング 無効・ 有効 ● 未使用時間 1時間～ 12時間 ● 動作回数 1回 ～3回
	オート再製版設定 設定した印刷枚数に達すると、自動的に使用中のマスターを廃棄して再製版するように設定できます。再製版後に試し刷りする枚数も設定できます。	● 再製版開始枚数 1枚～9999枚(工場出荷時1000枚) ● 再製版試し刷り枚数 0枚～99枚(工場出荷時3枚)

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
システム	最低印刷枚数 最低印刷枚数を設定します。設定枚数未満の印刷枚数が入力されたときは、製版できません。  重要 設定値を変更できないようにロックをかけることができます。詳細についてはお買い上げの販売会社(あるいは、保守・サービス会社)にお問い合わせください。	無効・有効[2枚～99枚]
	サプライ在庫管理 現在の在庫数が確認できるように、購入した本数を入力しておきます。  参考 在庫が「確認在庫数」で入力した本数以下になると、画面に確認メッセージが表示されます。	●購入した本数 1本～99本 ●確認在庫数 0本～99本
	ブザー音 キー・ボタン操作時やエラー発生時のブザー音の有無を設定します。 ●ON キー・ボタン操作時やイベントの発生・終了時などブザー音が設定されている場面すべてでブザー音を鳴らします。 ●限定 キー・ボタン操作時、本機の復帰動作中にはブザー音を鳴らしません。 ●OFF ブザー音は鳴らしません。	OFF・限定・ON
RLP 連携機Prioaを接続してお使いの場合のみ表示されます。	RLP情報設定	 P.185「連携機を使うための準備」
	RLP接続設定 本機に連携機Prioa(別売)を1台だけ接続する(他の連携機やパソコンがネットワークにない)場合は、[1対1接続]にします。	通常接続・1対1接続
	自動振分枚数 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。  参考 ●初期値は20枚に設定されています。 ●「自動振分枚数」を「有効」に設定しているときは、「最低印刷枚数」は設定できません。	有効[自動振分枚数] 2～99枚／無効 (工場出荷時20枚)
	RLP両面待ち時間 両面印刷をするときに、2枚目の原稿をセットするための待ち時間を設定します。	15秒・30秒
	受信ジョブ自動振分 パソコンから受信したデータを「自動振分枚数」の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。  参考 「自動振分枚数」が「無効」に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。	有効・無効
	RLP情報取得時間 連携機からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。	10～999秒 (工場出荷時15秒)

初期設定を変更する

表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
デジタイザ ソフトデジタイザ (オプション)使用 時のみ表示されま す。	使用色基本設定	 ソフトデジタイザの取扱説明書 をご覧ください。
	ツールバー左右基本	
	サブツールバー基本	
	原稿表示方向基本	

初期設定の変更

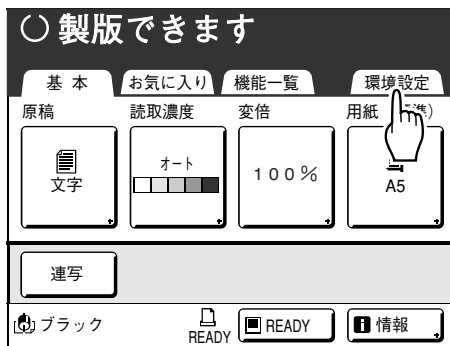
設定の変更は、本機が動作していないときに行うことができます。
プリントの諸設定がされていない状態で行ってください。

参考

- 認証設定で管理者が登録されている場合、[環境設定]画面を表示するためには管理者認証が必要です。
➡ P.96
- [環境設定]画面では、現在の設定が各項目のボタンの右側に表示されています。

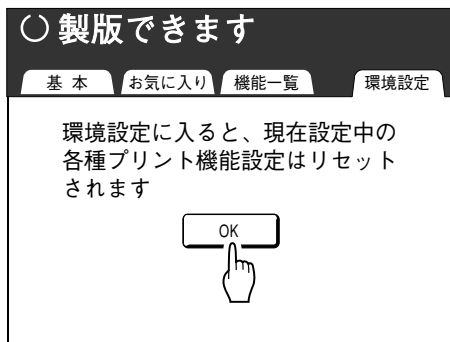
1

各モードの基本画面で [環境設定] にタッチする



2

[OK] にタッチする

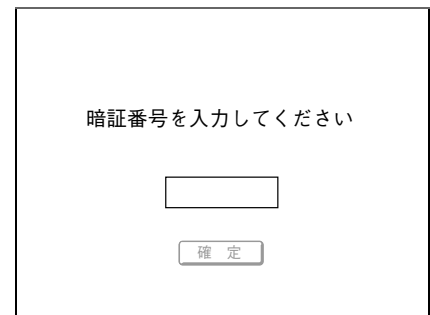


参考

認証設定で管理者が登録されている場合は、認証画面が表示されます。管理者認証を行ってください。既に管理者として認証済みのときは、認証画面は表示されません。管理者以外のユーザーの認証は許可されません。

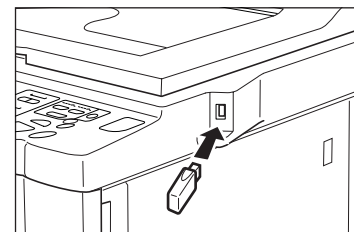
■ 認証方式が「暗証番号」の場合

テンキーで管理者用の暗証番号を入力し、[確定]にタッチします。



■ 認証方式が「USBメモリ」の場合

USBスロットに、管理者認証用のUSBメモリを挿入します。

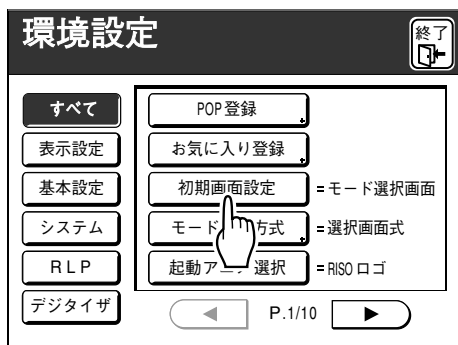


認証されると、[環境設定]画面が表示されます。

初期設定を変更する

3

設定を変更する機能名のボタンにタッチする



表示セレクトボタンについて

タッチした表示セレクトボタンの種類に応じた機能名のみが表示されるので、設定を変更したい機能名を速やかに検索することができます。

- すべて** ……すべての機能
 - 表示設定** ……画面表示に関する機能
 - 基本設定** ……基本的な操作に関する機能
 - システム** ……システム全体に関する機能
 - RLP** ……RLPモードに関する機能
 - デジタイザ** ……ソフトデジタイザに関する機能
- RLP** は連携機(別売)を接続しているときにのみ表示されます。
 - デジタイザ** は、ソフトデジタイザ(オプション)使用時にのみ表示されます。

4

設定を変更する

機能によって設定画面が表示されるものとされないものがあり、変更のしかたも異なります。次のタイプを参考にして変更を行ってください。

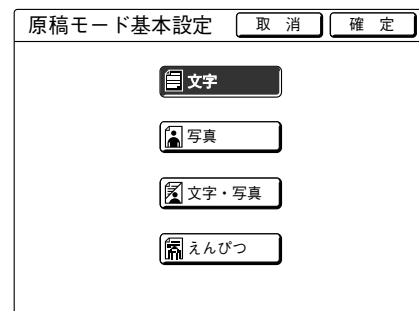
■ 設定画面なし (選択肢が二者／三者択一のもの)

機能名ボタンにタッチするたびに、右隣りの設定値が切り替わります。



■ 設定画面あり ボタン選択タイプ

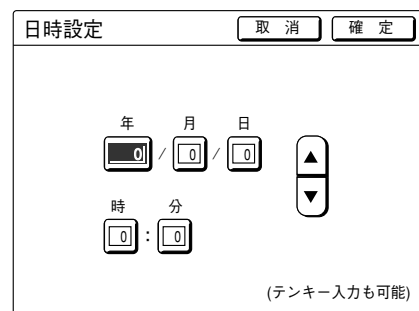
初期値に設定するボタンに、タッチします。



■ 設定画面あり 目盛り調節・数値増減タイプ

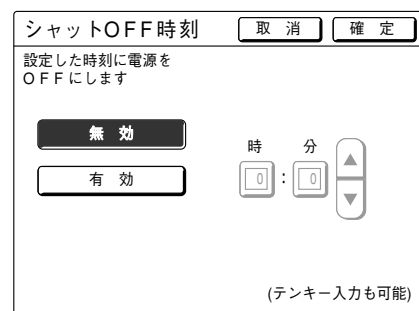
▲ ▼ にタッチして、数値を増減させたりします。

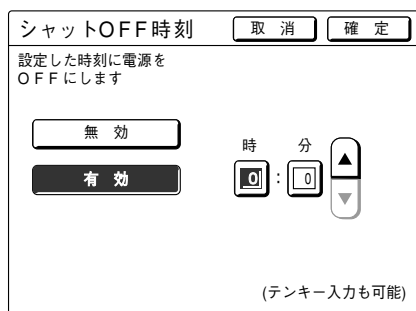
数値を変更する設定では、テンキーによる数値の入力も可能です。



■ 設定画面あり 設定部分が複数あるタイプ

設定を変更するボタンにタッチした後、各ボタンやテンキーなどで設定を変更します。

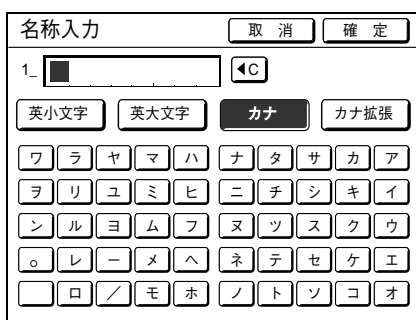
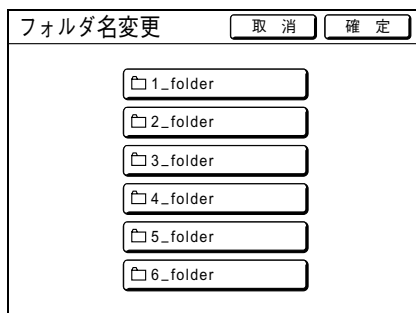




「有効」にタッチすると、画面右側の設定ができるようになります。

■ 文字入力タイプ

名称を変更するボタンにタッチした後、名称を入力します。
ボタンにタッチすると、「名称入力」画面が表示されます。

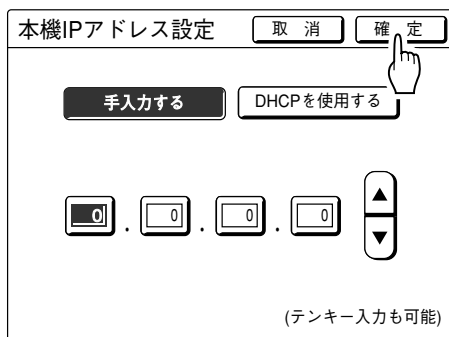


文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。
文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☛ P.121「名称入力画面について」

5

「確定」にタッチする



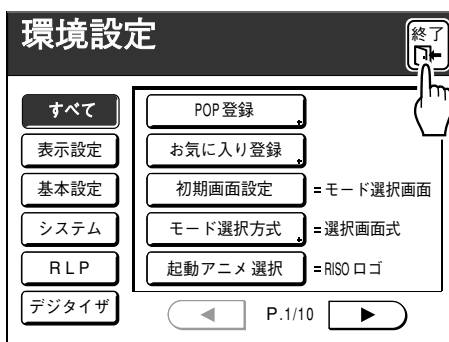
設定画面のないタイプの場合は手順6に進んでください。

参考

- 「取消」にタッチすると、変更を中止して「環境設定」画面に戻ります。
- 設定値は機能名の右隣りに表示されます(一部を除く)。

6

「終了」にタッチする



各基本画面に戻ります。

POP／お気に入りの設定

[POP][お気に入り]

その他

環境設定
POP／お気に入り

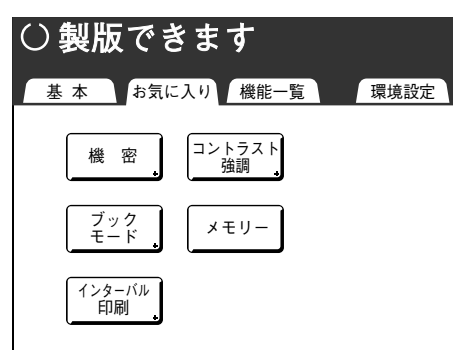
よく使う機能を、各モードの基本画面の「POPエリア」または「お気に入り画面」に登録することができます。機能一覧から探す手間を省き、ワンタッチで機能を設定したり、設定画面を呼び出したりすることができます。機能はモード(製版／印刷／スキャン／RLP)ごとに個別に登録可能です。

各モードで登録できる件数

基本画面	製版	印刷	スキャン	RLP
ポップエリア	4	4	4	4
お気に入り	9	9	—	6



POPエリア



お気に入り画面

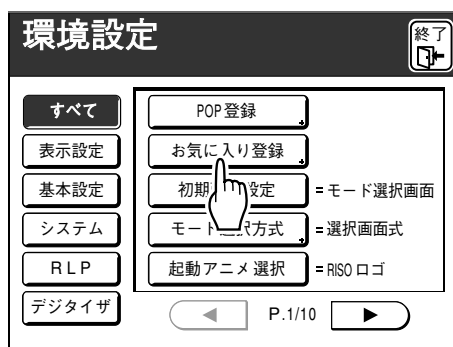
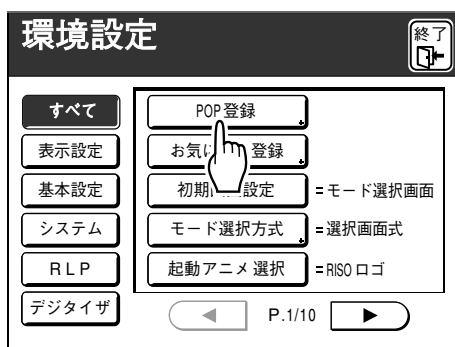
参考

- それぞれのモードには、そのモードで有効な機能を登録すると便利です。
☞ P.2 「機能一覧」
- 「POPエリア」「お気に入り画面」には、出荷時にあらかじめ機能が設定されていますが、変更できます。
- 登録できる機能は、機能一覧画面から実行できる機能です。
- 連携機(Prio)を複数台接続して使用しているときに、RLPモードの「POPエリア」または「お気に入り画面」の登録・変更をする場合は、登録・変更したい連携機を選択した後に、「環境設定」で設定しなおしてください。
- オプションを接続した場合は、POP(お気に入り)の未登録ボタンに自動的に登録されます。
(連携機オプションの場合は、「環境設定」での登録が必要です。)
- 認証の範囲が「本体認証」のときは、ユーザーごとにPOPエリアに表示される機能を設定できます(認証POP登録)。設定方法については、「ユーザーごとにPOP登録する」(P.143)を参照してください。

以下の手順では、ページ左側に「POP登録」の画面、右側に「お気に入り登録」の画面を記載しています。また、共通の画面は左側にまとめて記載しています。

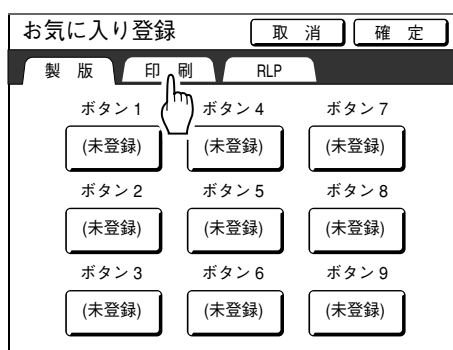
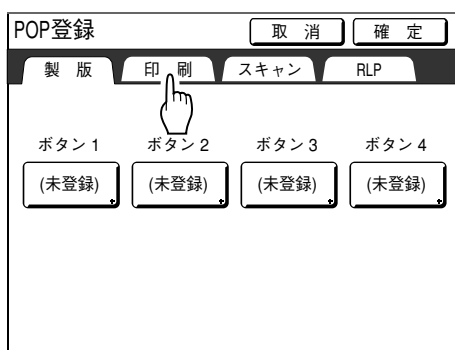
1

【環境設定】画面で **POP登録** または **お気に入り登録** にタッチする



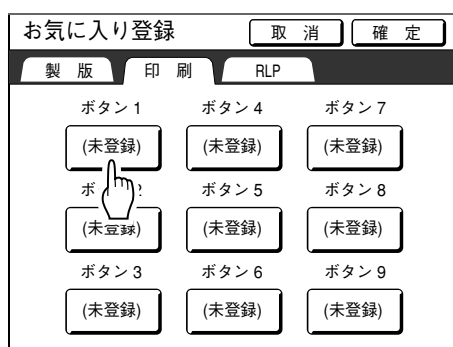
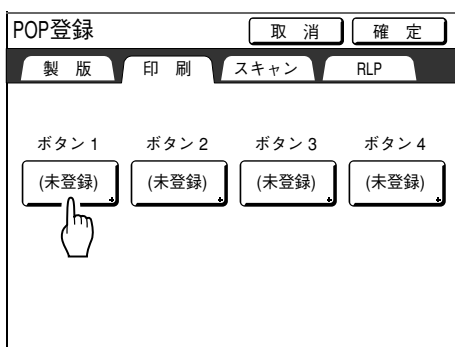
2

登録するモードにタッチする



3

登録するボタンにタッチする

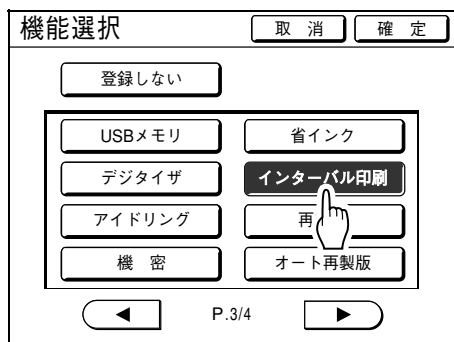


登録済みのボタンでも、タッチして、他の機能を上書きすることができます。

POP／お気に入りの設定

4

登録する機能名にタッチする

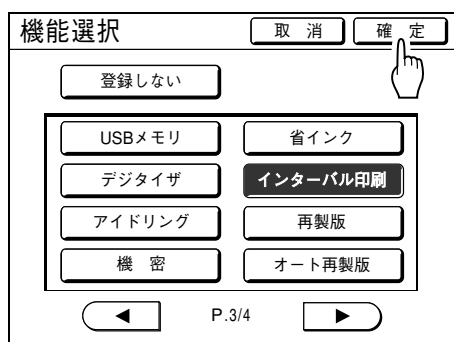


参考

- 表示された画面内に目的の機能名がないときには、◀ または ▶ にタッチして表示を切り替えてください。
- 登録をしない機能を選択してしまったときは、登録しない にタッチしてください。
- 登録済みの機能名は、グレー表示されタッチできません。
- オプションを使用しているときのみ表示される機能があります。

5

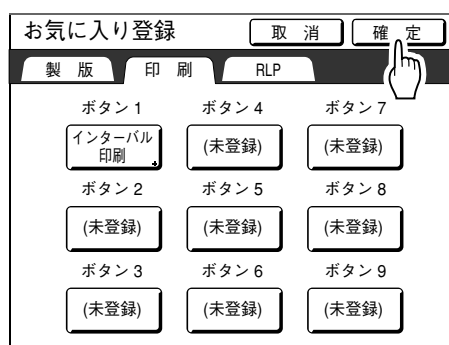
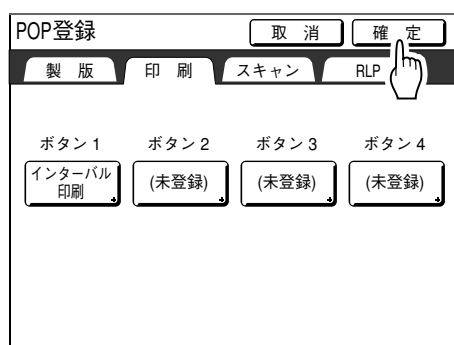
確定 にタッチする



[POP登録]または[お気に入り登録]画面に戻り、ボタンに選択した機能名が表示されます。
複数の機能を登録するときや、登録済みの機能を他の機能に変更するときは、手順2～5を繰り返します。

6

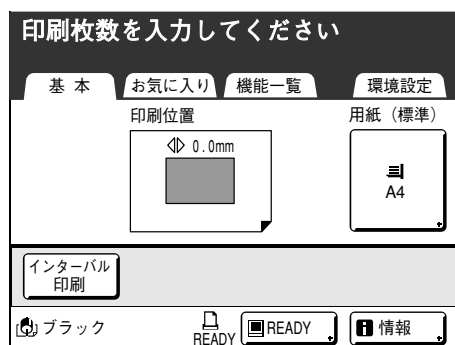
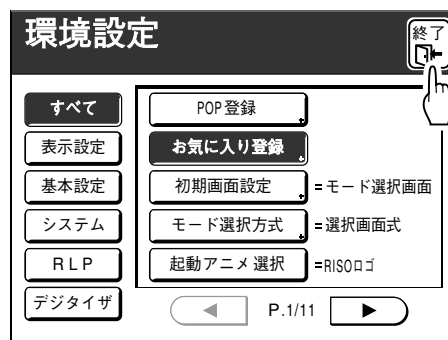
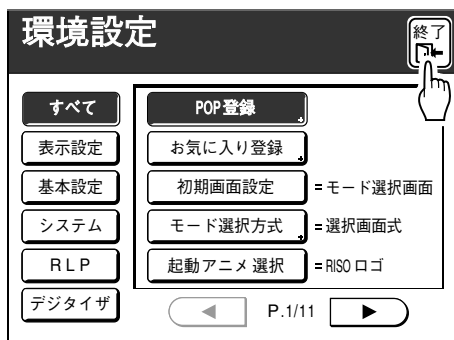
確定 にタッチする



POP登録またはお気に入り登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

7

終了 にタッチする



製版または印刷基本画面に戻ります。

不定形用の紙を登録する

[用紙サイズ登録]

その他

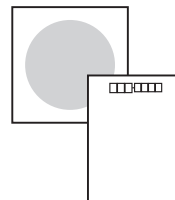
環境設定
用紙サイズ登録

A4やB4などの、定形サイズ以外の用紙を使用するときには、あらかじめ用紙サイズを登録してください。一度登録した用紙は、製版基本画面の[用紙]ボタンで選択して、使用することができます。

用紙登録は30件まで登録可能です。また、登録した内容を変更、消去することもできます。



重要 不定形用紙は必ず登録してください。登録せずに使用すると、原稿の読み取りが正しく行われないことがあります。



用紙サイズの登録と名称変更

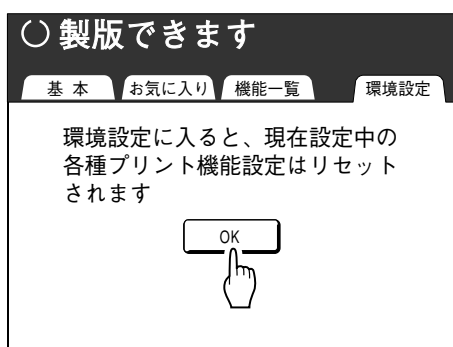
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



2

OK にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、「初期設定の変更」(P.151)手順2を参照してください。

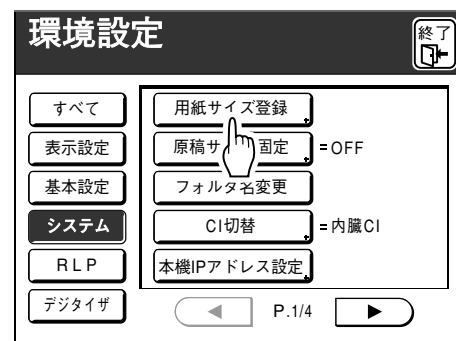
3

システム または **▶** にタッチして、画面に **用紙サイズ登録** を表示させる



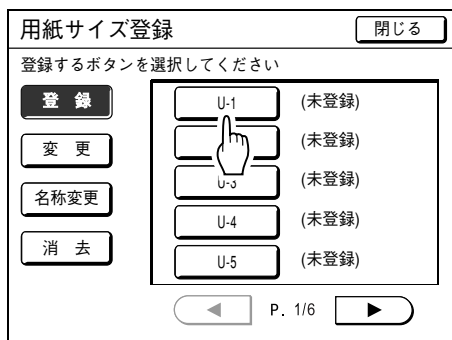
4

用紙サイズ登録 にタッチする



5

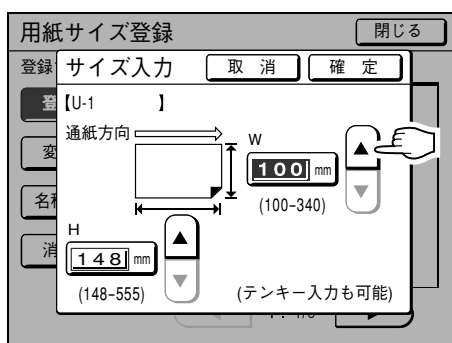
未登録のボタンにタッチする



登録済みのボタンはグレー表示されます。

6

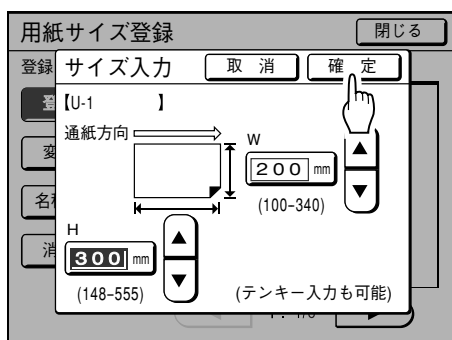
用紙サイズを入力する



通紙方向(給紙台にセットする方向)に対して、W(幅)とH(長さ)を設定します。▲ または ▼ にタッチするか、テンキーで入力してください。

7

確定 にタッチする

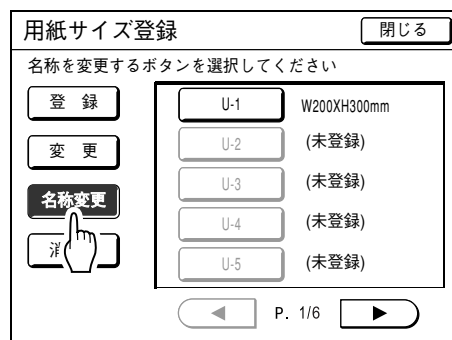


必要があれば、引き続き名称を変更します。

名称を変更しない場合は、閉じる にタッチしてください。

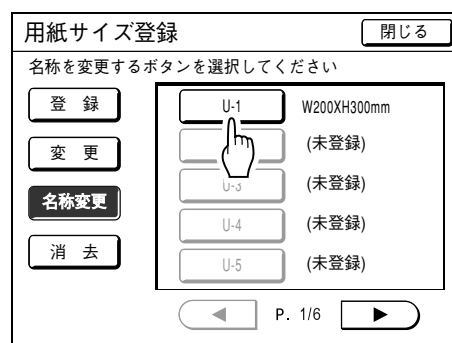
8

名称変更 にタッチする



9

名称を変更するボタンにタッチする



10

文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力する



入力したい文字種類にタッチすると表示が切り替わります。

● P.121「名称入力画面について」

不定形用の紙を登録する

11

名称入力後 **確定** にタッチする

名称入力

カードA

英小文字 英大文字 カナ カナ拡張

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

Q W E R T Y U I O P

A S D F G H J K L

Z X C V B N M

\$ % & @ () []

取消 確定

参考

名称を修正するときは、手順8からやりなおしてください。

12

名称を確認して **閉じる** にタッチする

用紙サイズ登録

名称を変更するボタンを選択してください

登録 変更 名称変更 消去

カードA W200XH300mm

U-2 (未登録)

U-3 (未登録)

U-4 (未登録)

U-5 (未登録)

閉じる

P. 1/6

環境設定

すべて 表示設定 基本設定 システム R L P

用紙サイズ登録

本機IPアドレス設定

周囲余白縮小率 = 94%

日時設定 = 11/01 00:00

連写待ち時間 = 15秒

終了

P. 1/3

用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

奉書(長尺の用紙)にプリントするとき

本機では、「ユーザー登録用紙」として登録することにより、433mm～555mm(給紙方向に対する天地の長さ)までの長さの用紙を使用して、印刷できます。

☛ P. 158「不定形の用紙を登録する」

[用紙サイズ登録]画面で、給紙方向に対する天地の長さを433mm以上に設定した場合、その用紙は「長尺用紙」として扱われます。

登録した「長尺用紙」を[用紙サイズ登録]画面で選択すると、本機は「長尺モード」に切り替わります。

重要

奉書の種類や紙質により、通紙できない場合や、印刷物の内容(画像の位置)により、部分的に汚れが発生する場合があります。詳しくはお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご相談ください。

「長尺モード」について

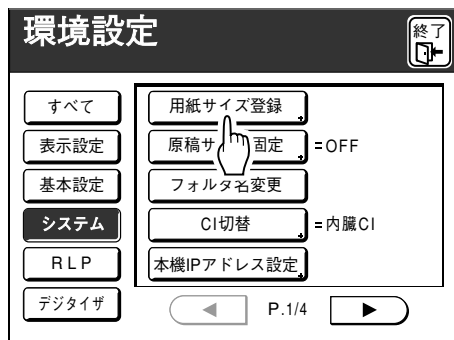
- 本機が「長尺モード」のときは、メッセージエリアの表示が【製版できます[長尺]】または【印刷できます[長尺]】に変わります。
- 「長尺モード」では、給紙方向に対する天地の長さが433mm～555mmまでの長さの用紙に印刷できます。ただし、最大印刷面積および天地印刷位置の調整範囲は、通常時と同様です。
 - ☛ P.11「印刷範囲について」
 - ☛ P.82「印刷位置を調整する」
- 「長尺モード」では、印刷のタイミングや速度が、通常の印刷時とは異なります。あらかじめご了承ください。
- 「長尺モード」時の給紙台、排紙台のセット方法については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

登録した用紙サイズの消去

1

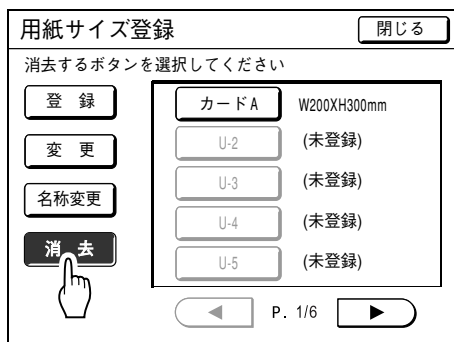
[環境設定] 画面で
にタッチする

用紙サイズ登録



2

消去 にタッチする



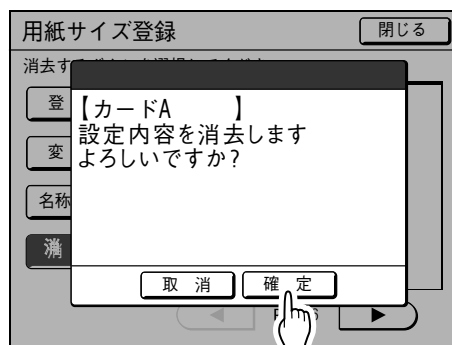
3

消去する用紙サイズにタッチする



4

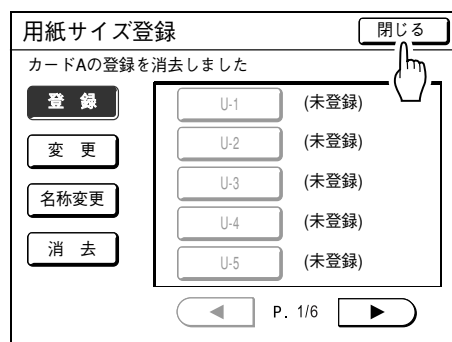
確定 にタッチする



選択した用紙サイズが消去され、[用紙サイズ登録]画面に戻ります。

5

閉じる にタッチする



用紙サイズ登録を終了し、[環境設定]画面に戻ります。

印刷済みのマスターを安全に管理する

印刷終了後のマスターは、ドラムに巻き付いたまま印刷可能な状態になっています。第三者に印刷されないようにドラム上のマスターを廃棄することができます。〔機密〕機能といいます。)

また、使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。それらのマスターが、悪意を持つ第三者によって排版ボックスから取り出され、流出することを防ぐため、本機ではプロテクト機能を用意しています。

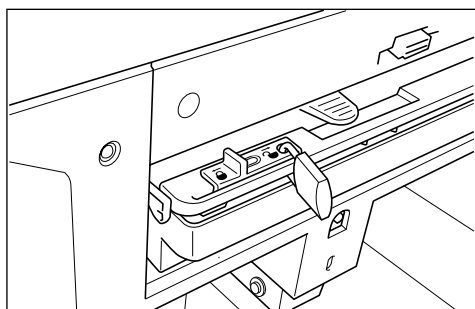
「プロテクト」設定

「プロテクト」設定を有効にすると

- 印刷終了後、「機密」を実行して、ドラムに巻きついたままのマスターを廃棄するよう促すメッセージが表示されます。
- 印刷待機中に排版ボックスが取り出せないようにロックされます。(ただし、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合は、排版ボックスを取り出すことができます。)

排版ボックスの施錠

排版されたマスターの流出を防ぐため、排版ボックスを管理者以外が取り外せないように、南京錠等でロックすることができます。(南京錠は、市販のものをお買い求めください。錠を差し込む穴の直径は7mmです。)



プロテクト機能の状態と制限範囲について

プロテクト機能の状態	制限範囲
プロテクト:無効 南京錠:なし	印刷機利用制限なし※ ¹
プロテクト:有効 南京錠:なし	機密実行メッセージ表示 排版ボックスのロック※ ²
プロテクト:無効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示なし 管理者以外の排版処理は不可
プロテクト:有効 南京錠:施錠	機密実行のメッセージ表示 管理者以外の排版処理は不可

※¹ 通常の「機密」機能は任意で実行できます。

※² 一部、排版部でマスターがつまったり、排版ボックスがいっぱいになった場合には、ロックが解除されます。

製版・排版されたマスターの流出を防ぐ「プロテクト」

■「プロテクト」設定を有効にする

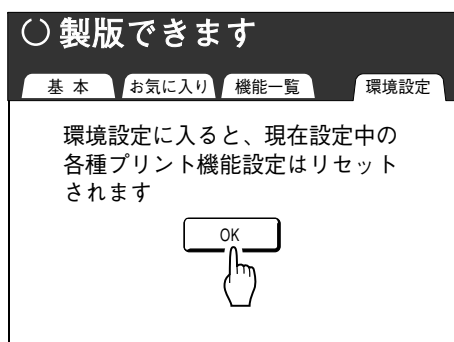
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



2

OK にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、「初期設定の変更」(P.151)手順2を参照してください。

3

プロテクト にタッチする



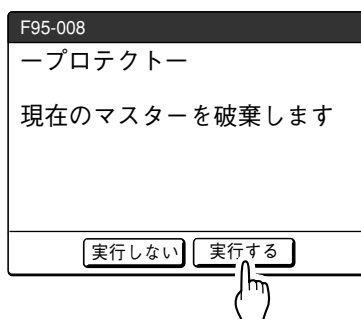
「プロテクト」が「有効」となります。

参考

- 「プロテクト」を「有効」にすると、「省エネモード」(オートスリープ)が自動的に有効になります。
- 「プロテクト」が「有効」のとき、「再製版」はグレー表示され、選択できません。

■「プロテクト」設定が「有効」のときの動作について

印刷が終了すると以下の画面が表示されます。

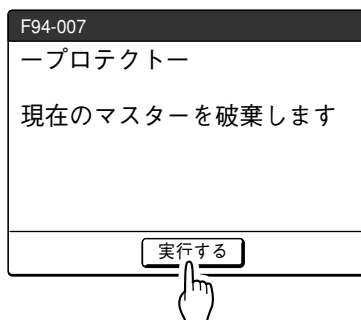


実行する または **実行しない** にタッチします。

- 実行する** … ドラム上のマスターを廃棄します。
- 実行しない** … 廃棄する必要がない、または刷り増しをする場合などに選択します。

参考

- パソコンからのデータ送信の場合も、上記の画面が表示されます。
- プロテクト有効時に **実行しない** を選択した場合、**Enter**、**C** を押すたびに「プロテクト」確認画面が表示されます。
- 次の場合に以下の画面が表示されます。
 - 機密されていないドラムをセットしたとき
 - 機密実行の確認画面が表示された状態のままスリープ状態になり、次にスリープ状態が解除されたとき(または電源を「ON」にしたとき)



実行する にタッチすると、ドラム上のマスターは廃棄されます。

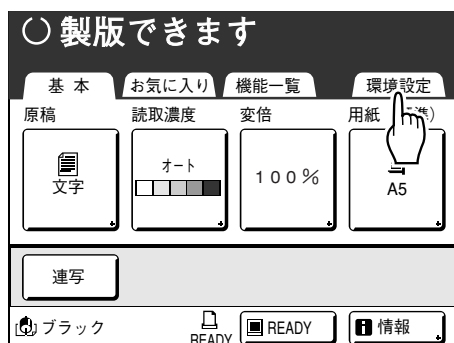
印刷済みのマスターを安全に管理する

■「プロテクト」設定を解除する

「プロテクト」設定の解除は、必ず管理者が行ってください。

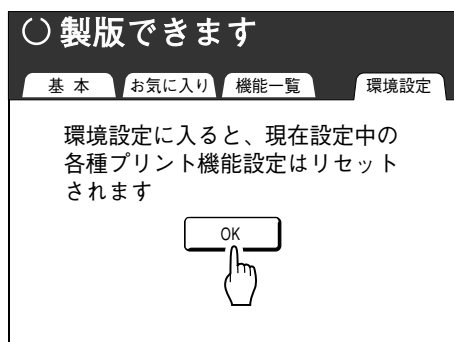
1

各モードの基本画面で **環境設定** にタッチする



2

OK にタッチする



認証画面が表示されたら、認証操作を行ってください。操作については、「初期設定の変更」(P.151)手順2を参照してください。

3

プロテクト にタッチする



「しばらくお待ちください」と表示された後、「プロテクト」設定が解除されます。

原稿データを保存して活用する

- 166 原稿データの保存と活用方法について
- 168 紙原稿をデータ保存する(スキャンモード)
 - 169 紙原稿をスキャンする
 - 171 データの情報設定をする
 - 173 保存サイズを指定する
- 174 保存データを呼び出してプリントする[ホールド][USBメモリ]
 - 174 保存データの呼び出しかた
 - 176 [ホールドデータ呼出]画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた
 - 177 データの並び順を変える
- 178 保存データを合成する[オーバーレイ]
- 180 保存データをコピー／移動する

原稿データの保存と活用方法について

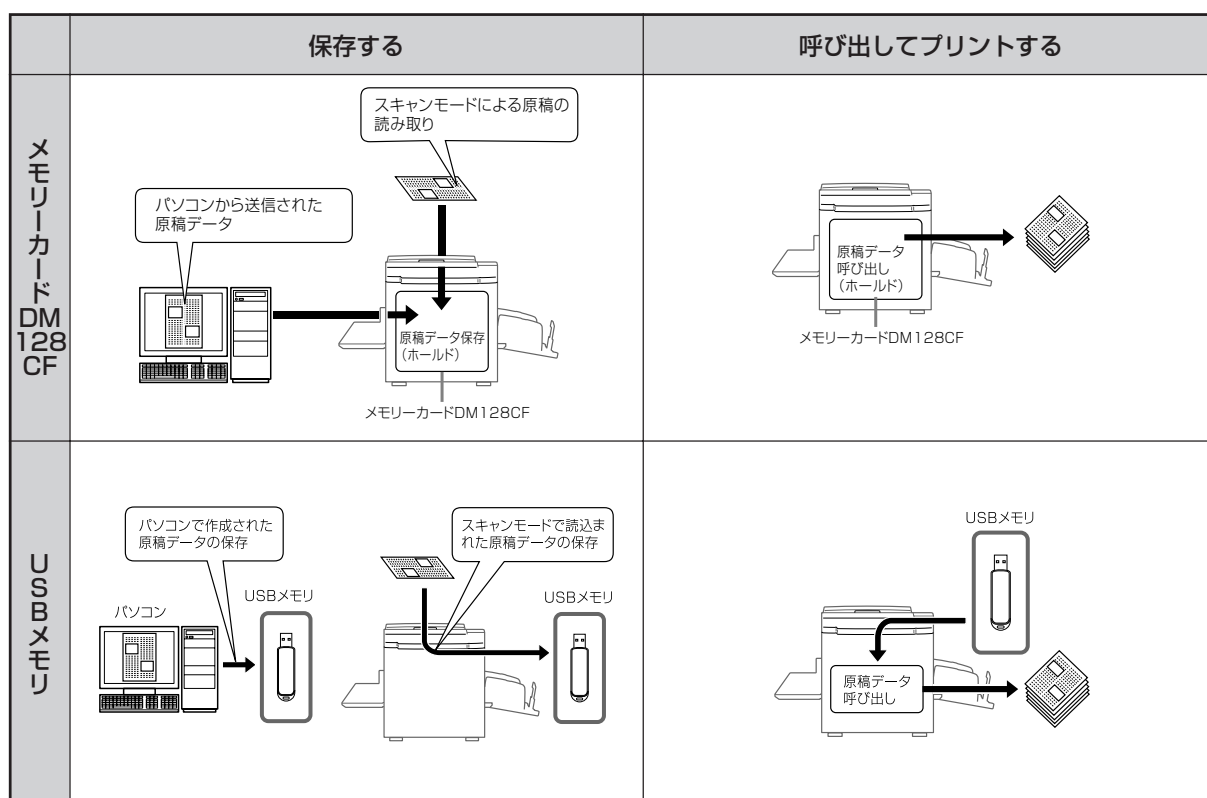
本機には、原稿データを保存する機能があります。(この機能を使用するためには、オプションのメモリーカードDM128CFまたはUSBメモリが必要です。)

保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。

原稿データの保存方法には、印刷機本体内のメモリーカードDM128CF(オプション)に保存する「ホールド」と、USBメモリに保存する「USBメモリ」があります。どちらも、次のように原稿データを保存できます。

- 紙原稿を印刷機のスキャナーから読み取って保存
- パソコンで作成した原稿データを保存

ここでは、紙原稿の保存方法と、保存してある原稿データのプリント方法を説明します。パソコンで作成したデータの保存方法については、「リソープリントドライバ取扱説明書」をご覧ください。



- 「ホールド」または「USBメモリ」に保存したデータで、以下のことができます。
 - ・ 保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントすることができます。
 - ・ 複数ページのホールドデータの場合は、奇数ページや偶数ページ、またはページを指定してプリントすることができます。
 - ☛ P.176「[ホールドデータ呼出]画面／[USBデータ呼出]画面の使いかた」
 - ・ ホールドデータと紙原稿を組み合わせでプリントすることができます。
 - ☛ P.178「保存データを合成する」
- 「ホールド」は、本機内のメモリーにある6個のフォルダを、本機の利用者全員で使うことができます。共有のデータを保存して利用する場合などに便利です。
- 「USBメモリ」は、USBメモリごとに6個のフォルダが作られるので、USBメモリを個人あるいは部署などで管理すれば、個別にデータ管理をしたい場合などに便利です。

重要

天災や不測の事態により、本機のホールドデータやUSBメモリデータが損傷した場合のデータの保証はいたしかねます。

重要な書類は、作成元のパソコンでバックアップをとっておくことをおすすめします。

参考

- メモリーカードDM128CFまたはUSBメモリの空き容量が少なくなったときや、不要になった保存データを削除したいときは、簡単に削除できます。空き容量は、[ホールドデータ選択]画面または[USBデータ選択]画面に表示されます。
☛ P.176「[ホールドデータ呼出]画面／[USBデータ呼出]画面の使いかた」
- 原稿データを保存するフォルダは、メモリーカードDM128CFに6個、USBメモリの場合は、メモリごとに6個用意されています。共有で使用する場合には、フォルダのルール（例えば、部署ごとに分ける、データの種類ごとに分けるなど）を決めておくことをおすすめします。
- メモリーカードDM128CFのフォルダ名は、環境設定で変更できます。
☛ P.147「初期設定を変更する／フォルダ名変更」
- USBメモリのフォルダ名を変更する場合は、付属のCD-ROMに収録されている「リソースユーティリティソフトウェア」（理想USBメモリマネージャー）を利用してください。（パソコンのエクスプローラ画面などで変更すると、本機で認識されなくなります。）
☛ 「リソースユーティリティソフトウェア取扱説明書」（CD-ROM）
- ホールドデータやUSBメモリデータは、並び順を入れ替えることができます。
☛ P.177「データの並び順を変える」

紙原稿をデータ保存する(スキャンモード)

スキャンモードは、紙原稿を本機のスキャナーで読み取り、ホールドデータまたはUSBメモリデータとして保存する機能です。

スキャンモードで保存した原稿データは、何度でも呼び出してプリントできます。

同じ印刷物をプリントする場合には、あらためて原稿を読み込ませる手間を省くことができます。

☛ P.174「保存データの呼び出し方」

また、原稿の紛失や、経年変化による劣化の心配もありません。

参考

メモリーカードDM128CF(オプション)またはUSBメモリの空き容量が少なくなったときや、不要になった保存データを削除したいときは、簡単に削除できます。

☛ P.176「[ホールドデータ呼出]画面／[USBデータ呼出]画面の使いかた」

スキャンモードでは、以下の機能を使うことができます。機能の使いかたについては、それぞれの機能の説明をご覧ください。

- 原稿モード(P. 48)
- 読取濃度(P. 50)
- 変倍(P. 51)
- 網点(P. 57)
- コントラスト強調(P. 58)
- トーンカーブ選択(P. 59)
- かんたん連写、連写(P. 61)
- ブックモード(P. 70)
- プレビュー表示(P. 76)

以下は、スキャンモード固有の機能です。

- サイズ

☛ P.173「保存サイズを指定する」

紙原稿をスキャンする

1

原稿をセットする

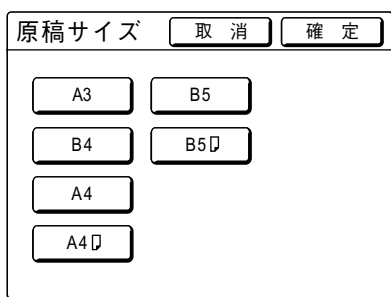
原稿のセットのしかたについては、「紙原稿をプリントする」(P.30)の手順4を参照してください。

2

スキャンモードを選ぶ

スキャンモードの選びかたは、「画面の移り変わり」(P.18)を参照してください。

スキャンモード選択後、以下の「原稿サイズ」画面が表示された場合は、原稿のサイズを選択して、「確定」にタッチしてください。



スキャン基本画面が表示されます。



3

データ情報を設定する

データ名、保存場所、オーナー名を設定します。

● P.171「データの情報設定をする」

4

必要な機能を設定する

原稿を読み取る際に必要な機能を設定します。

参考

- 「プレビュー表示」を設定しておくと、スキャンした内容を保存する前に確認できます。
● P.76「製版前に印刷イメージを確認する」
- 設定できる機能については、P.168を参照してください。

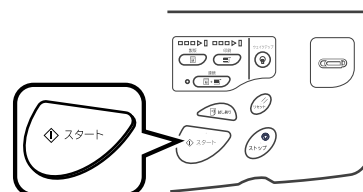
重要

不定形原稿を読み取る場合は、「サイズ」の設定をしてください。

● P.173「保存サイズを指定する」

5

スタートを押す



スキャンが開始されます。

参考

「プレビュー表示」が設定されている場合は、ディスプレイに表示されます。

6

原稿が複数ページある場合は、手順2、4、5を繰り返す

参考

自動原稿送り装置(オプション)に原稿をまとめてセットして、「連続」がONの場合は、すべての原稿を同じ設定でスキャンします。「連続」がONかOFFかは、のランプを見て確認してください(点灯していればON)。「連続」がOFFの場合は、1原稿ずつ  を押してください。

紙原稿をデータ保存する(スキャンモード)

7

 にタッチする

1つのデータとして保存する原稿のスキャンが終了したら、 にタッチしてください。

確認の画面が表示されます。



8

にタッチする

データが保存されます。

参考

スキャンモードを終了する場合は、

 キーを押してください。

データの情報設定をする

スキャン基本画面で、これからスキャンして保存するデータの設定を行います。

1

スキャンモードを選ぶ

☛ スキャンモードの選びかたは、「画面の
移り変わり」(P.18)を参照してください。



データ名、保存場所、オーナーは、スキャンモードの起動時に自動で割り当てられますが、必要に応じて変更することができます。

参考

[保存場所]フォルダの初期設定は、[環境設定]で変更できます。

☛ 「初期設定を変更する／フォルダ基本設定」(P.146)

2

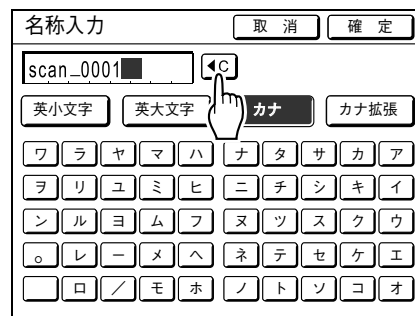
データ名を設定する

- ① データ名の入力ボックスにタッチする



[名称入力]画面が表示されます。

- ② [C] にタッチして、現在の名称を消去する



参考

[C] を押しても消去できます。

- ③ 文字ボタンにタッチして、データ名を1文字ずつ入力する

文字種類のボタンにタッチして表示を切り替え、入力したい文字を探してください。

☛ P.121「名称入力画面について」

- ④ [確定] にタッチする

データ名が確定され、スキャン基本画面に戻ります。

3

保存場所を設定する

USBメモリに保存する場合は、あらかじめ本機のUSBスロットにUSBメモリを挿入しておいてください。

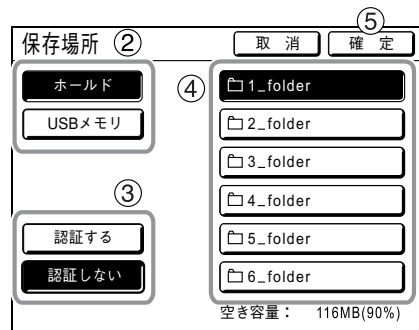
- ① 保存場所の入力ボックスにタッチする



[保存場所]画面が表示されます。

紙原稿をデータ保存する(スキャンモード)

- ② **ホールド** または **USBメモリ** にタッチする



USBメモリ はUSBメモリが挿入されていない場合はグレー表示となり、選択できません。

- ③ **確認する** または **確認しない** にタッチする

確認する **確認しない** は、認証有無が「本体認証、認証プリント」に設定されている場合のみ表示されます。

- ④ データを保存するフォルダのボタンにタッチする

- ⑤ **確定** にタッチする

[保存場所] フォルダが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

参考

ホールドデータの[保存場所]フォルダの名称は、[環境設定]で変更できます。

☛ P.147「初期設定を変更する／フォルダ名変更」

4

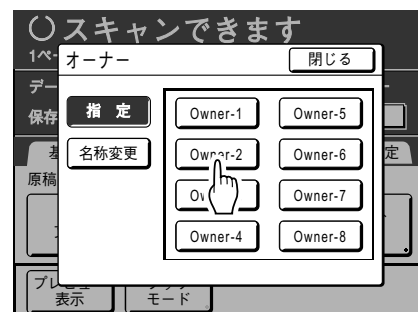
オーナーを設定する

- ① オーナーの入力ボックスにタッチする



[オーナー]画面が表示されます。

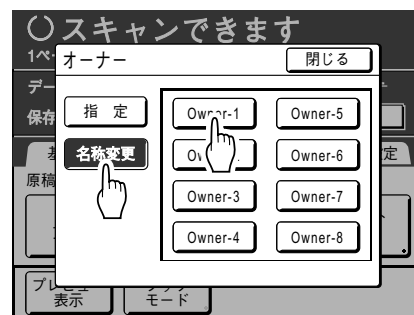
- ② 設定するオーナーのボタンにタッチする



オーナーが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

オーナー名を変更するには

- ① [オーナー]画面で **名称変更** にタッチして、変更したいオーナー名にタッチする



[名称入力]画面が表示されます。

- ② **◀C** にタッチして、現在の名称を消去する

- ③ オーナー名を入力する

- ④ **確定** にタッチする



オーナー名が確定され、[オーナー]画面に戻ります。

保存サイズを指定する

スキャンする原稿(データ)の保存サイズを設定します。

原稿台ガラスにセットする場合、原稿が不定形の場合、実際の原稿とは異なるサイズで保存する場合は、[サイズ]画面で設定します。

定形サイズの原稿を自動原稿送り装置にセットした場合は、「オート」でサイズが検知されるため指定する必要はありません。そのままのサイズで保存されます。

1

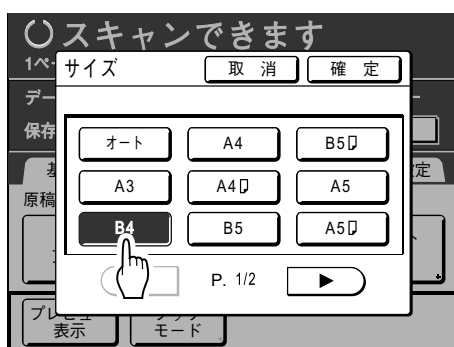
スキャン基本画面で[サイズ]ボタンにタッチする



[サイズ]画面が表示されます。

2

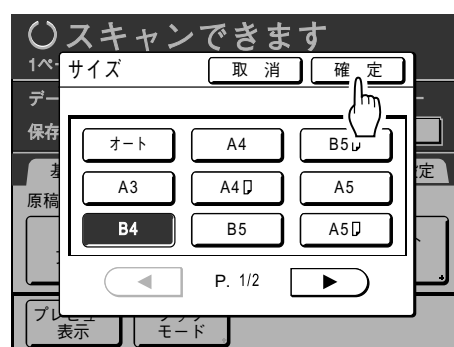
設定する用紙サイズのボタンにタッチする



「オート」を選ぶと、セットされた原稿と同じサイズに自動で設定されます。

3

[確定] にタッチする



保存サイズが確定され、スキャン基本画面に戻ります。

保存データを呼び出してプリントする

[ホールド][USBメモリ]

その他

機能一覧
ホールド/USBメモリ

保存データの呼び出し方

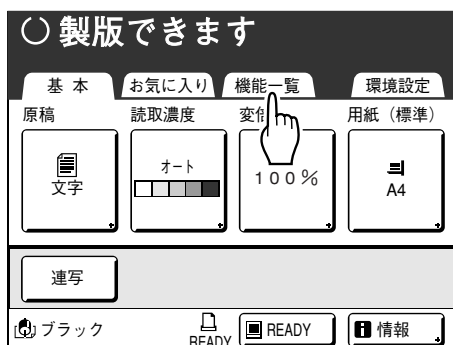
USBメモリデータを呼び出す場合は、あらかじめ本機のUSBスロットにUSBメモリを挿入しておいてください。USBメモリデータのプリント方法の詳細は、P.37「パソコンデータをプリントする」を参照してください。

参考

- 管理者によって認証機能が設定されていると、操作の途中で、認証を求められる場合があります。詳しくは、P.36「認証画面での操作について」を参照してください。
- 認証設定で「認証方式」が「暗証番号」に設定されている場合、各モードの基本画面表示中にUSBメモリが挿入されると、自動的に「USBデータ選択」画面が表示されます。手順4へ進んでください。

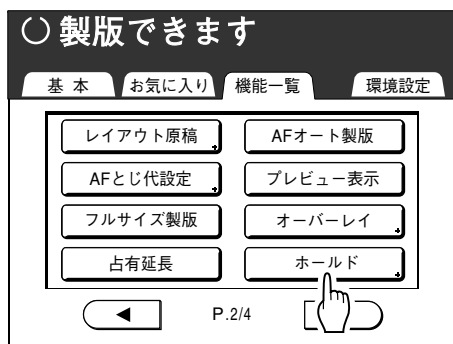
1

製版基本画面で **機能一覧** にタッチする



2

ホールド または **USBメモリ** にタッチする



3

○ 製版できます



「ホールドデータ選択」画面または「USBデータ選択」画面(認証なし)が表示されます。(画面に **認証あり** が表示されています。)

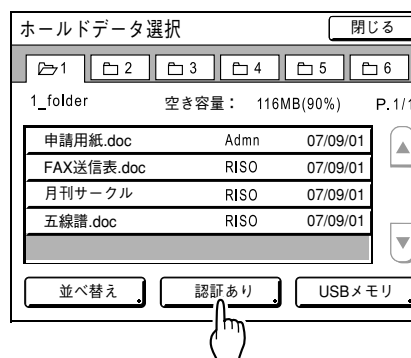
「認証あり」または「認証なし」を選択する

参考

認証設定で「認証有無」が「認証なし」に設定されている場合、**認証あり** は表示されません。

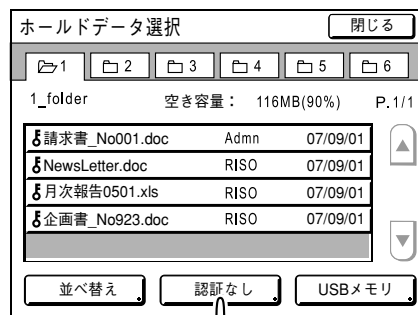
■ 認証設定されているデータを呼び出す場合

認証あり にタッチします。



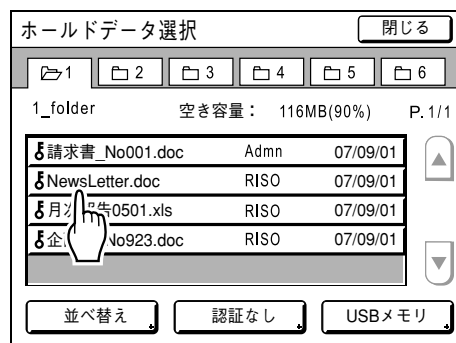
■ 認証設定されていないデータを読み出す場合

画面に **認証なし** が表示されている場合は、**認証なし** にタッチします。



4

プリントするデータにタッチする



別のフォルダに保存されているデータを選ぶ場合は、フォルダのタブにタッチします。

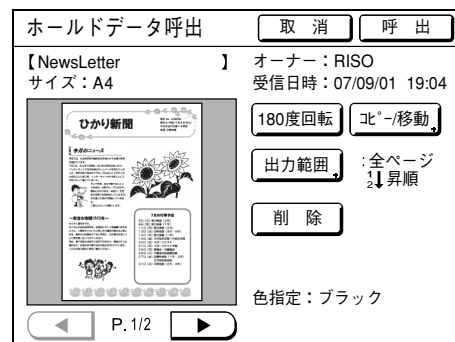
参考

- 保存データが画面に表示しきれない場合は、**▲** **▼** にタッチして表示させてください。
- [ホールド(USB)データ選択]画面右下のボタン(**USBメモリ** または **ホールド**)で[ホールドデータ選択]画面と[USBデータ選択]画面の切り替えができます。

5

呼び出すデータを確認する

サムネイルで呼び出したいデータかどうかを確認します。



[ホールド(USB)データ呼出]画面では、データの確認や出力設定を行うことができます。

● 操作については、「[ホールドデータ呼出]画面/[USBデータ呼出]画面の使いかた」(P.176)を参照してください。

6

呼出 にタッチする

データが呼び出され、保存データ用の製版基本画面が表示されます。



7

スタート を押す

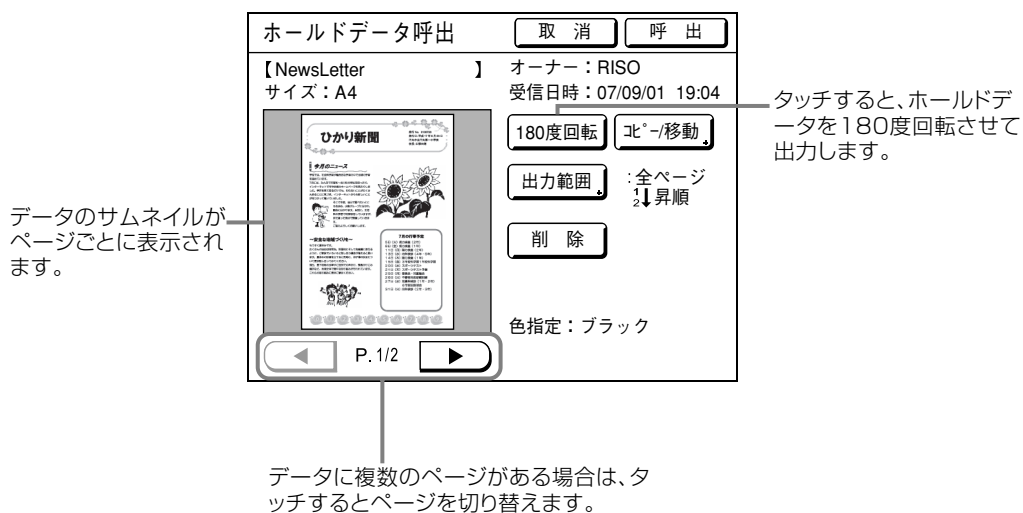
データが製版されます。

以降は、通常の製版・印刷行程と同様の操作を行ってください。

保存データを呼び出してプリントする

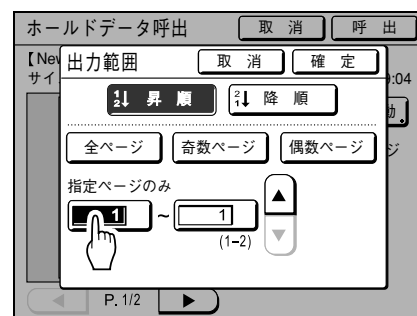
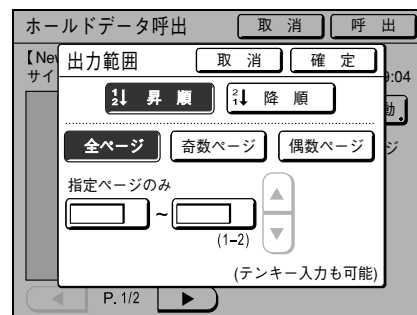
【ホールドデータ呼出】画面／【USBデータ呼出】画面の使いかた

【ホールドデータ呼出】画面／【USBデータ呼出】画面の各部の意味は、以下のとおりです。
ここでは、【ホールドデータ呼出】画面を例に説明します。



■ **出力範囲**
複数のページのあるホールドデータ(USBメモリデータ)の場合、出力するページを指定することができます。
出力範囲 にタッチすると、【出力範囲】画面が表示されます。

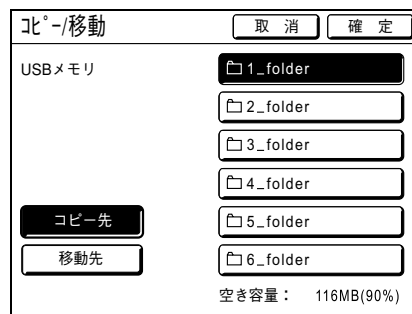
各ボタンにタッチすることで、すべてのページ、奇数ページのみ、偶数ページのみを、それぞれ「昇順」または「降順」で出力するように設定できます。
ページ範囲を指定する場合は、ページの入力ボックスにタッチし、▲ ▼ にタッチしてページを指定します。



北°/移動

ホールドとUSBメモリとの間で、保存データをコピー／移動します。[ホールドデータ呼出]画面からはUSBメモリに、[USBデータ呼出]画面からはホールドにコピー／移動できます。

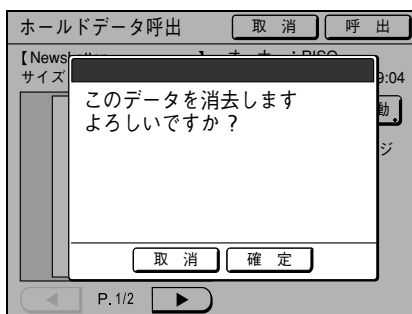
設定方法の詳細については、「保存データをコピー／移動する」(P.180)を参照してください。



削除

削除にタッチすると、確認画面が表示されます。

確定にタッチすると、このデータが削除されます。



データの並び順を変える

[ホールドデータ選択]画面/[USBデータ選択]画面に表示される保存データの並び順を変更することができます。

ここでは、[ホールドデータ呼出]画面を例に説明します。

参考

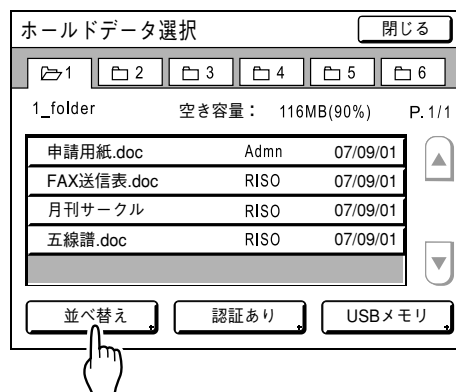
工場出荷時は、「保存日降順」に設定されています。

1

並べ替えにタッチする

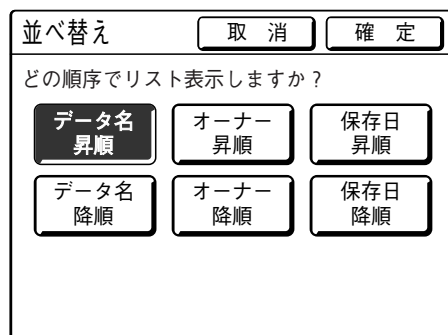
参考

並べ替えは、ホールドデータ(USBメモリデータ)がない、または1個のみの場合にはタッチできません。



2

[並べ替え]画面で、変更する並び順のボタンにタッチする



3

確定にタッチする

[ホールドデータ選択]画面([USBデータ選択]画面)に戻ります。

保存データを合成する

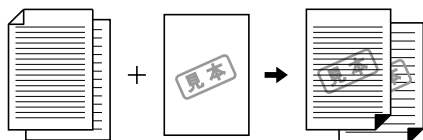
[オーバーレイ]

その他

機能一覧
オーバーレイ

紙原稿と保存しているデータを合成することができます。

たとえば、複数の原稿に、「見本」などの共通のスタンプを印刷する場合などに使用します。



「オーバーレイ」は、「省インク」、「レイアウト原稿」、「AFとじ代設定」、「ホールド」、「USBメモリ」、「パソコンからの原稿データ送信」とは併用できません。

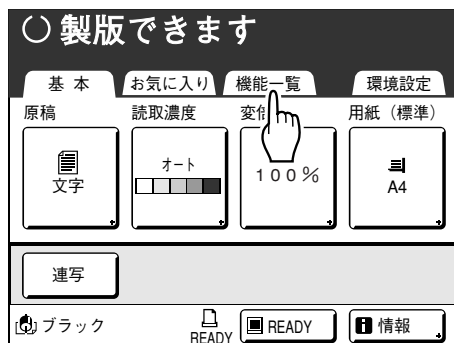
1

原稿をセットする

☛ P.30「紙原稿をプリントする」

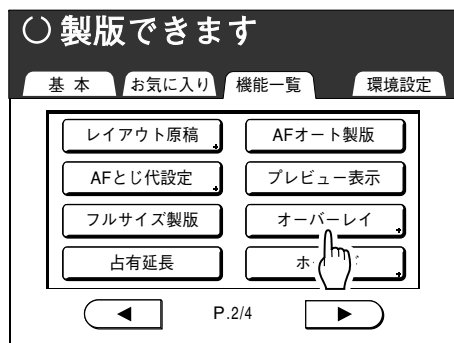
2

製版基本画面で「機能一覧」にタッチする



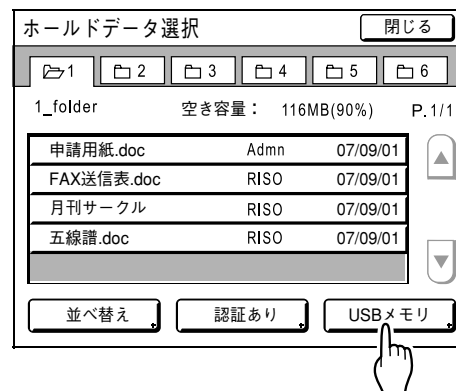
3

「オーバーレイ」にタッチする



[ホールドデータ選択]画面が表示されます。

USBメモリに保存されているデータを合成したいときは、USBスロットにUSBメモリを挿入し、「USBメモリ」にタッチします。



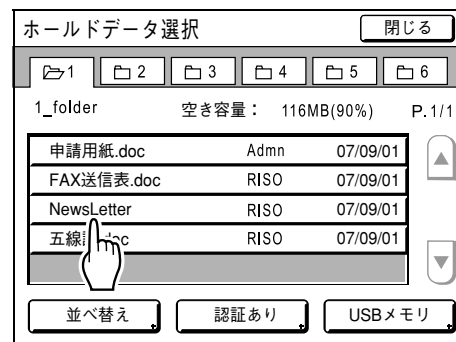
[USBデータ選択]画面が表示されます。

重要

USBメモリは、プリントが終わるまで取り外さないでください。

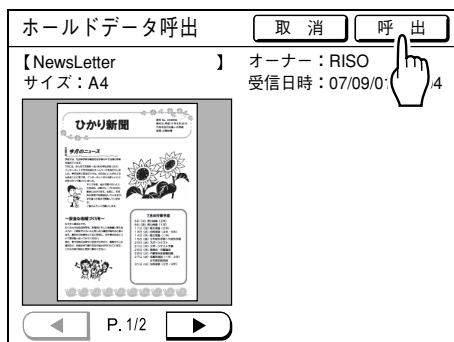
4

合成する保存データを選ぶ



データの選択方法については、「保存データの呼び出し方」(P.174)の手順3,4を参照してください。

5

保存データを確認して、
にタッチする

[オーバーレイ]が設定され、機能一覧画面に戻ります。

6

プリント操作をする

以降の操作については、「紙原稿をプリントする」(P.30)の手順5以降を参照してください。

■保存データの合成のされかた

保存データは保存されているサイズで合成されます。原稿サイズや用紙サイズに合わせて拡大／縮小することはできません。

保存データ

原稿



保存データ

原稿



保存データは、原稿のトップ(天方向)のセンター合わせで合成されます。合成位置を調整することはできません。

保存データをコピー／移動する

ホールドとUSBメモリとの間でデータをコピー／移動することができます。
ホールドまたはUSBメモリのデータ空き容量が少ないときや、バックアップをとるときなどに便利です。

参考

- ホールド内またはUSBメモリ内でのデータコピー／移動はできません。
- 付属のCD-ROMに収録されている「リソースティリティソフトウェア」(理想USBメモリマネージャー)を利用して、USBメモリに保存されている原稿データをパソコンで整理・管理することができます。詳しくは、「リソースティリティソフトウェア取扱説明書」(CD-ROM)をご覧ください。
- 認証データは、データの認証設定が保持されたままコピー／移動されます。

ここでは、ホールドからUSBメモリにデータをコピー／移動する場合の手順を例に説明します。

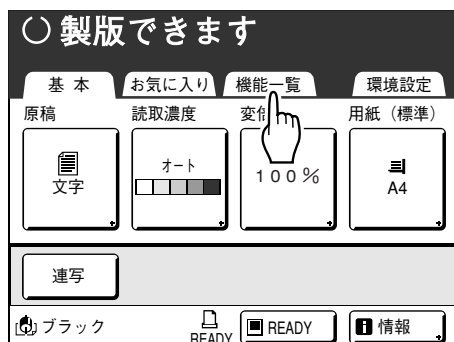
1

データ保存用USBメモリが挿入されていることを確認する

USBメモリが挿入されていない場合は、USBメモリをUSBスロットに挿入してください。

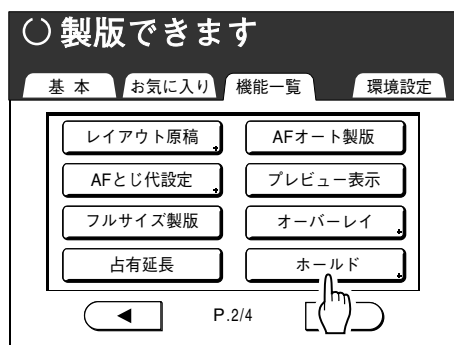
2

製版基本画面で「機能一覧」にタッチする



3

「ホールド」にタッチする

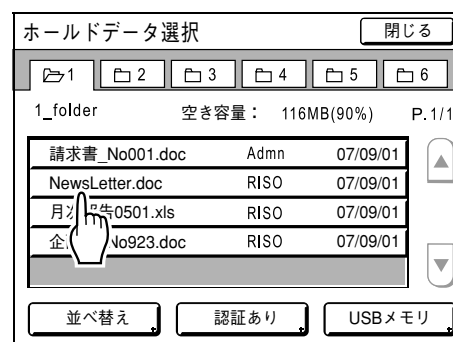


参考

USBメモリからホールドにデータをコピー／移動するときは、「USBメモリ」にタッチします。

4

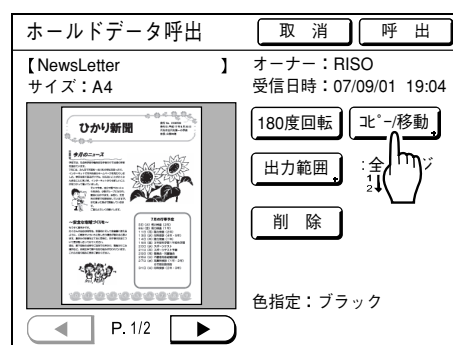
コピー／移動するホールドデータにタッチする



データの選択方法については、「保存データの呼び出し方」(P.174)の手順3、4を参照してください。

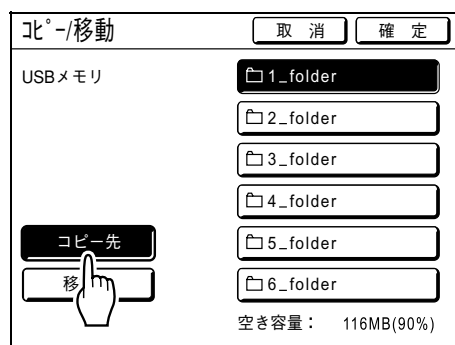
5

「コピー／移動」にタッチする



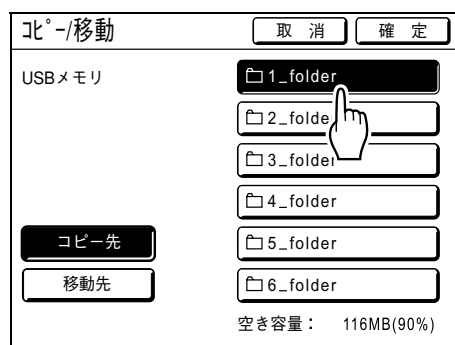
6

コピー先 または 移動先 に
タッチする



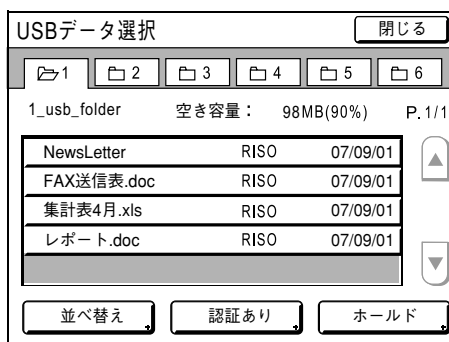
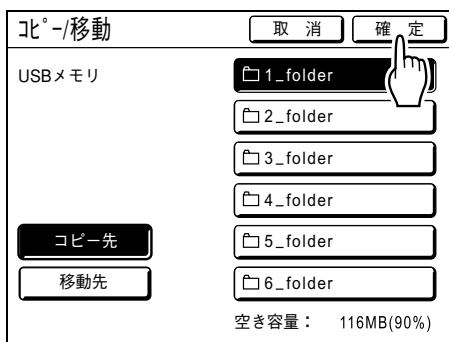
7

コピー先／移動先フォルダのボ
タンにタッチする



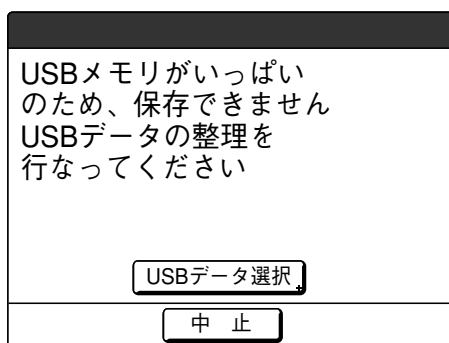
8

確定 にタッチする



データがコピー／移動され、コピー先／移動
先のフォルダが表示されます。

USBメモリ(USBメモリからホールドにコ
ピー／移動する場合は、ホールド)のデータ
容量が不足している場合は、以下のメッセ
ージが表示されます。USBメモリー覧にタッ
チしてUSBメモリのデータを整理するか、
中止にタッチしてコピー／移動を中止して
ください。



重要

データを処理している間は、USBメモリを
取り出さないでください。データの消失や
USBメモリの故障の原因になります。

● 原稿データを保存して活用する

連携機(別売品)を接続して使う

- 184 連携機を使用したプリント機能について
- 185 連携機を使うための準備 [RLP情報設定]
 - 185 連携機情報の設定一覧
 - 188 連携機情報の設定
- 189 紙原稿を読み取り連携機から出力する [RLPモード]
- 192 連携機のオプション機能を使用する
 - 193 設定可能な項目一覧
- 196 両面印刷のしかた [両面]

連携機を使用したプリント機能について

本機は連携機(Prio)と接続して、より経済的なプリントが行えます。
連携機を使ったプリントには、「自動振分」と「RLPモード」の2つがあります。

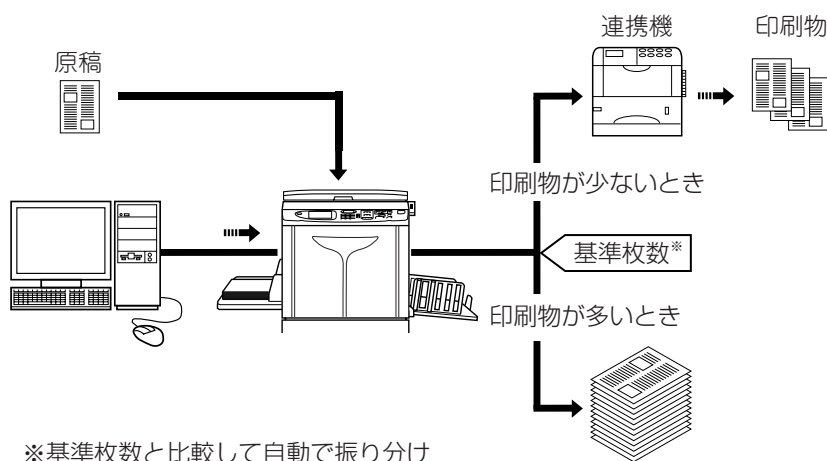
重要

連携機として接続できるプリンタは「Prio」です。接続には、RISORINC-NETが必要です。

■ 自動振分機能

紙原稿や、パソコンから送信したデータをプリントする場合、あらかじめ基準枚数(自動振分枚数)を設定しておく
と、印刷部数が基準枚数以上のときは本機を、基準枚数未満のときは連携機を自動で選択し、プリントします。
USBメモリやメモリーカードDM128CF(オプション)に保存した原稿データを呼び出してプリントする場合も、
枚数により自動的に振り分けてプリントができます。

☛ P.149「初期設定を変更する/自動振分枚数」、P.149「初期設定を変更する/受信ジョブ自動振分」、P.165「原
稿データを保存して活用する」

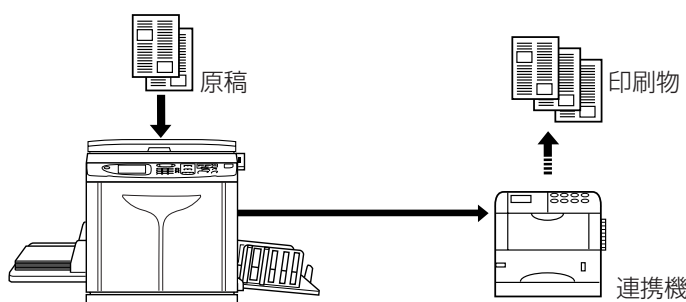


重要

紙原稿の場合、製版の前に印刷枚数の入力が必要です。枚数が「0」で **スタート** を押すと、
無条件で本機からプリントします。

■ RLPモード機能

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。
両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。



連携機を使うための準備

〔RLP情報設定〕

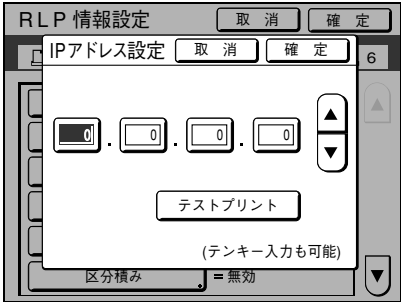
本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機の情報を登録する必要があります。ここでは、「環境設定」の「RLP情報設定」について説明しています。RLPに関する、その他の「環境設定」については、P.149を参照してください。

重要

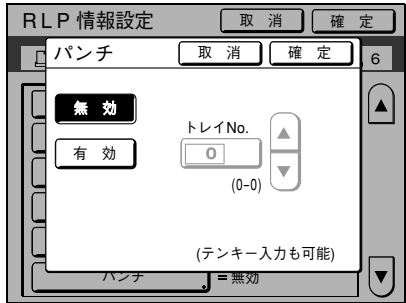
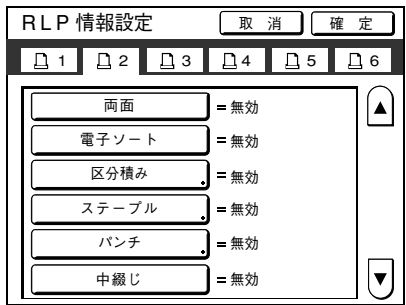
- 本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。
- 連携機の情報に登録されていない場合、連携機からの出力や取り付けたオプションの機能は使用できません。
- 情報の登録は接続してある連携機(Prio)1台ずつにそれぞれ行ってください。

連携機情報の設定一覧

は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	入力方法
RLP名称 連携機の名称を設定します。 参考 登録した名称はRLPモード画面で表示されます。		 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。その後、確定 にタッチして、RLP名称を登録します。操作の詳細は、「名称入力画面について」(P.121)を参照してください。
IPアドレス設定 連携機をネットワークに接続するためのIPアドレスを設定します。 参考 ● テストプリント にタッチすると、連携機へのデータ送信テストが実行されます。テストに成功したときは、連携機からテストの結果のレポートが出力されます。失敗したときは、ワーニングメッセージが表示されます。中止 にタッチし、設定しなおしてください。 ● テストプリント は、「環境設定」の「本機IPアドレス設定」が未設定のときは選択できません。 ● P.147「初期設定を変更する／本機IPアドレス設定」		 ● ↑ ↓ またはテンキーを押して入力します。 ● 入力位置を移動するときは、直接、入力位置のボタンにタッチするか、※ を押して移動させてください。

#

設定項目	設定内容	入力方法
パンチ 「パンチ」機能がある場合に「有効」に設定します。 また「パンチ」機能が使えるトレイNo.*を設定します。	無効 : パンチ機能なし（使用しない） 有効 : パンチ機能あり使用するトレイNo.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイNo.]は、  またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、「区分積み」「パンチ」「フェイスアップ」とも同じです。
フェイスアップ 「フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。また「フェイスアップ」機能が使えるトレイNo.*を設定します。	無効 : フェイスアップ機能なし（使用しない） 有効 : フェイスアップ機能あり使用するトレイNo.	
両面 「両面」機能がある場合に「有効」に設定します。	有効・無効	 入力方法は、「両面」「電子ソート」「中綴じ」「回転ソート」「AF時自動フェイスアップ」「メールボックス」「ソート」とも同じです。 タッチするたびに有効・無効が切り替わります。
電子ソート 「電子ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
中綴じ 「中綴じ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
回転ソート 「回転ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
AF時自動フェイスアップ 「AF時自動フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
リバース出力 [リバース出力]機能がある場合に[有効]に設定します。		
AF時自動リバース出力 [AF時自動出力]機能があり、[リバース出力]が[有効]の場合に、[有効]に設定できます。		
メールボックス 「メールボックス」機能がある場合に「有効」に設定します。		
ソート 「ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
ブックレット [ブックレット]機能がある場合に[有効]に設定します。		

※トレイNo.はお使いのPrioaの機種により異なります。

連携機を使うための準備

連携機情報の設定

1

「環境設定」画面で **RLP** にタッチする



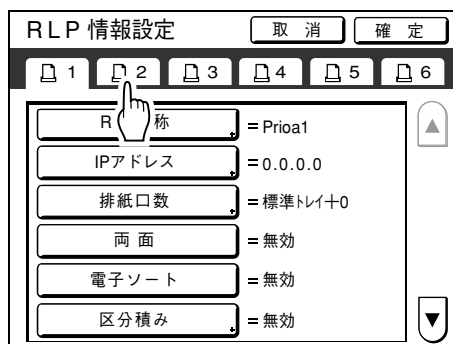
2

RLP情報設定 にタッチする



3

情報を登録する連携機にタッチする

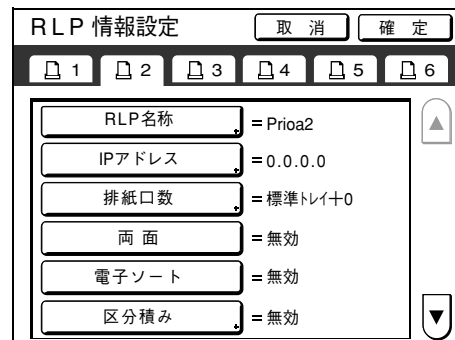


参考

連携機の情報6台分まで登録できます。

4

登録する情報のボタンにタッチする



参考

表示された画面内に目的の項目がないときは、▲ または ▼ にタッチして表示を切り替えてください。

5

設定を変更する

「連携機情報の設定一覧」(P.185)を参考に、して各項目を変更してください。

参考

設定画面がある機能は、設定の変更後、**確定** にタッチします。変更内容が確定され、[RLP情報設定]画面に戻ります。変更を中止するときは、**取消** にタッチして、[RLP情報設定]画面に戻ります。

6

終了 にタッチする



「環境設定」を終了し、基本画面に戻ります。

紙原稿を読み取り連携機から出力する

【RLPモード】



本機で原稿を読み取り、連携機(Prioα)からプリントするモードを「RLPモード」と呼びます。RLPモードでは、プリント枚数にかかわらず連携機からプリントされます。

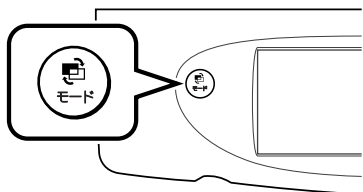
1

原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。原稿のセットについては、「紙原稿をプリントする」(P.30)の手順4を参照してください。

2

RLPモードに切り替える

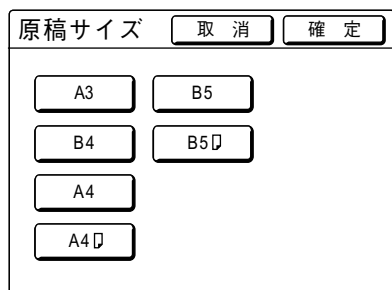


本機の を押して、RLPモードに切り替えます。

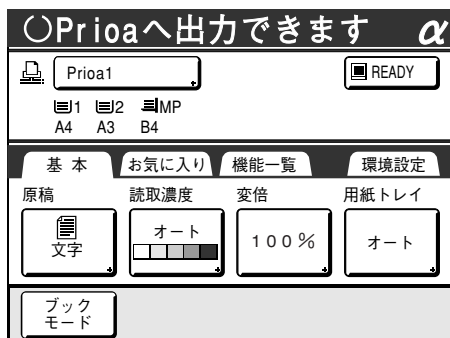
モード選択画面からRLP基本画面を表示する時は、 にタッチしてください。ループ式に設定してあるときは、RLP基本画面が表示されるまで を押してください。

● P.18「画面の移り変わり」

以下の「原稿サイズ」画面が表示された場合は、原稿のサイズに一致するボタンにタッチして、 にタッチしてください。



RLP基本画面が表示されます。



参考

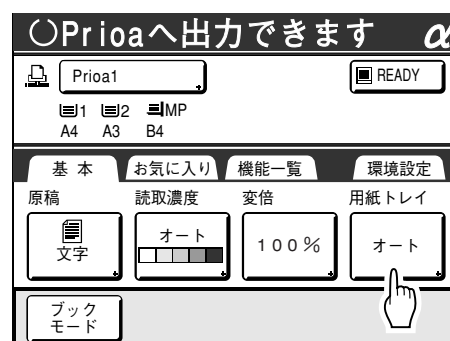
本機のディスプレイに[RISORINC-NETを起動しています/RLP情報取得中です]しばらくお待ちください」と表示されたときは、ネットワーク経由で連携機の情報を確認している状態です。メッセージが消えるまでお待ちください。

3

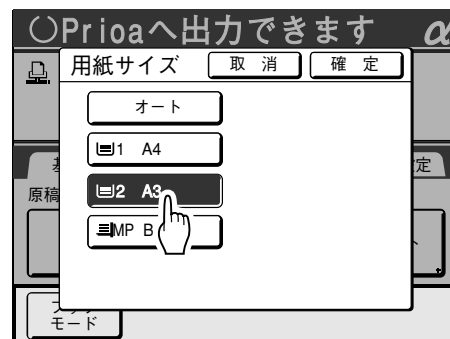
用紙を指定する

連携機に用紙トレイが複数あるときは「用紙」ボタンを押して、トレイ(サイズ)を指定してください。

① RLP基本画面で「用紙」ボタンにタッチする

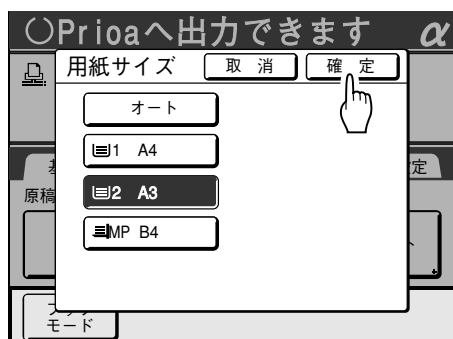


② 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



紙原稿を読み取り連携機から出力する

③ 確定 にタッチする



4

必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

設定できる機能は次のとおりです。

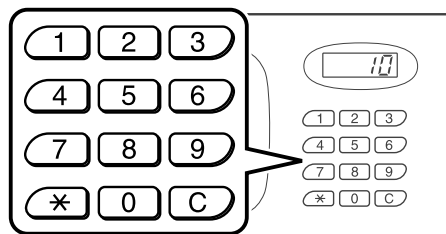
- 原稿モード(☞ P.48)
- 読取濃度(☞ P.50)
- 変倍(☞ P.51)
- 網点(☞ P.57)
- コントラスト強調(☞ P.58)
- トーンカーブ選択(☞ P.59)
- ブックモード(☞ P.70)
- レイアウト原稿(☞ P.72)
- プレビュー表示(☞ P.76)
- メモリー(☞ P.124)
- オーバーレイ(☞ P.178)

参考

- 連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを装着しているときは、オプション機能を使用することができます。
☞ P.192「連携機のオプション機能を使用する」
- 印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。
- 本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。
連携機からの出力を優先させるためには、「環境設定」の「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。
☞ P.131「割り込み印刷を防止する」

5

テンキーで印刷枚数を入力する



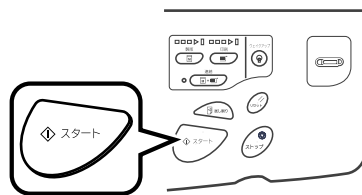
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**[C]**を押して消去した後に入力しなおしてください。

6

スタートを押す



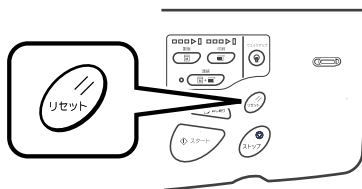
原稿の読み取りが始まります。
読み取られた原稿データは連携機に送信され、設定した枚数が連携機から出力されます。

参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、以後メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。
☞ P.124「メモリー機能を使う」

7

印刷終了後、リセットを押す

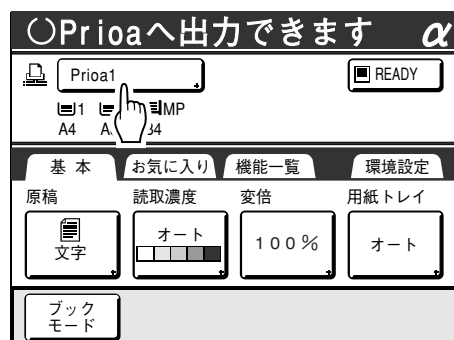


設定を初期値に戻します。

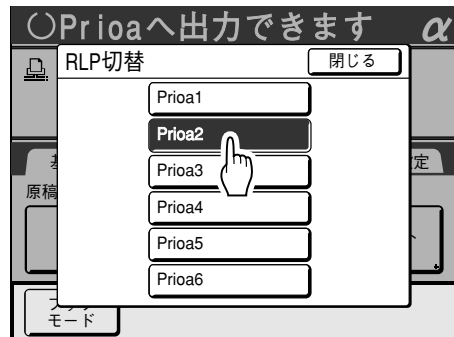
複数の連携機をネットワーク接続しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用しているときは、出力先として使用する連携機を、必要に応じて切り替えることができます。
以下の手順で、出力先の連携機を切り替えます。

① RLP基本画面で[RLP名称]ボタンにタッチする



② 出力する連携機にタッチする



参考

- 連携機にエラーが発生している場合、その連携機は選択できません。
- RLPモード中に、選択している連携機でエラーが発生したときは、[RLP切替]画面が表示されます。出力可能な連携機を選択しなおしてください。連携機の追加導入については、お買い上げの販売会社（または保守・サービス会社）に相談してください。

連携機のオプション機能を使用する

連携機

機能一覧

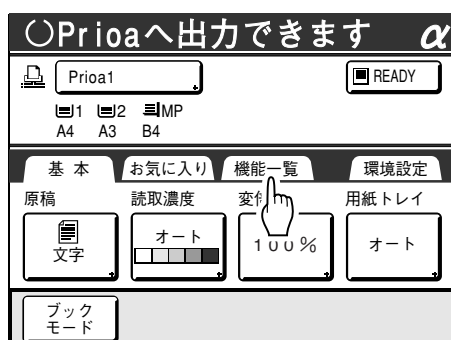
ソーターや両面印刷ユニットなど、オプションを取り付けたときに使用できる機能の設定について説明します。

参考

各機能の詳細については、「Prioa取扱説明書」をご覧ください。

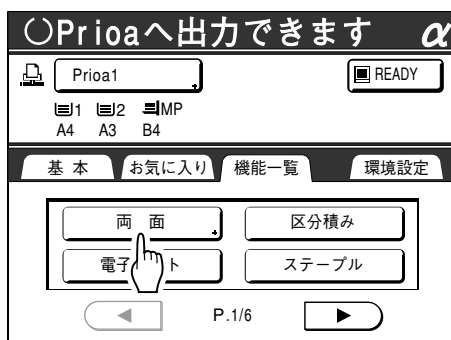
1

RLP基本画面で **機能一覧** に
タッチする



2

設定をする項目にタッチする



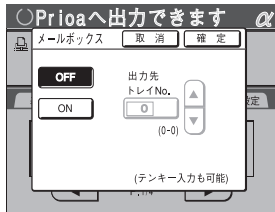
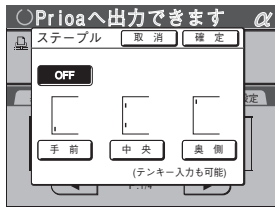
3

設定をする

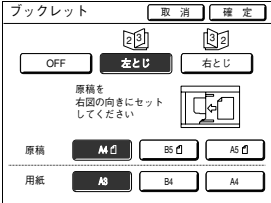
「設定可能な項目一覧」(P.193)を参考にして、各項目を設定してください。

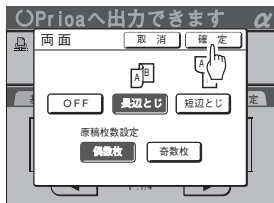
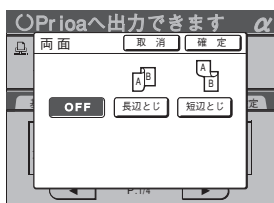
設定可能な項目一覧

は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
メールボックス 出力先の排紙トレイを選択します。	トレイNo.0～n（「環境設定」の「排紙口数」で設定したトレイの合計数）	 ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。	「排紙口数」: トレイ合計数を 1以上に設定
区分積み 複数ページの印刷物を1部ずつ交互にずらして排紙する機能を設定します。	ON・OFF		「区分積み」:「有効」を設定したときのみ表示
ステープル 印刷物をとじる位置を設定します。	「環境設定」の「ステープル位置」により異なります。 ■「固定」に設定時: ON・OFF ■「可変」に設定時: OFF・手前・中央・奥側	 各ボタンにタッチして設定します。	「ステープル」:「有効」を設定したときのみ表示
パンチ 印刷物にパンチ穴を開ける機能を設定します。	ON・OFF		「パンチ」:「有効」を設定したときのみ表示
中綴じ 2つ折りで、中央を閉じた状態で印刷物を排紙する機能を設定します。	ON・OFF		中綴じ: 「有効」を設定したときのみ表示
フェイスアップ 印刷面を上向きにして排紙する機能を設定します。	ON・OFF		フェイスアップ: 「有効」を設定したときのみ表示

連携機オプション機能を使用する

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
リバース出力 自動原稿送り装置(オプション)を使って読み取った原稿を、逆順にして出力する機能を設定します。	ON・OFF	_____	リバース出力: 「有効」を設定したときのみ表示
ソート 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま各トレイに仕分けして出力する機能を設定します。	ON・OFF	_____	ソート: 「有効」を設定したときのみ表示
電子ソート 複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま単一のトレイに出力する機能を設定します。	ON・OFF	_____	「電子ソート」: 「有効」を設定したときのみ表示
回転ソート 複数ページの印刷物を、一部ずつ縦横交互に排紙する機能を設定します。	ON・OFF	_____	「回転ソート」: 「有効」を設定したときのみ表示
ブックレット 複数ページの原稿を製本する機能を設定します。	OFF・左とじ・右とじ 左とじ・右とじ設定時、原稿サイズと用紙サイズを設定します。 原稿: A4  B5  A5  用紙: A3、B4、A4	 各ボタンにタッチして設定します。	「ブックレット」: 「有効」を設定したときのみ表示

設定項目	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
両面印刷 用紙の両面に印刷する機能です。本機に自動原稿送り装置(オプション)を付けている場合と、付けていない場合で画面と入力方法が異なります。 参考 両面印刷機能を使った印刷方法は、「両面印刷のしかた」(P.196)を参照してください。	■ 自動原稿送り装置を付けた時 OFF・長辺とじ・短辺とじ 原稿枚数の奇数枚・偶数枚 ■ 自動原稿送り装置を付けない時 OFF・長辺とじ・短辺とじ	■ 自動原稿送り装置を付けた時  各ボタンにタッチして設定します。 ■ 自動原稿送り装置を付けない時  各ボタンにタッチして設定します。	



重要

オプションの各機能は、連携機の機種やオプション構成などにより同時に設定できない場合があります。

両面印刷のしかた

【両面】

連携機

機能一覧
両面

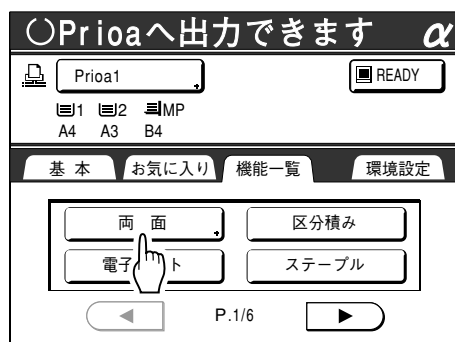
両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷をすることができます。

参考

製版または印刷の機能一覧画面でも「両面設定」が行えます。
これらの画面で設定を行うと、設定した内容を反映して、連携機から出力されます。

1

機能一覧画面で **両面** にタッチする



2

両面とじ方向を設定する

以下の表を参考に、とじ方向を設定してください。原稿のセット方向と、とじ方向の組み合わせにより、印刷物の仕上がりが異なります。

原稿のセット方向と「両面とじ方向」の関係

原稿 セット とじ方向	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
	縦置き (ポートレート)	横置き (ランドスケープ)
長辺とじ		
短辺とじ		

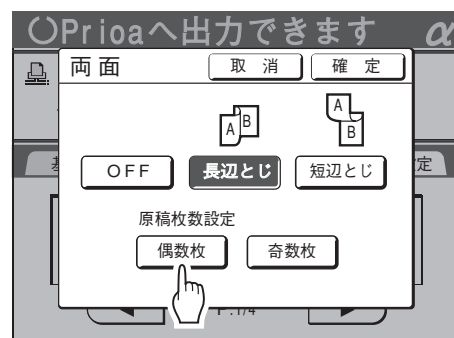
3

原稿枚数を設定する

自動原稿送り装置(オプション)を使用して原稿の読み取りを行うときは、原稿枚数が偶数枚か奇数枚かを設定します。

重要

自動原稿送り装置を使用しないときはこの手順は不要です。手順4へ進んでください。



4

確定 にタッチする



参考

両面印刷を行わないときは、**OFF** にタッチした後に **確定** にタッチしてください。

5

原稿をセットする

参考

- 原稿セットの詳細については、「紙原稿をプリントする」(P.30)の手順4を参照してください。
- 原稿が1枚のときは、原稿台ガラスにセットしてください。
- 自動原稿送り装置に奇数枚数の原稿をセットし、両面印刷を行うと、最初に読み取られた原稿の裏面は何も印刷されません。

6

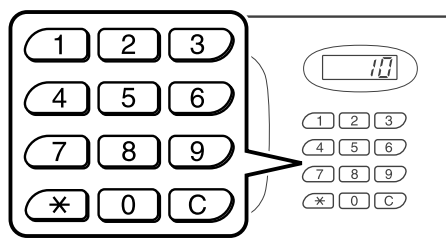
プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード(☞ P.48)
- 読取濃度(☞ P.50)
- 変倍(☞ P.51)
- 用紙サイズ(☞ P.55)
- 網点(☞ P.57)
- コントラスト強調(☞ P.58)
- トーンカーブ選択(☞ P.59)
- ブックモード(☞ P.70)
- レイアウト原稿(☞ P.72)
- プレビュー表示(☞ P.76)
- メモリー(☞ P.124)
- オーバーレイ(☞ P.178)

7

テンキーで印刷枚数を入力する



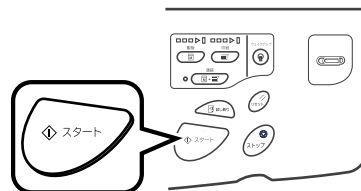
入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、**[C]**を押して消去した後に入力しなおしてください。

8

スタートを押す



原稿台ガラスにセットしたときと自動原稿送り装置にセットしたときとは、以降の操作手順が異なります。

以下の手順にしがたって操作を行ってください。

重要

原稿台ガラスと自動原稿送り装置を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。

■ 原稿台ガラスにセットしたとき 【両面出力中です】というメッセージ表示後、2枚目の原稿をセットし、スタートを押す



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、「両面印刷のしかた」(P.196)の手順5～7を繰り返します。

重要

1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP両面待ち時間」(P.149)で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

両面印刷のしかた[両面]

参考

- 2枚目の原稿をセットしないで  を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
 - ・ 原稿モード ( P.48)
 - ・ 読取濃度 ( P.50)
 - ・ 変倍 ( P.51)
 - ・ 網点 ( P.57)
 - ・ コントラスト強調 ( P.58)
 - ・ トーンカーブ選択 ( P.59)

- **自動原稿送り装置にセットしたとき**
セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。
原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

消耗品の交換

- 200 消耗品の残量を確認する
- 201 マスター交換のしかた
- 204 インクボトル交換のしかた
- 206 排版ボックスのマスターの処理
- 208 ドラムのセット(カラーチェンジ)
 - 208 ドラムの取り出しかた
 - 209 ドラムのセットのしかた
- 211 使用済み消耗品の回収・廃棄について

消耗品の残量を確認する

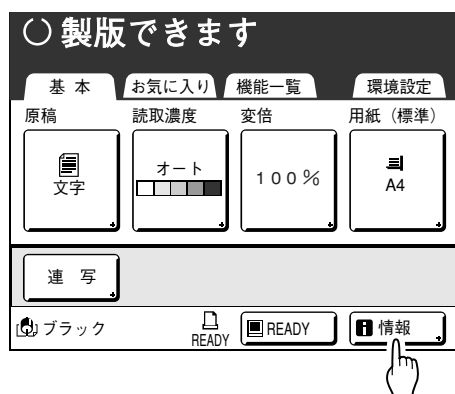
インクやマスター、排版ボックスの空き容量の確認ができます。

参考

- 残量検知が正しくできない場合には、残量が表示されないことがあります。
- 残量は目安であり正確な数値ではありません。

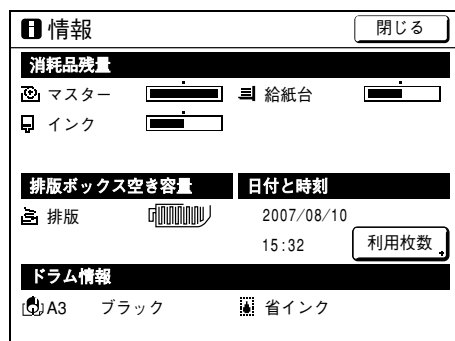
1

基本画面で **情報** に
タッチする



2

消耗品の残量を確認する



各消耗品の残量が少なくなったら、早めに消耗品の在庫をご確認ください。

- ・ マスター (P.201)
- ・ インク (P.204)
- ・ 排版 (使用済みマスターの処理) (P.206)

表示の内容

表示	内容
	黒色の部分が残量を示しています。 例) : 残量約10%
(不明)、「---」、表示なし	消耗品の情報が取得できない、セットされていないなどを示します。

【利用枚数】画面について

本機が認証状態にある場合、**利用枚数** にタッチして[利用枚数]画面を表示することができます。

[利用枚数]画面では、現在認証しているユーザーの上限印刷／製版枚数、現状印刷／製版枚数を確認できます。上限印刷／製版枚数は、管理者によって設定されています。詳しくは、管理者へお問い合わせください。

利用枚数		閉じる
U-1(G-1)		
上限印刷枚数	10,000	
現状印刷枚数	6,511	
上限製版枚数	10,000	
現状製版枚数	250	

情報 (情報ボタン) について

情報 ボタンの **情報** アイコンは、消耗品から得たマッチング情報の状態を表しています。

本機が読み取った消耗品の情報により、**情報** アイコンは次のように表示されます。

- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得できたとき **情報** (表示)
- (消耗品から) マッチング情報を適切に取得できなかったとき **情報** (グレー表示)

情報 アイコンがグレー表示のときは、マスター・インクの残量は表示されません。

マスターやインクの残量が少なくなると、ボタンの右側に **マスター** (マスター) または **インク** (インク) が点滅して、交換時期が近いことをお知らせします。

参考

消耗品からマッチング情報を適切に取得できなかったときには、適切な設定値を入力する必要があります。

- P.237「消耗品情報入力画面が表示されたら」

マスター交換のしかた

マスターがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。新しいマスターと交換してください。

重要

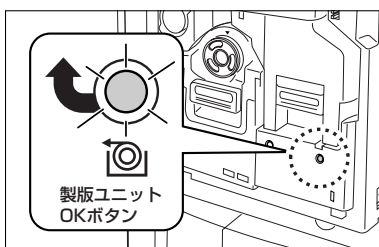
- マスターは、当社指定の本機専用マスターのご使用をおすすめします。
● P.250「消耗品について」
- マスター交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。

1

前カバーを開ける

2

製版ユニットOKボタンの点灯を確認する



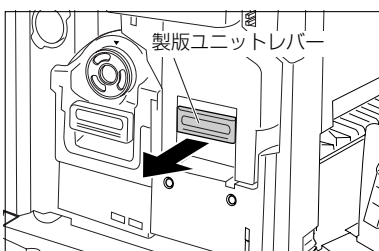
ランプが消えているときは、製版ユニットOKボタンを押して点灯させます。

重要

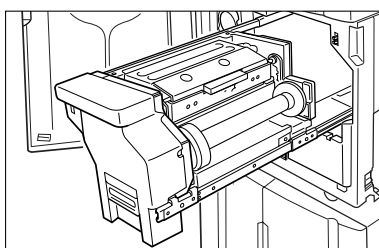
ドラムを引き出しているときは、製版ユニットを引き出せません。ドラムを戻してから、製版ユニットOKボタンを押してください。
● P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」

3

製版ユニットを引き出す



製版ユニットレバーを握って手前に引きます。

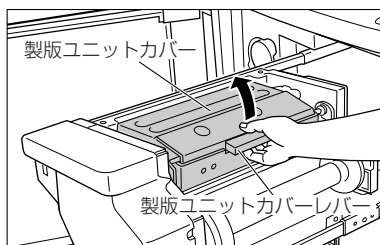


製版ユニットが止まるまでゆっくりと引き出してください。

マスター交換のしかた

4

製版ユニットカバーを開ける

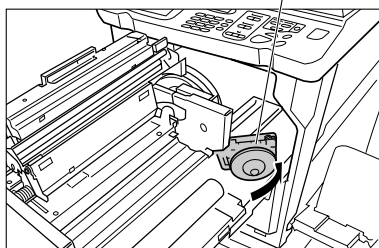


製版ユニットカバーレバーを握りながら、製版ユニットカバーを上を開けます。

5

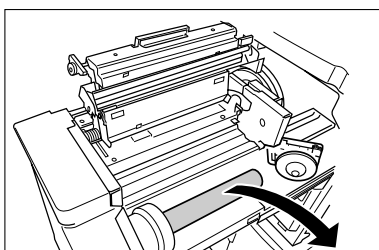
マスターロールストッパーを開ける

マスターロールストッパー



6

使用済みのマスター芯を外す



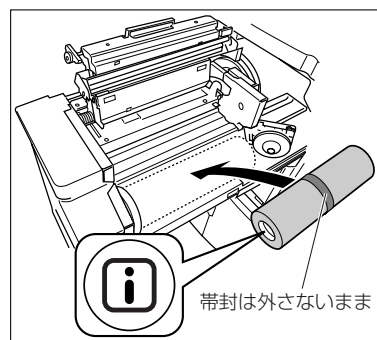
参考

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。

☛ P.211「使用済み消耗品の回収・廃棄について」

7

新しいマスターをセットする



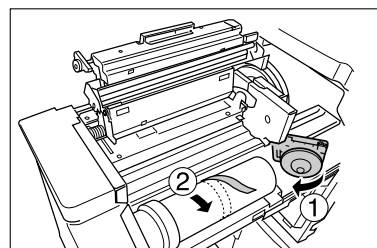
新しいマスターのシュリンク包装(透明フィルム)を取り除き、**i** マークがある方を左側にしてセットします。

重要

- シュリンク包装を取るときは、**i** 部分に傷を付けないように注意してください。**i** 部分が折れ曲がったりミシン目が切れてしまうと、そのマスターは使用できなくなります。
- 帯封は、まだ外さないでください。

8

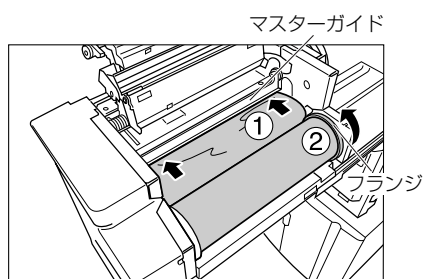
マスターロールストッパーを閉める



マスターロールストッパーを閉めた後、帯封を外します。

9

マスターの先端をガイドの下に差し込む

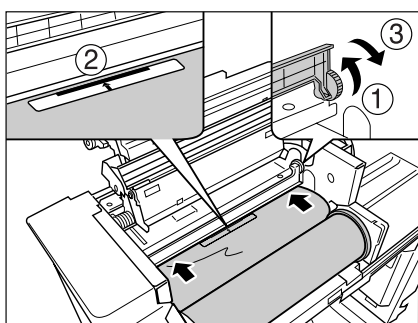


マスターガイドの下に、マスターの先端を奥にあたるまで差し込み(①)、右のフランジを奥側に回してたるみを巻き戻します(②)。

マスターが差し込めないとき

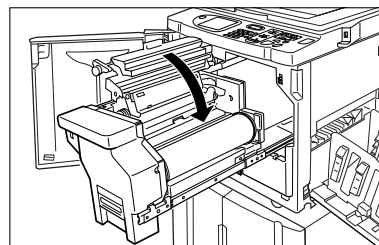
次の手順でマスターを差し込んでください。

- ① マスターガイドを上げる
マスターガイド端のダイヤル部分を奥側に回して、マスターガイドを上げます。
- ② マスターを矢印の先のライン部分まで引き出す
- ③ マスターガイドを戻す

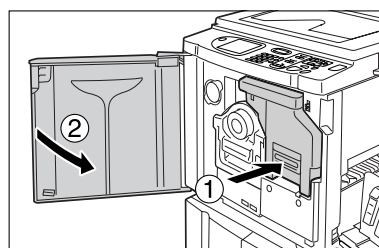


10

各部をもとに戻す



製版ユニットカバーを閉めます。



製版ユニットを戻し、前カバーを閉めます。

インクボトル交換のしかた

インクがなくなるとメッセージが表示されて本機が停止します。
新しいインクボトルと交換してください。

⚠ 注意 ドラム周辺にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。
手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

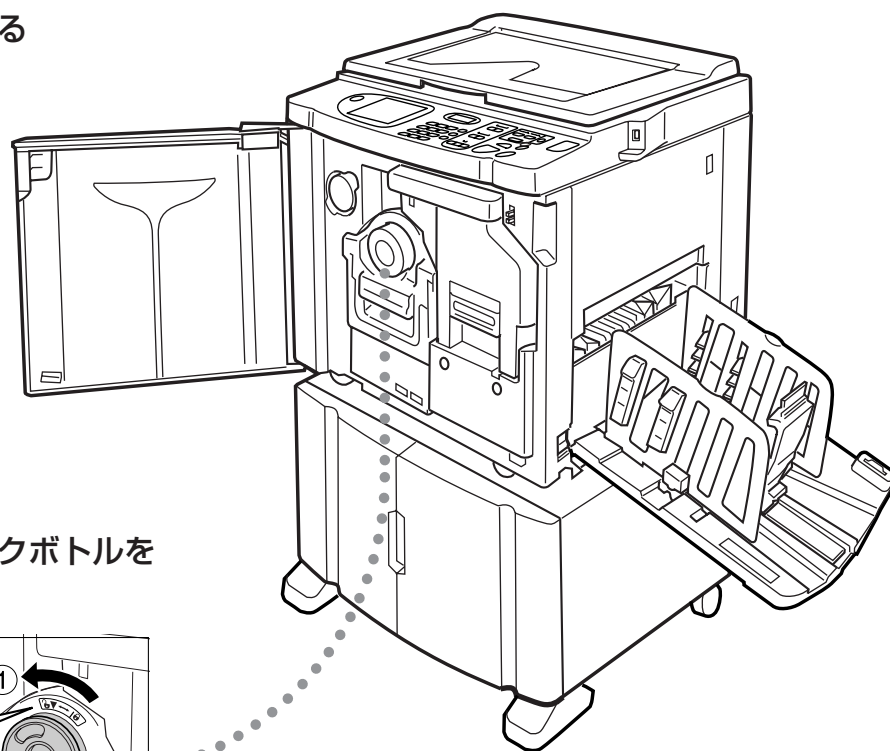
重要

- インクボトルは、当社指定の本機専用インク*のご使用をおすすめします。
☛ P.250「消耗品について」
- インク交換は本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 必ず同じ色のインクボトルと交換してください。インクの色を換えるときは、ドラムごと交換してください。
☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」

* 当インクは、(財)日本環境協会が制定するデジタル印刷機のエコマーク認定基準の、インクに関する全ての認定の基準に準拠しています。

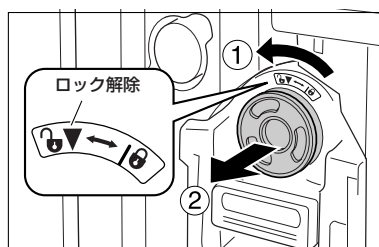
1

前カバーを開ける



2

使用済みのインクボトルを引き抜く

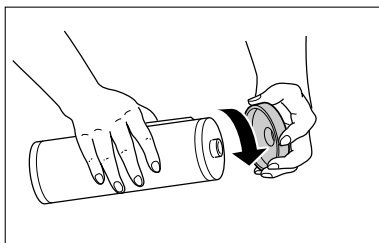


インクボトルを左方向(🔓)に回してから、手前に引き抜きます。

3

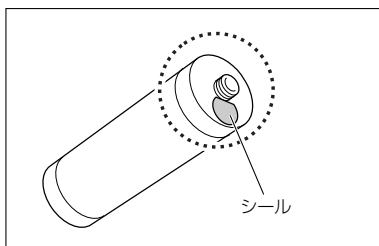
新しいインクボトルの キャップを外す

インクボトルのキャップを回して外します。



重要

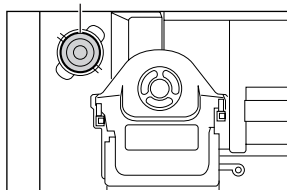
インクボトル口の周辺に触れたり、衝撃を与えないようにしてください。
また、インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。



参考

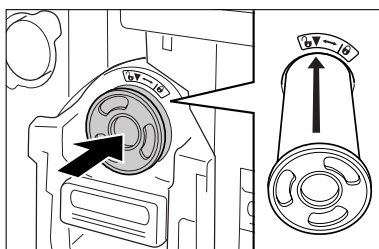
インクボトルから外したキャップは、ドラムの左上に留めておくことができます。

インクキャップ留め



4

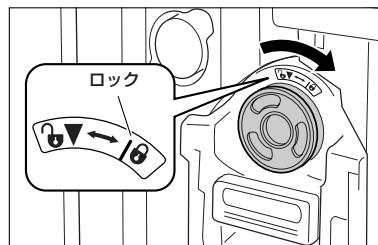
新しいインクボトルを セットする



インクボトルの矢印部分をドラムユニットの▼に合わせて、奥にあたるまで差し込みます。

5

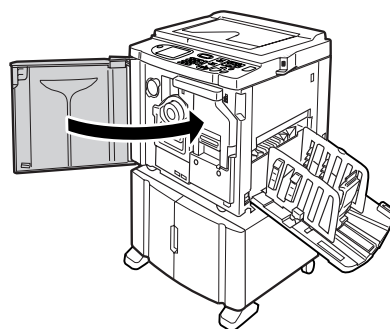
インクボトルをロックする



インクボトルを右方向(ロック)に回して、ロックします。

6

前カバーを閉める



排版ボックスのマスターの処理

使用済みのマスターは排版ボックスに送られます。排版ボックスの容量がいっぱいになると、メッセージが表示されて本機が停止します。使用済みのマスターを廃棄してください。

⚠ 注意 作業中、手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落としてください。

重要

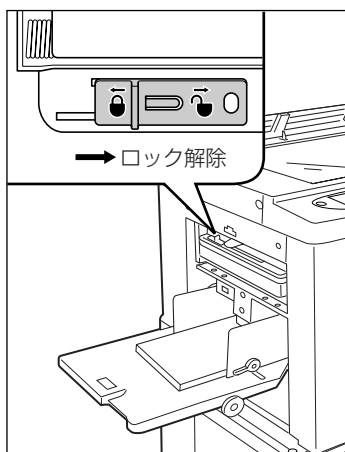
- 排版ボックスは、使用済みのマスターの流出を防ぐために、市販の南京錠を取り付けられるようになっています。南京錠を取り付けて、排版ボックスの管理をしている場合、マスターを廃棄する際には管理者に連絡してください。
- 「プロテクト」機能が「ON」に設定されている場合は、【排版ボックスがいっぱいになりました】または【排版部にマスターがつまりました】のメッセージが表示されたときのみ、排版ボックスを引き出すことができます。

➡ P.162「印刷済みのマスターを安全に管理する」

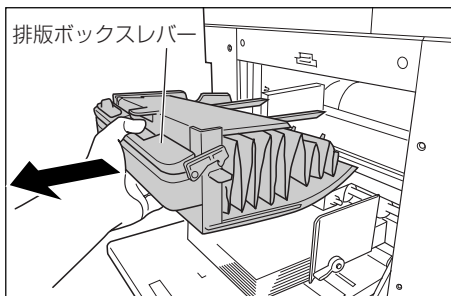
1

排版ボックスを外す

- ① 排版ボックスレバーがロックされている場合は、レバーを右にスライドして、ロックを解除します。

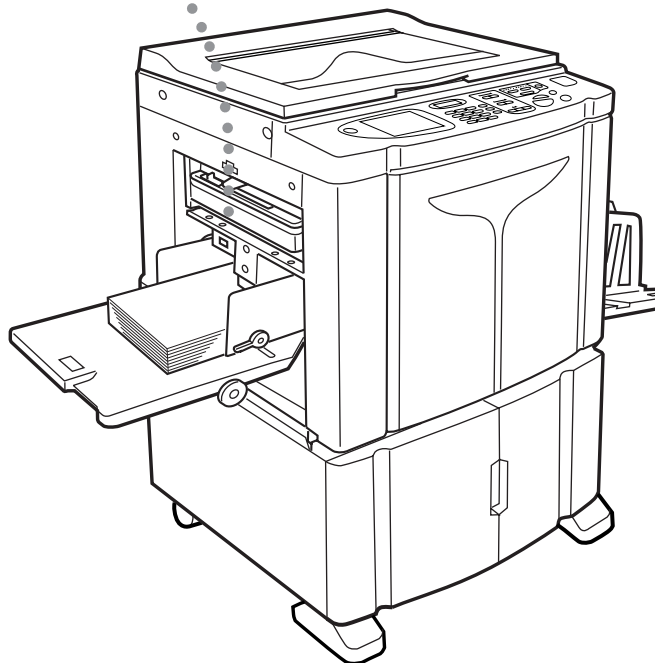


- ② 排版ボックスレバーを握りながら、排版ボックスを手前に引き出します。



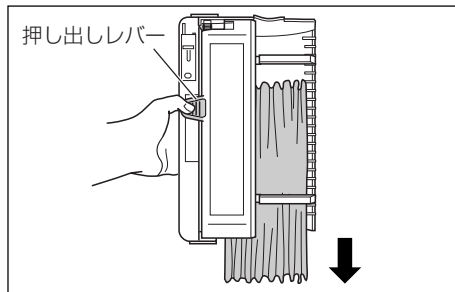
重要

排版ボックスが施錠されている場合は、管理者に連絡して南京錠を開錠してください。



2

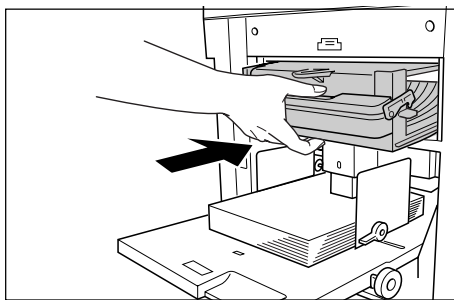
使用済みマスターを捨てる



排版ボックスを手前に傾け、押し出しレバーを握って、中の使用済みマスターを捨てます。

3

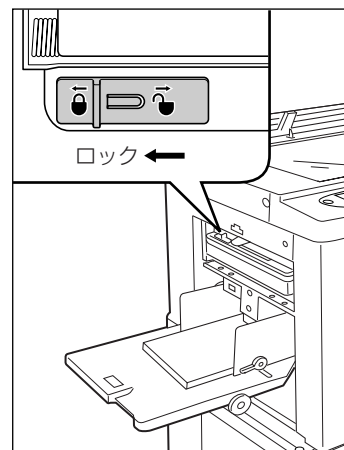
排版ボックスをセットする



排版ボックスを奥にあたるまで差し込みます。

参考

- 必要に応じて、排版ボックスロックレバーを左にスライドしてロックし、南京錠で施錠してください。
 ● P.162「印刷済みのマスターを安全に管理する」



- 使用済みのマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。
 ● P.211「使用済み消耗品の回収・廃棄について」

ドラムのセット(カラーチェンジ)

他の色で印刷するためにカラードラムを交換するときや、つまった紙を取り除くときは、ドラムを本体から外します。カラードラムは、オプションの専用カラードラムをご使用ください。

⚠ 注意 ドラムは垂直に立てて置かないでください。床などを汚すことがあります。



- ドラムは必ず当社指定の本機専用ドラムを使用してください。
- ドラムの引き出しやセットは、必ず本機の電源を入れた状態で行ってください。
- 交換したドラムは、必ずドラムケースに入れて水平に保管してください。

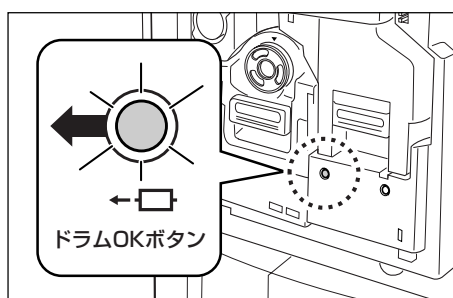
ドラムの取り出しかた

1

前カバーを開ける

2

ドラムOKボタンの点灯を確認する



ランプが消えているときは、ドラムOKボタンを押して点灯させます。

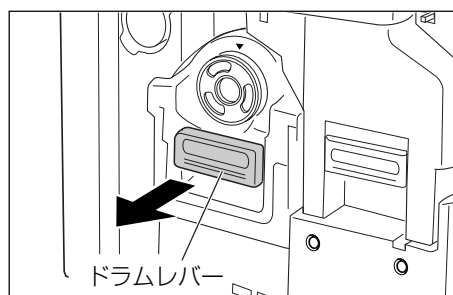


製版ユニットを引き出しているときはドラムを引き出せません。製版ユニットを戻してから、ドラムOKボタンを押してください。

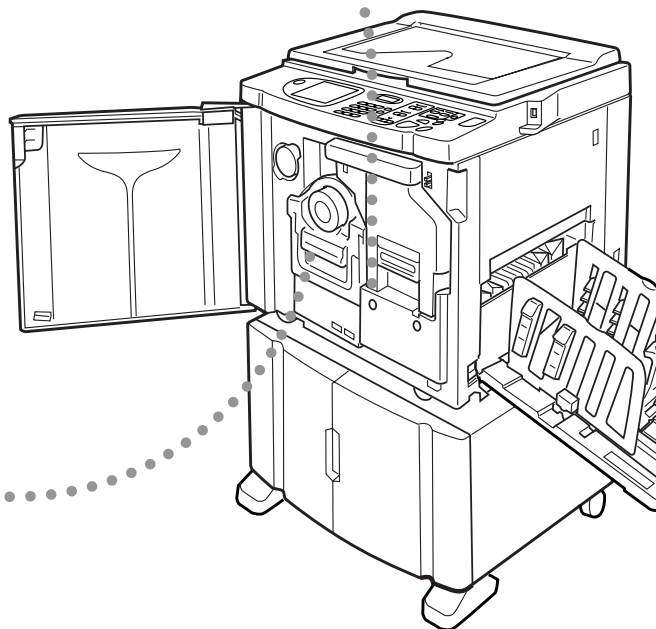
☛ P.201「マスター交換のしかた」

3

ドラムを引き出す

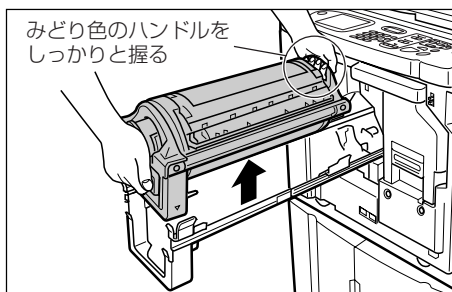


ドラムレバーを握りながら、ドラムが止まるまでゆっくりと引き出してください。



4

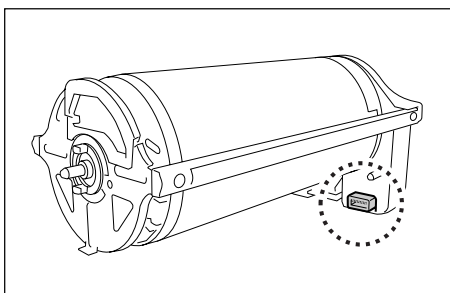
ドラムを外す



ドラムを両手で真上に持ち上げレールから外します。
ドラムの交換、紙詰まりの処理などを行います。

重要

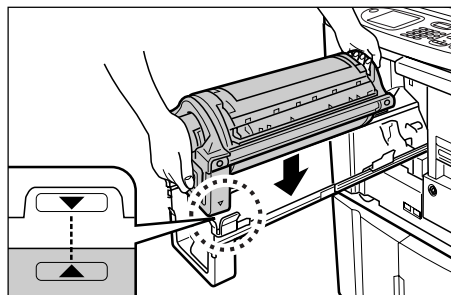
ドラムのコネクタには触れないでください。
静電気などによりドラム故障の原因になることがあります。



ドラムのセットのしかた

1

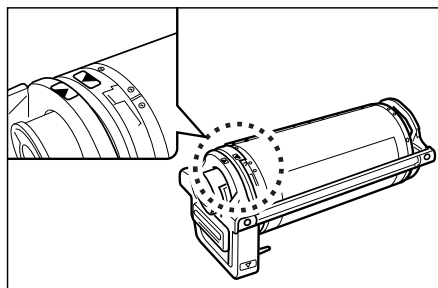
ドラムをレールにセットする



ドラムの ▼ マークとレールの ▲ マークを合わせて、ドラムをレールに水平にセットします。

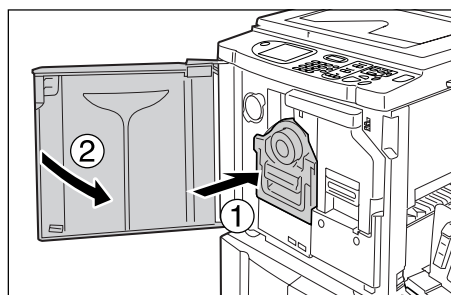
参考

手動でドラムを回転させたときは、作業後、必ず ▶ マークと ◀ マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。



2

ドラムを本体に戻す



ドラムを奥に止まるまで押し込み、前カバーを閉めます。

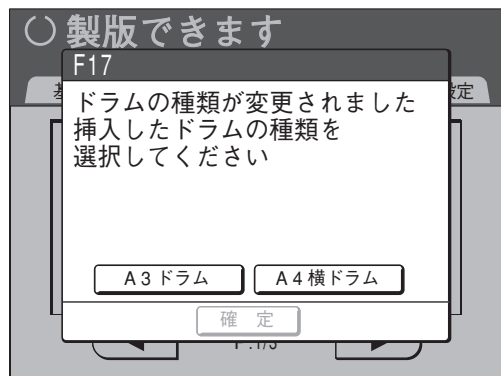
重要

ドラムレバーを握った状態で押し込まないでください。

ドラムのセット(カラーチェンジ)

ドラムの種類を変更したとき

ドラムの種類を変更すると、「ドラム種類の確認」画面が表示され、メッセージが表示されます。
次の手順でドラム種類を確定してください。



① セットしたドラムの種類にタッチする

② **確定** にタッチする

ドラムの種類が確定し、プリントが可能になります。

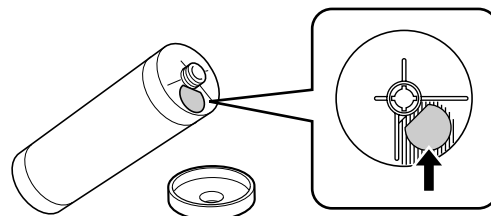
重要

- ドラムの種類が確定するまで、プリントはできません。
- オプションの専用カラードラム以外のカラードラムをセットすると、
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください。】と表示されます。
指示にしたがって、オプションの専用カラードラムをセットしてください。

使用済み消耗品の回収・廃棄について

■ インクボトル

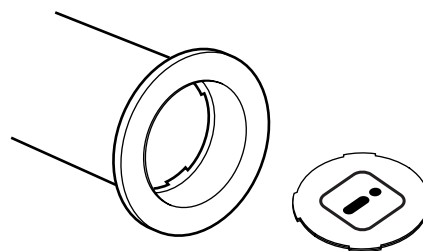
使用済みのインクボトルの回収システムがあります。詳しくはお買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にお問い合わせください。廃棄する場合は、各自治体の規制に従ってください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。インクボトル口の金属を含むシールを、矢印部分からはがして分別してください。インクボトルの口は、インクで汚れていることがありますので、手や衣服などを汚さないように注意してください。



部品名	材質
インクボトル・キャップ	プラスチック(ポリプロピレン・ポリエチレン)
シール	金属を含むプラスチック
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

■ マスター芯

使用済みのマスター芯は各自治体の規制に従って廃棄してください。分別の必要があるときは、以下を参考にしてください。**①** が型押しされている部分の裏面に金属を含むシールが付いています。ミシン目から切り取り、分別してください。



部品名	材質
芯	紙
マスター	プラスチック・和紙
① を切り取った部分	金属を含むプラスチック・紙

■ 排版されたマスター

使用済みの排版されたマスターは各自治体の規制に従って廃棄してください。

部品名	材質(成分)
マスター	プラスチック・和紙
インク	大豆油・石油系炭化水素・水・顔料

参考

成分は炭素と水素の化合物ですので、完全燃焼すれば水と炭酸ガスになります。

お手入れについて

- 214 クリーナーについて
- 215 お手入れのしかた

クリーナーについて

本機をお手入れするときに使用していただきたいクリーナーを紹介します。
クリーナーを使用するときは、各クリーナーの注意書きをよく読んでから使用してください。

- ⚠ **注意**
- お手入れに使うクリーナーは事務機専用です。顔や手など人体に付いた汚れには使用しないでください。
 - クリーナーを使用後は必ず手を洗ってください。

■理想ステージクリーナー

エチルアルコールを含ませた不織布シートです。原稿台ガラスなどの汚れをきれいに落とせます(1箱20袋入)。



■理想サーマルヘッドクリーナー

ペンタイプの使いやすいクリーナーです。サーマルヘッドの発熱部にペン先をあて、なでるように拭き取るだけで汚れをきれいに落とせます。トルエン、キシレン類の溶剤は使用しておりません。



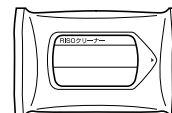
■リソグラフクリーナー

本体外装部の清掃に最適です。塗装面に直接スプレーし、柔らかい布や紙で拭き取ります。清掃後は汚れの付着を防止する効果もあります。



■RISOクリーナー(ティッシュタイプ)

本体外装部や原稿台ガラスなどの清掃にご使用いただける、ティッシュタイプのクリーナーです。



お手入れのしかた

製版ユニットのサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスキャナーガラス、ホワイトローラーなどに、ほこりやゴミ、インク、修正液などが付くと、プリントの仕上がりが汚れたりかすれたりすることがあります。

次の方法で、定期的にお手入れすることをおすすめします。

⚠ 注意 記載されている以外の作業(調整や修理など)は行わないでください。
調整や修理は必ずお買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)に依頼してください。

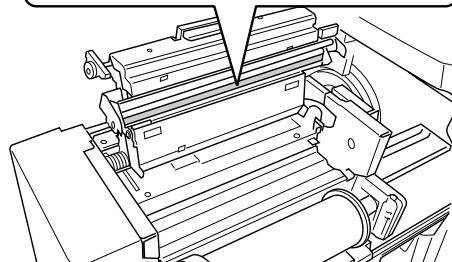
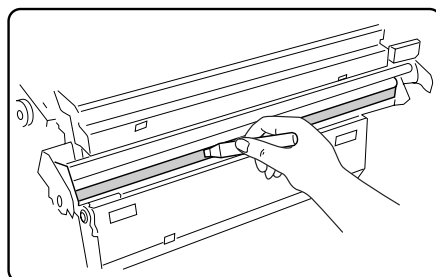
■サーマルヘッドのクリーニング

サーマルヘッドはマスター交換時(1ロールごと)にクリーニングしてください。

製版ユニットカバーを開けて、奥にあるサーマルヘッドを、理想サーマルヘッドクリーナーで数回軽くこすります。

重要

- サーマルヘッドは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。
- サーマルヘッドは静電気に弱い部分です。清掃する前に、必ず身体に帯電している静電気を除去してください。

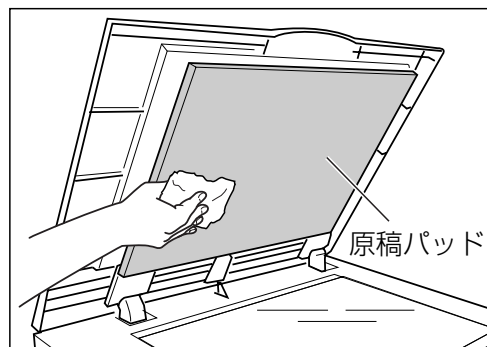
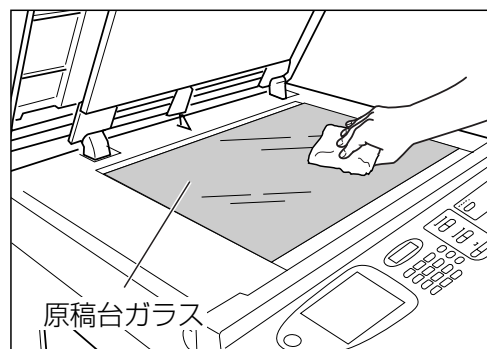


■原稿台ガラスと原稿パッド

原稿台ガラスや原稿パッドが汚れているときは、理想ステージクリーナーで数回軽く拭いてください。

重要

原稿台ガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。



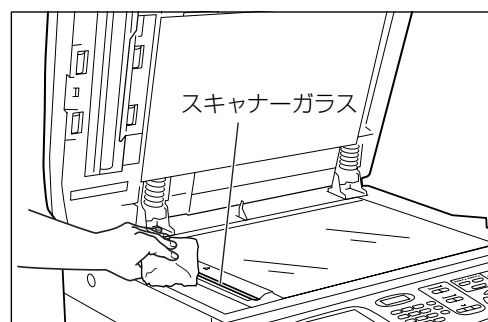
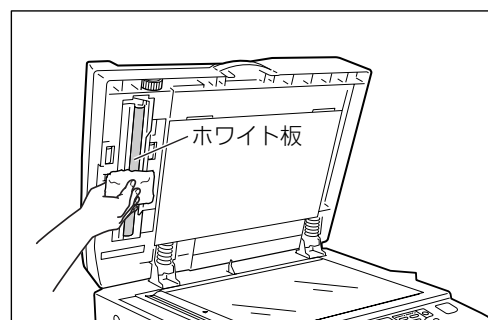
お手入れのしかた

■ 自動原稿送り装置(オプション)の スキャナーガラスとホワイト板

スキャナーガラスとホワイト板を、柔らかい布やティッシュペーパーで軽くこすり汚れを落とします。

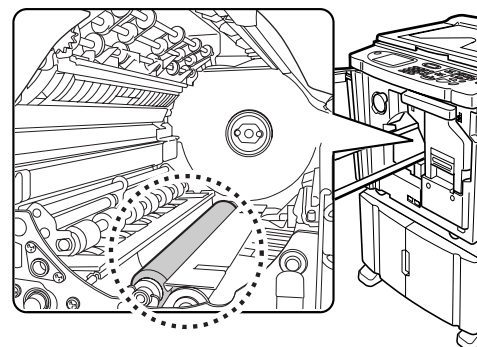


スキャナーガラスは非常にデリケートな部分です。固いもので傷付けたり衝撃を与えたりすることは絶対におやめください。

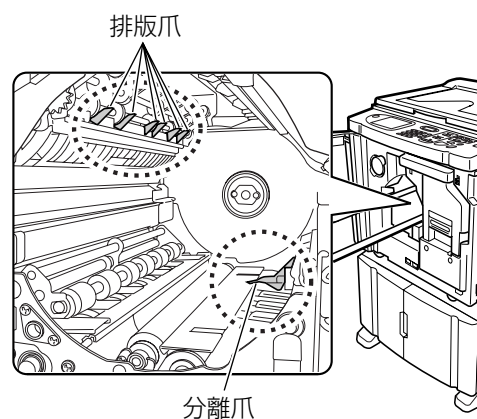


■ プレスローラー

ドラムユニットに用紙を圧着させるプレスローラーが汚れていると、用紙の裏に帯状の汚れが付くことがあります。理想ステージクリーナーで軽く拭いてください。



- ⚠ **注意**
- プレスローラーの清掃時には必ず本機の電源を切ってください。
 - 本体内部に手を入れるときは、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。爪の先端は鋭利なため、けがの原因になることがあります。
 - ドラムユニットを外した本体内部にはインクが付いていることがありますので、手や衣服などが触れないように注意してください。手などにインクが付いたときは早めに洗剤で洗い落とすようにしてください。

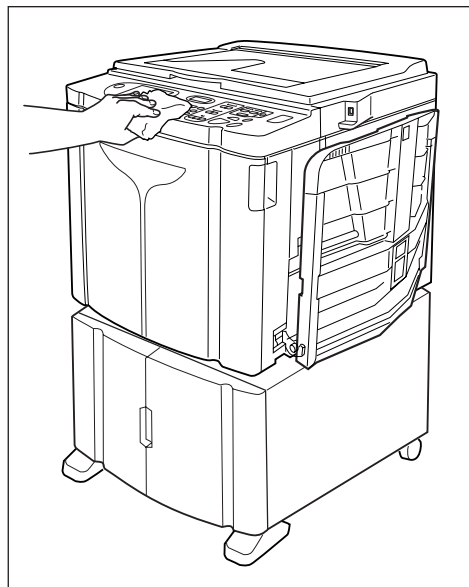


■ 外装部

本体にほこりなどが付くのを防ぐため、定期的に全体を柔らかい布で軽く拭いてください。
また、汚れ落としにはRISOクリーナーまたはリソグラフィクリーナーを使用してください。

重要

- 本体の外装にはプラスチックを使用しているので、アルコールや溶剤系の洗剤のご使用は絶対におやめください。
- ディスプレイ部の汚れは、通常、乾いた布で軽く拭き取ります。インクなどで汚れたときは、布などに少量のクリーナーを付けて軽く拭き取ってください。
ディスプレイに直接クリーナーを吹きかけたり塗布したりしないでください。
故障の原因になります。



こんなときには

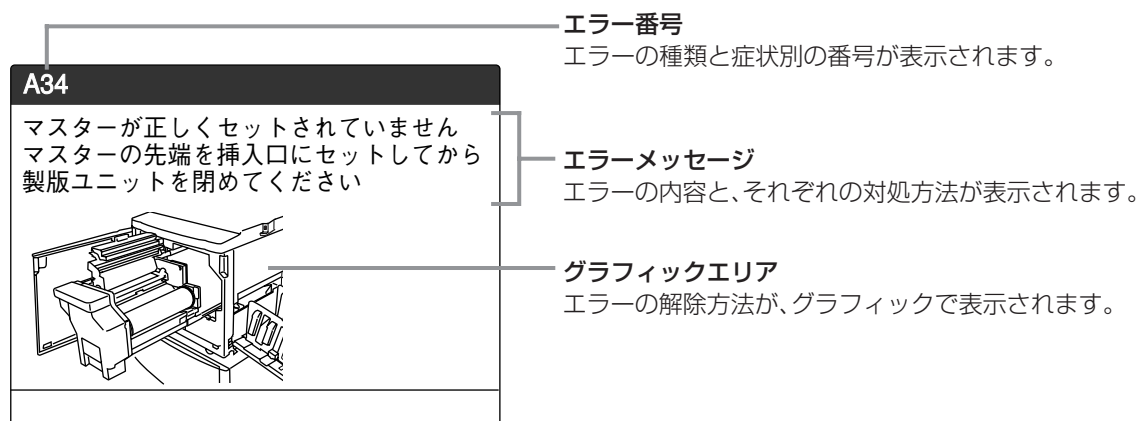
- 220 こんなメッセージが表示されたら
 - 220 エラーメッセージの見かた
 - 228 ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた
 - 237 消耗品情報入力画面が表示されたら
- 240 「故障？」と思ったとき

こんなメッセージが表示されたら

ディスプレイにメッセージが表示され本機の動作が停止したときは、次の表から原因を確認し、対処してください。

エラーメッセージの見かた

エラーの種類に応じて、メッセージとエラーグラフィックで対処方法が表示されます。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
T00-000	サービスエラー	サービスマンによる点検・修理が必要なエラーです。サービスエラーが発生したときには、エラー番号を販売会社（または保守・サービス会社）に連絡してください。	☞ P.221
A00-000	ジャムエラー	マスターなどがつまったときに表示されます。	☞ P.221
B00-000	オプションエラー	接続しているオプション側でエラーが発生したときに表示されます。	☞ P.223
C00-000	消耗品エラー	インク、マスターなどの消耗品がなくなったときに表示されます。	☞ P.224
D00-000	セット確認エラー	各部のセットが正しくされていないときに表示されます。	☞ P.224
J00-000	通紙ジャムエラー	原稿および用紙がつまったときに表示されます。	☞ P.226

■ T00-000: サービスエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡してください】	本機内部の電池が切れしました。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に連絡し、電池を交換してください。 ☛「アフターサービスについて」 エラーメッセージを消すには、  または  を押してください。
【トラブルが発生しました 電源を入れ直してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】	トラブルが発生しました。	電源を入れなおしてください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。
【トラブルが発生しました リセットキーを押してください 復帰できない場合は、サービス実施会社に連絡してください】		 を押してください。 それでも復帰できない場合は、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にご連絡ください。

■ A00-000: ジャムエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【給紙台の安全スイッチが働きました 給紙台の用紙を再セットしてください】	給紙台の安全スイッチが働きました。	給紙台の下や用紙の上に障害物がないか確認してください。障害物があれば、取り除いてください。
【製版ユニットでトラブルが発生しました マスターをいったん取り出して 製版ユニットカバーを閉めてください】	マスターを切るカッターが正常に動作しませんでした。	製版ユニットを引き出し、マスターを取り出して ください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」 製版ユニットカバーを閉めると、リセットされます。再度マスターをセットしてください。
【着版できませんでした ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	マスターがドラムに正しく巻き付けられませんでした。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 ②ドラムをセットしなおしてください。 ③  を押してください。
【ドラムにマスターが残っています ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	ドラム上に不要なマスターが残っています。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 ②ドラムをセットしなおしてください。
【排版できませんでした ドラムを引き出して、 マスターを取り除いてください】	マスターが排版されていません。	①ドラムを引き出し、ドラム上のマスターを取り除いてください。 ☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 ②ドラムをセットしなおしてください。 ③  を押してください。
【排版部にマスターがつまりました 排版ボックスを取り出し、 つまったマスターを取り除いてください】	排版ユニット部にマスターがつまっています。	排版ボックスを取り出し、つまっているマスターを取り除いてください。 ☛ P.206「排版ボックスのマスターの処理」 それでもディスプレイのエラー表示が消えない場合は、お買い上げの販売会社(保守・サービス会社)にご連絡ください。

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原 因	対 処
【マスターが正しくセットされていません マスターの先端を挿入口に セットしてから、製版ユニットを 閉めてください】	マスターがセットされて いないか、正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを正しく セットしてください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」  重要 巻き戻したマスターがしわになって いたり切れているときは、先端を まっすぐに切り取ってからセットして ください。
【マスターがつまりました 製版ユニットを引き出して マスターを巻き戻し、もう一度セット してください】	マスターが正しくセット されていません。	製版ユニットを引き出し、マスターを巻き戻し てセットしなおしてください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」

■ B00-000: オプションエラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【Prioaが認識できません Prioaが接続されていないか、 電源が入っていない可能性があります 確認してください】	連携機(Prioa)の電源が 入っていなかったり、ケー ブルが正しく接続されて いないか、断線している可 能性があります。	連携機(Prioa)の電源を確認してください。 また、連携機(Prioa)や本機のケーブルが、ハブ などに正しく接続されていることを確認してく ださい。接続に異常がない場合は、サーバーや ネットワークの通信状態を確認し、サーバーや ネットワークの管理者に相談してください。
【Prioaでエラーが発生しています】	連携機(Prioa)でサービス コールエラーが発生して います。	連携機(Prioa)側を確認し、エラーを解除して ください。
【Prioaのトナーがありません】	連携機(Prioa)のトナーが ありません。	連携機(Prioa)のトナーを交換してください。
【STソーターのテープがつまりました つまっているテープを取り除いて ください】	STソーター(オプション) にテープがつまりました。	STソーターを確認し、つまっているテープを 取り除いてください。
【STソーターのテープがなくなりま した 新しいテープをセットしてください】	STソーター(オプション) のテープがなくなりまし た。	STソーターに新しいテープをセットしてくだ さい。
【STソーターの電源が入っていません 電源を入れてください】	STソーター(オプション) の電源が入っていません。	STソーターの電源を入れてください。
【カードカウンターのカードをセット してください】	カードカウンター(オプ ション)にカードがセット されていません。	カードカウンターにカードをセットしてくだ さい。
【ソーター側のパネルを確認してくだ さい】	ソーター(オプション)に エラーが発生しました。	ソーター側のパネルを確認してください。ソー ターの取扱いについては、ソーターの取扱説明 書をご覧ください。
【ソーターのカバーが開いています】	ソーター(オプション)の カバーが開いています。	ソーターのカバーを閉じてください。
【認識できませんでした】	● USBスロットに、USB メモリ以外のものが セットされています。 ● USBスロットに、故障 しているUSBメモリが セットされています。 ● USBスロットに、本機 に対応していないUSB メモリがセットされて います。	本機に対応している正常なUSBメモリをセット してください。 ➡ P.11「USBメモリについて」
	USBメモリに空き容量が ありません。	パソコンでUSBメモリのデータを整理して、空 き容量を増やしてから、本機のUSBスロットに USBメモリをセットしてください。
【認識できませんでした(HUB)】	USBスロットにUSBハ ブがセットされています。	本機に対応している正常なUSBメモリをセット してください。 ➡ P.11「USBメモリについて」
【本機IPアドレスが設定されて いません 管理者に連絡してください】	本機のIPアドレスの設定 が完了していません。	システム管理者に連絡し、本機のIPアドレスを 設定してください。 ➡ P.147「初期設定を変更する／ 本機IPアドレス設定」

こんなメッセージが表示されたら

■ C00-000: 消耗品エラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【インクがなくなりました 新しいインクに交換してください】	インクがなくなっています。	新しいインクボトルに交換し、正しくセットしてください。 インクは専用のものをご使用ください。 ☛ P.204「インクボトル交換のしかた」 重要 交換後も表示が消えないときは、インクボトルが正しくセットされているか確認してください。
【排版ボックスがいっぱいになりました 排版ボックスのマスターを捨ててください】	排版ボックスがいっぱいになりました。	排版ボックス内のマスターを捨ててください。 ☛ P.206「排版ボックスのマスターの処理」
【マスターがなくなりました 新しいマスターに交換してください】	マスターがなくなっています。	新しいマスターをセットしてください。 マスターは専用のものをご使用ください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」
【用紙をセットしてください】	給紙台の用紙がなくなっています。	給紙台に用紙をセットしてください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

■ D00-000: セット確認エラー(50音順)

表 示	原 因	対 処
【インクボトルが違います 正しいボトルをセットしてください】	違うインクボトルがセットされています。	正しいインクボトルをセットしてください。 ☛ P.204「インクボトル交換のしかた」 重要 インクボトルは本機専用のものをご使用ください。他のインクをご使用になりますと、故障やトラブルの原因になります。
	インクボトル口面のシールがはがれているか、汚れています。	インクボトル口面のシールには印刷に必要な情報が入っています。情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 シールが貼ってあり、かつ汚れていない本機専用のインクボトルをセットしてください。
【インクボトルをセットしてください】	インクボトルがセットされていないか、または正しくセットされていません。	インクボトルを正しくセットしてください。 ☛ P.204「インクボトル交換のしかた」
【製版ユニットカバーを 閉めてください】	製版ユニットカバーが開いているか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを引き出して確認し、製版ユニットカバーをしっかりと閉じてください。
【製版ユニットが引き出せます】	製版ユニットが引き出せる状態になっています。	製版ユニットを引き出してください。
【製版ユニットをセットしてください】	製版ユニットがセットされていないか、または正しくセットされていません。	製版ユニットを正しくセットしてください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」

表 示	原 因	対 処
【ドラムが正しくセットされていません ドラムOKボタンを押し、 ボタンが点灯してから ドラムをいったん引き出してください】	ドラムが奥までセットされて いない状態でロック されています。	ドラムOKボタンを押し、ボタンが点灯してから ドラムを引き出して、セットしなおしてくだ さい。
【ドラムが違います 正しいドラムをセットしてください】	違うドラムがセットされ ています。	正しいドラムをセットしてください。 ☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 重要 ドラムは本機専用のものをご使用く ださい。他のドラムをご使用になります と、故障やトラブルの原因になります。
【ドラムが引き出せます】	ドラムが引き出せる状態 になっています。	ドラムを引き出してください。
【ドラムをセットしてください】	ドラムがセットされてい ないか、または正しくセッ トされていません。	ドラムを正しくセットしてください。 ☛ P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」
【排版ボックスをセットして ください】	排版ボックスがセットさ れていないか、または正し くセットされていません。	排版ボックスを正しくセットしてください。 ☛ P.206「排版ボックスのマスターの処理」
【本体リアカバーが外れています サービス実施会社に連絡して ください】	本体リアカバーが外れて います。	お買い上げの販売会社(または保守・サービス会 社)にご連絡ください。
【前カバーを閉めてください】	本機前カバーが開いてい るか、または正しくセッ トされていません。	前カバー下のマグネットを確認して、しっか りと閉じてください。
【マスターが違います 正しいマスターをセットして ください】	違うマスターがセットされ ています。	正しいマスターをセットしてください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」 重要 マスターは本機専用のものを ご使用ください。他のマスターを ご使用になりますと、故障や トラブルの原因になります。
	マスター芯の ① マーク部 がないか、切れたり傾いた 状態になっています。	マスター芯の ① マーク部には、プリントに必要 な情報が入っています。 情報が読み取れないと、本機は稼動しません。 ① マーク部があり、かつ切れたり傾いた状態に なっていない本機専用のマスターをセットして ください。
【マスターをセットしてください】	マスターがセットされて いません。	マスターをセットしてください。 ☛ P.201「マスター交換のしかた」

こんなメッセージが表示されたら

■ J00-000: 通紙ジャムエラー

本体内部や自動原稿送り装置(オプション)、ソーター(オプション)に、原稿および用紙が詰まったときに表示されます。

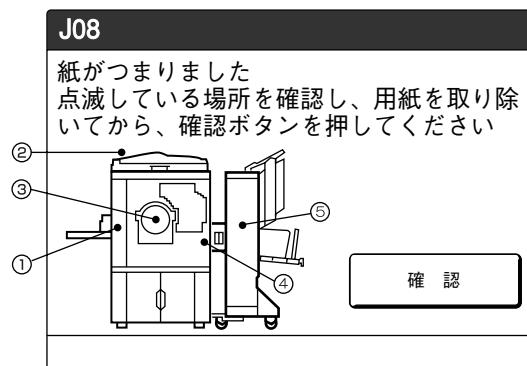
通紙ジャムの発生箇所を、グラフィック上の点滅表示(①～⑤)でお知らせします。エラーが発生したときには、以下の該当する欄(①～⑤)を参照し、それぞれに対処してください。

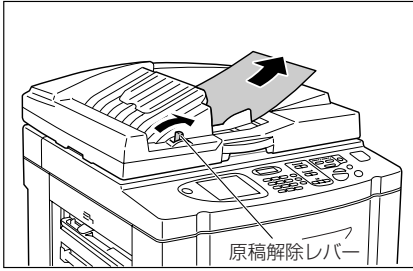
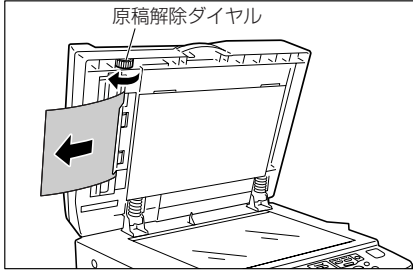
参考

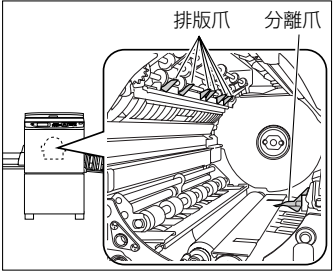
通紙ジャムを防ぐために、印刷に適した用紙を使用してください。また、自動原稿送り装置に原稿をセットするときは、適切な原稿を使用してください。

☛ P.12「印刷用紙に関する注意」

☛ P.12「原稿に関する注意」



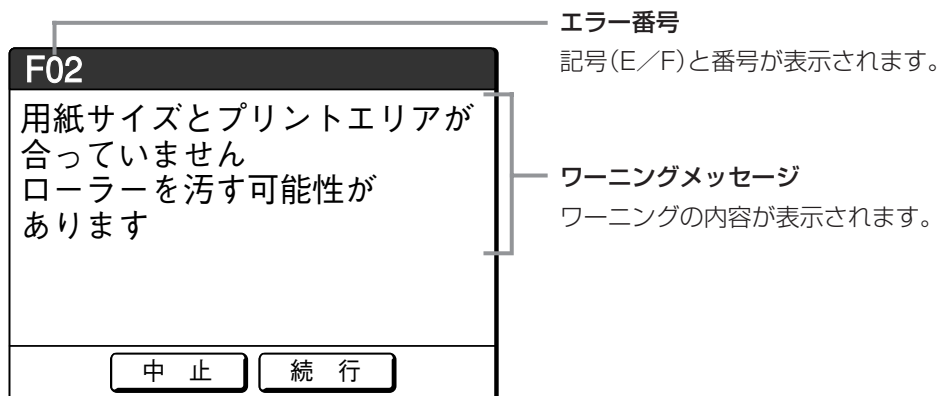
点滅箇所／表示	原因	対処
①	給紙側に用紙が詰まりました。	① 給紙側を確認して、詰まっている用紙を取り除いてください。 ② 用紙をセットしなおしてください。 ③ 表示が消えないときは、 を押してください。 特殊な用紙の場合は、給紙圧調節レバーを紙質に合わせて調節してください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
②	自動原稿送り装置(オプション)に原稿が詰まりました。	原稿の挿入口方向に取り出すとき 原稿解除レバーを倒しながら原稿を引き出してください。  原稿の排出方向に取り出すとき 原稿台カバーを上げ、自動原稿送り装置の下にある原稿解除ダイヤルをまわしながら原稿を引き出してください。 

点滅箇所／表示	原因	対処
③	ドラム周辺に用紙が詰まりました。	① ドラムを引き出してください。 👉 P.208「ドラムのセット(カラーチェンジ)」 ② 詰まっている用紙を取り除いてください。 ⚠ 注意 本体内部に手を入れて用紙を取り除く際には、分離爪や排版爪に触れないように注意してください。爪の先端は鋭利になっているので、けがの原因になることがあります。 
④	正常に排紙できませんでした。	排紙側に詰まっている用紙がないか確認し、詰まっている場合は取り除いてください。 特殊な用紙の場合は、排紙フェンスの紙揃えプレートを調節してください。 👉 P.28「排紙台のセット」
⑤	ソーター(オプション)に用紙が詰まりました。	ソーターから詰まっている用紙を取り除いてください。

こんなメッセージが表示されたら

ワーニングメッセージ(ウインドウ表示)の見かた

各種のワーニングメッセージが、専用のウインドウ上に表示されます。
内容によって、続行が可能なものと、対処するまで続行が不可能なものがあります。



エラー番号	エラーの種類	内 容	参照ページ
E00-000	サービスコール	サービスマンによる電池交換や定期点検が必要なときに表示されます。	☞ P.229
F00-000	ワーニングメッセージ	操作パネルでの設定と、本機あるいは連携機の状態が適合せず、プリントできないときに表示されます。	☞ P.229

■ E00-000: サービスコール(50音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【定期点検の時期がきました サービス実施会社に連絡してくだ さい】	(原因) メンテナンスの時期がき たことをお知らせしてい ます。 (対処) お買い上げの販売会社(ま たは保守・サービス会社) にお問い合わせください。 ☛「アフターサービスに ついて」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【電池交換が必要です サービス実施会社に連絡 してください】	(原因) 本機内部の電池が切れか かっています。 (対処) お買い上げの販売会社(ま たは保守・サービス会社) に連絡し、電池を交換して ください。 ☛「アフターサービスに ついて」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)

■ F00-000: ワーニングメッセージ(50音順)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【「A4→ハガキ」変倍とAFIは 併用できません 原稿台ガラスを使用して ください】	(原因) 「A4→ハガキ」変倍設定時 に、自動原稿送り装置(オ プション)に原稿をセット しています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスに セットしてください。	原稿を自動原稿送り装置から取り出すと、 ワーニングメッセージは消去されます。 ● プリントを続行するとき 自動原稿送り装置から原稿を取り出し、 原稿台ガラスにセットする ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【Prioaの情報を取得中です しばらくお待ちください】	(原因) 本機のシステムが、連携機 (Prioa)の情報を取得して いる状態です。この間は、 RLPモードでのプリント はできません。 (対処) 連携機(Prioa)の情報取得 が終了してから、プリント を開始してください。 または、本機からプリント してください。	 にタッチすると、ワーニングメッセージ を消去して、元の画面に戻ります。 ● 本機でプリントするとき  または  を押す ● 連携機から出力するとき システム情報の取得が終了するまでお待ちく ださい。(数分かかる場合があります。)

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【RISORINC-NETを起動中です しばらくお待ちください】	(原因) RISORINC-NETが起動 しています。 (対処) しばらくお待ちください。 または、本機からプリント してください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【印刷枚数が0枚のときは 本機で製版します】	(原因) 連携機(Prioα)接続時の 「自動振り分け枚数」を「有 効」に設定しているとき に、印刷枚数0枚でプリン トしようとした。 (対処) 印刷枚数を入力してくだ さい。 ☛ P.149「初期設定を変 更する／自動振分枚数」	● 本機でプリントするとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【回転ソートに必要な用紙が セットされていません 同じサイズの用紙を 別々のトレイに 縦向きと横向きにセットし てください】	(原因) 「回転ソート」を行うた めに適切なサイズの用紙が、 用紙トレイにセットされ ていませんでした。 (対処) 適切なサイズの用紙を、連 携機(Prioα)の別々のトレ イに「縦置き」と「横置き」 にセットしてください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【画像処理を追加するため 再スキャンを実行します 原稿をセットして スタートキーを押してください】	(原因) ソフトデジタイザで、画像 処理を実行するための再 スキャンの際に、原稿が セットされていません。 (対処) 原稿をセットしてから再ス キャンを行ってください。	 にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【原稿サイズ検知の範囲外です オート変倍できません 変倍設定を行ってください】	(原因) 原稿サイズが検出できな いため、オート変倍が実行 できません。 (対処) 変倍率を指定してください。	● 変倍設定するとき  にタッチする ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【原稿データと印刷用紙の サイズが合っていない 印刷用紙のサイズを 確認してください】	(原因) パソコンから送信された 原稿データと印刷用紙の サイズが合っていない。 (対処) 印刷用紙のサイズを確認 し、必要に応じてサイズを 変更してください。	● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【原稿台カバーを閉じてください 原稿の位置がずれると 正確な編集結果を得られません】	(原因) ソフトデジタイザで、編集 中に原稿カバーが開けら れました。 (対処) 原稿台カバーを静かに閉 じてください。	 にタッチする (原稿台カバーを閉じて解除できます。)
【原稿を検知できません 原稿を再セットしてください】	(原因) 原稿を検知できませんで した。または、原稿がセッ トされていません。 (対処) 原稿をセットしなおして ください。	原稿をセットしなおすと、ワーニングメッセ ージは消去されます。 ● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【現在セットされている用紙では 連写できません 適切な定型用紙をセットして ください】	(原因) 給紙台に不定形の用紙が セットされているため、連 写機能が使えません。 (対処) 給紙台に定形用紙をセッ トしてください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【現在の原稿と印刷用紙では オート変倍できません 変倍設定を行ってください】	(原因) オート変倍による変倍率 が50%未満、または 200%を超えています。 (対処) 変倍率を指定してください。	● 変倍設定を続行するとき  にタッチする ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【現在の変倍率では印刷用紙に入りき らない可能性があります 確認してください】	(原因) セットした原稿サイズに 対する変倍率の設定が、印 刷用紙に対して大きい値 です。 (対処) 変倍率を変更してください。 ☛ P.51「原稿を拡大／縮 小する」	● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【現在の変倍率では 製版可能サイズに入りきらない 可能性があります 確認してください】	(原因) セットした原稿サイズに 対する変倍率の設定が大 きいため、製版可能範囲を 超えています。 (対処) 変倍率を変更してください。	● 変倍率を変更するとき  にタッチし、変倍率を指定する ● プリントを続行するとき  にタッチする ( を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)

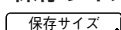
こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【検知されている原稿サイズが連写の適用範囲外です 原稿サイズを指定してください】	(原因) セットした原稿サイズでは「連写」機能が使えません。 (対処) 原稿サイズを指定してください。 ☛ P.61「1枚の用紙に多面取りする」	● 原稿サイズを指定するとき [原稿サイズ指定] にタッチし、原稿サイズを指定する ● プリントを続行するとき [続 行] にタッチする ([スタート] を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき [中 止] にタッチする ([スタート] または [リセット] を押しても中止できます。)
【ご使用のインクの在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします インク色:】	(原因) ご購入されたインクやマスターの在庫数が、「在庫確認数」より少なくなりました。 ☛ P.149「初期設定を変更する／サプライ在庫管理」 (対処) 必要があればインクやマスターを発注してください。	[閉じる] にタッチする ([スタート] または [リセット] を押しても解除できます。)
【ご使用のマスターの在庫を確認の上 必要であれば 発注をお願いします】	(原因) ご購入されたインクやマスターの在庫数が、「在庫確認数」より少なくなりました。 ☛ P.149「初期設定を変更する／サプライ在庫管理」 (対処) 必要があればインクやマスターを発注してください。	[閉じる] にタッチする ([スタート] または [リセット] を押しても解除できます。)
【最低印刷枚数が設定されています nn枚以上入力してください】	(原因) 「最低印刷枚数」で設定されている印刷枚数未満の枚数でプリントしようとしています。 (対処) 印刷枚数を変更する、または「環境設定」の「最低印刷枚数」設定を変更してください。 ☛ P.149「初期設定を変更する／最低印刷枚数」	[閉じる] にタッチして、印刷枚数をメッセージで表示している枚数以上に指定しなおす
【指定されている変倍率から 用紙サイズを特定できません 用紙トレイを選択してください】	(原因) セットした原稿サイズに対する変倍率の設定から、適合する連携機用の用紙トレイを特定できません。 (対処) 連携機用の用紙トレイを選択してください。	● 手差しトレイを使ってプリントするとき [手差し] にタッチする(A3サイズで出力されます。) ● 用紙を選択してプリントするとき [用紙選択] にタッチする ● プリントを中止するとき [中 止] にタッチする ([スタート] または [リセット] を押しても中止できます。)

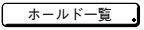
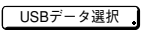
表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【自動振分できません 選択中のPrioalにエラーが発生しているか、電源が入っていない可能性があります】	(原因) 「自動振分枚数」の設定が「有効」で、印刷枚数入力によりRLPモードに切り換わったときに、現在選択している連携機(Prioal)にエラーが発生しています。 (対処) 連携機(Prioal)のエラーを解除してから、再度プリントを行ってください。 または、別の連携機に切り換えてプリントするか、本機からプリントしてください。 ☛ P.149「初期設定を変更する／自動振分枚数」	● 製版画面に戻るとき [中止] にタッチする (または を押しても戻ることができます。) ● 利用可能な別の連携機に切り換えるとき [Prioa変更] にタッチして、「RLP切替」画面で他の連携機を選択する (他に利用可能な連携機がない場合は、 [Prioa変更] は表示されません。) ☛ P.191「複数の連携機をネットワーク接続しているとき」
【上限に達しました これ以上利用できません】	(原因) 管理者が設定した上限印刷／製版枚数に達しました。 (対処) 管理者に連絡してください。	[閉じる] にタッチする (または を押しても解除できます。)
【スキャンできません 外部CIが接続されていないか 接続処理中です 確認してください】	(原因) 外部コントローラとの接続不良、または接続処理中のため、スキャンモードが使用できません。 (対処) 外部コントローラが正しく接続されているか確認してください。	[閉じる] にタッチする (または を押しても中止できます。)
【製版可能なサイズより大きな 原稿がセットされています 確認してください】	(原因) 製版可能範囲より大きなサイズの原稿がセットされているため、範囲外の部分が製版されない可能性があります。 (対処) 変倍率を変更してください。	● 変倍率を変更するとき [変倍設定] にタッチし、変倍率を指定する ● プリントを続行するとき [続行] にタッチする (を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき [中止] にタッチする (または を押しても中止できます。)

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【選択したドラム種類は無効です ドラムを交換するか、 ドラムの種類を選択しなおして ください】	(原因) ドラム交換後の「ドラム種類 の確認」画面で、挿入した ドラムと異なる種類を 選択しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種類 を選択してください。 または、ドラムを交換して ください。 ● P.208「ドラムのセッ ト(カラーチェンジ)」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入した ドラムと同じ種類を選択して 確定 に タッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、希望する種類の ドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッ セージは解除されます。
【適切なサイズ用の紙が Prioalにセットされていません 用紙をセットするか 用紙トレイを選択して スタートキーを押してください】	(原因) 検知した原稿サイズに適 合するサイズの用紙が連 携機にセットされていま せん。 (対処) 用紙を確認し、適切なサイ ズの用紙を連携機にセッ トしてください。	● 手差しトレイを使ってプリントするとき 手差し にタッチする(A3サイズで出力さ れます。) ● 用紙を選択してプリントするとき 用紙選択 にタッチする ● プリントを中止するとき 中止 にタッチする (または を押しても中止できます。)
【ドラムにマスターがついて いません 製版を行ってください】	(原因) ドラムにマスターが付い ていない状態で印刷しよ うとしています。 (対処) 原稿をセットして、製版を 行ってください。	閉じる にタッチする 重要 ドラムにマスターがついていない状態 で放置するとドラムが乾いて故障の 原因となります。必ず、製版または 「機密」を行ってマスターを巻きつけて ください。
【ドラムの種類が変更されました 挿入したドラムの種類を 選択してください】	(原因) ドラム交換時に、前回と異 なる種類のドラムを挿入 しました。 (対処) 挿入したドラムと同じ種類 を選択してください。 または、前回と同じ種類の ドラムと交換してください。 ● P.208「ドラムのセッ ト(カラーチェンジ)」	● 設定を変更するとき 「ドラム種類の確認」画面で、挿入した ドラムと同じ種類を選択して 確定 に タッチする ● ドラムをセットしなおすとき 挿入したドラムを引き出し、前回と同じ種類 のドラムをセットする ドラムをセットしなおすと、ワーニングメッ セージは解除されます。
【中綴じできるサイズの用紙が セットされていません】	(原因) RLPモードで、「中綴じ」を 「ON」に設定して を 押したときに、連携機 (Prioal)の用紙トレイに適 切なサイズの用紙がセッ トされていませんでした。 (対処) 連携機のトレイに、以下の いずれかの用紙をセッ トしてください: A3、A4(縦)、Ledger、 Letter(縦)	閉じる にタッチする (または を押しても解除できます。)

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【パソコンからのジョブを処理しています ジョブ処理中は この機能は使用できません】	(原因) パソコンから指示された原稿データの受信中です。 ジョブの処理中は、選択中の機能は使用できません。 (対処) ジョブの受信・出力が終了してから、機能を選択しなおしてください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【ブックモードとAFは併用できません 原稿台ガラスを使用してください】	(原因) ブックモード設定時に、自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしています。 (対処) 原稿を原稿台ガラスにセットしてください。 ● P.70「雑誌や本をプリントする」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)
【不定形原稿ではオートサイズ選択できません 保存データサイズを選択して再スタートしてください】	(原因1) スキャンモードで不定形の原稿をセットしているときに、「オート」で読み取りサイズを選択しようとしています。 (対処) サイズを選択してください。 (原因2) 定形サイズの原稿の場合は、セット位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正しい位置にセットしなおして下さい。	● 保存サイズを指定するとき  にタッチする ● スキャンを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【不定形原稿では、オートトレイ選択できません 用紙トレイを選択して再スタートしてください】	(原因1) 連携機モードで、不定形の原稿をセットしているときに、「オート」で印刷用紙を選択しようとしています。 (対処) 連携機用の用紙トレイを選択してください。 (原因2) 定形サイズの原稿の場合は、セット位置がずれています。 (対処) 原稿台カバーを開いて、原稿を正しい位置にセットしなおして下さい。	● 用紙トレイを選択するとき  にタッチし、用紙トレイを選択する ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)

こんなメッセージが表示されたら

表 示	原因・対処	ワーニング解除方法
【ホールドメモリがいっぱいのため、保存できません ホールドデータの整理を行ってください】	(原因) メモリーカードDM128CFの空き容量がありません。 (対処) ホールドデータを確認し、必要ないジョブなどは削除してください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。) ● ホールドデータを確認するとき  にタッチする。
【USBメモリがいっぱいのため、保存できません USBデータの整理を行ってください】	(原因) USBメモリの空き容量がありません。 (対処) USBデータを確認し、必要ないジョブなどは削除してください。	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。) ● USBデータを確認するとき  にタッチする。
【用紙サイズとプリントエリアが合っていません ローラーを汚す可能性があります】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	● 本機でプリントするとき  にタッチする ( または  を押してもプリントできます。) ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【用紙サイズとプリントエリアが合っていません ローラーを汚す可能性があります (続行は試し刷りキー)】	(原因) 製版サイズより小さい印刷用紙で印刷しようとしています。 (対処) 正しいサイズの印刷用紙をセットしてください。	● 本機でプリントするとき  を押す ● プリントを中止するとき  にタッチする ( または  を押しても中止できます。)
【利用枚数の集計日がきました 管理者へ連絡してください】	(原因) 利用枚数の集計日になりました。 (対処) 管理者に連絡してください。 ● P.139「各ユーザーの利用枚数を確認する」	 にタッチする ( または  を押しても解除できます。)

消耗品情報入力画面が表示されたら

本機は、最適なプリント状態を保つために、消耗品から情報(マッチング情報)を得ています。マッチング情報が適切に取得できなかった場合は、消耗品情報入力画面が表示されますので、適切な設定値を入力してください。

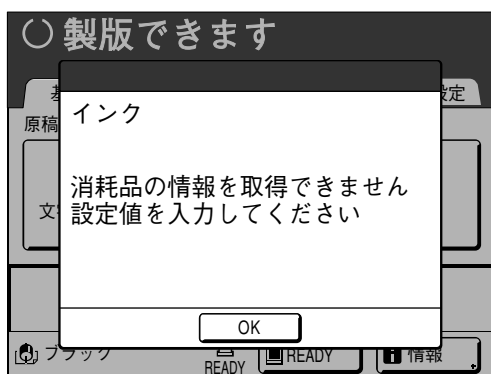
このとき、**情報** ボタンの **i** アイコンはグレー表示されます。

☞ P.200「**情報**」(**情報** ボタン)について」

参考

- 入力した設定値が不適切でも通常動作には問題ありませんが、プリントの仕上がりが悪くなることがあります。
- 次のような操作を行った場合、「消耗品情報入力ウィザード」画面で設定した情報が消失するため、再度、消耗品情報の入力が必要となります。
 - 電源スイッチを「OFF」にして、再度「ON」したとき
 - スリープ状態になった後、**電源** を押したとき

■ インク情報入力画面が表示された場合

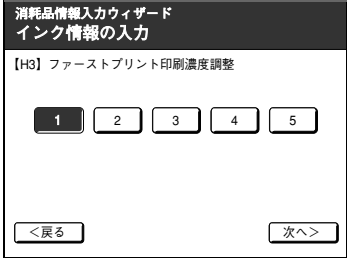


インクのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に表示されます。

OK にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定してください。

画面表示	設定内容	設定値
	【H1】インク色設定 現在使用しているドラムと同じ色を選択します。	1:黒 2:カラー
	【H2】印刷濃度微調整 インクに合わせて、適正な印刷濃度になるように、微調整を行います。	1(薄い)～5(濃い)

こんなメッセージが表示されたら

画面表示	設定内容	設定値
	【H3】ファーストプリント印刷濃度調整 インクに合わせて、ファーストプリントの印刷濃度の調整を行います。 「【H2】印刷濃度微調整」とは、独立して調整できます。	1 (薄い) ~ 5 (濃い)

消耗品情報入力ウィザード
インク情報の入力

以下の入力内容でよろしいですか？
設定値を確認して、スタートキーを押してください

項目	設定値
【H1】インク色設定	1
【H2】印刷濃度微調整	1
【H3】ファーストプリント印刷濃度調整	1

<戻る

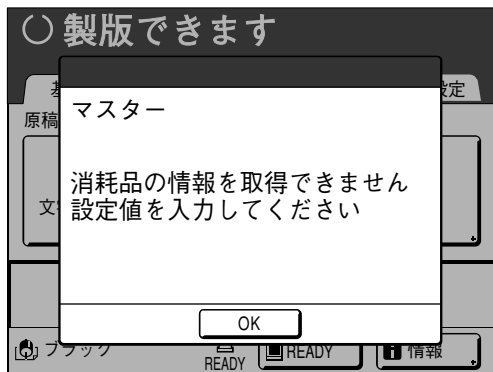
設定が終了すると、確認画面が表示されます。
設定値を確認し、**スタート**を押してください。
基本画面に戻ります。

参考

マスター情報入力画面が表示された場合は、引き続き適切な設定値を入力してください。

☛ P.239「マスター情報入力画面が表示された場合」

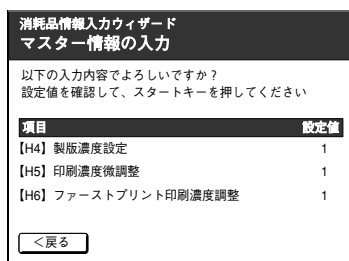
■ マスター情報入力画面が表示された場合



マスターのマッチング情報が適切に取得できなかった場合に
表示されます。

にタッチしてから、以下の表を参考に、項目を設定
してください。

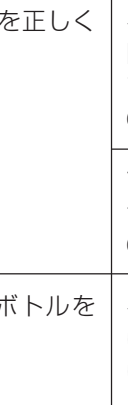
画面表示	設定内容	設定値
	【H4】製版濃度設定 マスター製版時における基準濃度の設定 を行います。	1 (薄い)～ 10 (濃い)
	【H5】印刷濃度微調整 マスターに合わせて、適正な印刷濃度にな るように、微調整を行います。	1 (薄い)～ 5 (濃い)
	【H6】ファーストプリント印刷濃度調整 マスターに合わせて、ファーストプリン トの印刷濃度の調整を行います。 「【H5】印刷濃度微調整」とは、独立して調 整できます。	1 (薄い)～ 5 (濃い)

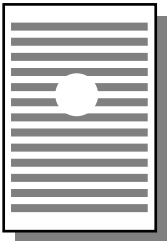


設定が終了すると、確認画面が表示されます。
設定値を確認し、 を押してください。
基本画面に戻ります。

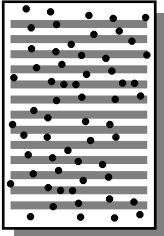
「故障？」と思ったとき

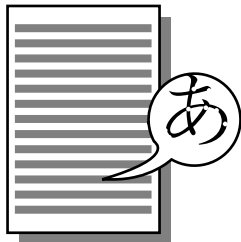
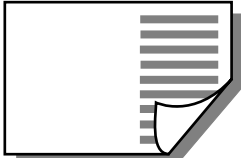
「故障かな？」と思ったときには、サービスマンに連絡をする前に、次の表から原因を確認し対処してください。

状 況	原 因	対 処
電源を入れても起動しない	スリープ状態(節電モード)を電源「OFF」と誤解して、電源スイッチを押していませんか？	もう一度、電源スイッチを押してください。 電源スイッチを押す前に、操作パネルの⑨を確認してください。⑨が点灯しているときはスリープ状態です。⑨を押すとスリープが解除され、操作が可能な状態になります。
	電気は通じていますか？	● 電源コードが本機とコンセントに確実に接続されているか確認してください。 ● 商用電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
前カバーが閉まっているのに、エラーメッセージが消えない	前カバーは完全に閉まっていますか？	前カバー下のマグネットが付くように、完全に閉めてください。
給紙台が閉まらない	給紙フェンスは左右いっばいに広がっていますか？	電源を入れて、給紙台を最下部まで下げてください。その後、給紙フェンスロックレバーを  にして、給紙フェンスを左右いっばいに広げてから給紙台を閉じてください。 ➡ P.26「給紙台と用紙のセット」
	給紙台が最下部まで下がりきる前に電源を「OFF」にしていますか？	
ドラムが入らない	正しい停止位置にドラムを回転させていますか？	手動でドラムを回転させたときは、作業後必ず ▶ マークと ◀ マークが向かい合う位置までドラムを戻してください。 
	ドラムをレールに正しくセットしていますか？	ドラムを正しくセットしてください。 ➡ P.209「ドラムのセットのしかた」
消耗品(インク、マスター)をセットしたのにエラーメッセージが消えない	消耗品(インク、マスター)を正しくセットしていますか？	インクボトルを差し込んで、右方向()に回し、ロックしてください。 または、セットしなおしてください。 ➡ P.204「インクボトル交換のしかた」 マスター芯の  マークがある方を左にしてセットしてください。 ➡ P.201「マスター交換のしかた」
	消耗品情報のないインクボトルをセットしていませんか？	インクボトル口の部分に貼ってあるシールは、はがさないでください。 はがしてしまった場合は、新しいインクボトルをセットしてください。 ➡ P.204「インクボトル交換のしかた」
	消耗品情報のないマスターをセットしていませんか？	マスター芯の  マークは切り取らないでください。切り取ってしまった場合は、新しいマスターをセットしてください。 ➡ P.201「マスター交換のしかた」

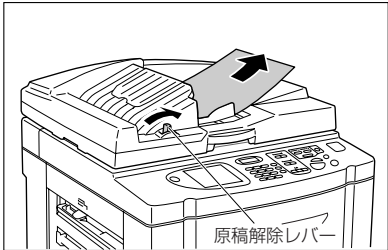
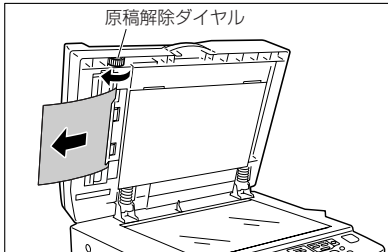
状 況	原 因	対 処
排版ボックスが取り出せない	「プロテクト」設定が「ON」になっていませんか？	「プロテクト」設定が「ON」の場合、通常の状態では排版ボックスを取り出すことができません。 ● P.163「製版・排版されたマスターの流出を防ぐ」
	排版ボックスのロックレバーは解除されていますか？	排版ボックスロックレバーを右にスライドして、ロックを解除してください。 排版ボックスが施錠されている場合は、管理者に連絡して南京錠を開錠してください。 ● P.206「排版ボックスのマスターの処理」
出てきた用紙が真っ白で何も印刷されていない	原稿面の表裏を逆にしてセットしていませんか？	原稿面を下にしてセットしてください。
	マスターの表裏を逆にしてセットしていませんか？	マスターの表裏を確認してセットしてください。 ● P.201「マスター交換のしかた」
プリントの一部が欠けてしまう 	原稿台ガラスや自動原稿送り装置(オプション)のスキナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ● P.215「お手入れのしかた」
	マスターに何か付いていませんか？	ドラムを引き出して、マスターに何か付いているときは取り除いてください。 マスターとドラムの上に異物が挟まっているときは、マスターをはがし異物を取り除いてください。その後、ドラムをセットし、製版しなおしてください。
	● 製版時に、給紙台にセットされている用紙サイズと原稿サイズが合っていますか？ ● 製版時に、給紙台の給紙フェンスが用紙にぴったりと合っていますか？	給紙台に原稿サイズと同じサイズ of 用紙をセットしてから製版を行ってください。 製版サイズは給紙台に載せている用紙のサイズ(給紙フェンスの幅と用紙の長さ)で決定しています。製版時、原稿サイズよりも小さいサイズの用紙を給紙台にセットしていると、原稿全体を製版することができません。
プリントされた用紙に白い縦線が入る 	製版ユニット部のサーマルヘッドや自動原稿送り装置(オプション)のスキナーガラスに、ちりや修正液などが付いていませんか？	サーマルヘッドやスキナーガラスを柔らかい布などで軽く拭いてください。 サーマルヘッドを拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想サーマルヘッドクリーナーの使用をおすすめします。 ● P.215「お手入れのしかた」

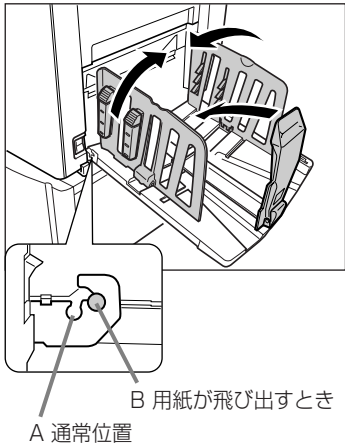
「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
プリントされた用紙に地汚れが出る 	新聞など、地色のある原稿を使用していないですか？	「読取濃度」を薄くして製版しなおしてください。 ● P.50「原稿の読取濃度を 選択する」
プリントされた用紙に汚れが印刷される	原稿台ガラスや自動原稿送り装置（オプション）のスキャナーガラスが汚れていませんか？	原稿台ガラスやスキャナーガラスを柔らかい布などで拭いてください。 拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーの使用をおすすめします。 ● P.215「お手入れのしかた」
プリントされた用紙の縁（フチ）がインクで汚れる	製版時、原稿よりも大きなサイズの用紙を給紙台にセットしていませんか？	原稿と同じサイズの用紙を給紙台にセットして製版しなおしてください。原稿よりも大きなサイズを読み取って製版するときに、原稿台カバーがしっかり閉じていないと原稿の縁が影として製版されます。 または、下記で紹介しているセロハンテープを貼る方法で対処してください。
	「フルサイズ製版」していませんか？	
	はがきなど厚い用紙を印刷しているとき、用紙の角がマスターにあたってマスターを傷付けていませんか？	製版しなおしてください。 またはドラムを引き出して、マスターが傷付いている部分にセロハンテープを貼って対処してください。 なお、マスターにセロハンテープを貼ると、排版時にマスターが正常に排版されないことがあります。ご了承ください。
用紙の裏がインクで汚れる 	プレスローラーがインクで汚れていませんか？	ドラムを取り外して、プレスローラーを柔らかい布などで拭いてください。拭くときには、汚れをきれいに落とせる理想ステージクリーナーのご使用をおすすめします。 ● P.215「お手入れのしかた」 また、印刷位置が用紙からはみ出ると、ゴムローラーを汚す原因となります。「印刷位置調整」で印刷位置が用紙におさまるようにしてください。
	給紙フェンスは用紙の幅に合っていますか？	給紙フェンスを用紙の幅に合わせてください。 給紙フェンスが用紙幅に合っていないと、用紙サイズより余分に製版してしまうことがあります。 ● P.26「給紙台と用紙のセット」

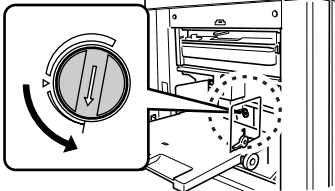
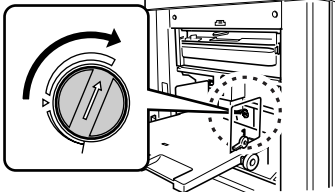
状 況	原 因	対 処
用紙の裏がインクで汚れる 	インクの乾きが悪い用紙を使っていますか？	インクが乾く前に次の用紙が排紙されて、裏移りしています。 用紙を変えるか、「省インク」「インターバル印刷」をお試しください。 ☛ P.60「インクを節約する」 ☛ P.85「裏移りを防ぐ」
プリントが薄い 文字がかすれる 	本機を使用しない状態が長時間続いた後に、プリントしていませんか？	本機を長時間使用しないと、ドラム表面のインクが乾きます。この状態でプリントすると、印刷物が薄くなったり、かすれることがあります。 △ を押して、何枚か印刷してから使用してください。「アイドリング」機能をご利用になると便利です。 ☛ P.132「アイドリングをする」
	原稿自体が薄くありませんか？	「読取濃度」を濃くして製版しなおしてください。 ☛ P.50「原稿の読取濃度を選択する」 えんぴつ書き原稿のときは、「原稿モード」で「えんぴつ」を設定してください。 ☛ P.48「原稿に適したモードを選択する」
	本機の使用環境またはインクの保管場所の温度が低温（15℃以下）ではありませんか？	常温の場所にしばらく置いてから使用してください。 ☛ P.9「使用環境について」
	「省インク」を設定していませんか？	「省インク」を設定すると、印刷の仕上がりが通常よりも薄くなります。 ☛ P.60「インクを節約する」
連写されずに片面が何も印刷されない 	ブザーが鳴って[次の原稿をセットし、スタートキーを押してください]と表示されている間に原稿をセットしましたか？	「連写」でプリントすると、連写待ち時間にブザーが鳴ります。その間に原稿をセットしてください。 原稿台ガラスに原稿をセットしていて、ブザーが鳴らずに2枚目の原稿が読み込まれてしまうときは、「環境設定」で「多原稿連写待ち時間」の設定を変更してください。 ☛ P.147「初期設定を変更する／連写待ち時間」
	原稿読み込み中に △ を押しませんでしたか？	原稿読み込み中に △ を押すと、作業を中止します。すべての原稿が読み込まれるまで、△ を押さないでください。

「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
左右の印刷位置がずれている	左右位置調整がセンターになっていますか？	給紙台を下げたから位置を調整し、試し刷りで確認してください。 ☛ P.82「印刷位置を調整する」
用紙がドラムに巻き付いてしまう	原稿上部または印刷物上部の余白は十分に取っていますか？	原稿上部(印刷物の排紙方向先端)には5mm以上の余白が必要です。印刷の天地位置を下げた印刷してください。印刷位置が下げられないときは、原稿の余白を取って製版しなおしてください。 ☛ P.51「原稿を拡大／縮小する」
	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☛ P.12「印刷用紙に関する注意」
	原稿上部に大きなベタ面がありますか？	原稿上部に大きいベタ面があると、排紙されにくくなります。原稿のセット方向を逆にし、製版しなおしてください。
用紙が丸まって排紙される	排紙方向が横目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしていませんか？	印刷用紙は、排紙方向が縦目(紙の繊維の流れ)になる印刷用紙をセットしてください。
自動原稿送り装置(オプション)に用紙がつまる	自動原稿送り装置内部に用紙が引き込まれていませんか？	原稿解除レバーを倒すか、原稿解除ダイヤルを回して、引き込まれている用紙を取り除いてください。  

状 況	原 因	対 処
排紙台に用紙がきれいに揃わない	排紙フェンス、ストッパーの位置は適切ですか？	排紙フェンスとストッパーは用紙サイズに合わせてください。厚い用紙のときは少し広めにセットしてください。 また、給紙台で左右位置調整をしているときは、排紙フェンスも同じ方向にずらしてセットしてください。 ☛ P.28「排紙台のセット」
	紙揃えプレートを適切にセットしていますか？	紙揃えプレートを適切にセットしてください。 ☛ P.28「排紙台のセット」
	給紙圧調節レバーは、印刷用紙に合わせて調整していますか？	標準紙をご使用の場合に、給紙圧調節レバーが「厚紙」になっているとききれいに排紙できません。 給紙圧レバーを「標準」にセットしてください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」
排紙台のストッパーを越えて、用紙が飛び出してしまう		以下の手順で、排紙台の角度を水平にして、ご使用ください。 ① 排紙台フェンス・ストッパーをたたむ ② 排紙台の左右を両手で持ち上げて、排紙台の軸を排紙台軸受けのBの位置に移動させる 通常は、Aの位置でご使用ください。 
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	印刷用紙は適切ですか？	推奨範囲の用紙を使用してください。 ☛ P.12「印刷用紙に関する注意」
	給紙圧調節レバーの位置は適切ですか？	厚紙や滑りやすい用紙のときは、給紙圧調節レバーを「厚紙」にセットしてください。 ☛ P.26「給紙台と用紙のセット」

「故障？」と思ったとき

状 況	原 因	対 処
給紙台から用紙がうまく送られない (空送または重送する)	サバキ板角度は適切ですか？	状況に応じてサバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。 ■ 用紙が空送するとき ダイヤルを左に回してください。  ■ 用紙が重送するとき ダイヤルを右に回してください。  重要 調節を行うときは、必ず給紙台から用紙を取り除き、給紙台が最下部まで完全に下がっていることを確認してから行ってください。
	機能一覧の「特殊給紙調整」は正しく設定されていますか？	「特殊給紙調整」を調整してください。調整方法につきましては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）にお問い合わせください。
プリントされたカードの裏がめくれたり、先端にしわができる	サバキ板角度は適切ですか？	サバキ板角度調節ダイヤルを回して、サバキ板角度を調節してください。
紙がつまっていないのにエラーメッセージが表示される	舞い上がった紙が、ドラム2回転目に出てきていませんか？	印刷物を確認し、上部に余白が5mm以上ないときは印刷位置を少し下げてください。
	日光が本機に直接あたっていませんか？	日光が本機に直接あたると、センサーが誤検知することがあります。 カーテンなどで光を遮るか、日光が直接あたらない場所に本機を移動してください。
パソコンから原稿データを送信したとき、原稿データが複数ページであるにもかかわらず、1ページごとに製版を繰り返す	プリンタドライバの設定で「部単位で印刷」を選択していませんか？	現在のデータのジョブを削除し、「部単位での印刷」のチェックをはずしてから、原稿データを送信しなおしてください。 ☛ P.37「パソコンデータを実行する」の手順3 ☛ P.44「出力指示の変更」

状 況	原 因	対 処
パソコンから原稿データを送信したが本機がデータを受信しない。	ディスプレイに[環境設定]画面が表示されていませんか？	 にタッチして[環境設定]画面から基本画面に切り替えてください。
 が点滅している	受信データが出力待ちの状態ではありませんか？	 を押して印刷してください。

付録

- 250 消耗品について
- 251 オプションについて
- 252 仕様
- 254 索引

消耗品について

本機で使用できる消耗品は次のとおりです。

■ 専用消耗品

マスター、インクなどの消耗品は、下記の当社指定の本機専用消耗品を使用してください。
不適切な消耗品の使用は故障やトラブルの原因となりますのでおやめください。

種 類	RZ670	RZ630
マスター	RISOマスターZタイプ77 RISOマスターZタイプ37 (1ロール220版 相当)	RISOマスターZタイプ73 RISOマスターZタイプ33 (1ロール250版 相当)
インク	RISOインクZタイプ(各色)*	

* 色の種類については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

当社指定の本機専用消耗品は、製造年月より18カ月(常温保存)以内を目安にご使用ください。より良い状態でお使い頂くため、購入後は出来るだけ早めに、ご使用頂くことをお薦めいたします。
消耗品の製造年月は、インクボトル表面、マスター芯内側にそれぞれ記載してあります。

■ 理想用紙

種 類	サイズ	単 位	特 長
厚口(S) 厚口 薄口	A3 B4 A4 B5	1包500枚	厳しい選定基準をパスした用紙です。紙さばきが不要で、給紙および排紙のトラブルが少ないのが特長です。一般の複写機にも使用できます。また、厚口(S)は裏抜け、細字の再現性平滑度を向上させたハイレードな用紙です。

■ 理想環境用紙

種 類	サイズ	単 位	特 長
100 70 70WHITE UP	A3 B4 A4 B5	1包500枚	環境保全と資源保護、また紙ゴミの処理対策をふまえ、天然資源の再利用をめざして開発された中性紙です。 100は古紙含有率が100%、70シリーズは古紙含有率が70%のリサイクルペーパー(再生紙)です。
クリーム ピンク ライトブルー ライトグリーン ライトベージュ ライトパープル オレンジ クリアブルー※ キャメル※ さくら色 若草色 レモン色			古紙含有率が30%のリサイクルペーパー(再生紙 64.0g/m ²)の色用紙です。

* クリアブルー：B4、A4のみ／キャメル：A3、B4、A4のみ

参考

- 仕様、種類は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 価格については、本体お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)にお問い合わせください。

オプションについて

本機をより便利に使用するために、さまざまなオプションを用意しています。
お求めの際はお買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)へお問い合わせください。

■ 自動原稿送り装置AF-VIⅡ

最大約50枚までの原稿を自動的に送ることができます。

■ ソフトデジタイザキットⅡZX

タッチパネル上で原稿の編集加工ができます。

■ カラードラム

ドラムを交換するだけで簡単に多色刷りができます。(専用ケース付き)

■ A4/レター横ドラム(RZ670のみ)

A4/レターサイズ横方向通紙専用のドラムです。(専用ケース付き)

■ 排紙台 (W)

最大340mm×555mmの印刷用紙に対応する排紙台です。

■ カードカウンター IV:N

一定期間ごとやカードごとにプリント枚数の集計やマスター使用枚数などがワンタッチで確認でき、コスト管理に便利です。また、部門ごとのプリント枚数やマスター使用枚数の記録を取ることができます。

■ STソーター IV:NⅡ

プログラム機能との併用で、自動的にグループごとにテープを差し込み、印刷物の仕分けが簡単に行えます。

■ ソーター TM2500

本機に直結して使用するソーターです。最大25部までの仕分けが可能です。

■ メモリーカード DM128CF

「ホールド」機能を使用するためのメモリーカードです。

■ 厚紙給紙アタッチメント

ハガキなどを給紙するためのユニットです。

■ 封筒給紙アタッチメント

封筒を給紙するためのユニットです

■ 架台

■ サプライキーパー:S

インクやマスターを収納する組み立て式のラックです。

■ RISO PRINTER Network Interface Card RISORINC-NET-D:G/-D:メール

本機をネットワークに接続するためのオプションです。

各パソコンから印刷機の状態を確認できるモニタリングソフトウェア(RISO-MONITOR)が付いています。

仕様

製版方式	高速デジタル製版
製版時間	約20秒(A4縦等倍時)
印刷方式	全自動孔版印刷
原稿の種類	ブック(10kg以下)／シート
原稿紙質*1	50g/m ² ～128g/m ² (43～110kg連量:四六判)紙
原稿サイズ	原稿台ガラス使用時:最小50mm×90mm～最大297mm×420mm 自動原稿送り装置AF-VI使用時:最小100mm×148mm～最大310mm×432mm
用紙紙質	46g/m ² ～210g/m ² (40～180kg連量:四六判)紙
用紙サイズ	最小100mm×148mm～最大310mm×432mm(長尺モード時は長さ方向最大555mm)
印刷面積	RZ670:最大291mm×413mm RZ630:最大251mm×357mm
給紙台積載枚数	1,000枚*2
排紙台積載枚数	1,000枚*2
排紙揃え方式	ドミノ排紙方式
印刷速度	60枚～130枚／分(操作パネル:5段階)
印刷位置調整	天地(上下)±15mm 左右:最大±10mm
原稿モード	文字、写真(標準／顔写真／集合写真)、文字・写真(文字優先／写真優先、下地カット)、えんぴつ(こいめ／うすめ)
印刷倍率	ズーム(50%～200%)、等倍、拡大4段階(163%、141%、122%、116%)、縮小4段階(87%、82%、71%、61%)、周囲余白率縮小(90%～99%)、A4→ハガキ、B5→ハガキ
操作	対話式大型液晶パネル
各種機能	● アイドリング ● 印刷速度調節 ● 印刷濃度調節 ● 印刷位置調整 ● 原稿読取濃度調節(マニュアル／オート) ● コントラスト強調 ● トーンカーブ選択 ● レイアウト原稿 ● AFとじ代設定 ● 排紙ウイング特殊 ● AFオート製版(オプションの自動原稿送り装置を装着時のみ) ● 用紙サイズ検知 ● 再製版 ● 網点 ● 機密 ● 連写(かんたん／1原稿／多原稿／チケット) ● プログラム印刷 ● メモリー ● プレビュー表示 ● 180度回転 ● 環境設定 ● RISO i Quality System ● 省エネモード(オートスリープ、オートシャットOFF) ● 自動振り分け機能*3 ● RLP出力*3 ● 連続 ● 省インク ● ブックモード ● フルサイズ製版 ● 試し刷り ● インターバル印刷 ● 特殊用紙設定 ● プロテクト ● 用紙サイズ ● 占有延長 ● ダイレクトプリント ● オーバーレイ*4 ● ホールド*5 ● スキャンモード*4 ● USBメモリ*6 ● 認証設定 ● 利用枚数集計 ● 認証POP登録
カラーチェンジ	カートリッジ式ドラム変換
インク供給	全自動(1,000ml／本)
マスター給・排版	全自動(RZ670:220版／ロール相当、RZ630:250版／ロール相当)
マスター排版方式	水平排版方式
電源容量	AC100-120/220-240V～、50-60Hz、3.4/1.6A以上

定格消費電力	250W (RZ670:製版時135W／印刷時250W) (RZ630:製版時120W／印刷時250W)	
本体サイズ	使用時:1,380(幅)×645(奥行)×1,050* ⁷ (高さ)mm 収納時:775(幅)×645(奥行)×1,050* ⁷ (高さ)mm	
質量* ⁸	103kg	
付属品	保証書1部 取扱説明書一式 使用許諾契約書1部 RISO Printer Driver ソフトウェアCD-ROM リソースユーティリティソフトウェアCD-ROM 理想ステージクリーナー1袋 電源コード1本 取説ケース1個	
専用架台	RISO架台Nタイプ 650(幅)×630(奥行)×390(高さ)mm 約18kg RZ架台Dタイプ 635(幅)×645(奥行)×390(高さ)mm 約19kg RZドラム収納架台 635(幅)×645(奥行)×390(高さ)mm 約36kg	
オプション	自動原稿送り装置AF-VIⅡ ソフトデジタイザキットⅡZX A4／レター横ドラム(RZ670のみ) STソーターⅣ:NⅡ 厚紙給紙アタッチメント 封筒給紙アタッチメント 架台 RISO Printer Network Interface Card RISORINC-NET-D:G/-D:メール	カラードラム カードカウンターⅣ:N 排紙台(W) ソーター TM2500 メモリーカード DM128CF サブライキーパー:S

*1 自動原稿送り装置使用時

*2 64g/m²(55kg連量:四六判)紙使用時、積載高さ110mm以下

*3 連携機(Prio)登録時のみ

*4 メモリーカードDM128CF搭載時またはUSBメモリ接続時

*5 メモリーカードDM128CF搭載時

*6 USBメモリ接続時

*7 専用架台含む

*8 質量には、インク、マスターおよび架台は含みません。

おことわり

- 機械の改良、変更等により、本書の図版や記載事項とお客様の機械が、一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 製品の仕様や種類は、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

索引

本書で使用されている名称や用語をアルファベット順／五十音順で記載しています。

英数字

＊キー 16、116、117、124
＋キー 16、116、117
×キー 16、116
1原稿プログラム 114、116
180度回転 134、138
A4/レター横ドラム 251
AF オート製版 136
AF とじ代設定 74
C キー 16、34、53、54、107、
116、117、120、126、136
i情報 20、200
POP 20、154
RISOクリーナー 214
RLP基本画面 19
RLPモード機能 184
RISO Printer Driver 10
ST ソーター 115、251
USBスロット 15、36
USBメモリ
 プリント 41
 認証方式 30、36、97、98、
 100、103
 保存データ 166、174

五十音順

あ

アースの接続 7
アイドリング 132
網点 57
暗証番号 30、36、97、98、100、
103
安全上のご注意 7
インク 8、204、211
インク情報入力 237
インクキャップ留め 15、205
インクボトル 15、204、211
印刷位置調整 17、82
印刷キー 17
印刷基本画面 19
印刷工程 23
印刷速度 17、80
印刷速度調節キー 17、80
印刷速度ランプ 17、80
印刷に関する注意 13
印刷濃度 17、81
印刷濃度調節キー 17、81
印刷濃度ランプ 17、81
印刷前ストップ 45
印刷用紙
 注意 12
 変更 27
インターバル印刷 85
ウェイクアップキー 17
裏移り 85
エラーメッセージ 220
えんぴつ(原稿モード) 48
オートアイドリング 33、132、148
オートシャットOFF 148
オートスリープ 148
オーナー名の変更 172
オーバーレイ 178
お気に入り画面 19、154
押し出しレバー 207
お手入れ
 原稿台ガラス 215
 原稿パッド 215
 自動原稿送り装置
 スキャナーガラス 216

自動原稿送り装置
 ホワイート板 216
 サーマルヘッド 215
 プレスローラー 216
 外装部 217
オプション 251
オプションエラー 220、223
 オプションエリア 21
温度範囲 9

か

カードカウンター 251
カウンター 15
カウントオールクリア 98、112
拡大(変倍)
 固定変倍 51、52
 ズーム変倍 51、54
 独立変倍 51、53
各部の名称とはたらき 14
紙原稿
 基本画面 19
 プリント 30
紙揃えプレートノブ 15、29
カラードラム 208、251
環境設定 145
かんたん連写 61、64
管理者(認証設定)
 グループ設定 106
 消去 110
 登録 99、103
 変更 109
 名称入力 105
 利用停止 108
 利用枚数の上限設定 107
機能一覧 2
機能一覧画面 19
基本画面 19
基本機能エリア 20
機密 113、162
給紙圧調節レバー 14、27
給紙台
 上下ボタン 14、27
 セットのしかた 26
 閉じかた 27

給紙フェンス 14、26
グループ 114
グループ名称 99、111
クリーナー 214
警告 7
原稿解除ダイヤル 226
原稿解除レバー 14、226
原稿セットフェンス 14、31
原稿台カバー 14
原稿台ガラス 13、14、31、51、
62、215
原稿の余白 11
原稿排出トレイ 14
原稿パッド 14、215
原稿モード 48
原稿読取濃度 50
故障 240
固定変倍 51、52
コントラスト強調 58
こんなときには 219

さ

サービスエラー 220、221
サービスコールエラー 228、229
サーマルヘッド 15、215
再製版 21、133
湿度範囲 9
自動原稿送り装置
各部の名称 14
セットのしかた 31
自動振分 33、149
次ページ 21、44
写真(原稿モード) 48
シャットOFF 時刻 148
ジャムエラー 220、221
周囲余白 51
周囲余白縮小率 147
受信ジョブ 40
出力指示の変更 44
仕様 252
省インク 60
省エネモード設定 148

消去
1 原稿／多原稿
プログラム 122
特殊用紙設定 93
メモリー 130
用紙サイズ登録 161
消耗品 250
消耗品の残量確認 200
消耗品エラー 224
消耗品の交換 199
消耗品の回収・廃棄 211
初期画面 18
初期設定
設定可能な項目一覧 145
変更 151
ジョブ 21
ジョブ削除 21、44
ジョブ情報表示 21
ジョブ操作ボタンエリア 21
ズーム変倍 51、54
スキャンモード 168、169
スタートキー 17
ステータスエリア 20
ストッパー 15、28、29
ストップキー 17
製版キー 17
製版基本画面 19
製版工程 22
製版前ストップ 45
製版ユニット 15、201
製版ユニットOKボタン 15、201
製版ユニットカバー 15、202
製版ユニットカバーレバー 202
製版ユニットレバー 15、201
設置上の注意 9
設置場所 7
設定確認画面 125、128、130
セット確認エラー 220、224
センターランプ 82
占有延長時間 131、147
専有面積 9
専用消耗品 250
操作パターン表示 6

操作パネル
左側部分 16
右側部分 17
速度(印刷速度) 80
その他の機能 95

た

ダイレクトプリント 37
多原稿プログラム 114、117
タブエリア 20、21
試し刷り 23、34、84
試し刷りキー 17、84
長尺モード 160
長尺用紙 160
通紙ジャムエラー 220、226
注意 7
停止タイミング 45
ディスプレイ
位置 14、16
画面の移り変わり 18
ボタン 20
テーブル仕分け 115
テンキー 16、34
電源スイッチ 15、26
電池交換 221、229
トーンカーブ選択 59
登録
1 原稿／多原稿プログラム
119
管理者／ユーザー(認証設定)
99、103
特殊用紙設定 89
メモリー 125
用紙サイズ登録 158
特殊給紙調整 86
特殊排紙調整 86
特殊用紙設定 86
消去 93
登録 89
変更 92
名称入力 89
呼び出し 88
独立変倍 51、53

索引

ドラム

- OK ボタン 15、208
- 位置 15
- カラーチェンジ 208
- 交換 208
- コネクタ 209
- セット 209
- 取り出し 208
- ドラムレバー 15、208
- 取り扱い 8

な

- 日時設定 147
- 認証POP登録 98、143
- 認証有無 98、102
- 認証画面 36
- 認証ジョブ 40
- 認証設定 96、148
 - 管理者／ユーザー 103
- 認証データ呼び出し 42
- 認証プリント 40、96
- 認証方式
 - 選択 100
 - 暗証番号 30、36、97、98、100、103
 - USBメモリ 30、36、97、98、100、103
- 濃度(印刷濃度) 81

は

- 排紙ウイング 15、86
- 排紙ウイング特殊 86、87
- 排紙台
 - 位置 15
 - セット 28
 - 閉じかた 29
- 排紙フェンス 15、28、29
- 排版爪 216、227
- 排版ボックス
 - 位置 14
 - 使用済みのマスター処理 206
- 排版ボックスレバー 206
- パソコンデータ
 - 基本画面 21
 - プリント 37
- ブックモード 70

不定形用の紙 158

- フランチ 203
- プリント
 - USBメモリからプリント 41
 - 紙原稿のプリント 30
 - 流れ 22
 - パソコンデータのプリント 37
 - メモリーによるプリント 128
- フルサイズ製版 78
- プレスローラー 216
- プレビュー 21、44
- プレビュー表示 76
- 付録 249
- プログラム

- 1 原稿プログラム 114、116
- 消去 122
- 多原稿プログラム 114、117
- 名称入力 120
- 設定 116
- 登録 119
- 呼び出し 118
- プログラムキー 16、116
- プログレスバー 17
- プロテクト 148、162
- 文中の表記について 6
- 分離爪 216、227
- 変更(内容／名称)
 - 1 原稿／多原稿
 - プログラム 120
 - 初期設定 151
 - 特殊用紙設定 89、92
 - メモリー 126
 - 用紙サイズ登録 158

変倍

- 固定変倍 51、52
- 周囲余白 51、52
- ズーム変倍 51、54
- 独立変倍 51、53

変倍率

- 固定変倍 52
- ホールド 166、174
- 奉書 160
- 本体認証 96

ま

- 枚数カウンター 15、84
- 前カバー 15、208
- マスター
 - 交換 201
 - 再製版 133
 - 使用済みのマスター処理 206
 - 専用消耗品 250
- マスターガイド 15、203
- マスター情報入力 239
- マスター芯 202、211
- マスターロールストッパー 15、202
- 名称変更
 - 1 原稿／多原稿
 - プログラム 120
 - 管理者／ユーザー
 - (認証設定) 105
 - グループ(認証設定) 99、111
 - 特殊用紙設定 89
 - メモリー 126
 - 用紙サイズ登録 158
- 名称入力画面 121
- メッセージ
 - エラーメッセージ 220
 - ワーニングメッセージ 228
- メモリー
 - 消去 130
 - 登録 125
 - 呼び出し 128
 - 名称入力 126
- モードキー 16
- モード選択画面 18
- 文字(原稿モード) 48
- 文字・写真(原稿モード) 48

や

- ユーザー(認証設定)
 - グループ設定 106
 - 消去 110
 - 登録 98、103
 - 変更 109
 - 名称入力 105
 - 利用停止 108
 - 利用枚数の上限設定 107
- 用紙サイズ 55、158

用紙サイズ登録

消去 161

登録 158

内容／名称変更 158

用紙のセット 26

呼び出し

1 原稿／多原稿

プログラム 118

特殊用紙設定 88

メモリー 128

読取濃度 50

5

リセットキー 17

理想USBメモリマネージャー 10

理想環境用紙 250

理想サーマルヘッドクリーナー

214

理想集計アプリケーション 10

理想ステージクリーナー 214

理想用紙 250

リソグラフィクリーナー 214

リソーユーティリティ

ソフトウェア 10

利用枚数

お知らせ日設定 139、141

集計出力 139、140

上限設定 107

レイアウト原稿 72

連携機 183

連写 61

1原稿連写 61、62、65

印刷用紙のセット方向 62

原稿のセット方向 62

多原稿連写 61、62、65

チケット連写 61、63、67

連続 56

連続キー 17

連続モード 21、45

連続ランプ 56

わ

ワーニングメッセージ 228、229

アフターサービスについて

無償修理

この製品には保証書を別途添付しています。保証書の記載内容をご確認いただいた上、大切に保管してください。

保証期間中の修理の場合は必ず保証書をご提示ください。

保証期間は商品購入日より1年以内もしくはトータルカウンター表示が100万枚までのいずれか早期に達した方とし、その期間中において、本書に従った正常な使用状態で故障した場合には、保証書に記載されている保証規定に則り無償修理いたします。

有償修理

保証期間をすぎた場合は有償修理となります。

また、次の場合は保証期間内であっても有償修理となりますのでご了承ください。

- 保証書のご提示がない場合
- 保証書の所定事項の無記入、または記載内容が書き換えられている場合
- 使用上の誤り、不当な修理、改造等による故障や損傷
- 当社認定のテクニカルリソグラフマン以外の者による修理が行われた場合
- 当社推奨消耗品をお使いいただけないことに起因する故障
- ドラムの色変更に要する作業
- 有償部品の交換
- ご購入後の輸送、移動等による故障や損傷
- 火災、地震、その他天災地変による故障や損傷
- 上記以外で当社の責任でない原因で生じた故障や損傷

有償部品

ブラテンローラー、サバキ板、ピックアップロール、スクレーパー、
排版ベルト、プレスロール、OAパット、除電ブラシ、
ブロックシート、シールテープ

専用消耗品

RZ670: RISOマスターZタイプ77、RISOマスターZタイプ37
RISOインクZタイプ(各色)
RZ630: RISOマスターZタイプ73、RISOマスターZタイプ33
RISOインクZタイプ(各色)

修理不能の場合

天災または強度の衝撃その他で破損がひどく、正常の性能に復元できない場合および部品の入手が困難な場合など、修理ができない場合があります。その際は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間と インク・マスターの提供期間

本製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、本製品の製造終了後、最低7年間保有しています。インク・マスターは、本製品の製造終了後、最低7年間提供しています。

修理ご依頼に際しての注意事項

- 本機では、当社の定める研修を受講し、テクニカルリソグラフマンと認定された者がメンテナンスを行うシステムを採用しております。修理を依頼される際には必ずテクニカルリソグラフマン認定証の提示を求め、該当するテクニカルリソグラフマンであることをご確認ください。また、保証規定による修理には、必ず保証書を添付してください。
- 万一故障と思われる事態が生じた場合は、まず本書に記載されている処置(操作手順、トラブル処理、警告表示の処理、ご注意)をご確認ください。完全に処置できない場合は、販売会社(あるいは保守・サービス会社)にご連絡ください。ご連絡の際には、故障箇所、内容などをできるだけ詳しくご説明ください。
- 修理完了後は修理伝票にご捺印ください。

使用済み製品について

本製品には、ご使用後に回収し部品の再使用(リユース)や再利用(リサイクル)をおこなうシステムがあります。また、このシステムで活用できない部分は環境への負荷が少ない方法で処理するシステムがあります。

アフターサービスについてのご不明な点、またはサービスサポートメニューや製品についての詳細は、お買い上げの販売会社(あるいは保守・サービス会社)にお問い合わせください。また、お問い合わせはお客様相談室(☎次ページ)でも受け付けております。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています



お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては

お客様相談室 ☎ 0120-534-881

当社製プリンタドライバ/ソフトウェアの操作に関しては

サポートセンター ☎ 0120-229-330

受付時間(月～金 10:00～12:00, 13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)



理想科学工業株式会社

〒108-8385 東京都港区芝5-34-7 田町センタービル 電話 (03) 5441-6666

ホームページ <http://www.riso.co.jp/>